

※ インストールを行う前に必ずお読みください	4	※ 基本設定を行う前に必ずお読みください	41
① BCPOS のインストール	6	⑤ BCPOS 使用における基本設定	42
1-1 新規インストール (CD-ROM 編)	6	5-1 基本設定について	42
1-1 新規インストール (ダウンロード編)	6	5-2 全般設定	42
※ トラブル (BCPOS インストールが始まらない)	7	初期 (全般設定 > 初期)	42
1-2 BCPOS セットアップの実行	8	初期 2 (全般設定 > 初期 2)	44
1-2 使用するレシートプリンタの機種選択	9	初期 3 (全般設定 > 初期 3)	45
		小計 (全般設定 > 小計)	47
② 周辺機器のドライバインストール・接続・設定	10	NON-PLU (全般設定 > NON-PLU)	48
2-1 周辺機器のドライバインストール	10	機種 [周辺機器設定] (全般設定 > 機種)	49
2-2 カスタマディスプレイの接続・ポート確認	14	メニューバー (全般設定 > メニューバー)	50
※ トラブル (COM の番号がわからなくなった場合)	15	ディレクトリ (全般設定 > ディレクトリ)	51
2-2 カスタマディスプレイの設定	14	顧客 (全般設定 > 顧客)	52
2-3 レシートプリンタ・ドリアの接続	21	レシート [発行設定] (全般設定 > レシート)	54
2-3 レシートプリンタ・ドリアの設定	21	ラインDSP [カスタマディスプレイ設定] (全般設定 > ラインDSP)	55
2-4 BCPOS 機種設定	23	印字 [レシート定型文] (全般設定 > 印字)	56
2-5 USB ロックスターの設定	24	業務OP [オプション設定] (全般設定 > 業務OP)	57
2-6 アクティベーションの設定	25	ポイント (全般設定 > ポイント)	57
		※ポイント還元の種類	58
③ BCPOS トレーニングモード・期限更新	26	5-3 消費税設定	59
3-1 レーニングモードの使用	26	税率設定 (消費税設定 > 税率設定)	59
※ トラブル (周辺機器の○○○エラー表示)	26	詳細設定 (消費税設定 > 詳細設定)	59
※ トラブル (レジ画面がトレーニングモードに)	26	印字設定 (消費税設定 > 印字設定)	60
3-2 期限パスワードの更新	27	5-4 追加基本設定	61
		印字追加設定 (追加基本設定 > 印字追加設定)	61
④ 各種画面説明	28	その他追加設定 (追加基本設定 > その他追加設定)	62
4-1 POS レジ起動 (F1)	28	保留設定 (追加基本設定 > 保留設定)	63
4-2 管理画面 (F2)	29	プリンタ増設設定 (追加基本設定 > プリンタ増設設定)	64
4-3 各種マスタ (F3)	32		
4-4 Tenpovisor (F4)	32	⑥ レジ画面のメニューボタン登録	65
4-5 オンライン (F5)	33	1- タブメニュー登録	65
4-6 基本設定 (F6)	33	2- 商品のメニューボタン登録	65
4-7 業種別管理 (F7)	34	3- タブ・メニューボタンの修正	67
4-8 データ随時処理 (F8)	34	4- タブ・メニューボタンの削除	67
4-9 メンテナンス (F9)	35	5- タブ・メニューボタンの簡易登録機能	68
4-10 終了 (F10)	35	※ カラーコードについて	68
4-11 レジ起動 (F1) 詳細	36	※ 文字入力 (補助機能) について	69
※ 販売画面と操作ボタンフィールドについて	40	6- ファンクション等メニューボタン登録	70
		7- 部門販売用メニューボタン登録	71
		8- 顧客のメニューボタン登録	71
		9- 商品券のメニューボタン登録	71
		10- タブ・メニューボタンの CSV 切出・取込	72

※ マスタ作成を行う前にお読みください	73	⑨ レジ操作方法	93
※ 部門コードについて (商品コード構成)	74	9-1 BCPOS の起動と終了	93
⑦ 各種マスタ登録	75	9-2 釣銭準備金の登録方法	95
7-1 部門マスタ設定	76	9-3 仕入の方法 (F7 仕入)	97
7-2 商品メモ設定	78	9-4 仕入保留機能	98
7-3 顧客メモ設定	78	9-5 移出 (SF8)・移入 (SF7) 処理の方法	100
7-4 担当者設定	78	9-6 商品検索	100
7-5 サブジャンル設定	79	9-7 販売の流れ	101
7-6 メーカー設定	79	9-8 販売 (各種処理)	102
7-7 地区設定	79	9-9 部門販売 (バーコードの無い商品販売)	104
7-8 店舗マスタ設定	79	9-10 複数割引機能 (同一商品セット販売)	104
7-9 営業担当設定	80	9-11 セールス特價機能	104
7-10 クレジット設定	80	9-12 セット販売機能 (バンドル販売)	105
7-11 入金メモ設定	80	9-13 ミックスマッチ販売機能	110
7-12 出金メモ設定	80	9-14 期間指定価格機能 (期間指定セール売価)	116
7-13 売掛種別設定	80	9-15 商品券 (F7) の登録と使い方	124
7-14 値引理由設定	80	9-16 販売保留機能	129
⑧ 仕入先・商品・顧客マスタ登録	81	9-17 内金機能	131
8-1 仕入先マスタ登録	81	9-18 出金 (SF1)・入金 (SF2) 機能	132
8-2 商品マスタ登録 (新規)	82	9-19 クレジット販売	133
8-3 既存商品の訂正	86	9-20 小計画面 (各種処理)	134
8-4 登録先変更	86	9-21 レシート再発行	136
8-5 簡易商品登録	87	9-22 レジ締め業務	137
8-6 書籍・雑誌の登録方法	87	9-23 日報 (F2)	140
8-7 顧客マスタ登録 (新規)	89	9-24 ジャーナル点検	142
8-8 既存顧客の訂正	90	9-25 返品 (F8) 処理	143
8-9 顧客の移行	91	9-26 商品詳細・商品の稼働実績・在庫	147
8-10 顧客ダミー登録	92	■ 在庫リストの表示	147
		9-27 商品リスト	148
		9-28 顧客管理	150
		9-29 顧客カルテ	154
		9-30 売掛機能	159
		9-31 メモ機能	161
		⑩ BCPOS データー随時処理	162
		10-1 商品マスタのテキスト切出し	162
		10-2 商品マスタのテキスト取込み	163
		□ 商品マスタフォーマット	165
		10-3 顧客マスタのテキスト切出し	166
		10-4 顧客マスタのテキスト取込み	167
		□ 顧客マスタフォーマット	168
		10-5 ログテキスト 変換プログラム	169
		10-6 他社データ変換	173

⑪ BCPOS メンテナンス	174	⑬ 在庫管理オプション	223
11-1 バックアップ	174	13-1 在庫一覧表	223
11-2 データベース	174	13-2 項目別商品在庫一覧	225
11-3 商品ユーティリティ	178	13-3 コード検索在庫一覧	226
11-4 顧客ユーティリティ	184	13-4 部門集計一覧	227
11-5 BCPOS アップデート	187	13-5 発注点切れリスト	228
		13-6 ハンディメニューマニュアルの開き方	229
		13-7 ハンディ DB 取込	230
		13-8 棚卸手入力	231
		13-9 棚卸チェックリスト	232
		13-10 棚卸一覧	233
⑫ 販売管理オプション	188	⑭ 顧客管理オプション	235
12-1 商品ベスト	188	14-1 顧客稼動一覧	235
12-2 商品稼動一覧	190	14-2 DM ラベル発行	237
12-3 売上一覧	192	14-3 ポイント残高一覧	238
12-4 売上売価評価一覧	194	14-4 ポイント照会一覧	239
12-5 商品在庫単価入力	195	14-5 カルテ用 DM	239
12-6 バーコード印刷	197	14-6 売掛種別一覧	240
12-7 NON-PLU バーコードの印刷	199	14-7 顧客地区ベスト集計	241
12-8 NON-PLU バーコードの設定	201	14-8 顧客稼動ベスト	242
12-9 項目別売上一覧	203	14-9 得意先別売上一覧	243
12-10 部門別 (売上在庫/比率) 一覧	205	14-10 売掛未収一覧	244
12-11 月報	207	14-11 年代別性別集計一覧	245
12-12 年報	209		
12-13 曜日・時間別売上一覧	211	クラウド型 店舗本部管理システム Tenpo Visor	246
12-14 サブジャンル別 / メーカー別 / 仕入先別 / 売上一覧の切り替え方法	212	⑮ Tenpo Visor 用プログラム (各種画面説明) ...	248
12-14 サブジャンル別売上一覧	213	15-1 TenpoVisor 管理メニュー	248
12-14 メーカー別売上一覧	214	15-2 TenpoVisor F4 基本設定	249
12-14 仕入先別売上一覧	215	15-3 TenpoVisor用初期商品・顧客初期データ作成	250
12-15 担当者別売上一覧	216	15-4 TenpoVisor用 F5 在庫データ作成	251
12-16 商品別売上一覧	218		
12-17 移動データ店舗別一覧	219	⑯ LAN オプション	252
12-18 年代別性別集計一覧	220	索引	254
12-19 部門別前年度売上対比表	222	BCPOS 動作環境	260

操作マニュアルは、インストール用 CD-ROM 及び、インストール後の BCPOS フォルダ内に PDF 形式でございます。
 CD-ROM>TOOL>マニュアルフォルダ>操作マニュアル (PDF)
 インストールドライブ>BCPOS>TOOL>マニュアルフォルダ>操作マニュアル (PDF)

4 インストールを行う前に必ずお読みください



※ インストールを行う前に必ずお読みください

インストールの際の注意点

- インストールを行う前に、必ず全てのプログラムを終了させてください。
- 新規インストールの場合は、周辺機器を接続しないでください。

再インストール・バージョンアップの際の注意点

- 再インストール・バージョンアップを行う場合には、安全のため必ずデータのバックアップを取ってください。基本的にデータや設定はそのまま残りますが、バックアップを取らずにインストールした場合、データに支障をきたしても弊社では一切責任を負えませんのでご了承ください。
- 再インストール・バージョンアップの場合、BCPOS インストール後の「周辺機器のドライバインストール」(P-10)で、ご利用のパソコンにすでにインストールされているドライバは表示されません。
- BCPOS Ver2.5-2.9-3.0 をご利用の場合、Ver6 へバージョンアップする際には、パスワードの再発行が必要となります。

パスワード発行手続き及び、周辺機器の確認等させていただきますので別途お問合せください。

(古い周辺機器は、新しいWindowsOS の対応が終了している場合等ありますので必ずお問合せください)

- LockStar の番号により、Windows7(64bit)・Windows8 以上は非対応となり交換が必要となります。LockStar 番号の確認方法は P-24 を参照してください。

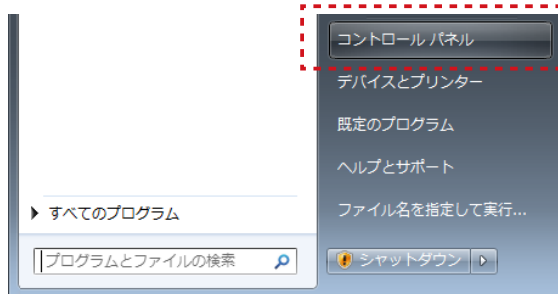
バージョンアップの際はお問合せください

周辺機器の動作や、データの移行等ありますので、バージョンアップの際は必ずお問合せください。

インストールの準備

■ 手順1 (Windows7 の場合)

スタートメニューを開き(画面左下のウインドウズのマークを押す)「コントロール パネル」を押します。

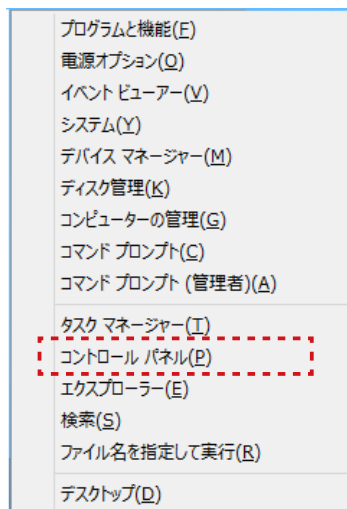


■ 手順1 (Windows10_8.1.8 の場合)

スタートメニュー内の、デスクトップを押してデスクトップを表示し、キーボードの Windows キーと X を同時に押します。



「コントロールパネル」を押します。



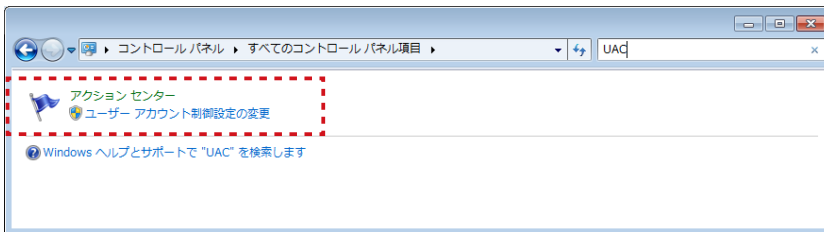
■ 手順 2

「コントロール パネル」のウィンドウが表示されるので、右上の検索窓に「UAC」と入力します。



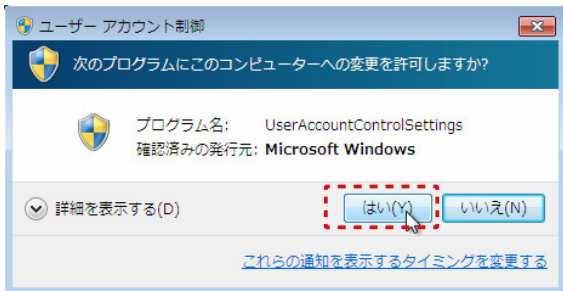
■ 手順 3

「ユーザーアカウント制御 (UAC) 設定の変更」と表示されている項目を押します。



■ 手順 4

「ユーザー アカウント制御」の警告ウィンドウが表示されるので「はい (Y)」を押します。

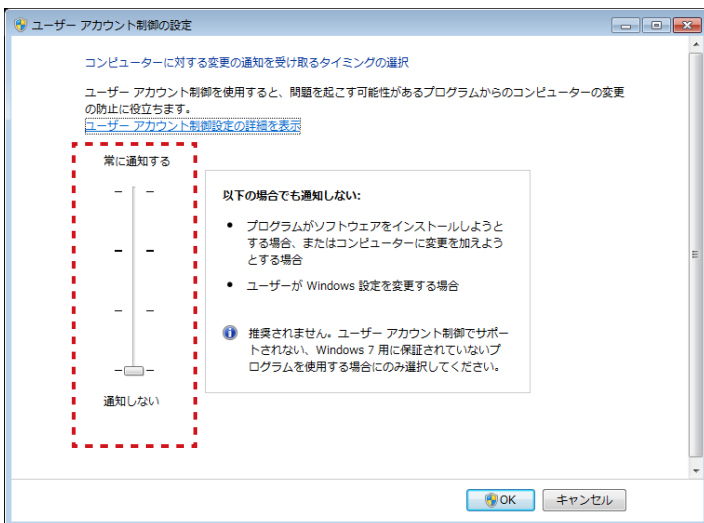


■ 手順 5

左側のバーを一番下の「通知しない」まで動かし「OK」ボタンを押します。

「ユーザーアカウント制御 (UAC)」の無効化を行ってから BCPOS のインストールを実行してください。

※「ユーザーアカウント制御 (UAC)」を有効にする場合は、BCPOS の設定がすべて完了してから有効にしてください。



① BCPOS のインストール

各種インストールが終了するまで、周辺機器をパソコン (POS) に接続しないでください
 周辺機器の接続は、P-14 の「周辺機器の設定・・・」からとなります。
 ※ 再インストール・バージョンアップの場合は、この限りではありません。

① -1 新規インストール (CD-ROM 編)

■ 手順 1

BCPOS の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
 自動再生画面が表示されましたら [setup.exe の実行]
 を選択してください。



■ 手順 2

[セットアップ] が表示されたら [セットアップ] を押します。



上記 [BCPOS セットアップ] ダイアログが表示されなかった場合は次項参照

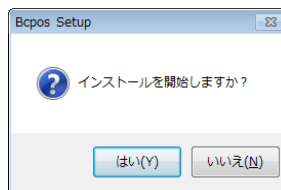
1-1 再インストール・バージョンアップの場合

BCPOS を再インストールする場合や新しいバージョンの BCPOS をインストールする場合には、ハードウェアの環境によって、インストール手順等が異なります。
 また、Windows OS のバージョンにより周辺機器が対応していない場合がございます。
 お店に合った、インストールの手順をご案内申し上げますので巻末のユーザーサポートまでご連絡ください。また、インストールから各種ドライバの設定まで約 1 時間かかりますので、時間に余裕がある時にバージョンアップをする事をお勧めします。

① -1 新規インストール (ダウンロード編)

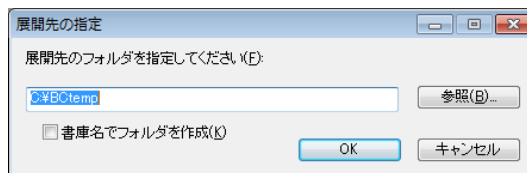
■ 手順 1

ショップページより、インストールプログラムを実行します。
 ※ご利用環境によって、指定のフォルダにダウンロードされています。



■ 手順 2

インストールに必要なファイルを、
 展開する場所の指定画面が表示されます。
 特別な理由がない限り、そのまま [OK] を押してください。



※ここで他のフォルダを指定した場合には、自動的にセットアップが起動しませんので次項の※トラブルシューティングを実行してセットアップを起動する必要があります。

■ 手順 3

ファイルの展開が完了すると [BCPOS セットアップ] が表示されます。



※ トラブルシューティング (BCPOS インストールが始まらない)

[BCPOS セットアップ] ダイアログが表示されなかった場合
(自動的にBCPOSのセットアップが始まらない場合)

CD-ROM の場合

自動的にセットアップ画面が表示されない場合は、
下記手順でインストールを開始します。

■ 手順 1

マイコンピュータを開きます。
(Windows キー +E)



コンピューター

■ 手順 2

CD/DVD ドライブをダブルクリックします。

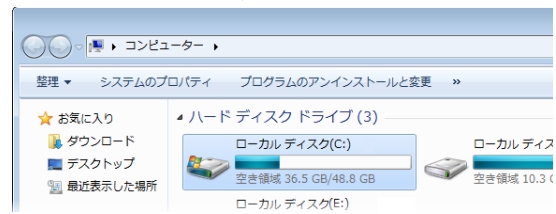


ダウンロード (Web) の場合

自動的にセットアップ画面が表示されない場合は、
下記手順でインストールを開始します。

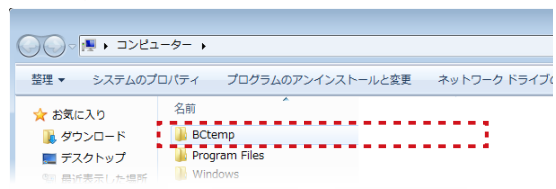
■ 手順 1

マイコンピュータを開きます。
インストール用ファイルを展開したドライブを開きます。



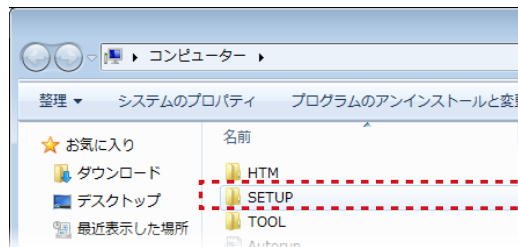
■ 手順 2

[BCtemp] フォルダを開きます。



■ 手順 3 (CD-ROM & WEB 共通)

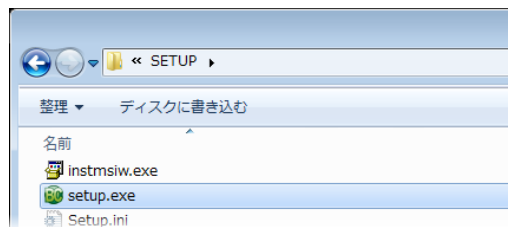
[SETUP] フォルダを開きます。



■ 手順 4 (CD-ROM & WEB 共通)

[Setup.exe] ファイルを開きます。

※同名ファイルがありますが、BC アイコンのファイルを実行してください。



■ 手順 5 (CD-ROM & WEB 共通)

[BCPOS セットアップ] ダイアログが表示されたら [セットアップ] ボタンを押します。



① -2 BCPOS セットアップの実行

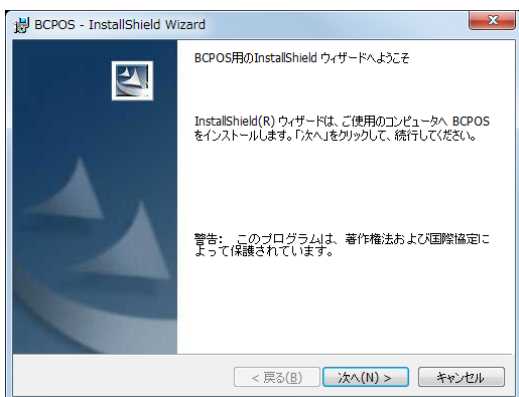
■ 手順 1

[セットアップ] (下図) が表示されたら
[セットアップ] を押します。



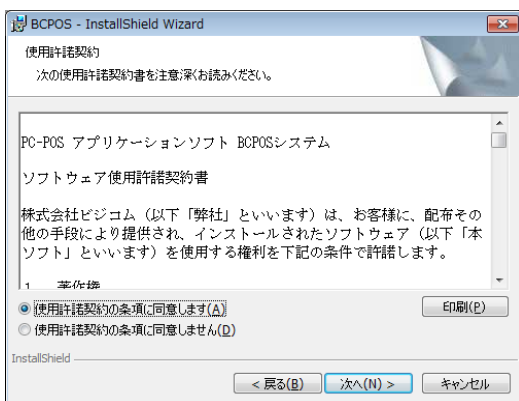
■ 手順 2

[インストールウィザード] が表示されますので
[次へ] を押します。



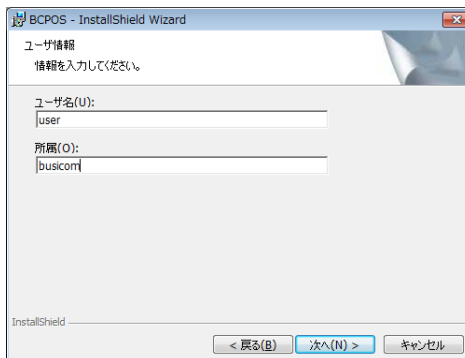
■ 手順 3

[使用許諾契約] が表示されます。
[使用許諾契約の条項に同意します(A)] に
チェックを入れて [次へ] を押します。



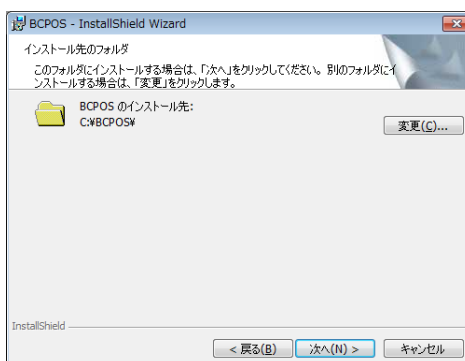
■ 手順 4

[ユーザー情報] が表示されたら名前と所属名を入力し
[次へ] を押します。※省略可能です。



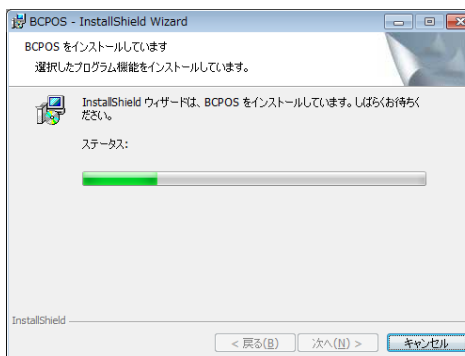
■ 手順 5

[インストール先の選択] が表示されますので [次へ] を押します。



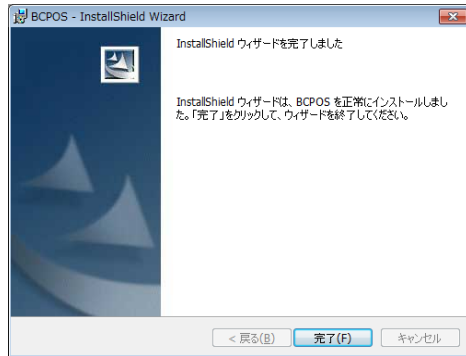
■ 手順 6

インストールが開始されます。暫くお待ちください。



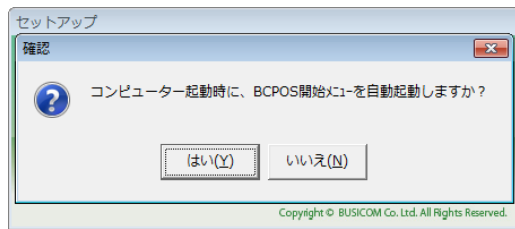
■ 手順 7

[セットアップ完了]が表示されます。
[完了]を押します。

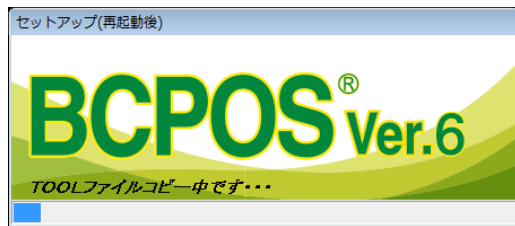


■ 手順 8

[確認]ダイアログが表示されます。
[はい]を選択するとパソコンの起動後、自動的にBCPOSが起動する設定になります。
自動的にBCPOSを起動する場合は[はい]そうでない場合は[いいえ]を選択してください。

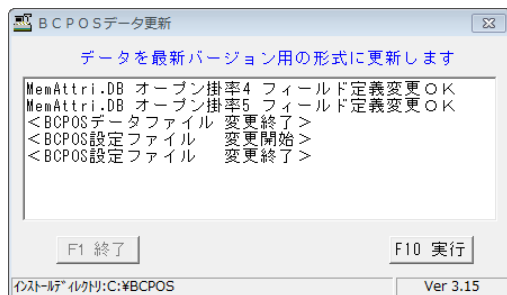


BCPOS 自動起動設定後、セットアップが実行されます。



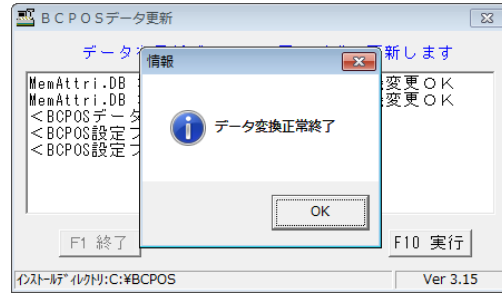
■ 手順 9

[BCPOS データ更新]が表示され、データが更新されます。
[情報]ダイアログが表示されます。
データ変換が始まらない場合は[F10 実行]を押します。



■ 手順 10

[情報]ダイアログが表示され、データ変換を終了します。

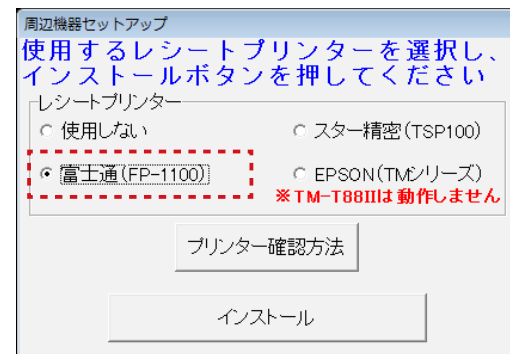


以上でBCPOSのインストール及び自動起動設定は完了です。

使用するレシートプリンタの機種選択

BCPOSのインストール終了後「周辺機器セットアップ」が表示されます。

※本マニュアルは、BCPOS 標準構成プリンタ「富士通 (FP-1100) 版となりますので、「富士通 (FP-1100)」を選択して「インストール」を押してください。



※ EPSON TM-T88 シリーズ及び、スター精密 TSP-100 シリーズをお使いのお客様は、別冊のインストールマニュアルをご用意しておりますのでお問合せください。

次項、周辺機器ドライバのインストールへ進んでください。

② 周辺機器のドライバインストール・接続・設定

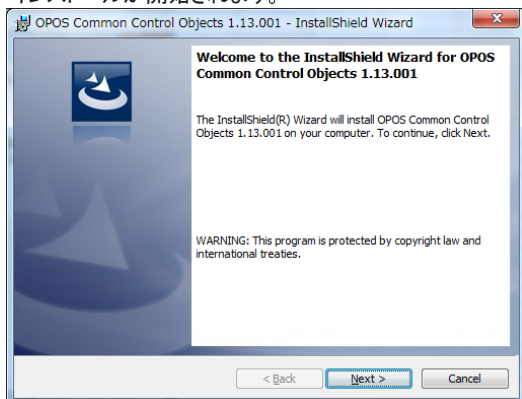
②-1 周辺機器のドライバインストール

周辺機器のドライバをインストールします。

※ BCPOS を利用中のパソコンで、再インストール・バージョンアップの場合、すでにインストールされているドライバは表示されません。

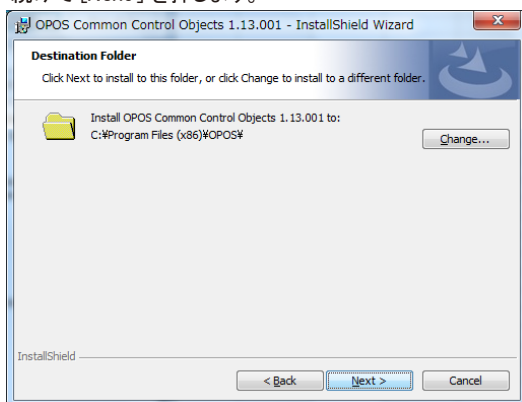
■ 手順 1-1

「OPOS Common Control Objects」が開きますので [Next] を押します。続いて、カスタマディスプレイドライバのインストールが開始されます。



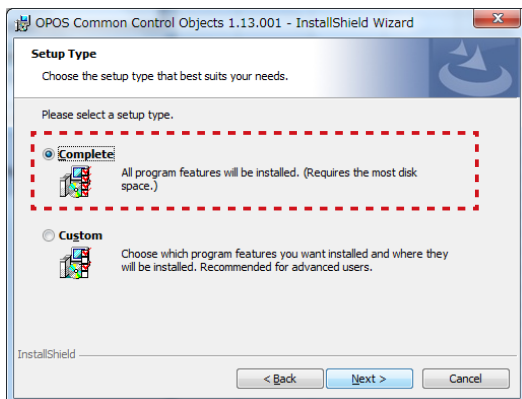
■ 手順 1-2

ファイルの保存先を尋ねられます。続けて [Next] を押します。



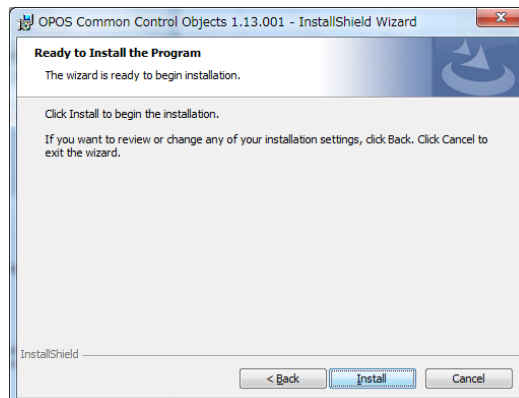
■ 手順 1-3 (注)

セットアップタイプが表示されます。[Complete] にチェックを入れて [Next] を押します。



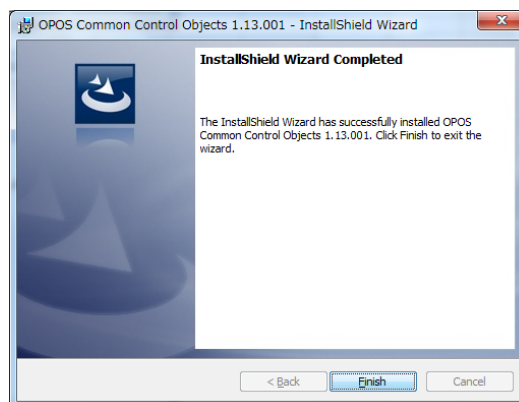
■ 手順 1-4

プログラムをインストールする準備ができました画面が開きます。[Install] を押します。

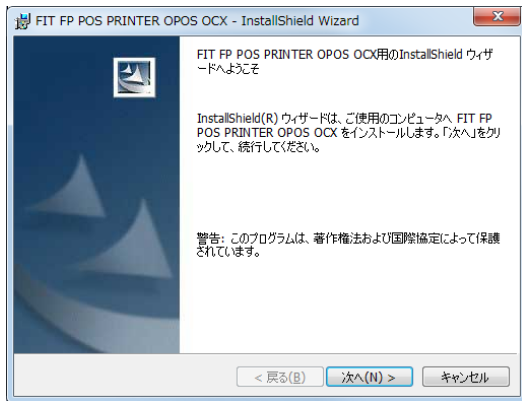


■ 手順 1-5

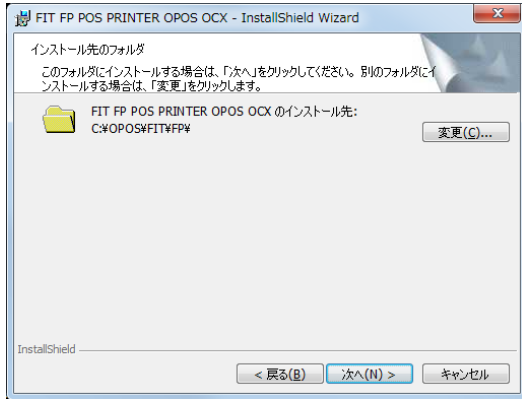
インストールウィザードが完了しましたと画面に表示されますので [Finish] を押して画面を閉じます。



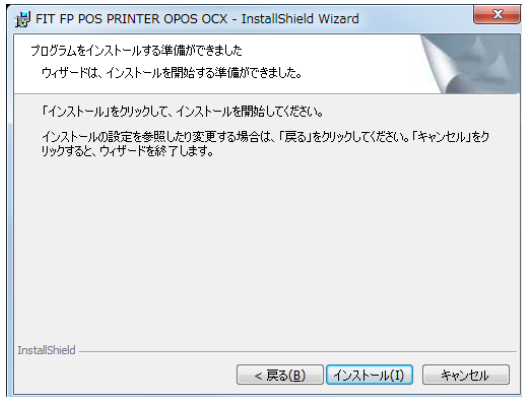
- 手順 2-1
FIT FP POS PRINTER OPOS OCX 用 InstallShield
ウィザードが表示されますので [次へ] を押してください。



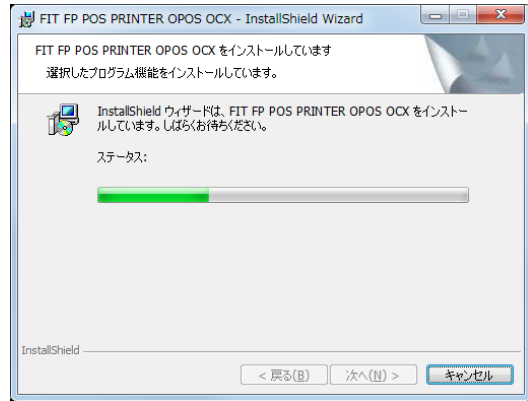
- 手順 2-2
インストール先のフォルダが表示されますので
[次へ] を押します。



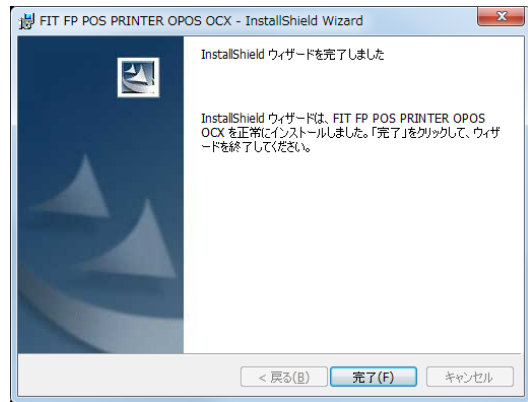
- 手順 2-3
プログラムをインストールする準備ができました。
と表示されますので [インストール] を押します。



- 手順 2-4
インストールが開始されます。



- 手順 2-5
InstallShield ウィザードを完了しましたと画面に
表示されますので [完了] を押して画面を閉じます。
続いて、次項 Silicon Laboratories CP210x のインストール
が開始されます。



12 周辺機器ドライバインストール

■ 手順 3-1

CP210x USB to bridge Drivers Installer が表示されますので「次へ」を押します。



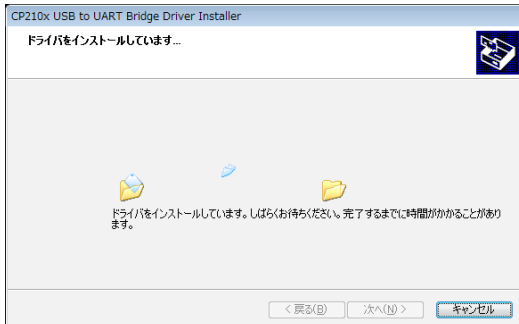
■ 手順 3-2

使用許諾契約が表示されますので「同意します」にチェックを入れ「次へ」を押します。



■ 手順 3-3

ドライバのインストールが開始されます。



■ 手順 3-4

インストールが完了しましたと画面に表示されますので「完了」を押します。



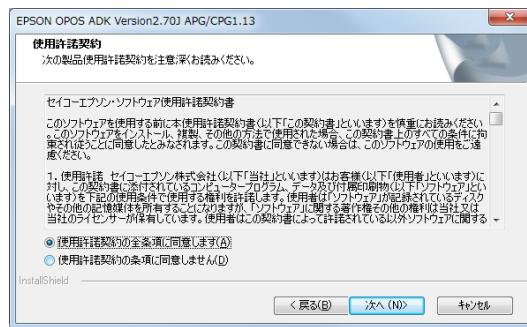
■ 手順 4-1

EPSON OPOS ADK セットアップが表示されます。「次へ」を押してください。



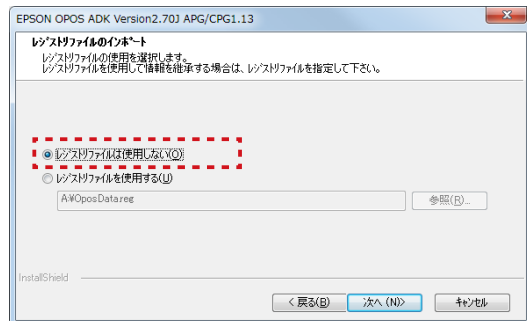
■ 手順 4-2

使用許諾契約が表示されますので「使用許諾契約書の全条項に同意します」にチェックを入れ「次へ」を押します。



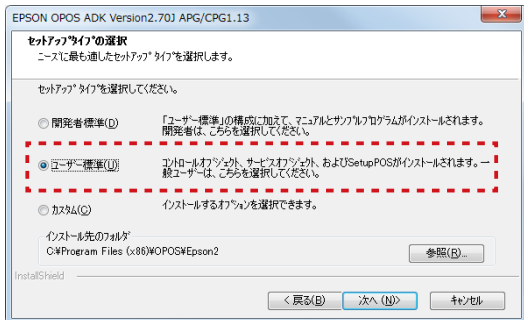
■ 手順 4-3 (注)

レジストリファイルのインポートが表示されます。「レジストリファイルは使用しない」にチェックが入ったままで「次へ」を押します。



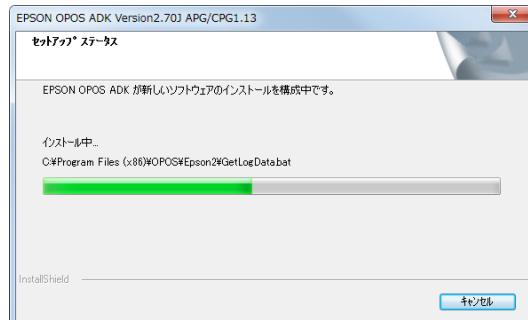
■ 手順 4-4 (注)

セットアップタイプの選択が表示されますので
[ユーザー標準] にチェックを入れて [次へ] を押します。



■ 手順 4-7

セットアップステータスが表示されインストールが
開始されます。



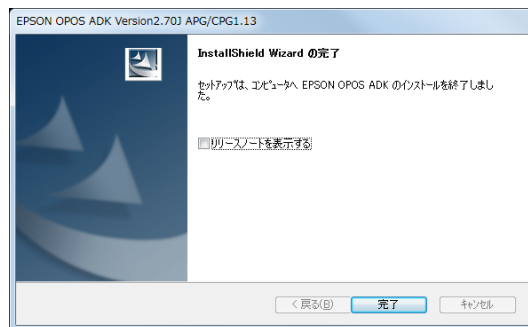
■ 手順 4-5

ファイルコピーの開始が表示されます。
[次へ] を押します。



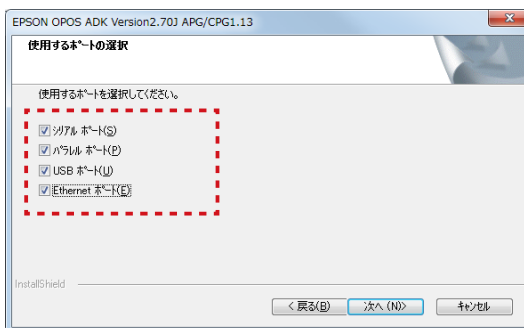
■ 手順 4-8

InstallShieldWizard の完了が表示されますので
「リリースノートを表示する」のチェックを外して [完了]
を押してください。



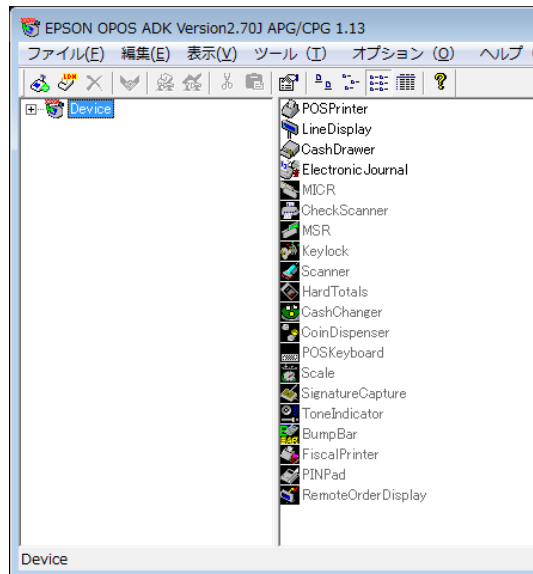
■ 手順 4-6 (注)

使用するポートを選択してください。と表示されますので
「全てのポート」にチェックを入れて [次へ] を押します。



■ 手順 4-9

以上で「周辺機器のドライバのインストール」が終了いた
しました。次に、下図「EPSON OPOS ADK」が表示されます
ので、表示させたまま次項「カスタマディスプレイの接続・
ポート確認」へお進みください。



以上で周辺機器のドライバインストール
は完了です。

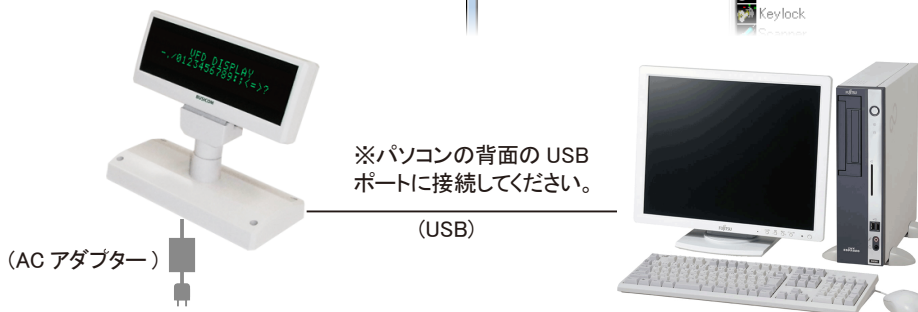
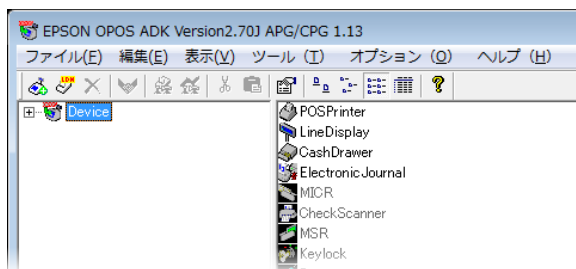
②-2-1 カスタマディスプレイの接続・ポート確認

次にカスタマディスプレイのポート番号を確認します。

前項 [InstallShield Wizard の完了] が表示され [完了] を押すと、[EPSON OPOS ADK] が表示されます。

この画面を閉じないで、カスタマディスプレイをパソコンに接続します。

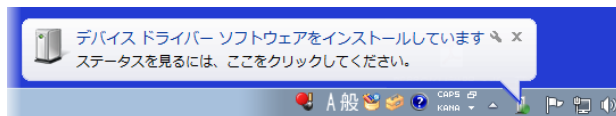
※接続する際は、なるべくパソコン背面の USB ポートに接続してください。接続した場所を変更しないでください。(パソコン前面に差込んだ場合、ポートの番号が大きくなる場合がございます。)



※注意※ 上記画面[EPSON OPOS ADK]を表示したままで、カスタマディスプレイをパソコンに接続してください。

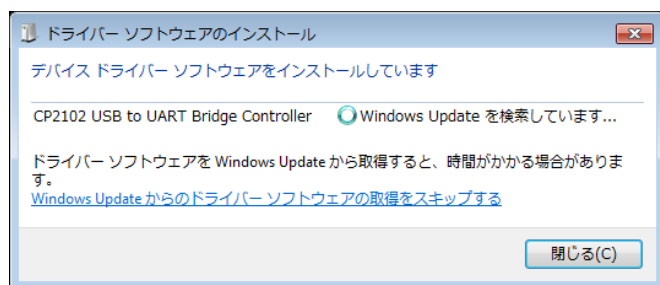
■ 手順 1

カスタマディスプレイをパソコンに接続すると、下図がパソコンの右下に表示されます。押してステータスを表示してください。



■ 手順 2

[ドライバソフトウェアのインストール] が開始されます。



■ 手順 3

[ドライバソフトウェアのインストール] に [Silicon Labs CP210xUSB to UART Bridge(COM ●) インストール] と表示されます。下 (COM ●) の数字をメモ帳等にメモをお願いします。

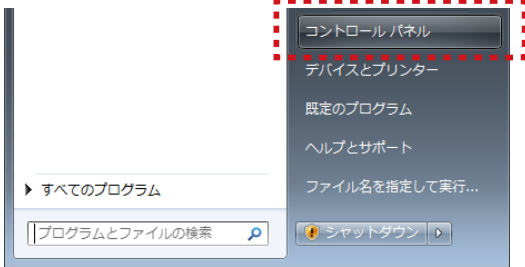


※ **トラブルシューティング (COM の番号がわからなくなった場合)**

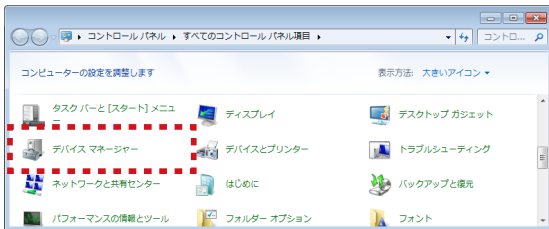
ポート設定で COM の番号がわからなくなった場合には、Windows のデバイスマネージャーから確認する事が可能です。下記方法で、デバイスマネージャーから COM ポートの番号を確認してください。

■ 手順 1 (Windows7 の場合)

スタートメニューを開き (画面左下のウィンドウズのマークを押す)「コントロール パネル」を押します。



[コントロールパネル] 内の [デバイスマネージャー] を押します。

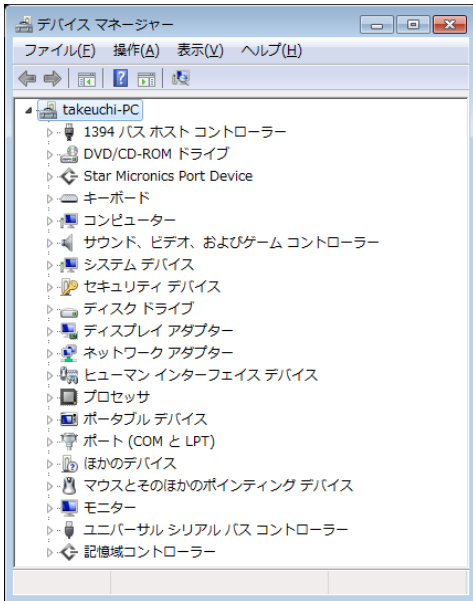


■ 手順 2

[デバイスマネージャー] が開きます。[ポート] を押して展開してください。

[Silicon Labs CP210xUSB to UART Bridge(COM ●)] が、カスタマディスプレイの COM の番号になります。

[COM ●] の数字をメモ帳等にメモをお願いします。

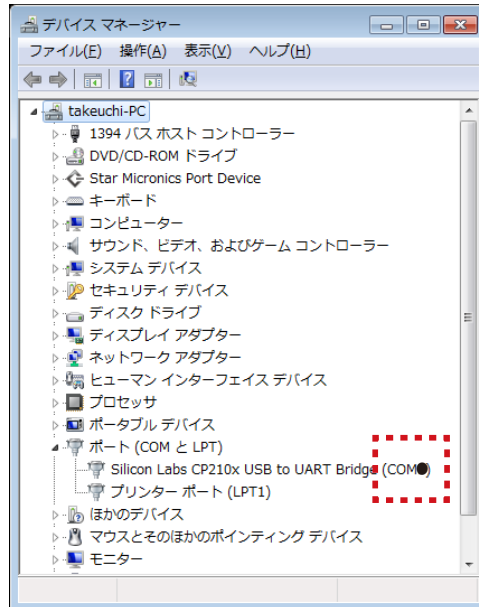
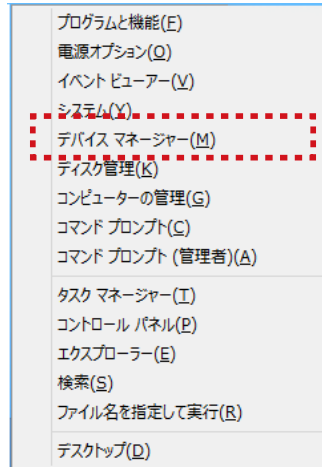


■ 手順 1 (Windows10_8.1.8 の場合)

スタートメニュー内のデスクトップを押してデスクトップを表示し、キーボードの Windows キーと X を同時に押します。下図が表示されます。



「デバイスマネージャー」を押します。



② -2-2 カスタマディスプレイの設定

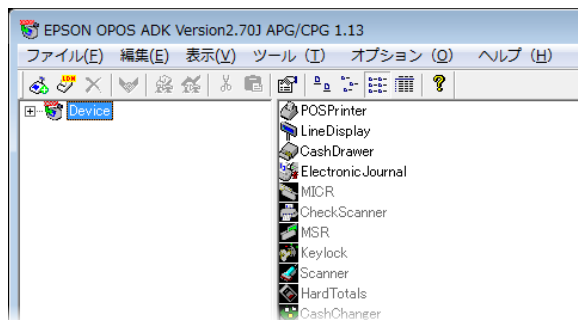
カスタマディスプレイの設定を行います。

COM 番号が 5 以上の場合は、設定できるポート番号の範囲を広げる設定を行います。

■ 手順 1

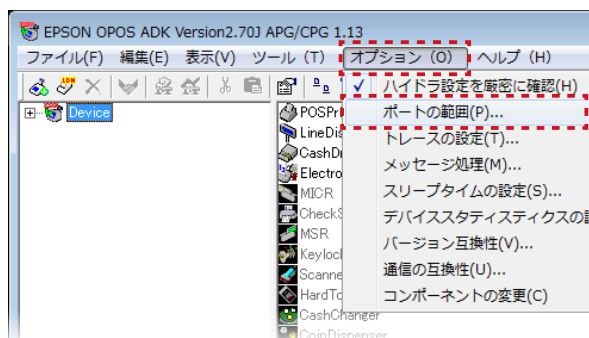
[EPSON OPOS ADK] が表示されます。

右図 [EPSON OPOS ADK] 画面の表示方法は P-20 参照



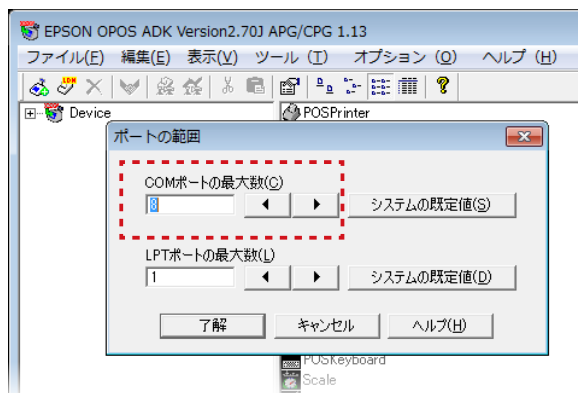
■ 手順 2

上部メニューより [オプション] を押して、展開されたメニューから [ポートの範囲] を押します。



■ 手順 3

[ポートの範囲] が開きます。COM ポートの最大数 ▶ を押して最大数の [10] に設定してください。設定が終わりましたら [了解] を押してください。



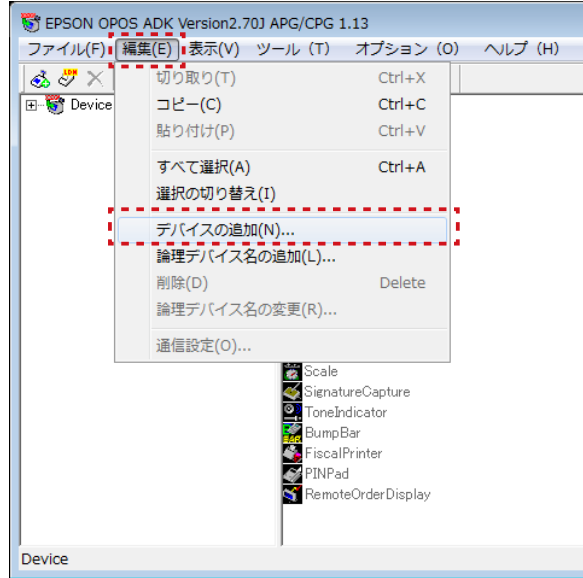
■ 手順 4

[Line Display] を押して選択します。



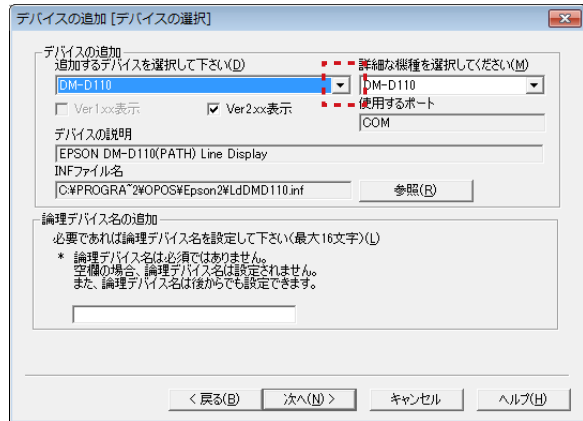
■ 手順 5

上部メニューより [編集] を押し、
展開されたメニューから [デバイスの追加] を押します。



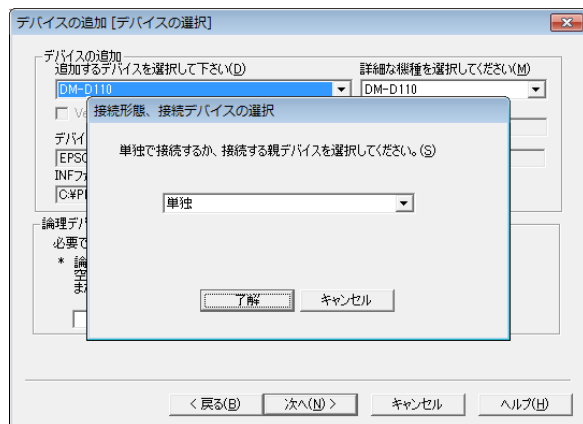
■ 手順 6

デバイスの追加 [デバイスの選択] が表示されますので、
「DM-D110」では無い場合 ▼ をクリックしてメニューを
展開して「DM-D110」を選択後「次へ」を押します。



■ 手順 7

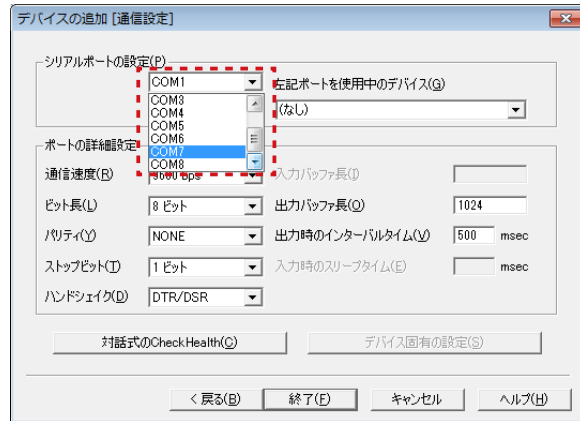
[接続形態、接続デバイスの選択] が表示されます。
「単独」で [了解] を押してください。



18 カスタマディスプレイ設定

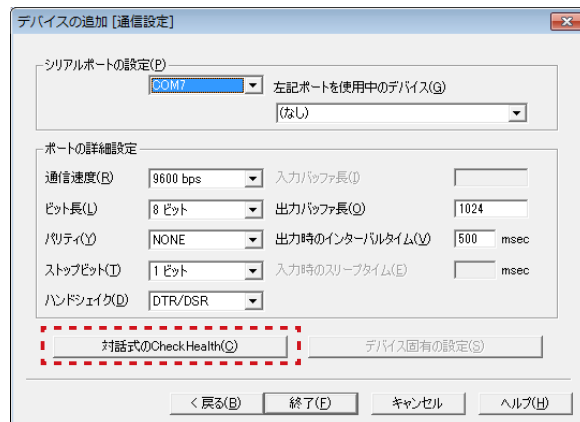
■ 手順 8

デバイスの追加 [通信設定] が表示されます。
前項または前々項でメモした COM の番号と
同じ番号を [シリアルポートの設定▼] の▼ボタンを
押し、プルダウンメニューから選択してください。
(COM1 ~ COM10)



■ 手順 9

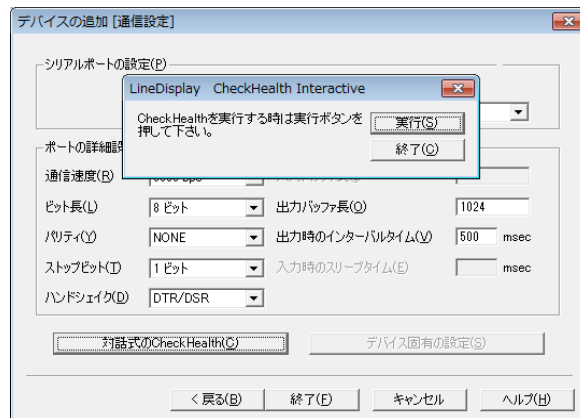
[対話式の Check Health] を押してください。



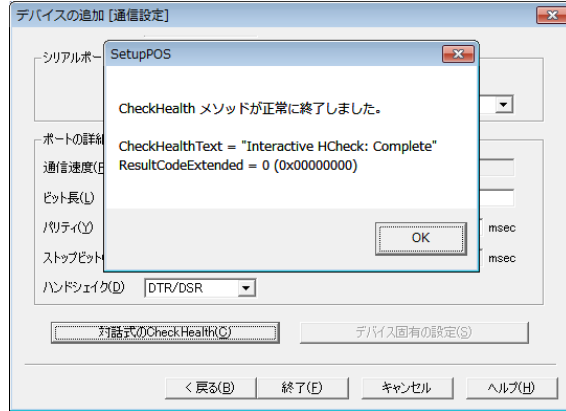
■ 手順 10

[LineDisplay Check Health Interactive] が
表示されますので、[実行] を押してください。

※ カスタマディスプレイがパソコンに接続されて、
電源が入っている事を確認してください。
カスタマディスプレイに文字が表示されれば OK です。
[終了] を押してください。



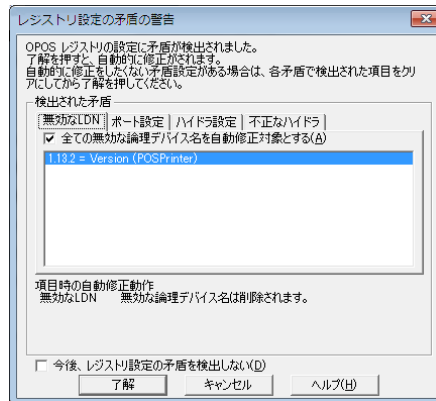
■ 手順 11
 [SetupOPOS] が表示され [Check Health メソッドが正常に終了しました] と記載されていますので [OK] を押してください。



■ 手順 12
 デバイスの追加 [通信設定] を終了します。 [終了] を押してください。



※右図 [レジストリ設定の矛盾の警告] が表示されたら、 [了解] を押して閉じてください。



以上でカスタマディスプレイの
 設定は完了です。



※ トラブルシューティング (カスタマディスプレイ設定の呼出し)

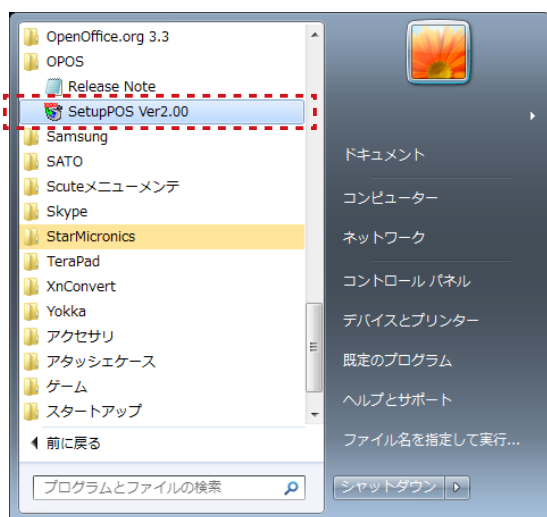
カスタマディスプレイ・プリンタ設定の呼出し [EPSON OPOS]

カスタマディスプレイのチェックヘルスの実行を行う場合は、下記手順で行ってください。

【カスタマディスプレイ設定 [EPSON OPOS] の呼出し方法】

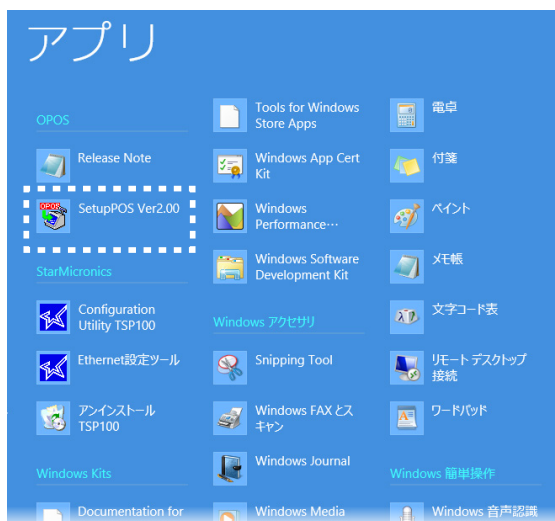
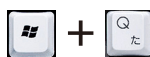
■ Windows7 の場合

スタートメニューを開き (画面左下のウィンドウズのマークを押す)「すべてのプログラム」内の [OPOS] フォルダ [Set upPOS] を押します。



■ Windows10_8.1_8 の場合

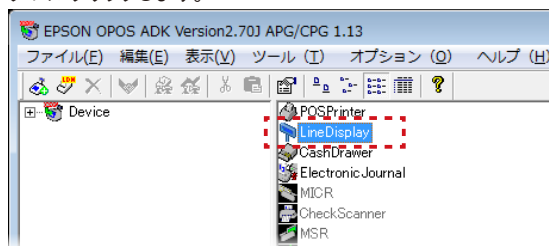
スタートメニューまたはデスクトップで、キーボードの Windows キーと Q を同時に押します。[すべてのプログラム] が表示されますので [SetupPOS] を押します。



【チェックヘルスの呼出し方法】

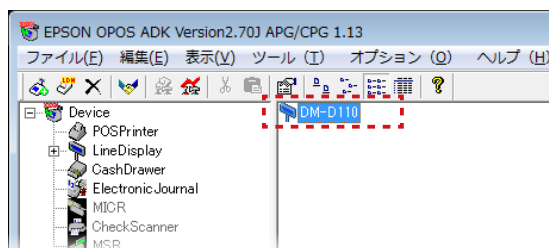
■ 手順 1

プログラムを呼び出して [LineDisplay] をダブルクリックします。



■ 手順 2

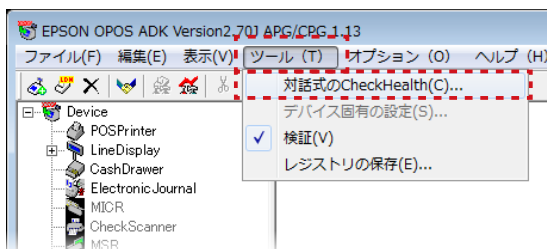
右側の窓 [DM-D110] を押して選択します。



■ 手順 3

上部メニューのツールを押して、展開されたメニュー内の [対話式の CheckHealth] を押します。

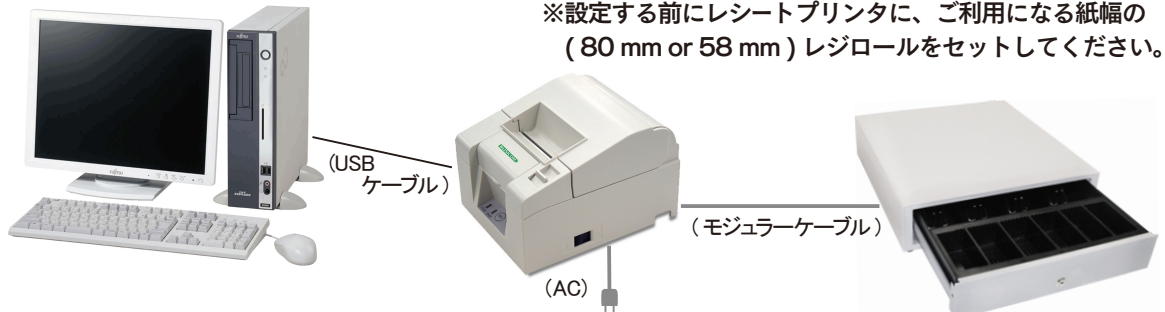
※ CheckHealth を実行する場合はカスタマディスプレイを接続してから実行してください。



② -3 周辺機器の設定 (レシートプリンタ・ドロア)

② -3-1 レシートプリンタ・ドロアの接続

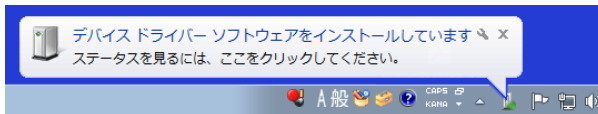
レシートプリンタとドロアの設定を行います。レシートプリンタをパソコン (POS) に接続して、ドロアをレシートプリンタに接続してください。



※注意※ レシートプリンタをパソコンに接続してください。ドロアをプリンタに接続してください。

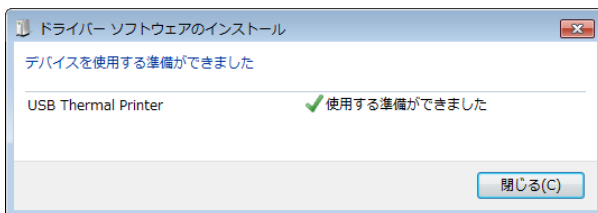
■ 手順 1

レシートプリンタをパソコンに接続すると、下図がパソコンの右下に表示されます。ステータスを表示する場合は、コメント BOX を押してください。



■ 手順 2

[ドライバソフトウェアのインストール] が表示されます。
[USB Thermal Printer ✓使用する準備ができました] と表示されます。



② -3-2 レシートプリンタ・ドロアの設定

■ 手順 1 (Windows7 の場合)

スタートメニューを開き
(画面左下のウインドウズのマークを押す)
「すべてのプログラム」内の [FIT FP Series Printer] フォルダ >
[OPOS] フォルダ > [FP Printer OPOS Setup] を押します。



■ 手順 1 (Windows10.8.1.8 の場合)

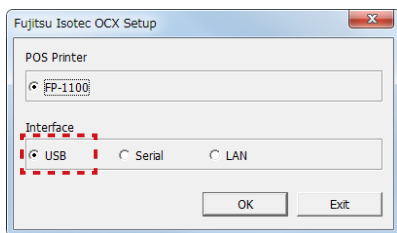
スタートメニューまたはデスクトップで、キーボードの
「Windows キー」と「Q」を同時に押すと [すべてのプログラム]
が表示されます。[FP Printer OPOS Setup] を押します。



22 レシートプリンタ・ドロアの設定

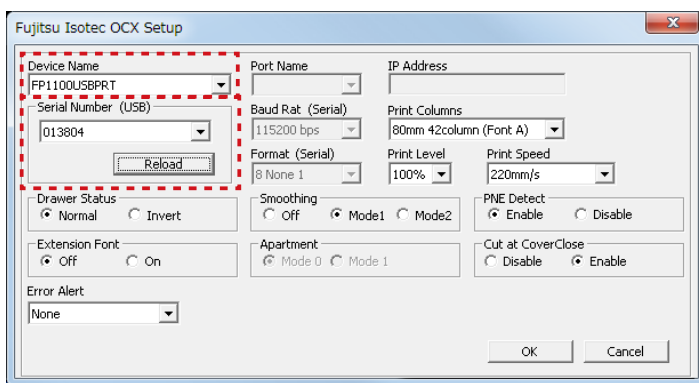
■ 手順 2

[Fujitsu Isotec OCX Setup] が表示されます。
下段 Interface 欄 [USB] にチェックを入れて [OK] を押してください。



■ 手順 3

USB 接続の場合「Device Name」を [FP1100USBPRT] に設定します。
「Serial Number(USB)」の欄に Serial Number が表示されていない場合 [Reload] を押して Serial Number を取得します。
※「serial Number」を取得には、レシートプリンタの接続が必須となります。



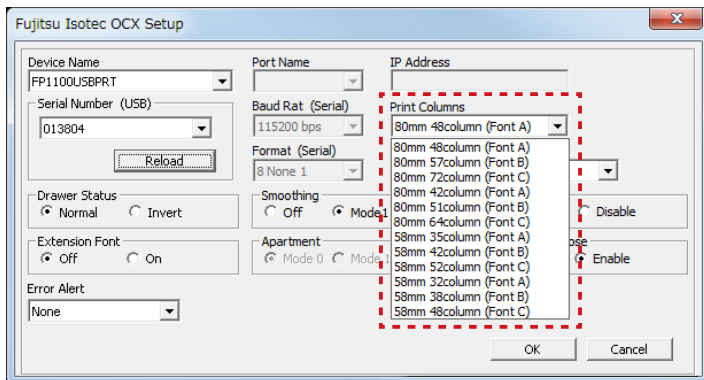
■ 手順 4

レジロールの用紙設定を行います。使用するタイプ別に Print Columns のプルダウンメニューから選択してください。

80mm レシートの場合 [80mm 42column(FontA)]

58mm レシートの場合 [58mm 32column(FontA)]

58mm レシート (80mm の内容を縮小印字) の場合 [58mm 42column(FontB)]



以上でレシートプリンタ・ドロアの設定は完了です。

②-4 BCPOS 機種設定

最後に BCPOS の機種設定を行い、インストール ~ 周辺機器の設定が完了です。

※ロックスターでのご利用時は、次項「USB ロックスター」設定を行ってください。

※アクティベーション(オンライン)でのご利用時は、P-25「アクティベーション」設定を行ってください。

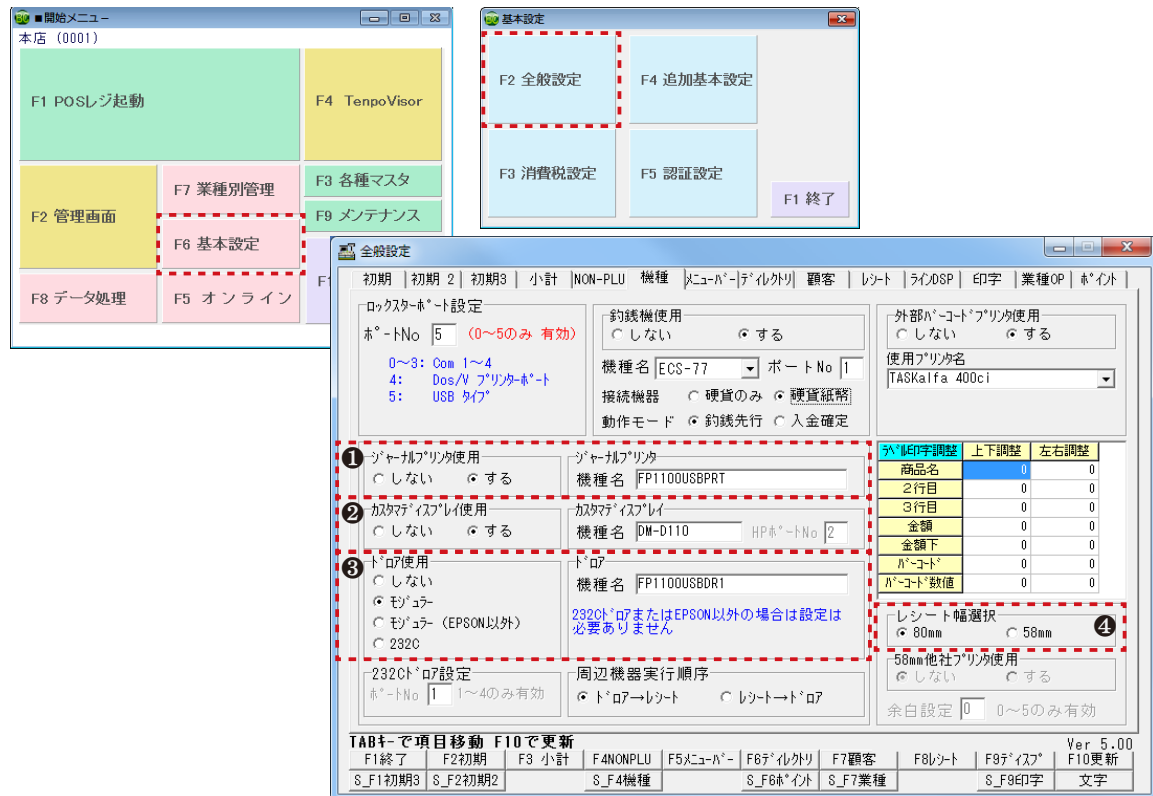
■ 手順 1

デスクトップの BCPOS「開始メニュー」
ショートカットをクリックしてください。



■ 手順 2

[開始メニュー] → [基本設定] → [全般設定] で、全般設定画面が開きますので、上部タブの [機種] を選択します。



■ 手順 3

① ジャーナルプリンタ設定

「ジャーナルプリンタ使用」を [する] に、機種名を [FP1100USBPRT] と設定してください。

※ LAN プリンター使用時は [FP1100LANPRT_192.168.0.000] の様に、IP アドレスが必要となります

② カスタマディスプレイ設定

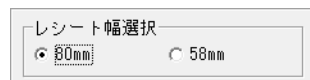
カスタマディスプレイ使用を [する] に、機種名を [DM-D110] と設定してください。

③ ドロア設定

ドロア使用 [モジュラー] にチェックを入れ、機種名を [FP1100USBDR1] と設定してください。

④ レシート幅設定

80mm レシートの場合 [左下図] に、58mm レシートの場合 [右下図] の様に設定してください。



② -5 USB ロックスターの設定 (オフライン利用)

インターネット環境が無い場合は、お客様のご契約内容を USB ロックスターと、パスワードで管理させていただいております。

ご利用期限やご契約いただいたオプション機能の ON/OFF の制御をする為のツールが、ロックスターであり、パスワードによる契約期間とオプション利用の認識を行っております。

※ ロックスターとパスワードについて ※

ロックスターをコンピュータが認識しないと BCPOS が正常稼働できない仕組みとなっておりますので、万が一故障した場合、新しいロックスターと交換いたします。再度、パスワードの設定を行うことにより今までどおり使用できます。尚、故障したロックスターは弊社までご返却をお願いします。(※ 故障の場合は無償交換となります。)

USB ロックスターのインストール

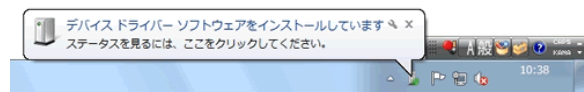
Windows7/Windows10_8.1_8 ではロックスターを USB ポートに挿入すると自動的に認識します。

※ USB ロックスターを接続する際は、パソコン側の USB 差込口を良く見てから挿してください。無理に挿そうとすると故障、破損の原因となります。(注: 破損の場合は有償交換になります。)



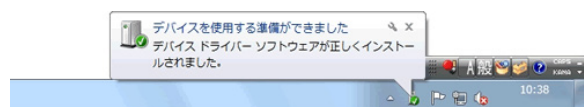
■ 手順 1 (Windows7 の場合)

ロックスターを USB ポートに差し込んでください。自動的にハードウェアの認識を開始し、ドライバをインストールします。



■ 手順 2

ドライバのインストール終了後、完了画面が表示されます。以上でロックスターのインストール作業は終了です。



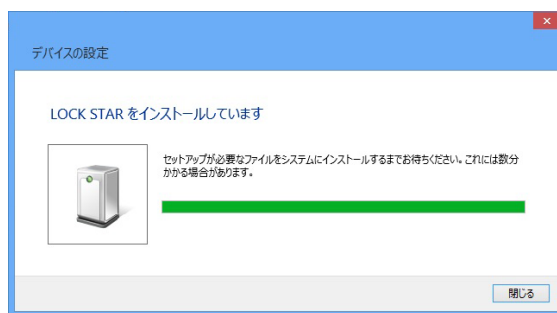
■ 手順 1 (Windows10_8.1.8 の場合)

ロックスターを USB ポートに差し込んでください。自動的にハードウェアの認識を開始し、ドライバをインストールします。(ステータスの確認はデスクトップから行ってください。)



■ 手順 2

ドライバのインストール終了後、完了画面は表示されません。ステータスを確認するには、デスクトップ画面下のステータス(下図囲み)を押してください。



バージョンアップの際の注意点

LockStarUSB は、BCPOS を制御している重要な USB メモリですが、約 2006/04 月以前に発行した物は、Windows7 (64bit)・Windows8 以上に対応していないで、交換が必要となります。(※ LockStar の交換は有償となります)



Windows7(64bit).8 については、
約 2006/04 以前に発行された Lock Star USB
となりますので交換が必要です。
Lock Star 番号 (~ 007499)



約 2006/04 以降に発行された Lock Star USB
となりますので全ての WindowsOS で動作しますので
交換は不用です。【現行モデル】
Lock Star 番号 (007500 ~)

※ LockStar 番号でご判断ください。

② - 6 アクティベーションの設定 (オンライン利用)

アクティベーションとは、お客様の契約情報を元に、ビジコムで設定した BCPOS の有効期限やオプションの利用権限等を、インターネットを使い BCPOS へ反映させる仕組みで、ロックスターの様に、次項「③ 期限パスワードの更新」をお客様が行う必要がない便利な機能です。
 これにより、ロックスターでは必用だった定期的な、更新設定が不要となりました。
 (※ご利用には、インターネット環境必要です)

アクティベーションキーの設定

アクティベーションの設定は、初回の一度だけとなりますが、パソコンを入換えた場合は必要となります。

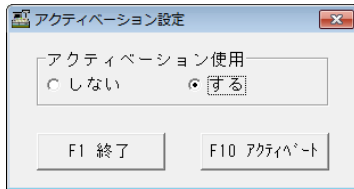
■ 手順 1
 [開始メニュー] から [F6 基本設定] を押します。



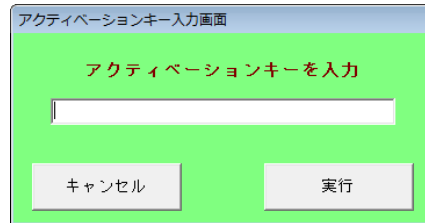
■ 手順 2
 [基本設定] から [F5 認証設定] を押します。



■ 手順 3
 [アクティベーション設定] が開きますので、「アクティベーション使用」を [する] にして、[F10 アクティベート] を押します。



■ 手順 4
 [アクティベーションキー入力画面] が開きますので、導入時に同封した【重要：BCPOS アクティベーションキーのお知らせ】に記載されている 12 桁の数字を入力して下さい。



アクティベーションご利用時の注意点

- BCPOS1 台につき 1 つのアクティベーションキーとなります。
- インターネット接続が無いと、認証が行えず「期限残り〇日」と表示され、最終的にトレーニングモードへ移行してしまいます。
 (不意なインターネット障害等が発生した場合は、期限残り〇日以内と表示されますが、期限日以内に障害復旧することで、通常の状態へ戻ります。)
- インターネット接続が不要になった場合は、ロックスターへの運用が可能ですので、弊社までお問合せください
- 「BCPOS アクティベーションキーのお知らせ」を紛失された場合、弊社 WEB サイトの「お客様ショップページ (マイページ)」にアクティベーションキーを記載しております。

③ BCPOS トレーニングモード・期限更新

③-1 トレーニングモードの使用

トレーニングモードとは、レジ操作に慣れるための練習を行う設定で、レジ画面上部に「トレーニングモード」と表示され、レシートにもトレーニングモードと印字されます。

日報への書込みをはじめ商品・顧客・在庫・ポイント等の様々なデータを記録しません。また、本部管理システム「TenpoVisor」をご利用の場合でも、トレーニングモードのデータを送信しません。

「開始メニュー」>「基本設定」>「全般設定」>「初期」
「トレーニングモード設定」【する】にチェックを入れて「F10 更新」を押してください。



※ トラブルシューティング (レジ画面に周辺機器の○○○エラーと表示される)

【対処方法】

- ① 周辺機器の電源を切り、パソコンとの接続ケーブルを抜き差しして電源を入れます。
- ② BCPOS のレジ画面を開き直してください。

※ トラブルシューティング (レジ画面がトレーニングモードになる)

レジ画面がトレーニングモードになる場合には、下記の事項が該当します。

- ① ロックスターが抜けている。 >> ロックスターを一旦抜いて、再度差込んでください。
- ② ロックスターが認識されない。 >> ロックスターを一旦抜いて、別のUSBポートに接続してください。
- ③ 期限パスワードが切れている。 >> 次項 [期限パスワードの更新] を実行してください。

※上記手順で①・②・③を実行して改善されない場合は、巻末のサポートデスクへご連絡ください。

③ - 2 期限パスワードの更新 (アクティベーション利用時は不要です)

期限パスワードとは BCPOS 使用权の有効期限を設定するためのパスワードです。
 レントウェアでご利用の場合、半年または 1 年毎にパスワードを入力して、
 利用可能期限を更新する必要があります。
 (買取の場合は購入時に 1 度パスワードを入力します。)



各種オプションに変更があった場合はその都度になります。
 (買取の場合もオプションに変更があった場合は必要です。)

通常、レントウェアのご契約を更新する場合、期限が切れる前に新しいパスワードを郵送でお送りします。
 (買取でご利用の場合はこの限りではございません。)

期限パスワードを更新することにより、利用期間の延長やオプションの変更を行います。

期限パスワードの設定

■ 手順 1

[開始メニュー] から [レジ画面起動] を押します。



■ 手順 2

[レジ画面] 右下テンキー部分の [H] を押します。

タッチ版

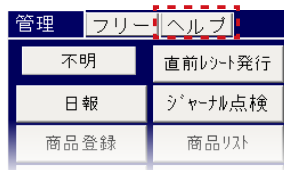


ライン版



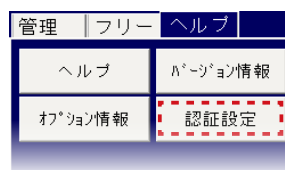
■ 手順 3

[管理画面] が開きますので、上部タブより [ヘルプ] を押します。



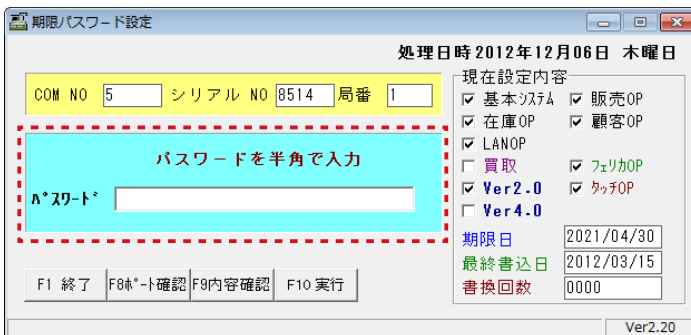
■ 手順 4

[ヘルプ画面] 内の [期限 PW 設定] を押します。



■ 手順 5

[期限パスワード設定] 画面の中央 [パスワード] 入力欄に、弊社より郵送された「期限パスワード」を入力して [F10 実行] を押してください。



バージョンアップの際の注意点

BCPOS Ver.2.5-2.9-3.0 をご利用の場合、
 Ver.6.0 へバージョンアップするには、
 パスワードの再発行が必要となりますので、
 別途お問合せください。

※ご注意※

期限パスワードはロックスター (ソフトの鍵) が接続されていないと設定できません。
 また、期限パスワードは 1 日に 10 回しか入力実行できませんのでご注意ください。

④ 各種画面説明

BCPOS のすべての業務、マスタ作成、設定等は下記開始メニューから行います。

各種画面説明



以降では、開始メニューの各画面と機能概要及び、詳細な解説ページを記載しています。

■各ボタン名称横の、アルファベットと数字について

※ BCPOS には操作ボタン名の横に「F1 ~ 12」を表記しています。
 キーボードを使用している場合、キーボード上部のファンクションキー (F1 ~ F12) と連動しています。
 また、BCPOS の SF1 ~ 12 までは、Shft+F キーとなります。

- 例)
 「F1 POSレジ起動」>「F1」キークリック=レジ画面起動
 「SF5 客検」>「Shift」+「F5」キークリック=顧客検索画面

4-1 POS レジ起動 (F1)

販売・仕入・移動処理等の業務を処理する、レジ画面を起動します。
 (レジ画面詳細説明 P-36 参照) (レジ操作方法 P-93 参照)

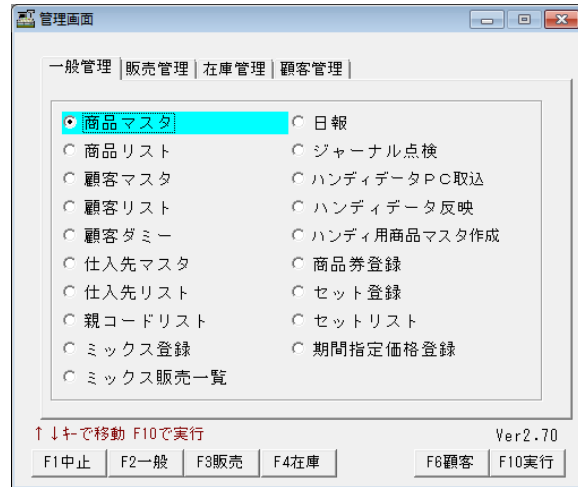
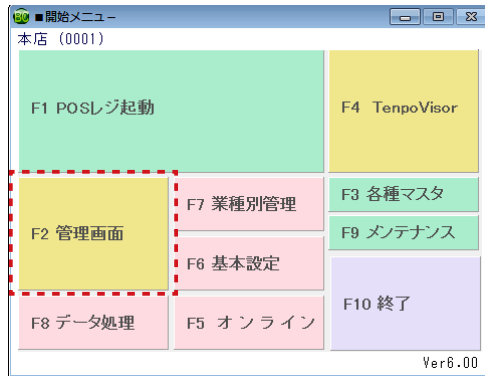


4-2 管理画面 (F2)

日々の業務で使用するマスタ (商品・顧客・仕入先・マスタ) や、各種管理メニューを表示します。

一般管理以外は、[F6 基本設定] の [業種 OP] で販売管理、在庫管理、顧客管理のオプションが使用「する」になっていないと各メニューが選択できません。

また、管理オプションを使用「する」に設定していてもオプション契約をしていなければ動作はしません。



F2 管理画面

【メニュー詳細説明用 - 目次 -】

商品マスタ	P- 82	日報	P-140
商品リスト	P-148	ジャーナル点検	P-142
顧客マスタ	P- 89	ハンディデータ PC 取込み	P- 30
顧客リスト	P-152	ハンディデータ反映	P- 30
顧客ダミー	P- 92	ハンディ用商品マスタ作成	P- 30
仕入先マスタ	P- 81	商品券登録	P-124
仕入先リスト	P- 81	セット登録	P-105
親コードリスト	P-154	セットリスト	P-108
ミックス登録	P-110	期間指定価格登録	P-116
ミックス販売一覧	P-115			

注) 上記画面は参照用です。

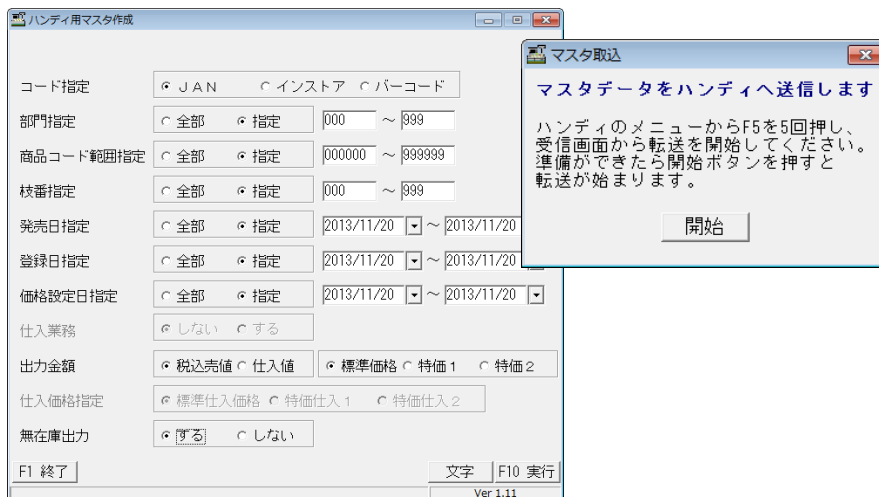
F2 管理画面メニュー【概要】

- 商品マスタ 商品マスタを選んで [F10 実行] を押してください。商品マスタが表示されます。この画面で、商品登録を行うことができます。
※商品登録方法は P-82 を参照。
- 商品リスト 商品リストを選んで [F10 実行] を押してください。商品リストが表示されます。
※商品リストの詳細は P-148 を参照。
- 顧客マスタ 顧客マスタを選んで [F10 実行] を押してください。顧客マスタが表示されます。
※顧客の登録方法は P-89 を参照。
- 顧客リスト 顧客リストを選んで [F10 実行] を押してください。顧客リストが表示されます。
※顧客リストの詳細は P-152 参照。
- 顧客ダミー 顧客ダミーを選んで [F10 実行] を押してください。
顧客ダミー登録の画面が表示されます。
※顧客ダミーの解説・登録方法は P-92 を参照。



30 各種画面説明 - F2 管理画面

- 仕入先マスタ …… 仕入先マスタを選んで [F10 実行] を押してください。仕入先マスタが表示されます。
この画面で、仕入先登録を行うことができます。
※仕入先登録方法は P-81 を参照。
- 仕入先リスト …… 仕入先一覧を表示します。
 - ・出力順をアイウエオ順またはコード順からを選びます。
 - ・出力範囲を「全部」または「指定」からを選びます。
「指定」を選んだ場合、アイウエオ順ならカナで、コード順なら数字で開始と終了に範囲を入力します。
- 親コードリスト …… 顧客カルテ機能で使います。(P-154 参照)
 - ・親コード範囲を指定します。
 - ・表示対象を [全部] または [親のみ] から選びます。
 - ・住所印字を [しない] または [する] または [親のみ] から選びます。※追加基本設定>その他追加基本設定 (P-63) で「顧客カルテ使用」を【する】で利用可能。
- ミックス登録 …… 設定した複数の商品を一定数定額で販売を行い、商品毎に在庫を減らす機能で、複数商品の組合せパターンを登録します。(P-110 参照)
※追加基本設定>その他追加基本設定 (P-63) で「ミックスマッチ販売使用」を【する】で利用可能。
- ミックス販売一覧 …… 指定した期間でミックス販売した、ミックス販売の帳票を表示します。(P-115 参照)
※追加基本設定>その他追加基本設定 (P-63) で「ミックスマッチ販売使用」を【する】で利用可能。
- 日報 …… 日報を選んで [F10 実行] を押すと「日報日付指定画面」が表示されます。
※日報の操作方法は (P-140 参照)
- ジャーナル点検 …… ジャーナル点検を選んで [F10 実行] を押すと「ジャーナル点検」の画面が表示されます。
※ジャーナル点検の操作方法は (P-142 参照)
- ハンディ
データ PC 取込 …… ハンディターミナルからコンピュータにデータ (テキスト形式) を取込むためのアプリケーションを起動します。ご利用のハンディターミナルのメーカー名を選択して [F10 実行] を押すと選択したメーカー用のデータ取込みアプリケーションが起動します。
- ハンディ
データ反映 …… ハンディターミナルで読みとったデータを BCPOS の商品データに反映させることができます。売上・仕入・在庫・入庫・出庫などに反映することができます。
※反映前に [F8 設定] にて詳細な設定を行ってから実行してください。
- ハンディ用
商品マスタ作成 …… BCPOS に登録されている、商品マスタをハンディターミナルへ送信するデータを作成します。商品名が表示されない商品は、登録済みの商品かの判別がすぐにつきまますので、正確で素早い棚卸が可能です。
ハンディターミナル用のマスタデータ取込み方法等は、別途お問合せください。

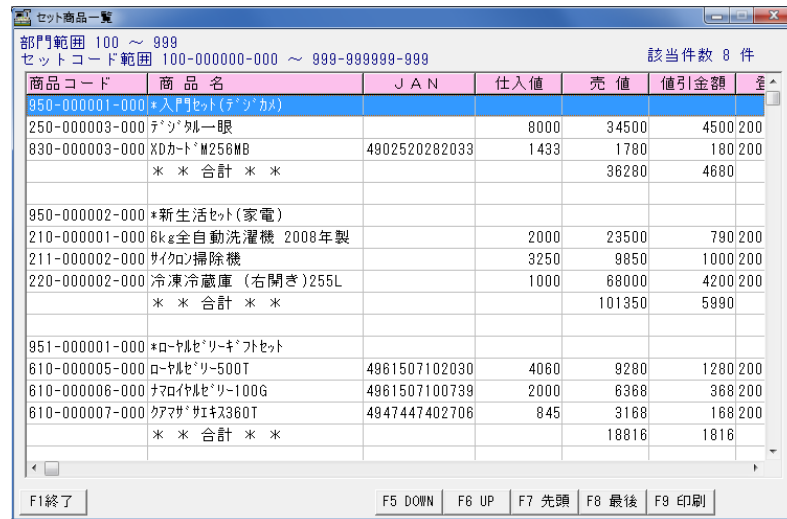


- 商品券登録 …… BCPOS での決済手段として商品券を登録することができます。(P-124 参照)
 どれだけ商品券でお会計が行われたのかを商品券ごとに集計することが可能となります。
 ※ 追加基本設定>その他追加基本設定 (P-62) で「商品券使用」を【する】で利用可能。



- セット登録 …… バラバラの商品をセットして販売する事で値引を行う(バンドル販売)セット販売用の、商品マスタを作成することができます。
 ここで設定したセットコードをレジ画面上で呼び出すと、登録した「セットマスタ登録内容」を呼び出すことができます。(P-106 参照)
 ※追加基本設定>その他追加基本設定 (P-62) で「セット販売使用」を【する】で利用可能。
 (「ミックスマッチ販売」との併用は不可です)

- セットリスト …… セット商品登録にて登録したセット商品を一覧表示します。(P-108 参照)
 ※追加基本設定>その他追加基本設定 (P-62) で「セット販売使用」を【する】で利用可能。
 (「ミックスマッチ販売」との併用は不可です)



- 期間指定 価格登録 …… リストアップした商品に対し、期間と値引率の設定を行い、指定日が来ると自動でセール売価を適用する機能です。(P-116 参照)
 ※全般設定>初期3 設定 (P-46)「期間指定価格使用」を【する】で利用可能。

4-3 各種マスタ (F3)

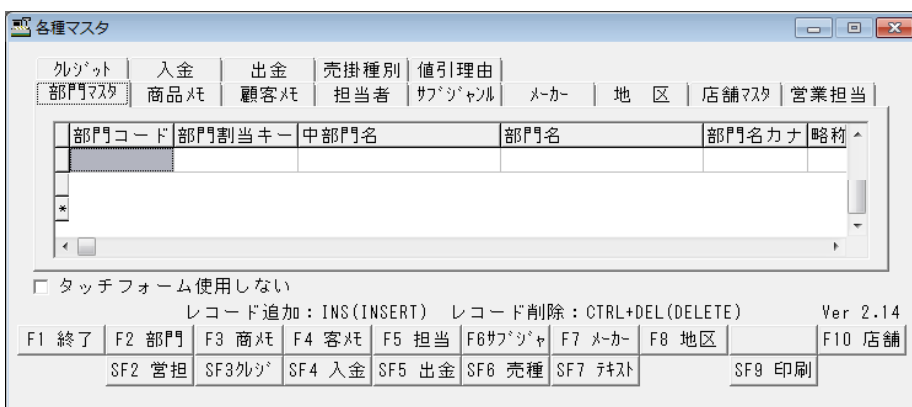
部門・レジ担当者・クレジット・メモ・・・等、初期設定マスタを登録します。
 部門作成時は、P-74「部門コードについて」を参照後、P-76「部門マスタ設定」を行ってください。

各種画面説明



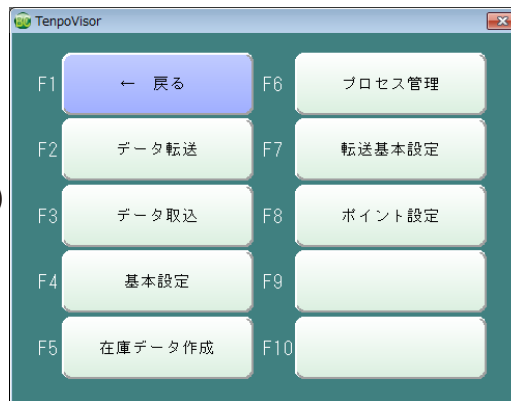
F3 各種マスタ画面 【詳細説明用 - 目次 -】

部門マスタ P- 76	クレジット P- 80
商品マスタ P- 78	入金 P- 80
顧客マスタ P- 78	出金 P- 80
担当者 P- 78	売掛種別 P- 80
サブジャンル P- 79	値引理由 P- 80
メーカー P- 79		
地区 P- 79		
店舗マスタ P- 79		
営業担当 P- 80		



4-4 Tenpovisor (F4)

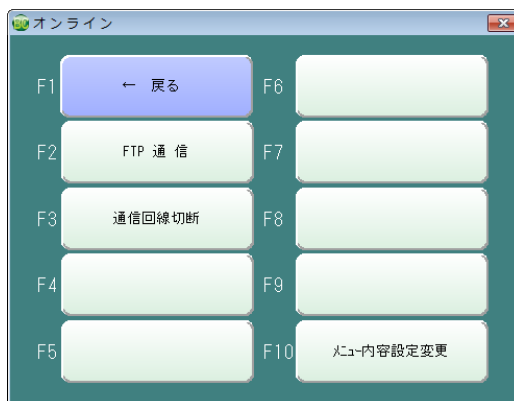
Tenpovisor と BCPOS 連動を行うプログラムのメニューとなります。
 クラウド型本部管理システム『TenpoVisor』をご利用いただく際には、F4 キーに設定が追加されます。
 Tenpovisor 設定を行う場合は、必ず弊社へご相談ください。お客様の運用に合わせた設定をお伝えいたします。



4-5 オンライン (F5)

お店独自のメニュー追加が可能です

このボタンは追加プログラムの起動ボタンとしてや、様々なプログラム（メール・Excel・WEB ブラウザ・・・等）の呼出しに使用されます。



4-6 基本設定 (F6)

BCPOS の運用やハードウェア設定、税設定・・・等、動作や運用に関わる設定を行います。

※「F6 基本設定」内の設定を行う場合

P-41「※基本設定を行う前に必ずお読みください」を参照してください。



F2 全般設定

BCPOS の動作や、ハードウェア設定・・・等、基本的な設定を行います P-42 参照

F3 消費税設定

消費税の税率や運用方法・免税販売設定等、主に消費税に関する設定を行う他に、タグシールやプライスカードの印字設定（税の表示）も行います。 P-59

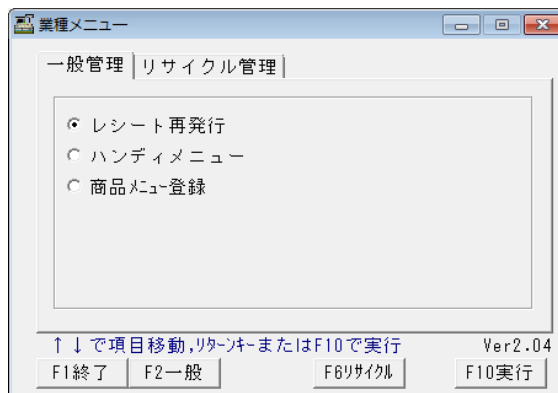
F4 追加基本設定

様々な運用に対応する各種設定を行います。 P-61

F5 認証設定

アクティベーション運用の際に設定するメニューとなります。 P-25 参照

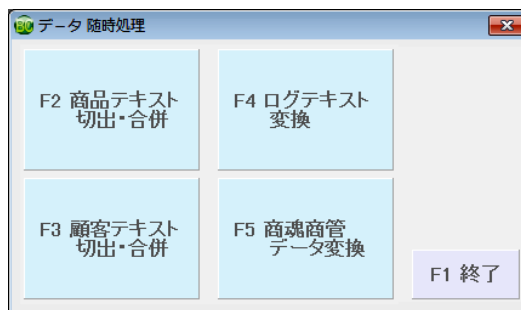
4-7 業種別管理 (F7)



- レシート再発行 …… 過去のレシートを発行できます。 P-136 参照
※直前レシートの場合、テンキー部「H」ボタン内の「レシート再発行」で発行可能です。
- ハンディメニュー …… ハンディターミナルを使用し、読取ったデータを BCPOS へ反映させます。
注) 在庫管理オプションをご利用の場合には、より詳細な機能をご利用いただける
「F2 管理画面」>「在庫管理」>「ハンディメニュー」をご利用ください。 P-229 参照
- 商品メニュー登録 …… タッチ用レジ画面を使用する設定の場合、商品メニュー登録が追加されます。 P- 65 参照
※こちらのメニューの他に、レジ画面のテンキー部「H」ボタン内に
「商品メニュー登録」ボタンがあります。
- リサイクル管理 …… リサイクルオプションを利用し、尚且つ委託販売を行う際のメニューとなります。
※リサイクルオプションをご利用の際は、別冊のマニュアルを参照してください。

4-8 データ随時処理 (F8)

商品・顧客マスタの切出・取込や、各種データの変換処理等を行います。



商品マスタテキスト切出・合併

テキスト形式で切出すとともに、CSV 形式で取込むこともできます。 P-162 参照

顧客マスタテキスト切出・合併

テキスト形式で切出すとともに、CSV 形式で取込むこともできます。 P-166 参照

ログテキスト変換

LOG ファイル (ジャーナルファイル) をテキスト変換することができます。 P-169 参照

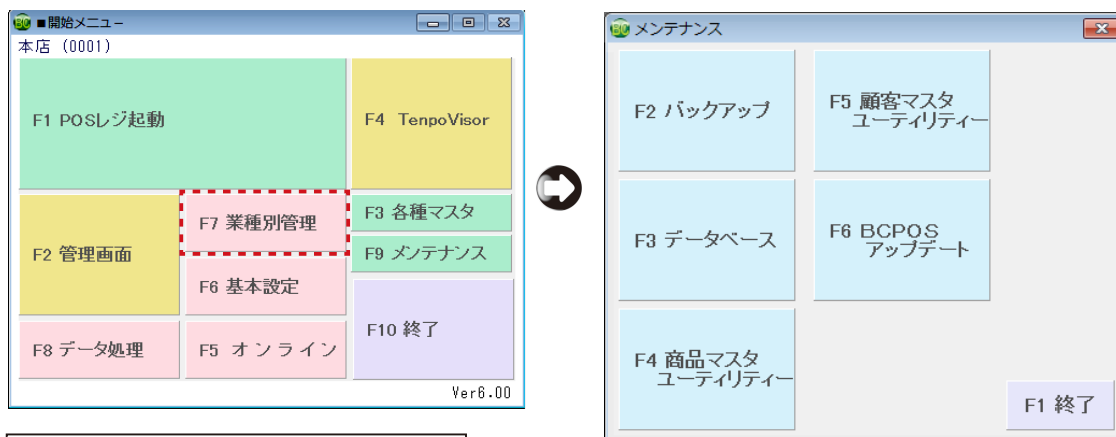
他社データ変換

BCPOS で作成された売上明細、入金データ、仕入明細、出荷明細のデータを他社販売管理ソフト用にデータ変換することができます。 P-173 参照

4-9 メンテナンス (F9)

データのバックアップや、商品・顧客データのメンテナンス、データベース修復の際に利用しますが、データやデータベース等、取り扱いが難しいプログラムのメニューとなっておりますので、弊社ユーザーサポートと相談の上操作を行ってください。

尚、「F2 バックアップ」は、BCPOS を終了時に、バックアッププログラムが起動します。



バックアップ

データのバックアップを行います。 P-174 参照

データベース

データを修復するときに使用します。 P-174 参照

商品マスタユーティリティー

商品移行や一括削除など商品に関するツールがあります。 P-178 参照

顧客マスタユーティリティー

顧客のパスワード作成 (P-185 参照) や一括削除のツールがあります。 P-184 参照

BCPOS アップデート

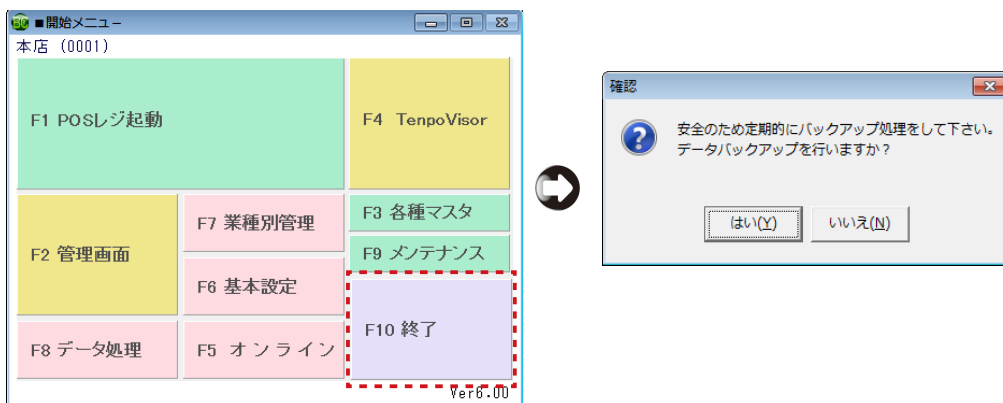
インターネットが利用できる環境であれば、BCPOS のプログラムをアップデートできます。 P-187 参照

4-10 終了 (F10)

「F10 終了」をクリックする事で、BCPOS を終了できます。

終了時に「データのバックアップ」を尋ねられますので、必ずバックアップを実行して終了してください。

※バックアップの詳細は P-174 を参照してください。



4-11 レジ画面 (F1) 詳細

レジ画面は、下記どちらかのモードで表示可能です。モード設定方法 P-50

■ タッチ版 (テンキー有) 飲食やサービス業・・・等の部門販売の金額入力が多いお店向き

各種画面説明

レジ画面 (販売) BCPOS Ver6 (外税 8%) LS-012045
販売 Staff:店長 2015-07-30(Thu)10:38 No. 0000 BUSICOM

ヒビコムタロウ ポイント
000001 11241

特 ビジコム太郎

電話番号	誕生日	年齢	登録日	会員期限日	前回利用日
0352295190	1986/01/23	29	2013/04/01	2023/04/01	2014/08/21

東京文京区関口1-20-10 住友不動産江戸川橋駅前ビル8F

Esthe Apparel Nail Hairsalon Pharmacy SundryGoods FastFood-1 FastFood-2 FUNC

ジヤカット L	ニットセーター/03 L	BDシャツ ストライプ	Tシャツ/01	デニム ストレート	カーゴ パンツ	ピーコート	レジャーベスト 01/F	20% OFF	顧客情報 詳細
ジヤカット M	ニットセーター/02 M	BDシャツ アライン	Tシャツ/02	デニム ストーンウォッシュ	スキニー パンツ	ダッフルコート	カジュアル パンツ	10% OFF	予約金 (現金)
ジヤカット S	ニットセーター/01 S	BDシャツ ドット	Tシャツ/03	デニム ワス	ワーク パンツ	モッズコート	ビッグサイズ パンツ	予約販売	予約 全データ

No	商品名	在庫	数	金額
1	*BDシャツ/アライン	9	1	5680
2	*デニム/ストレート	4	1	13224
3	*ジヤカット/L	10	1	27428
合計		3		¥46,332
				(外税計 3,707) 税込計 ¥50,039

7	8	9
4	5	6
1	2	3
0	00	
C	確定	
H	未収 小計	

▲ F1中止 F2金変 F3数変 F4取消 F5商換
F7カット F8返品 F9小計 F10現計

次項を参照

■ ライン版 (テンキー無) 物販店・・・等の、商品をコード管理しコードスキャンが多いお店向き

各種画面説明

レジ画面 (販売) BCPOS Ver6 (外税 8%) LS-012045
販売 Staff:店長 2015-07-30(Thu)10:38 No. 0000 BUSICOM

ヒビコムタロウ ポイント
000001 11241

特 ビジコム太郎

電話番号	誕生日	年齢	登録日	会員期限日	前回利用日
0352295190	1986/01/23	29	2013/04/01	2023/04/01	2014/08/21

東京文京区関口1-20-10 住友不動産江戸川橋駅前ビル8F

Esthe Apparel Nail Hairsalon Pharmacy SundryGoods FastFood-1 FastFood-2 FUNC

ジヤカット L	ニットセーター/03 L	BDシャツ ストライプ	Tシャツ/01	デニム ストレート	カーゴ パンツ	ピーコート	レジャーベスト 01/F	20% OFF	顧客情報 詳細
ジヤカット M	ニットセーター/02 M	BDシャツ アライン	Tシャツ/02	デニム ストーンウォッシュ	スキニー パンツ	ダッフルコート	カジュアル パンツ	10% OFF	予約金 (現金)
ジヤカット S	ニットセーター/01 S	BDシャツ ドット	Tシャツ/03	デニム ワス	ワーク パンツ	モッズコート	ビッグサイズ パンツ	予約販売	予約 全データ

No	コード	商品名	メモ	在庫	数	金額	税
1	404-000003-000	*BDシャツ/アライン		9	1	5680	外
2	403-000001-000	*デニム/ストレート	在庫注意!	4	1	13224	外
3	402-000003-000	*ジヤカット/L		10	1	27428	外
合計				3		¥46,332	
						(外税計 3,707) 税込計 ¥50,039	

N	▲	▼
---	---	---

▲ F1中止 F2金変 F3数変 F4取消 F5商換
F7カット F8返品 F9小計 F10現計

次項を参照

① 顧客フィールド (切換 > 単品詳細フィールド or 商品稼動状況フィールド)

「コード入力フィールド⑤」に顧客コードを入力するか、会員カードをスキャナーで読み込むと、会員の情報 (下図) が表示されます。(顧客情報の表示設定は P-53 参照)

ビジコム如ウ 000001 特 ビジコム太郎	ポイント 11241	電話番号 0352295190	誕生日 1986/01/23	年齢 29	登録日 2013/04/01	会員期限日 2023/04/01	前回利用日 2014/08/21
東京文京区関口1-20-10 住友不動産江戸川橋駅前ビル8F							

会員番号	登録されている顧客コードを表示	顧客名カナ	顧客名カナを表示
会員名	会員名を表示	ポイント	現在のポイントを表示
電話番号	電話番号を表示 (非表示設定可能)	誕生日	誕生日を表示 (非表示設定可能)
年齢	年齢を表示 (非表示設定可能)	登録日	顧客登録された日を表示
会員期限日	会員期限がある場合表示	前回利用日	前回の利用日を表示
住所	会員の住所を表示 (非表示設定可能)	メモ	登録されている顧客メモを表示

① 単品詳細フィールド or 商品稼動状況フィールド (切換 > 顧客フィールド)

会員から読み込んだ場合、通常は会員情報を表示していますが、「コード入力フィールド⑤」に商品コードを読み込んで

[Shift] + [F3] キーを押すか、下部
ファンクションキー「SF 商デ」「SF 稼動」を押すと、
顧客フィールドに「単品詳細」or「商品稼動」
を表示。

ビジコム如ウ 000001 特 ビジコム太郎	ポイント 11241	電話番号 0352295190	誕生日 1986/01/23	年齢 29	登録日 2013/04/01	会員期限日 2023/04/01	前回利用日 2014/08/21
東京文京区関口1-20-10 住友不動産江戸川橋駅前ビル8F							

▼	SF2入金	SF3商デ	商品名サブ ㊦-202	税種別 内	販売累計	2310
▼	SF2入金	SF3稼動	型番 ㊦-202	定価	仕入累計	64000
			商品メモ	税抜価格	粗利累計	-61690
			発売日 2009/02/25	仕入価格	移動平均	1280
			価格設定日 2009/02/23	販売価格	在庫金額	62720

■ ファンクションの初期表示設定について
基本設定 (P-50 参照) で「SF3 商デ」または
「SF3 稼動」の優先表示順を変更可能です。

	1週	2週	3週	4週	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
仕入	0	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0	20	0	1	8	3	36
販売	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	3	0	5	1	11	24
在庫					14	16	4	4	5	5	5	22	22	18	25	17	26

□ 単品詳細フィールド

単品フィールドで表示できない商品マスタ上の詳細情報が表示されます。

商品名サブ ㊦-202	税種別 内	販売累計	2310
型番 ㊦-202	定価	仕入累計	64000
商品メモ	税抜価格	粗利累計	-61690
発売日 2009/02/25	仕入価格	移動平均	1280
価格設定日 2009/02/23	販売価格	在庫金額	62720

□ 商品稼動状況フィールド

[Shift] + [F3] キーを押すと、その商品の 12 ヶ月間の販売・仕入・在庫の稼動状況が表示されます。

	1週	2週	3週	4週	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
仕入	0	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0	20	0	1	8	3	36
販売	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	3	0	5	1	11	24
在庫					14	16	4	4	5	5	5	22	22	18	25	17	26

販売	月、週ごとに行われた販売回数を表示、合計は年の稼動回数
仕入	月、週ごとの仕入、買取 (リサイクル OP) の稼動回数、合計は年の稼動回数
在庫	月末の在庫を表示、合計は年の在庫総数でなく、商品呼び出した時点の在庫数

② タブメニューボタン

上部のタブメニューで下部メニューを切り換えますタブメニューは 15 種類登録可能。(設定 P-65 参照)

③ メニューボタン

商品登録した商品をボタン 1 つで呼び出し可能。タブの中の商品メニューは 30 種類登録可能
タブメニュー 15 個 × メニューボタン 30 個 = 450 メニュー登録が可能 (登録方法は P-65)

■ ライン版「下部」(テンキー無)物販店・・等の、商品をコード管理しコードスキャンの多いお店向き

No	コード	商品名	メモ	在庫	数	金額	税
1	404-000003-000	*BDシャツ/ブレイン		9	1	5680	外
2	403-000001-000	*デニム/ストレート	在庫注意!	4	1	13224	外
3	402-000003-000	*ジャケット/L		10	1	27428	外
				合計	3	¥46,332	
						(外税計 3,707) 税込計 ¥50,039	
						H	

④ 単品明細フィールド (ライン版)

商品を表示させると商品情報(商品名・在庫数・個数・金額+商品コード+商品メモ+税)が表示されます。商品メモをクリックすると、登録されている商品メモが表示され即座に変更が可能で、税をクリックすると税種別を「外税・内税・非課税」に変更可能で、即座に商品マスタを更新します。(このフィールドは全部で200点までの商品を読み込み可能) ※明細「No」をクリックしても、タッチ版の「コード詳細」は表示されません。

※ テンキー表示について

⑤コード入力フィールドの場合「N」をクリックで表示します。他、商品を出し後に「数」「金額」をクリックすると、下図のテンキーを表示して数値等の入力を行えます。

⑤ コード入力フィールド

バーコードまたはキーボードから会員番号及び商品コードを入力(コードスキャン)した際に、そのコードが表示されます。

⑥ 総額表示フィールド (税抜<外税>運用時)

税抜<外税>運用時、右側に商品の合計金額を総額で表示し、左側に商品の合計消費税額を表示します。

⑦ メッセージフィールド

[金変][数変][取消]や[現計]等の処理状態をメッセージで表示します。

数量を入力して下さい >数変時
合計 ¥12,846 >現計後

⑧ ファンクションフィールド

各業務を行う際に使用します。業務内容(商品表示中や顧客表示中など)によって機能が変化します。詳細 P-40 参照



⑨ 管理画面

販売・仕入・移動・顧客・・・等の、コードを読み込まない状態で、「H」ボタンを押すと、管理画面を表示します。管理画面の説明は、事項の⑨を参照してください。

■ タッチ版「下部」(テンキー有) 飲食やサービス業・・・等の部門販売の金額入力が多いお店向き



④ 単品明細フィールド(タッチ版)

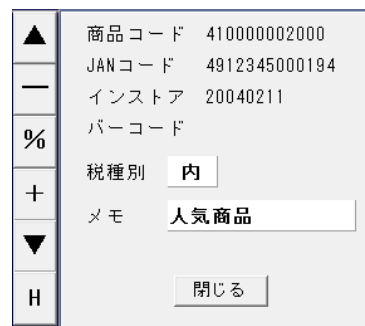
商品を表示させると商品情報(商品名・在庫数・個数・金額)を表示します。このフィールドは全部で200点までの商品を読み込み可能。

ライン版で表示されている「商品コード・商品メモ・税種別」は、単品フィールドの「No」をクリックすると、⑤ テンキー部に「コード詳細」(右図)を表示します。

■コード詳細画面(タッチ版の機能)

商品を読み込んだ状態で、左の「No」ボタンを押すと、右図「コード詳細」を表示。「商品メモ」をクリックすると、登録済み商品メモの変更ができます。「税」をクリックすると、税種別を「外税・内税・非課税」に変更可能です。
注) 商品マスタも更新されますので、運用には注意してください。

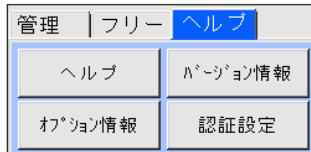
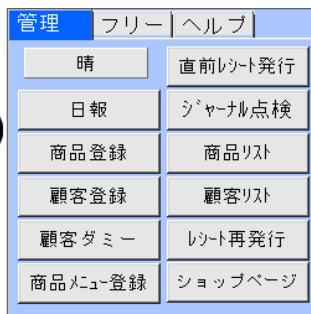
常時コード詳細を表示させる場合は、P-50「コード詳細固定表示」を【する】に設定します。



⑤ コード入力フィールド ⑥ 総額表示フィールド ⑦ メッセージフィールド ⑧ ファンクションフィールドは、同一機能のため前項を参照してください。

⑧ 管理画面

販売・仕入・移動・顧客・・・等の、コードを読み込まない状態で、「H」ボタンを押すと、テンキー部分に管理画面を表示します。管理画面からは、日報やジャーナル点検、レシート再発行・・・等が行えます。



天気選択	起動時に選択しなかった場合、ここで変更できます。
日報	日報起動
商品登録	商品登録起動
顧客登録	顧客登録起動
顧客タミー	顧客タミー起動
商品メニュー登録	商品メニュー登録起動
直前レシート発行	直前のレシートを再発行します。過去やレジ画面終了前のレシート再発行は(P-136 参照)
ジャーナル点検	ジャーナル点検起動
商品リスト	商品リスト起動
顧客リスト	顧客リスト起動
レシート再発行	レシート再発行起動
ショップページ	インターネット接続がある場合、お客様専用「マイページ」を表示。(P-187 参照)
ヘルプ	マニュアルを開きます
オプション情報	オプションの契約状況
バージョン情報	バージョンを表記します
認証設定	更新PWの設定欄を表示 更新の設定は(P-27 参照)

※ 販売画面と操作ボタンフィールドについて

様々な機能を出せる、操作ボタンフィールドは、レジ画面下部に並んでいるボタンです。

操作ボタンについては、基本設定で設定された内容や業務オプションご利用時などの設定内容によっても表示内容が変わってきます。

また、操作ボタンフィールドの左端「▲▼」または、キーボードの「Shift」を押すことで表示が切り替わります。

※ BCPOS は、操作ボタン名の横に「F1 ~ 12」を表記しています。

操作ボタンは、キーボードを使用している場合、ファンクションキー (F1 ~ F12) と連動しています。また、BSF1 ~ 12 までは、Shift+F キーとなります。

例)

- 「SF1 出金」 = 「Shift」+「F1」
- 「SF5 客検」 = 「Shift」+「F5」

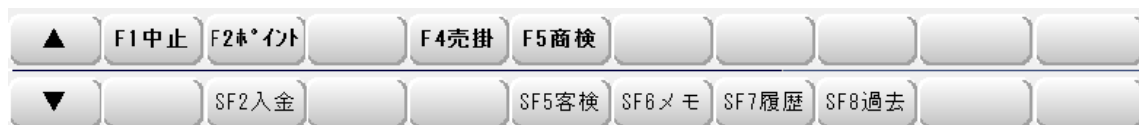
切替



基本設定 > 全般設定 > 「メニューバー」 でファンクションボタンの表示・非表示設定ができます。P-50 参照

ファンクションボタン (例)

顧客画面の操作ボタン配列 (顧客情報を呼出し時の、操作ボタンフィールド)



販売画面の操作ボタン配列 (販売画面に何も呼出してない時の、操作ボタンフィールド)



販売画面の操作ボタン配列 (商品情報を呼出し時の、操作ボタンフィールド)



販売画面の操作ボタン配列 (商品情報と顧客情報を両方を呼出し時の、操作ボタンフィールド)





※ 基本設定を行う前に必ずお読みください

必ずお読みください！

下記設定項目は、運用開始後に設定を変更しても、過去のデータは変更されません。
※ お店の運用を考え、熟慮した後に設定をおこなってください。

■ 全般設定 (F6 基本設定 > F2 全般設定)

初期 (P-42)

- 移動時使用金額
⇒後から設定を変えても過去のデータは変わらない。(デフォルト「標準原価」)
- 粗利計算使用金額
⇒後から設定を変えても過去のデータは変わらない。(デフォルト「標準原価」)
- 総額表示設定 (税込・税抜販売)
⇒後から設定を変えても過去のデータは変わらない。(デフォルト「総額表示 (税込み)」)

初期設定 3 (P-45)

- 移動時仕入累計変更
⇒後から「する」に変更しても、過去のデータは変わらない。(デフォルト「しない」)
- ログ書き込み設定
⇒後から変更しても、過去のデータは変わらない。(デフォルト「仕入先」)

顧客 (P-52)

- 顧客過去使用
⇒「する」にしておかないと、過去が稼動に書き込まれない。(デフォルト「する」)
- 売掛金を顧客に計上
⇒「する」にしておかないと、売掛金が顧客に計上されない。(デフォルト「する」)
- 稼動金額に、外税加算
⇒「する」にしておかないと、稼動金額に外税が加算されない。(デフォルト「しない」)
- 顧客稼動実績本数のカウント
⇒後から設定を変更しても、前の稼動は変更されないので注意。(デフォルト「商品件数」)

■ 消費税設定 (F6 基本設定 > F3 消費税設定)

消費税設定 (P-59)

- ログに書き出す単価
⇒後から設定を変更しても、過去のデータは変わらない。(デフォルト「税抜」)
- 粗利計算金額
⇒後から設定を変更しても、過去のデータは変わらない。(デフォルト「税抜」)
- 小計時ポイント付加金額
⇒後から設定を変更しても、過去のデータは変わらない。(デフォルト「税抜」)

■ 追加基本設定 (F6 基本設定 > F4 追加基本設定)

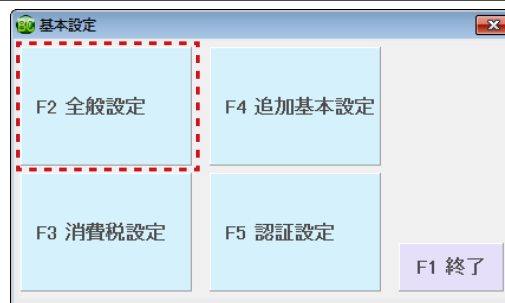
その他追加基本設定 (P-61)

- 販売返品伝票処理時客数減らす
⇒後から設定を変更しても、過去のデータは変わらない。(デフォルト「しない」)
- 入金処理のみの時、客数カウントしない
⇒後から設定を変更しても、過去のデータは変わらない。(デフォルト「する」)

⑤ BCPOS 使用における基本設定

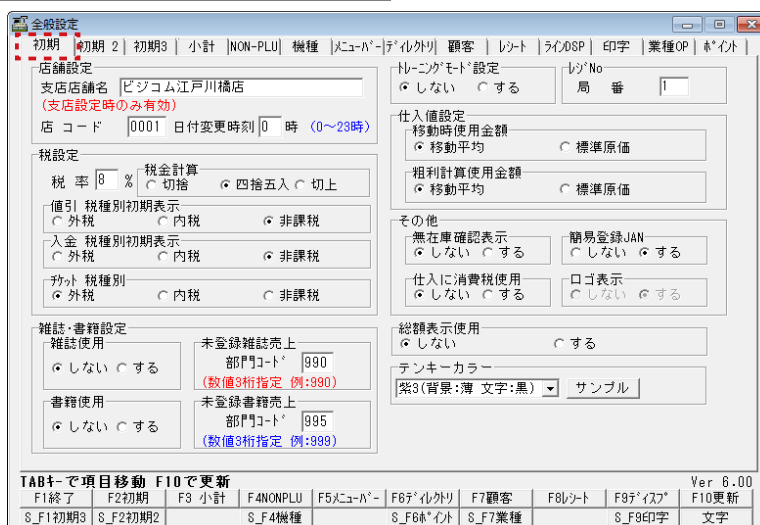
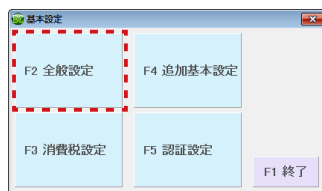
5-1 基本設定について

基本設定では BCPOS を使用する上での初期設定や周辺機器の設定などを行います。
 全般設定の内容を変更したら必ず [F10 更新] を押し、更新してください。
 F10 更新後に「レジ画面を立ち上げ直したとき」に初めて設定が有効になります。



5-2 全般設定

■ 初期 (全般設定 > 初期)



店舗設定

支店店舗名	支店名、店舗名を入力します。※各種日報・・・等に印字されます
店コード (必須)	店舗コードを4桁で入力します。店舗毎に異なる店舗コードを入力してください。ここに入力された店舗コードは日報・LOG・会員コードに反映され、本部集計等で使用されます。TenpoVisor(本部管理オプション)利用時は、店舗コードが重ならないように設定してください。単店舗でご利用の場合は初期値 0001 でご利用ください。
日付変更時刻	通常0時が日付変更時刻ですが、売上を集計する1日が0時を超える場合は、0時を超えても前日の営業日として処理したい場合に設定します。(通常は閉店時間が午前2時などの場合、残務処理などを考慮して午前4時に設定するなど、完全に業務が終了する時刻に設定するようにしてください) 注) 日報集計の切替時刻が午前0時以降の場合、こちらの「日付変更時刻」で設定。 注) 日報集計の切替時刻が午前0時未満の場合、「中間締時刻」(P-45参照)で設定。

税設定

税率	現在の消費税率を入力します。
税金計算 *2	税金計算で1円未満の端数が出た場合の処理(切上・切捨・四捨五入)を選択します。
値引 税種別初期表示 *4	値引処理をする時の税種の初期値を選択します。(基本的には総額・非総額設定に合わせます)
入金 税種別初期表示 *4	入金処理をする時の税種の初期値を選択します。
チケット 税種別 *4	チケット処理をする時の税種の初期値を選択します。

*2 消費税設定>税率設定「税金計算」(P-59)と設定が連動。

*4 消費税設定>詳細設定「入金 税種別初期表示」「値引 税種別初期表示」(P-59)「チケット 税種別」(P-60)と設定が連動。

雑誌・書籍設定

雑誌使用	未登録雑誌を雑誌コードにて販売するかどうかを指定します。 【 する 】を選択した場合、雑誌のバーコードを受け付けます。(P-87 参照)
未登録雑誌売上 部門コード	雑誌販売【 する 】を選択し、商品登録されていない雑誌のバーコードを 読み込ませた場合に売上を計上する部門のコードを設定します。
書籍使用	未登録書籍を書籍コード商品として扱うかどうかを指定します。 【 する 】を選択した場合は、書籍のバーコードを受け付けます。(P-87 参照)
未登録書籍売上 部門コード	書籍販売【 する 】を選択し、商品登録されていない書籍のバーコードを 読み込ませた場合に売上を計上する部門のコードを設定します。
トレーニングモード設定	初期設定では【 しない 】になっています。 【 する 】を選択した場合、トレーニングモードとして操作練習が行えます。 トレーニングモードの状態では、販売画面右上に『トレーニングモード』と表示され、 日報の書込みや商品稼動、顧客稼動の情報が書き込まれません。 また、レシートにはトレーニングモードと印字されます。
レジNo.(局番)	同一店舗内で複数のレジを使用する場合には、親機の場合は「1」、 子機は「2以降」を設定します。レジが1台の場合は「1」を設定します。

仕入値設定

移動平均 : 商品を移動する時の仕入値を移動平均の金額で設定します。(P-224 の「Column」を参照) 標準原価 : 商品を移動する時の仕入値を商品マスタの仕入値の金額で設定します。	
移動時使用金額	移動処理をした際に、在庫の評価をどの金額で処理するかを設定します。 指定された金額で、画面・移動レシートなどに金額が表示されます。 【 移動平均】現在の在庫金額を在庫本数で割った金額 【 標準原価】現在の商品マスタの仕入値
粗利計算使用金額	粗利計算をする際に、どの金額で処理するかを設定します。 【 移動平均】現在の在庫金額を在庫本数で割った金額 【 標準原価】現在の商品マスタの仕入値

その他

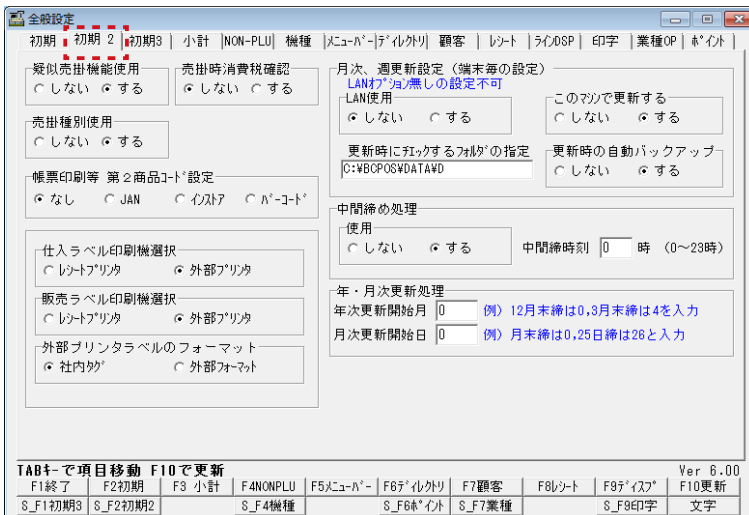
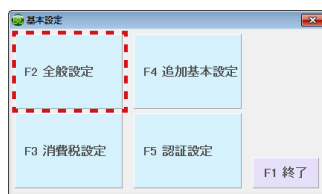
無在庫確認表示	販売時に商品在庫が無い場合、確認メッセージを表示するかを設定します。
簡易登録 JAN	商品登録がされていない商品を販売する際に、JAN 簡易商品登録機能を利用するかどうかを設定します。(P-87 参照)
仕入に消費税使用	仕入金額に消費税を加算するかどうかを設定します。 外税商品を仕入する場合に、商品マスタの仕入値をそのまま仕入金額として処理するのか、 商品マスタの仕入値に消費税を別途加算して処理するのかを設定します。 ※商品の税種別がレジ画面上「内税」となっている商品はこの設定は対象外です。
ロゴ表示	※設定不可
総額表示使用 *1	【 しない 】非増額表示 (税抜き価格)での運用設定。 【 する 】総額表示 (税込み価格)での運用設定。

*1 消費税設定 > 税率設定「税表示」(P-59)と設定が連動。

テンキーカラー

テンキーカラー (プルダウンメニュー)	販売画面のテンキー部分・単品フィールドのタイトルの配色を 背景 (5色×濃・淡) × 文字色 (白・黒) = 20 パターンから設定します。
サンプル	上記テンキーカラーの配色パターンサンプルをブラウザに表示します。

■ 初期 2 (全般設定 > 初期 2)

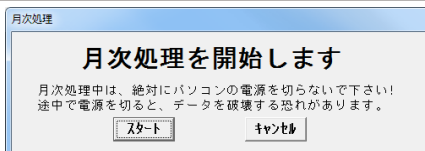
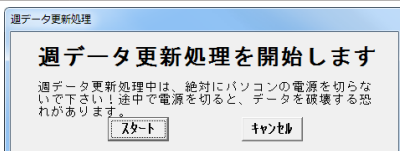


基本設定 (全般) 初期 2

擬似売掛機能使用	擬似売掛販売 (P-159 参照) を利用する際は【する】にします。 運用では「何らかの顧客」を呼出して、「売掛種別」(下記、設定有り) を選択して、売掛を計上します。売掛を計上した顧客で入金処理を行う場合は、(P-52 参照) の「売掛金を顧客に計上」を【する】に設定する事で、顧客単位での売掛金の入金処理が可能になります。 ※「売掛種別一覧」「売掛未収一覧」を表示する場合、BCPOS 顧客管理オプションを、ご利用頂くか、BCPOS 連動の各社販売管理ソフトをご利用ください。
売掛時消費税加算	売掛販売をした際に、消費税を加算するかどうかを設定します。 ※総額表示しよう「しない」(外税販売) 運用時に有効。
売掛種別使用	売掛を行う際に種別 (項目) を選択できるようになります。 事前に「各種マスタ」で「売掛種別」の項目登録が必要になります。(P-80 参照) 売掛種別一覧を見る場合は顧客管理 OP が必要になります。
帳票印刷等 第 2 商品コード設定	帳票との印刷時、商品リスト (詳細) 等に 12 桁の商品コードだけでなく、第 2 商品コードとして《JAN・インストア・バーコード》のいずれかを印字したい場合に、印字したい項目を選択します。 ※レシートにも印字されます。
仕入ラベル印刷機選択	仕入ラベルを印刷するプリンタを選択します。ラベルプリンタ使用時は「外部プリンタ」
販売ラベル印刷機選択	販売ラベルを印刷するプリンタを選択します。ラベルプリンタ使用時は「外部プリンタ」
外部プリンタラベルフォーマット	使用しません。[社内タグに設定してください]

月次・週更新設定 (端末毎の設定)

LAN 使用	同一店舗内で BCPOS を 2 台以上 LAN で接続して使用する場合【する】
このマシンで更新する	【しない】「子機＝局番 2 以降」このコンピュータで週次・月次更新処理は行わないにします。 【する】「親機＝局番 1」や「1 台」の場合は必ず【する】を選択してください。 ※このコンピュータで更新【する】を選択した場合は、販売画面を立ち上げる際に、月初・週はじめに月次・週次の更新処理を行います。(月次・週次更新については P-183)



更新時にチェックするフォルダの指定	BCPOS は、更新処理をする際に日報ファイルの有無をチェックしています。 1 台で使用している場合は通常 C:\¥BCPOS¥DATA¥D になります。 LAN で使用している場合はサーバの日報フォルダを参照しますが、他の設定箇所でも設定しますので、ここでは変更しないでください。
更新時の自動バックアップ	更新時にデータファイルを自動的にバックアップする機能を使用するかどうかを設定します。 ※ディスク容量不安等無い場合、更新時の自動バックアップは【する】に設定してください。

中間締め処理

使用	営業時間内で一度締め処理を行い、それ以降の売上を翌日営業日分として処理するような場合に設定します。
中間締め時刻	当日と翌日の切替時刻を 0 ~ 23(時間) で設定します。 注) 日報集計の切替時刻が午前 0 時未満の場合、こちらの「中間締め時刻」で設定します 注) 日報集計の切替時刻が午前 0 時以降の場合、「日付変更時刻」(P- 42 参照) で設定します

年・月次更新処理

年次更新処理月	通常は使用しません。
月次更新処理日	営業月が更新される日付を入力します。(月次処理については P-183) ※月末締めは“ 0 ”、25 日締めは“ 26 ”を入力します。

■ 初期 3 (全般設定 > 初期 3)

The screenshot shows the '全般設定' (General Settings) window with the '初期 3' (Initial 3) menu item highlighted. The '基本設定' (Basic Settings) window is also shown with the 'F2 全般設定' (General Settings) option highlighted. The '全般設定' window contains various settings for barcode recognition, logging, and pricing.

基本設定 (全般) 初期 3

読込バーコードの判別

バーコードでのスタート・エンドでの判別	通常は【 しない 】に設定します。 判別する場合は、スタート・エンドのコードやエンド・カット桁数を必要に応じ設定してください。
5・6 桁のインスタコード使用 (顧客選択時)	商品に 5 桁 6 桁のインスタコードを使用されているお店の場合、顧客を読み込んだ後に商品を読ませると、顧客コードとして認識してしまうことがあります。 ここを【 する 】に設定しますと、顧客コードを読み込ませた後に 5 桁 6 桁のインスタコードが入力されたら認識して、商品呼び出せます。
5 桁をインスタコード使用 (顧客未選択時)	顧客コードをまだ読み込ませていないときに 5 桁のインスタコードを読み込ませた時、商品として扱いたい場合は【 する 】を選びます。
6 桁をインスタコード使用 (顧客未選択時)	顧客コードをまだ読み込ませていないときに 6 桁のインスタコードを読み込ませた時、商品として扱いたい場合は【 する 】を選びます。

ログ書込み設定

ログ書込み設定	ログのサブジャンル (P-170) に書き込むコードを「サブジャンル」「メーカーコード」「仕入先コード」から選択します。
---------	--



仕入

仕入時導入日 (登録日変更)	商品マスタの商品登録日を仕入を起こした日付に更新するかを設定します。
仕入時バーコード発行	【 する 】 にした場合、仕入画面で商品マスタの「バーコード枚数」に登録した枚数分を印刷。
仕入先強制入力	仕入時に仕入先の入力を必ず行うようにするかを設定します。
発注番号強制入力	仕入時に発注番号の入力を必ず行うようにします。
伝票日付強制入力	仕入時の伝票に日付入力を必ず行うようにします。

バーコード重複選択	【 しない 】 バーコードが重複している商品があった場合、商品コードの若い商品を自動的に選択します。(重複商品があっても、表示は1商品) 【 する 】 バーコードが重複している商品があった場合、コード重複選択画面に重複している商品すべてが表示され、その中から商品を選択できます。
インスタ重複選択	【 しない 】 インストアコードが重複している商品があった場合、商品コードの若い商品を自動的に選択します。(重複商品があっても、表示は1商品) 【 する 】 インストアコードが重複している商品があった場合、コード重複選択画面に重複している商品すべてが表示され、その中から商品を選択できます。

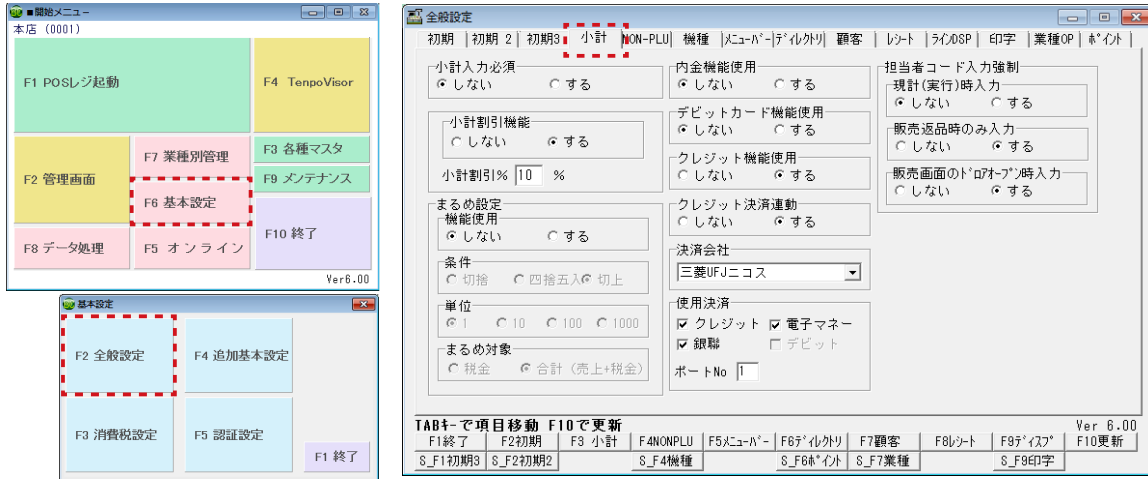
※「JANコード」が重複している場合は、必ずレジ画面上で重複選択画面が表示されます。
(重複選択画面を表示しない設定はありません)

同一商品コード1行表示	【 しない 】 販売画面で同一商品コードを複数読み込んだときに、読みみ度に1行ずつ商品を表示します。 【 する 】 販売画面で同一商品コードを複数読み込んだときに、先に読み込みした商品の数量に加算して表示します。 ※ セット販売使用時は、P-105を参照して設定してください
移動時仕入累計変更	商品の移動時に仕入累計を変更するかを設定します。 【 する 】 にすると移動時に仕入累計が移動分プラス・マイナスになります。
委託仕入使用	業者委託商品の仕入を行うかを設定します。※ 委託販売機能については別途お問合せ下さい。
業者委託商品部門	委託仕入使用を【 する 】 とした場合、ここに業者委託商品部門を設定します。ここに指定された部門商品は仕入時には仕入金額が発生せず、売上時にはじめて仕入金額が発生します。

価格設定 (物販)

仕入価格	※ BCPOS は 1 つの商品マスタに複数価格の登録が可能です 仕入・販売価格として使用する「売価」を選択します。 仕入・販売価格で、選択した「標準」or「セールス特價 1」or「セールス特價 2」を、売価として適用します。セールス特價については、こちらを選択しておくことで、商品マスタ登録画面で、セールス特價の入力が可能です。(全価格での設定はこの限りではない) できるようになります。 (セールス特價の機能は P-104 参照)
販売価格	セールス特價が設定されていても、入力されている金額が 0 円の場合は標準価格を表示します。 販売画面上ではセールス特價 1 がオレンジ色、セールス特價 2 が紫色で価格表示されます。
セールス使用時 レシートの単価 に定価を印字	【 しない 】 レシートの単価欄はセールス価格の単価を印字します。 【 する 】 レシートの単価欄にマスタの定価を印字します。 ※こちらの設定は、80mm 幅レシートのみ有効です。
期間指定価格使用	【 しない 】 期間指定価格機能を適用しません。 【 する 】 あらかじめ期間とセールス価格を登録する事で自動でセールス価格が適用されます。(P-116 参照)

■ 小計 (全般設定 > 小計)



基本設定 (全般) 小計

小計入力必須	【しない】レジ画面で「小計」[現計]を選択できます。 【する】レジ画面の「現計」ボタンを非表示にし、必ず「小計画面」を表示します。
小計割引機能	小計画面で「値引、割引、割増」の利用設定です。 【する】にした場合、「金額調整フィールド」で値引(-金額)、割引(/数値)、割増(/数値)ができます。また、下記「小計割引機能」が利用可能になります。 例：-500 → 小計金額から 500 円割引、/80 → 小計金額から 20%割引
小計割引%	小計割引機能を【する】にした場合、小計画面の「F3 割引」ボタンが利用可能となります。「F3 割引」を押した時の値引率を設定します。 例：小計割引「20」の場合、小計画面で「F3 割引」を押すと小計金額から 20%割引します。

まるめ設定 ※ 税計算時の、端数(銭単位)処理「まるめ」は P-59「消費税設定」で設定します。

機能使用	小計画面で合算された金額(1円単位以上)に対しての「まるめ」機能使用設定 例) 条件：切捨て、単位：1円で設定した場合 小計金額が、¥1,532 は、¥1,530 に、¥999 は、¥990 へと処理します。 こちらの、小計金額の「まるめ設定」を利用する場合は別途お問合せください。 ※小計画面でまるめ処理を行うので、下記【合計(売上+税金)】時「入金処理」に影響がでます。
条件	下記「単位」で、指定した位を切捨て、四捨五入、切上から選択します。
単位	1円、10円、100円、1000円の単位から選択します。※1円単位でご利用ください。
まるめ対象 (外税運用時適用)	【税金】上記「単位」の、外税税金に対してまるめを行います。※税込み運用時、適用されません。 【合計(売上+税金)】上記「単位」の、合計金額に対してまるめを行います。

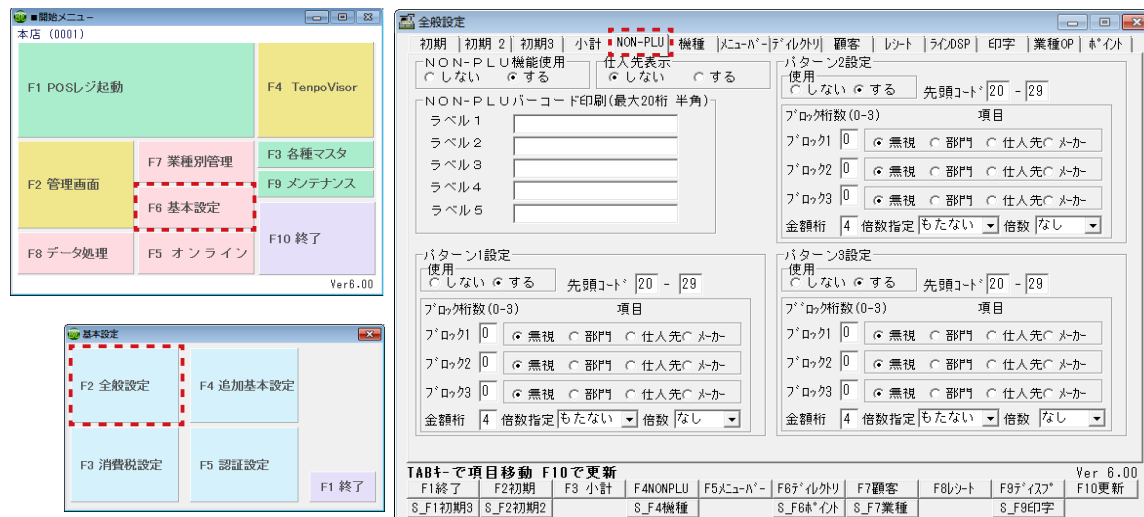
内金機能使用	【しない】内金処理機能(P-131参照)を使用しません 【する】販売画面[F9 小計]を選択して表示される「小計入力」画面に内金処理用の[S_F9 内金]ボタンを表示します。小計画面で内金を入力し[F10 現計]ボタンを押せば内金販売処理が可能です。残金の入金は販売画面の[S_F2 入金]処理で行います。(P-131)
デビットカード機能使用	デビットカードの利用設定。 【する】の場合、「小計入力」画面にデビットカードでの精算用の[F7 デビット]ボタンを表示。
クレジット機能使用	クレジットと現金の販売集計を分ける場合に設定します 【する】にすると、「小計入力」画面に[F6 クレジット]ボタンを表示します。(P-133)
クレジット決済連動 ※別途 OP が必用	クレジット決済連動の利用設定。 ※クレジット会社との契約、ハードウェア設定等ございますので、別途お問合せください。

担当者コード入力強制

現計(実行)時入力	【する】の場合、販売画面の「現計」機能がなくなり、小計画面でスタッフコードを入力しないと「現計処理」が行えなくなります。※仕入処理・販売返品も同様です
販売返品時のみ入力	【する】の場合、返品処理を行う場合、スタッフコードを入力しないと処理できません 販売処理時はスタッフコード入力不要です。
販売画面の ドロアオープン時入力	「メニューバー表示設定」で「ドロア表示」の場合、 【する】にすると、スタッフコードを入力しないと、ドロアオープンしません

■ NON-PLU (全般設定 >NON-PLU)

価格や部門コードなどを JAN タイプのバーコードの中に持たせる方式です。ここでは読ませるバーコードの意味合いを設定し、読み込まれたバーコードは販売画面内で部門及び金額を取込み表示します。 ※詳細は P-201 を参照してください。



NON-PLU 機能使用	NON-PLU 機能を使用【しない】【する】かを設定します。
NON-PLU バーコード印刷	ラベル内に印字する情報のラベルタイトル名を入力します。(最大 20 桁半角) この設定は [販売管理]NON-PLU バーコード印刷]の商品印字情報のタイトル名に反映します。 「ラベル 1」～「ラベル 5」まで設定可能。
仕入先表示	パターン設定で仕入先を選択した場合、レジ画面の商品メモの場所に該当する仕入先名を表示します。 【しない】【する】を設定します。
パターン設定 1	設定パターンは 3 種類作成できます。 複数パターンを使用する場合は必ず識別コード先頭 2 桁を重複させないでください。 それぞれのパターンに対し【しない】【する】を選択してください。 ※同時に使用できるパターンは 2 パターンまでです。 指定できる桁数は 12 桁です。(13 桁目はチェックデジット) 【先頭コード】 NON-PLU コードとして識別させる先頭コード (2 桁) の範囲を入力します。
パターン設定 2	【ブロック桁数】 先頭コード、金額以外の情報のために割り当てる桁数を 3 ブロックにまで分けて指定できます。
パターン設定 3	【項目】 ブロック桁数で指定したブロックに持たせる情報の種類を選択します。 (無視・部門・仕入先・メーカーの中から選択してください。) 【金額桁】 金額として利用する桁数を指定します。(指定桁数：4 桁～7 桁) 【倍数指定】 金額桁の先頭桁を金額の倍数として使用する、しないかを設定します。 金額桁の先頭 1 桁が “0” は 0 倍、“1” は 10 倍、“2” は 100 倍、“3” は 1000 倍になります。 (例：金額「4 桁」、倍数指定「もつ」の場合、“2123” は “¥12300” として認識されます。) 【倍数】 倍数指定「もたない」にした場合、倍数を設定したいときに選択します。 (例)…金額「4 桁」、倍数指定「もたない」、倍数「100 倍」に設定した場合、 金額 1234 は ¥123400 として認識されます。

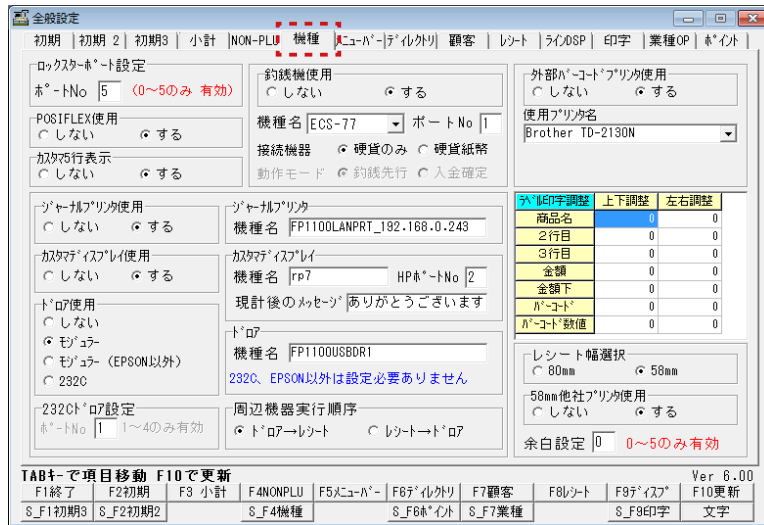
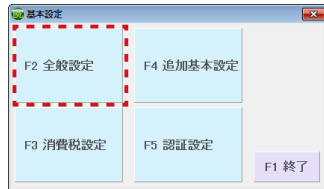
NON-PLU 設定例

バーコード (13 桁)	00	00	00	00	0000	0
	2 桁	2 桁	2 桁	2 桁	4 桁	1 桁
	識別コード	部門コード	仕入先コード	メーカーコード	金額	C/D チェックデジット (10 倍数設定)

基本設定 (全般) NON-PLU

■ 機種 [周辺機器設定] (全般設定 > 機種)

周辺機器の設定を行います。
周辺機器を接続しない場合は、
すべて【しない】を選択してください。
別途、各機器のドライバ・OPOSの
インストール、機器の設定などが
必須です。

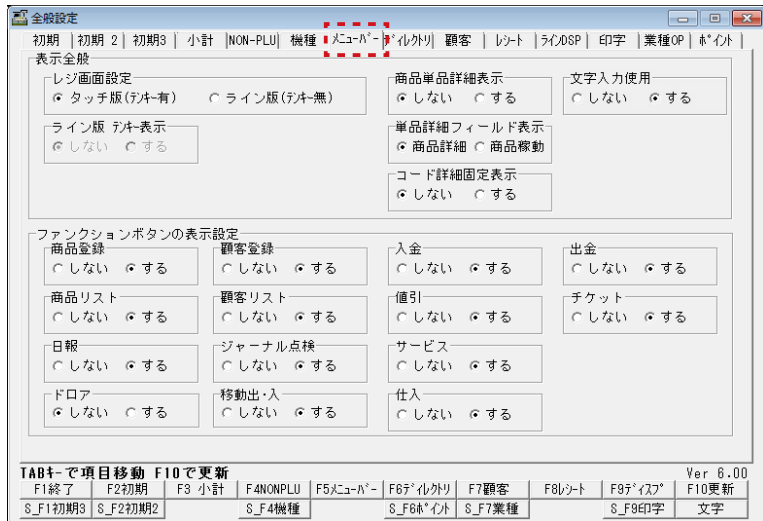


基本設定 (全般) 機種

ロックスターポート設定	ロックスター(ソフトのカギ)使用時は、ポート番号を入力します。(基本は「5」です)
POSIFLEX 使用	パソコンが POSIFLEX の場合は【する】
カスタマ 5 行表示	POSIFLEX 用設定、カスタマディスプレイ表示を 5 行表示にする場合【する】
ジャーナルプリンタ (レシートプリンタ) 使用	レシートプリンタを使用時は【する】にして機種名は、下記を参考に入力してください。 入力例) スター精密 TSP100 シリーズ = 「Star」、POSIFLEX = 「PP Demo」 Fujitsu FP1100 USB = 「FP1100USBPRT」、Fujitsu FP1100 LAN = 「FP1100LANPRT_+IP アドレス」 EPSON の場合は、OPOS の設定で使用した設定機種の名前を正確に入力してください。 (ローマ数字は認識できないため、IV の場合はアルファベットの I (アイ) と V (バイ) を入力) ※ 機種名が正確でないとレジ立ち上げ時に接続エラーになります。
カスタマディスプレイ使用	カスタマディスプレイを使用時は【する】にして機種名を「DM-D110」にします。 POSIFLEX 使用時「LD Demo」、HP 使用時「ap5000」「rp7」として、HP ポート No を入力
ドロア使用	【しない】 キャッシュドロアを使用しない場合に設定します。 【モジュラー】 プリンタがスター精密TSP /FujitsuFP1100/POSIFLEX の場合はこちらを選択。 【モジュラー (EPSON 以外)】 プリンタが EPSON の場合はこちらを選択してください。 【RS 232C】 RS232C タイプの場合と EPSON 以外の場合に設定します。 ※「ドロア機種名」は(モジュラー)を選択した場合入力可能で、下記(入力例)を参考に入力 スター精密 TSP100 シリーズ = 「Drawer」、Fujitsu FP1100 = 「FP1100USBDRI」、POSIFLEX = 「CR Demo」
232C ドロア設定	ドロア使用で「RS232C」タイプを選択した場合は接続した COM 番号を、 モジュラー (EPSON 以外) の場合はジャーナルと同じ COM 番号を指定します。
HP ポート No	HP 純正カスタマディスプレイ使用時は使用しているポート No を入力
現計後のメッセージ	POSIFLEX 使用のみ適用、現計後のメッセージを入力します(半角 20 全角 10 文字以内)
周辺機器実行順序	ドロア、レシートの処理順序を選択します。(基本はドロア→レシート)
釣銭機使用	硬貨釣銭機使用時は【する】して、使用する「機種名」を変更して「接続機器」・ 「動作モード」を設定し、使用する「ポート No」を変更してください。詳しくは別途お問合せください。
外部バーコードラベルプリンタ使用	【しない】 外部バーコードプリンタを使用しません。 【する】 外部バーコードプリンタを使用する場合に設定します。※弊社指定ラベル用紙
使用プリンタ名	外部バーコードラベルプリンタ名を選んでください。プリンタ名にはプリンタドライバがインストールされているものしか表示されません。必要なプリンタ名が表示されない場合は、プリンタの設定を確認してください。※設定後、別のプリンタドライバをインストールするとプリンタ名が変更される場合があります。
ラベル印字調整	ラベルの印字微調整ができます。
レシート幅選択	【80mm】または【58mm】幅のレシート使用を選択します。 ※ BCPOS インストール時にプリンタドライバで設定したレシート幅と合わせてください。
58mm 他社プリンタ使用	スター精密 TSP100 シリーズのプリンタを利用する場合は【する】(別紙参照)
余白設定	スター精密 TSP100 で印字されたレシートを見て左右の余白を調整する場合は 0 ~ 5 の値で調整


■ メニューバー (全般設定 > メニューバー)

レジ画面のモード選択や、メニューバー及びファンクションボタンの表示設定を行います。操作する必要が無いメニュー・ボタンの非表示設定や、デフォルト表示設定を行います。インストールした直後は、すべて表示【する】に設定されています。



基本設定 (全般) メニューバー

表示全般

レジ画面設定	レジ画面の表示を【タッチ版(キー有)】または、【ライン版(キー無)】で、選択します。サンプルP-36参照
ライン版 キー表示	上記レジ画面設定で【ライン版(キー無)】を選択時、数変や金額変更時にキーをポップアップ表示するか、しないかの設定です。BCPOSの操作に、なれている場合は「しない」を推奨。
商品単品 詳細表示	商品呼出後ファンクションキー「SF3 稼動」で、商品詳細の内容【仕入価格・販売累計・仕入累計・粗利累計・粗利計算・移動平均・在庫金額】を表示するかしないかの設定になります。
単品詳細 フィールド表示	レジ画面下部、ファンクションフィールドの初期表示状態「SF3 商デ」or「SF3 稼動」を設定します。 【商品詳細 (SF3 商デ)】商品の型番や発売日、在庫などの情報を表示します。 【商品稼動 (SF3 稼動)】商品の週・月表示の仕入、販売、在庫を表示します。
コード詳細 固定表示	※レジ画面設定が【タッチ版(キー有)】の時、有効な設定です。 【しない】レジ画面テンキー「H」部分を押す事でコード詳細画面を表示する。 【する】レジ画面テンキーの部分にコード詳細画面を常時表示する。(下図参照)  (対象商品の「No」をクリックする事で、コード詳細を表示)
文字入力使用	タッチパネル使用時に、携帯入力タイプの文字入力用キーを出す出さない設定。P-69参照

ファンクションボタンの表示設定

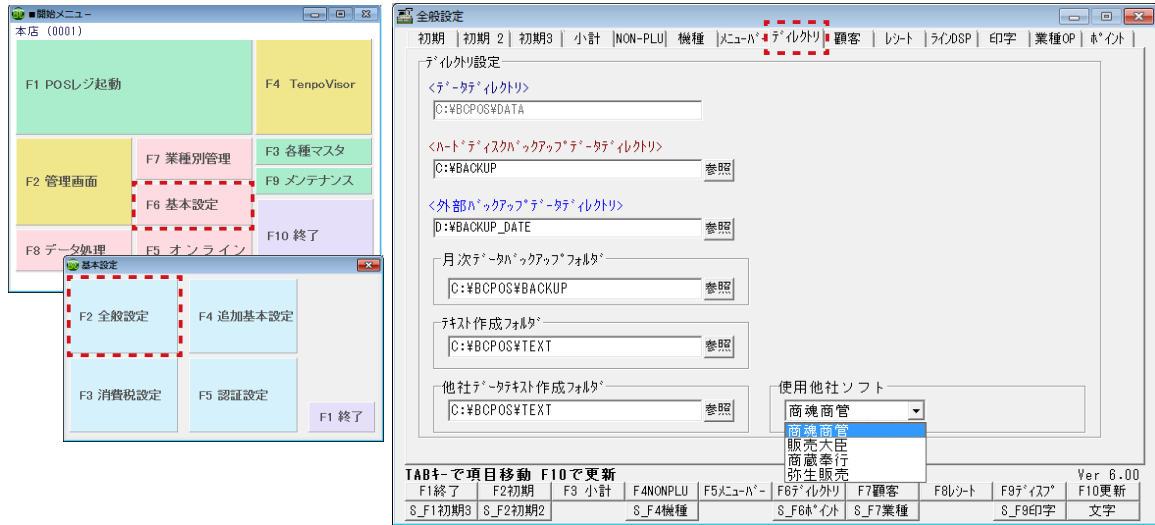
ファンクションキーの表示設定(レジ画面下) P-40を参照して設定してください。



レジ画面 下部の表示設定			
F10 ドロア	ファンクションキーの [ドロア] ボタン	SF8 移動出・入	ファンクションキーの [移動出][移動入] ボタン
SF2 入金	ファンクションキーの [入金] ボタン	SF1 出金	ファンクションキーの [出金] ボタン
F 6 値引	ファンクションキーの [値引] ボタン	F 7 チケット	ファンクションキーの [チケット] ボタン
SF9 サービス	ファンクションキーの [サービス] ボタン	F 7 仕入	ファンクションキーの [仕入] ボタン

■ ディレクトリ (全般設定 > ディレクトリ)

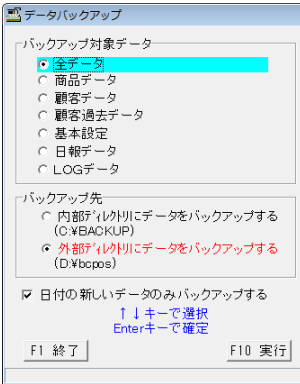
BCPOS の商品・顧客・等マスタやログデータのバックアップ先として、外付けハードディスク・等、外部フォルダを指定します。



基本設定 (全般) ディレクトリ

ディレクトリ設定

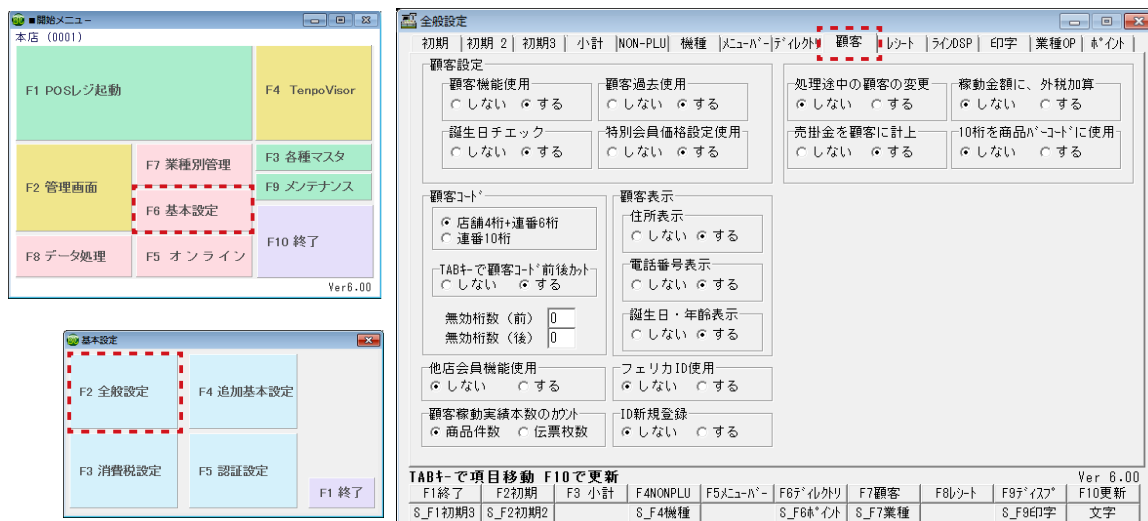
データディレクトリ	BCPOS で必要なデータの保管場所を指定します。(初期設定 C:\¥BCPOS¥DATA) ※データの保管場所が違っていても、他の場所で設定するので、ここでは変更しないでください。
ハードディスクバックアップデータディレクトリ	コンピュータ内部でのバックアップデータの保管場所を指定します。(初期設定 C:\¥BACKUP) ※サポート・等に影響しますので、変更しないで下さい
外部バックアップデータディレクトリ	BCPOS をインストールしているパソコン以外の、外付け HDD、USB メモリなどの外部記憶装置にバックアップデータの保管場所を指定します。(初期設定 D:\¥bcpos) 注)必ず、外部記憶装置を用意して、設定してください
月次データバックアップフォルダ	月次データのバックアップデータ保管先を指定します。長期間のデータが保存を希望される場合、空き容量が十分にあるドライブを指定してください。(初期設定 C:\¥BCPOS¥BACKUP) ※サポート・等に影響しますので、変更しないで下さい
テキスト作成フォルダ	ログファイルをテキストファイルに書き出すフォルダの指定を行います。(初期設定 C:\¥BCPOS¥TEXT) ※サポート・等に影響しますので、変更しないで下さい
他社データテキスト作成フォルダ	他社のアプリケーションソフト用にデータをテキストファイルに書き出すフォルダの指定を行います。(初期設定 C:\¥BCPOS¥TEXT)
使用他社ソフト	P-173 データ随時処理「F5 OOOデータ変換」メニューの表示項目が設定された名称に変更され、BCPOS のデータを各ソフトに対応したフォーマットへ変換します。



- ・ディレクトリとは = ファイルを分類・整理するための保管場所 (フォルダ)
- ・ログとは = コンピュータの利用状況などを記録したデータ
- ・テキストファイルとは = 文文字データだけで構成されたファイル

顧客 (全般設定 > 顧客)

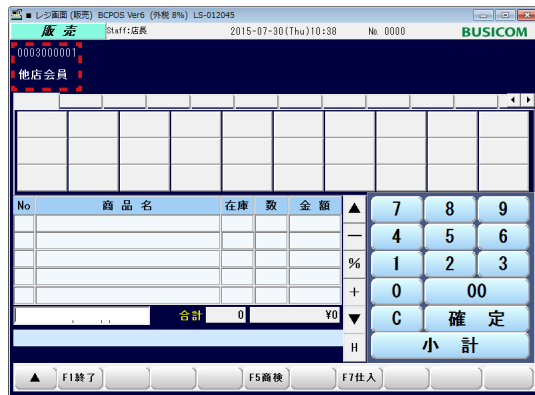
顧客管理を行う場合に顧客管理機能の各種設定を行います。



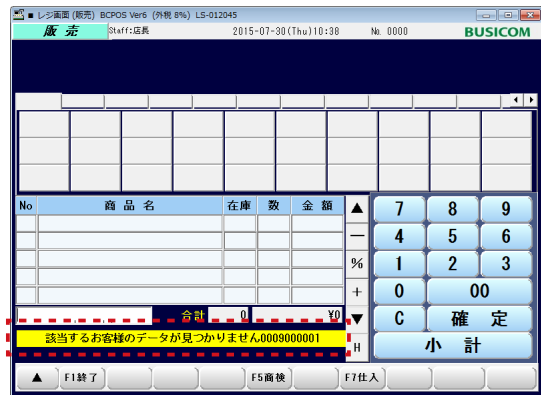
顧客設定

顧客機能使用	顧客管理の必要のないお店は会員呼出 (顧客機能) を行わないようにします。 顧客管理をする場合は【 する 】を選びます。
顧客過去使用	顧客の過去データ (購買履歴等) を管理する場合は【 する 】を選びます。(P-151 参照)
誕生日チェック	誕生日チェックを【 する 】と、顧客の誕生日・誕生月に「本日誕生日のお客様です」 「今月誕生日のお客様です」と顧客情報画面にメッセージを表示します。
特別会員価格設定使用	【 する 】にした場合、顧客マスタで設定したランクが「1」の顧客が特別会員となり、 その顧客をレジ画面で呼び出すと名前の横に「特」が付きます。 部門マスタの条件金額 1 ~ 10 (P-76 参照) を設定すると、 特別会員だけの「特別価格」を設定できます。
処理途中の顧客変更	顧客を読み込んだ後、販売の途中で顧客の変更を許可するかを設定します。
稼働金額に外税課税	顧客稼働金額に外税分を加算するかどうかを設定します。 ※総額対応しないときのみに有効。
売掛金を顧客に計上	【 しない 】 売掛処理をしても売掛金額として計上しません。(売掛機能は P-159 参照) 入金処理が不要な場合にはこちらを選びます。 【 する 】 売掛処理をする場合に個々の顧客に売掛金額として計上します。 入金処理が必要な場合に選択してください。売掛金額が計上された顧客は、次回、 販売画面で呼び出されると売掛金がある旨のメッセージが表示されます。 ※初期 2 設定の擬似売掛機能使用を【 する 】にしていないと機能しません。
10 桁を 商品バーコードに使用	【 しない 】 10 桁入力を顧客コードとして使用します。(店舗コード 4 桁 + 顧客連番 6 桁) 【 する 】 10 桁を商品バーコード (インスタコード) として使用します。 店舗コードを含んだ 10 桁の顧客コードの扱いはできません。

顧客コード	<p>【店舗 4 桁 + 連番 6 桁】顧客コード中に店舗コードを設定したい場合に選択します。 4 桁を店舗コード、6 桁を顧客コードとします。(推奨設定) 【連番 10 桁】10 桁すべてを顧客コードとして使う場合に選択します。</p>
TAB キーで 顧客コード前後カット	<p>【しない】BCPOS にて顧客バーコードを発行する場合や、既存の顧客バーコードが 10 桁・6 桁のバーコードを使用する場合に選択します。 【する】すでに何らかのシステムを使用していて、入れ替えなどで BCPOS を使い始めた場合、 前システムの顧客コードの桁数が 10 桁・6 桁以外の場合に顧客コードの中から必要なコードの 部分だけを切出す機能です。 【無効桁数(前)(後)】前システムのバーコードを呼び出した後、必要な顧客コード部分だけを 切出すために前後のカットをする桁数を指定します。</p>
他店会員機能使用	<p>【する】グループ内の他店の会員を自店会員と同様に扱うようにします。</p>



他店会員機能使用【する】場合



他店会員機能使用【しない】場合

顧客表示	
住所表示	【する】販売画面に顧客の住所を表示します。
電話番号表示	【する】販売画面に顧客の電話番号を表示します。
誕生日・年齢表示	【する】販売画面に顧客の誕生日・年齢を表示します。



特別会員価格設定使用【する】の場合

顧客メモ使用【する】の場合

顧客稼動実績本数の カウント	顧客稼動を集計する場合の集計方法を設定します。 購入商品数または伝票枚数での集計になります。
※この設定は「顧客情報詳細 (P-150 参照)」画面の「数」や、顧客管理オプションの、顧客稼動一覧の回数に 影響が出てきます。	
フェリカ ID 使用	【しない】フェリカ ID を併用した顧客管理を使用しない。 【する】フェリカ ID を併用した顧客管理を使用する。
ID 新規登録	【しない】新規のフェリカ ID を読込んだ際に顧客が存在しないとエラーがでます。 【する】登録の無いフェリカ ID を読込むと、既存顧客コードと関連付ける画面が表示されます。

スマートフォン・携帯電話・等のフェリカ ID を使用した顧客管理は、通常の顧客コードと併用してのご利用となります。
ご利用方法は、(P-153 参照)

■ レシート [発行設定] (全般設定 > レシート)

販売、仕入、移動、入金、出金時にレシートを発行するか、またバーコード入りのプライスカードを発行のかなどを設定します。サービス券発行時のメッセージも設定。メッセージの内容によってサービス券の意味が変わりますので考慮してください。

The screenshot displays the '全般設定' (General Settings) window with the 'レシート' (Receipt) tab active. The 'レシート設定' (Receipt Settings) section includes options for issuing receipts for sales, purchases, and transfers, as well as for printing price tags and service coupons. The 'サービス券印刷用フッター' (Service Coupon Footer) section allows for setting a message and the number of lines (up to 40 characters per line) for the coupon footer. The '日付変更時刻内の印字' (Printing within date change time) section offers options for printing the date (e.g., '処理日0時' or '前日24時'). The '疑似売掛時レシート印刷' (Receipt printing at simulated accounts receivable) section allows for printing JAN, Instax, and model numbers. The '顧客住所・電話番号印字' (Customer address and phone number printing) and '単価印字' (Unit price printing) sections provide checkboxes for these features. The 'レシート取入印紙欄印刷' (Receipt input stamp area printing) section has a threshold of 50,000 yen. A 'TABキーで項目移動 F10で更新' (Move items with TAB key, update with F10) section shows a grid of function keys (F1-F10) and their corresponding settings.

レシート設定

販売レシート発行	販売レシートを発行するかどうかを設定します。レシート設定は P-56・60・61・・・等
仕入レシート発行	仕入レシートを発行するかどうかを設定します。
売掛レシート発行	売掛レシートを発行するかどうかを設定します。
移動時レシート 2 枚発行	商品移動処理時に移動レシートを 2 枚発行するかどうかを設定します。
移動レシート発行	商品移動処理時に移動レシートを発行するかどうかを設定します。
出金レシート発行	出金時レシートを発行するかどうかを設定します。
入金レシート発行	入金時レシートを発行するかどうかを設定します。
プライスカードの印刷	レシートプリンタでバーコードが入ったプライスカードを印刷するかどうかを設定します。
返品レシート発行	使用しません。
プライスカードの金額印刷	プライスカードを印刷するときに金額を印刷するかどうかを設定します。 プライスカードの設定は P-60 参照
レシート棚番印字	使用しません。
仕入プライスカード自動発行	仕入処理時に仕入プライスカードを自動的に発行するかどうかを設定します。
サービス券 印刷用フッター	サービス券を印刷する際にサービス券の下に印刷するメッセージを設定します。 1 行の最大入力文字数は半角で 40 文字となります。5 行まで入力ができます。
日付変更時刻内の印字	初期設定 (P-52) で日付変更時刻を “0 時” 以外に設定している場合に、 0 時を過ぎた場合のレシート日付の印字方法を選択できます。 【処理日 0 時〜】 初期設定した日付にかかわらず、0 時を過ぎれば日付を変更します。 【前日 24 時〜】 初期設定で設定した日付変更時刻になるまでは前日の日付。 日付変更時刻設定 P-46 参照
疑似売掛時 レシート印刷	【しない】 商品コード (12 桁) のみで印刷されます。 【JAN・Instax・型番】 レシートの 2 行目に JAN・Instax・型番のどれを 印刷するかを指定します。販売管理システムなどで使用しているコードを指定してください。
顧客住所・電話番号印字	顧客住所・電話番号印字をするかどうかを設定します。
単価印字	レシートに単価を印字するかどうかを設定します。
収入印紙欄印刷 (50,000 円) 以上	入力欄に入力した金額に達すると、レシートのフッター部に収入印紙貼付け欄を印字します。 入力欄が「0」の場合、印字しません。

レシート印字見本

日付変更時刻内の印字見本

BUSICOM 東京都文京区関口1-20-10 TEL.03-3235-6900 http://www.busicom.co.jp ** 販売 ** 2010/10/18(月) 00:17 店0001 No 0002 担当者 0001:BC販売員 会員番号 0001-00001 ビジコム太郎 様		BUSICOM 東京都文京区関口1-20-10 TEL.03-3235-6900 http://www.busicom.co.jp ** 販売 ** 2010/10/17(日) 24:17 店0001 No 0002 担当者 0001:BC販売員 会員番号 0001-00001 ビジコム太郎 様					
コード	品名	数量	金額	コード	品名	数量	金額
200-000102-000	カシミアセーター	1	41,000	200-000102-000	カシミアセーター	1	41,000
税込対象額			41,000	税込対象額			41,000
合計	1点		¥41,000	合計	1点		¥41,000
	(内消費税 8%)		3,037		(内消費税 8%)		3,037
お預り			¥50,000	お預り			¥50,000
お釣り			¥9,000	お釣り			¥9,000
<ポイント情報> ポイント対象額 41,000 加算ポイント 410 残りポイント 1,960 ご来店、ありがとうございます。				<ポイント情報> ポイント対象額 41,000 加算ポイント 410 残りポイント 1,960 ご来店、ありがとうございます。			
【処理日 0 時~】の場合				【前日 24 時~】の場合			

58mm レシートに単価印字の印字見本

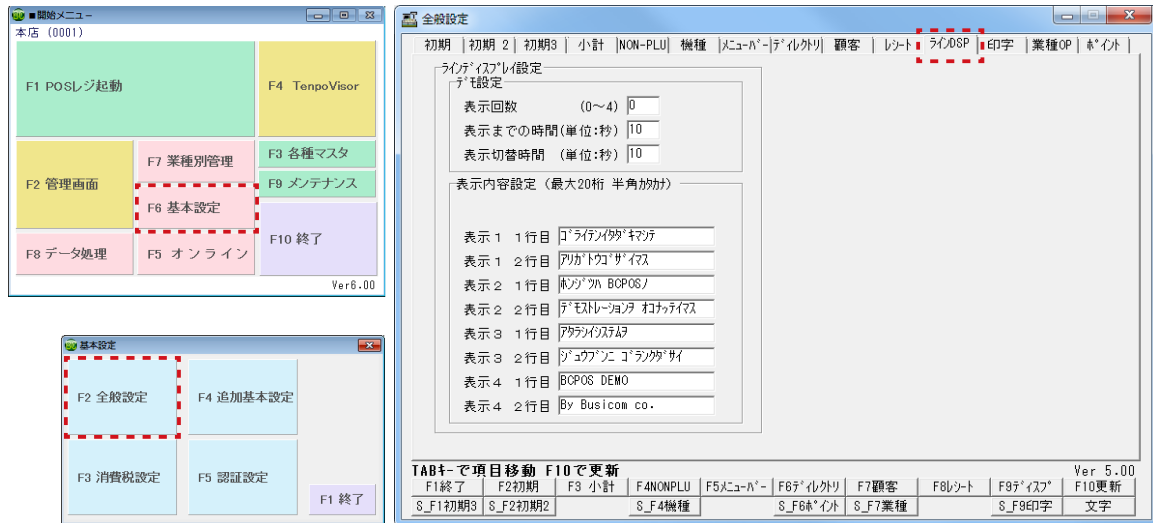
BUSICOM 文京区関口1-20-10 住友不動産江戸川橋駅前ビル 電話番号: 03-3235-6900 ** 販売 ** 2010/04/01(金) 12:01 No 0002 担当者 0001:BC販売員		
カシミアセーター	1	41,000
ハンドバック	1	12,000
Tシャツ	2	@1,500 3,000
合計	4点	¥58,000
(内消費税 5%)		2,800
お預り		¥60,000
お預り		¥2,000
<ポイント情報> ポイント対象額 58,000 加算ポイント 580 残りポイント 1,625 ご来店、ありがとうございます。		

58mm レシートに
単価印字したイメージ
※数が 1 個の場合は
単価印字しません。

基本設定 (全般) ライン DSP

■ ライン DSP [カスタマディスプレイ設定] (全般設定 > ライン DSP)

システムを使用していない空き時間にカスタマディスプレイに任意のメッセージを流すことができます。



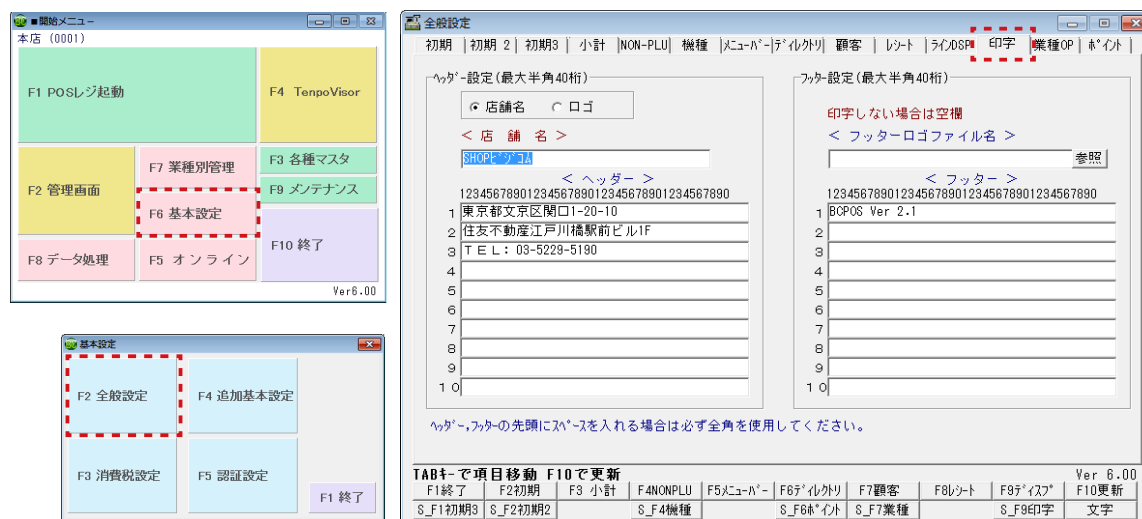
ラインディスプレイ設定

表示回数	表示内容設定の「表示 1」～「表示 4」のどこまで表示するかを指定します。何も表示しない場合は「0」を、表示 4 まで表示する場合には「4」を入力します。
表示までの時間	メッセージは販売などのキー操作が行われていないときに表示されます。キー操作をしなくなると何秒後に表示するかを設定します。(初期値 10 秒)
表示切替時間	1 つのメッセージを何秒表示するかを設定します。初期値として 10 秒になっています。
表示内容設定	表示する文字を設定します。1 つのメッセージは 2 行で構成されます。一行の最大入力数は半角カタカナと半角英数で 20 文字になります。



■ 印字 [レシート定型文] (全般設定 > 印字)

レシートの上部 (ヘッダー) と下部 (フッター) に固定されたメッセージを印刷します。
お店のロゴマークなども印刷することが可能です。 (画像データ [ビットマップイメージ] に対応しています)



ヘッダー設定

店舗名 / ロゴ	レシートの先頭に印刷する店舗名もしくはお店のロゴ (画像データ) を設定します。 【店舗名】 < 店舗名 > となっている下の入力ボックスに印刷したい店舗名を入力します。 【ロゴ】 < ロゴファイル名 > となっている下の入力ボックスに印刷したい画像データ名 (ビットマップファイル名) を入力します。 または、入力ボックス横の [参照] ボタンを押して画像データの場所を照会します。 ※画像データについては下記の注意をお読みください。
ヘッダー	レシートの店舗名もしくはロゴの後に印刷される文字を設定します。 (例 : 住所、電話番号など) 一行の最大入力数は半角 40 文字 (全角 20 文字) で、最大 10 行まで印刷できます。

フッター設定

フッターロゴ ファイル名	レシートの下に QR コードを印字するための設定です。 ※詳しくは別途 QR バーコード印刷の設定手順を参照。
フッター	レシートの合計金額の後、一番下の位置に印刷されます。 一行の最大入力数は半角 40 文字 (全角 20 文字) で、最大 10 行まで印刷できます。

※ 画像データ (店舗ロゴ) について (下記を参照していただき画像ファイルをご用意ください)

Microsoft Windows に標準搭載されている画像処理ソフト Microsoft Paint (ペイント) を開きます。
ペイントでロゴを作成する。または、作成したロゴを表示して、サイズ変更で左右の幅を

【 80mm レシートの場合 170mm 】 【 58mm レシートの場合 123mm 】 で作成

(上下は成り行きで印字されます) ロゴの下部に適度な余白を取ってください。

ファイル保存時 (名前を付けて保存) に「ファイルの種類 (T) :」で「モノクロビットマップ (*.bmp ; *.dib)」を選択。
ファイル形式 : 「モノクロビットマップ」 (拡張子 .bmp)

色調 : モノクロ (白黒)

階調 : 2 階調 (白 or 黒 = 0% or 100% 白黒でもグレーは表現できません。)

※ペイントの開き方

Windows 7 の場合、スタートメニュー (左下 Windows マーク) > すべてのプログラム > アクセサリ > ペイント
Windows 10_8.1_8 の場合、キーボードの「Windows ロゴキー」+ 「Q」 > 検索BOX で「msp」でペイントが表示されます。
(Windows7 で検索される場合は「mspaint」です。)

※ ロゴの加工は弊社でも別途有償で承ります。

■ 業務 OP [オプション設定] (全般設定 > 業務 OP)

オプション契約をしている業種や業務の使用設定を行います。

F1 終了	F2 初期	F3 小計	F4NONPLU	F5メニュー-	F6デイル外リ	F7顧客	F8レシート	F9デイル*	F10更新
S_F1初期3	S_F2初期2		S_F4機種		S_F6ポイント	S_F7業種		S_F9印字	文字

基本設定 (全般) 業種) ポイント

業務

販売管理オプション使用	販売管理オプションを設定します。	※オプション契約必要
在庫管理オプション使用	在庫管理オプションを設定します。	※オプション契約必要
顧客管理オプション使用	顧客管理オプションを設定します。	※オプション契約必要
リサイクル業務	リサイクル業種で使用する場合に設定します。	※オプション契約必要

■ ポイント設定 (全般設定 > ポイント)

ポイント機能を使用する場合の各設定を行います。
 ポイントを付与する為には、商品マスタ登録時にポイントに☑が入っている必要があり、☑が外れていると、その商品はポイント付与の対象外となります。※初期設定では商品マスタのポイントには☑が入った状態になっています。
 ポイント付与する商品が少ない等の理由で、商品マスタを開いた時のポイントにチェックが無い状態にするには、[開始メニュー] の [F3 各種マスタ] の [部門マスタ] で各部門ごとの [ポイント付加] を [False] にしてください。(P-77)

F1 終了	F2 初期	F3 小計	F4NONPLU	F5メニュー-	F6デイル外リ	F7顧客	F8レシート	F9デイル*	F10更新
S_F1初期3	S_F2初期2		S_F4機種		S_F6ポイント	S_F7業種		S_F9印字	文字



ポイント機能使用	【しない】ポイント機能のすべてを使用しません。 【する】ポイント機能を使用します。
クレジットポイント対象とする	クレジット販売時に対してポイントを付加するのかを設定します。
ポイント有効期限	ポイントの有効期限を“年”単位で設定します。 最終来店日から、設定した年数以内に売上がないと、次にお客様が来店された時点でお客様のポイントを“0”に戻すかどうかの確認画面が表示されます。 (強制的に0ポイントにするわけではありません)
ポイント率(現金)	現金販売時のポイント付加率を決定します。
ポイント率(クレジット)	クレジット販売時のポイント付加率を決定します。
ポイント率(リボ)	クレジット販売でリボ払い時のポイント付加率を決定します。
ポイント修正	【しない】販売画面で顧客のポイントの修正はできません。 【する】販売画面上で顧客読込時に[F2ポイント]が表示されます。 押すと顧客フィールドに表示されているポイントの修正ができます。 ※修正したら現計処理しないと変更されません。
還元方式	【値引】売上からポイント分を差し引きます。小計画面の[F5ポイント]で使用します。 【キャッシュバック】ポイント分の現金をお客様に差し上げます。 【サービス券】ポイント分のサービス券を渡します。
処理方法	【自動】還元方式で決定した処理をポイント達成時に自動的に行います。 【確認】ポイント達成時に還元方式で決定した処理を行うか確認の画面が表示されます。
ポイント付加最低利用金額	ポイントを付加する際の最低利用金額を設定します。
ポイント達成基準	還元方式を「キャッシュバック」か「サービス券」にした際の達成ポイントを設定します。
ポイント達成時キャッシュバック額	還元方式を「キャッシュバック」とした際に、ポイント達成時にお客様に差し上げる金額を設定します。
1ポイントの金額	1ポイントあたりの金額を設定します。
セールス期間中加算ポイント	通常ポイント(現金、クレジット、リボ)に加算してポイントを計算します。 現金のポイント率5%のときにセールス期間として7%にする場合、ここを“2%”の設定をします。
顧客ランク追加ポイント	顧客のランクによってポイント率を追加します。 1(A)が上位ランクで、5(E)が最下位ランクになります。
ポイント修正	顧客呼出し後、レジ画面のポイントをクリック、または「F2ポイント」でポイントの修正を出来るようにするには【する】にします。
固有ポイントを%で使用	商品毎に設定できる、固有ポイントを「ポイント数(数値)」から「率=%」へ変更する場合【する】にします。固有ポイントは商品毎に、ポイントを数量で付加できる機能です。 ポイント数は「販売金額」×「固有ポイント率」になります。 固有ポイントは商品マスタ上で設定します 例) 商品マスタで固有ポイント「100」とした場合、共通のポイント設定(上記ポイント率)を無視して、設定した商品を販売した時に100pt付与します。



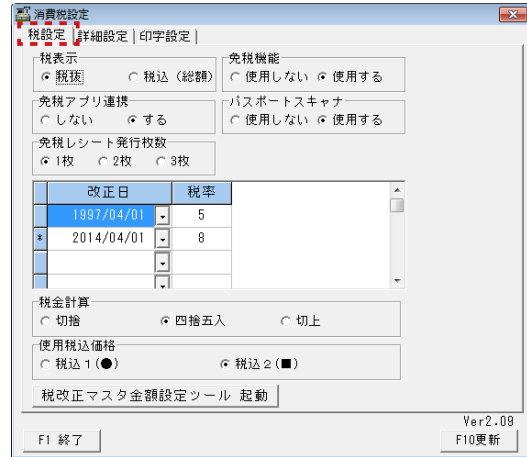
※ ポイント還元の種類

		値引方式	キャッシュバック方式	サービス券方式
処理内容		売上からポイント分を差し引く	現金の払い戻し	サービス券を渡す
処理方法	自動	小計画面で任意に使用	F10 現計時にメッセージを表示せずポイントが引かれる	F10 現計時にメッセージは表示されるが、必ず発行
	確認	小計画面で任意に使用	F10 現計時にメッセージを表示 キャッシュバックの場合、通常こちらを設定	発行するかしないかの確認画面表示
最低金額設定		任意	任意	任意
達成ポイント		設定不可	必要	必要
記録	日報項目	ポイント	出金	発行チケット
	LOG	販売・ポイント	出金・キャッシュ	出金・チケット

5-3 消費税設定

■ 税率設定 (消費税設定 > 税率設定)

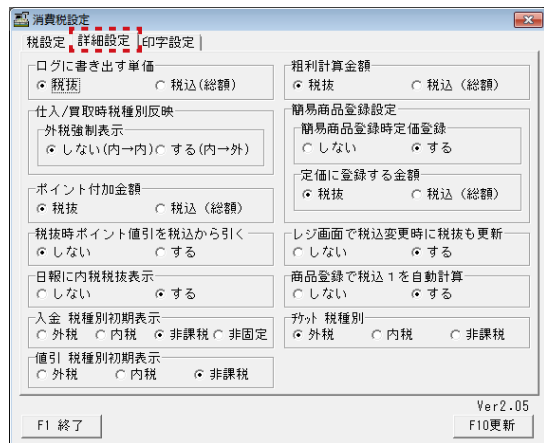
消費税設定・税設定は、別紙の消費税改定マニュアルを参照



税表示	【税抜】非総額表示(税抜き価格)、【税込】総額表示(税込み価格)の運用設定 ※基本設定>初期「総額表示設定」(P-43と設定が連動)
免税機能	【する】にすると、税抜き金額1万円超で、消費税を免税として「旅券番号入力」を表示。レシートに「免税対象額」及び「免税額表示」/ジャーナルに「旅券番号」の記録/日報に「免税額」「免税売上」各、一日の総額が追加されます。
免税アプリ連携	レシートに「あっと免税」連携用バーコードを印字、また「あっと免税」がBCPOSと同じパソコンにインストールしてある場合、免税販売終了時に「あっと免税」を起動します。
パスポートスキャナ	BCPOSでパスポートを読む場合は「使用する」※パスポートリーダーが必須です。
免税レシート発行枚数	免税販売を行った際のレシート発行枚数設定
改定日/税率	改定日に設定した日付に、税率を適用します。※初期設定(P-42)の「税率」を自動で変更。(左に*が有る行が現在の設定)
税金計算	税金計算で1円未満の端数が出た場合の処理(切上・切捨・四捨五入)を選択します。 ※基本設定>初期「税金計算」(P-42)と設定が連動。
税改正マスタ金額設定ツール	総額表示設定運用時に、税改正等で税率改正があった際に、売価を一括で設定するツール。 ※別紙の消費税改定マニュアルを参照してください。

注) 各種画面で税込み(1) or (2) どちらの金額を使用しているかは、● or ■の表示でご判断ください。

■ 詳細設定 (消費税設定 > 詳細設定)



ログに書き出す単価 *1	ログに書き出す売値単価を税抜で書き出すか、税込で書き出すかを選択します。
(仕入/買取時税種別反映) 外税強制表示 *1	【する】に設定すると、商品の税区分が内税でも強制的に外税で仕入します。 ※非課税商品はそのままになります。
ポイント付加金額 *1	ポイント付加時に単品の税抜き金額を対象にするか、税込金額を対象にするかを選択します。
税抜時ポイント値引を税込から引く	税抜き運用時、ポイント値引は税込の購入金額から引きます。
日報に内税税抜き表示	【する】と、純売上から内税(消費税)を抜いた金額を表示します。
入金 税種別初期表示 *4	入金処理をする時の税種の初期値を選択します。

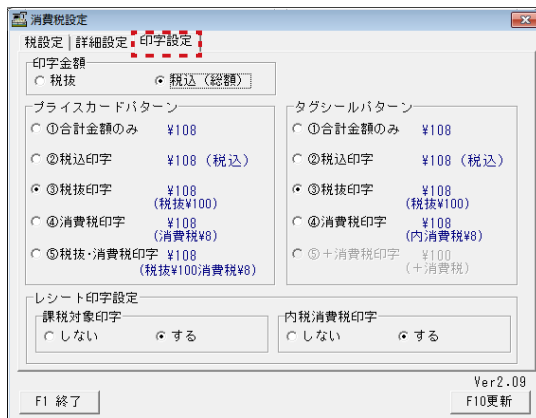
*1 総額表示設定時(税込運用)のみ有効

基本設定 (消費税)

値引 税種別初期表示	値引処理をする時の税種の初期値を選択します。(基本的には総額・非総額設定に合わせる) ※ 基本設定 > 初期 1 「入金 税種別初期表示」「値引 税種別初期表示」(P-42) と設定が連動。
粗利計算金額	粗利を計算する際に単品の税抜金額から計算するか、税込金額から計算するかを選択します。
簡易商品登録	
簡易商品登録時 定価登録	簡易商品登録画面(P-87 参照)で「税抜価格」または「税込価格」を定価にも自動反映させる機能。 【 する 】を選択した場合は下記項目の設定が可能で、自動で定価を登録します。 【 しない 】を選択した場合は、簡易商品登録画面では、定価は登録されません。 (別途、商品マスタで定価を登録してください。)
定価に登録する金額	「税抜価格」または「税込価格」のいずれかを、定価に自動反映させるか設定します。
レジ画面で税込変更時 に税抜きも更新	【 する 】の場合「金額変更時、マスタ更新確認画面」(追加基本設定 > その他 P-63)で 「する」の場合)で、金額を変更した際に、税抜き金額も更新します。※ 総額表示設定のみ有効
商品登録で税込み 1 を自動計算	商品マスタ登録(P-82)画面で、現在使用していない、税込み価格(1= ● or 2= ■)を自動計算。 ※商品マスタ登録画面で、表示される「税込み価格」は、現在使用している 税込み金額となり、使用している税込み価格の判断は、各種画面上部にある記号、 (● = 税込み価格 1)、(■ = 税込み価格 2)で判別します。
チケット 税種別 *4	チケット処理をする時の税種の初期値を選択します。 ※基本設定 > 初期 1 「入金 税種別初期表示」「値引 税種別初期表示」「チケット 税種別」(P-42) と設定が連動。

■ 印字設定 (消費税設定 > 印字設定)

この設定項目は税率設定の詳細になります。
ページごとに [F10 更新] を押して更新してください。



印字金額	【税抜金額】印字金額を税抜金額(金額 4)を印字します。 【税込金額】印字金額を税込金額 1 or 2 (金額 9 or 10)を印字します。
プライスカードパターン (1 ~ 5)	プライスカードの印字パターンを選択します。(初期値③) ※ レシートプリンタ出力
タグシールパターン (1 ~ 4)	タグシールの印字パターンを選択します。(初期値③) ※ ラベルプリンタ出力

レシート印字設定

課税対象印字	レシートに課税対象金額を印字する場合に設定します
内税消費税印字	レシートに内消費税金額を印字する場合に設定します

税込金額ラベル印字見本 (タグシールパターン (1 ~ 4) ※ ラベルプリンタ出力

① 合計金額のみ	② 税込印字	③ 税抜印字	④ 消費税印字
Abercrombie & Eitch KATABAN- 012346789 WOMENS-アウター ¥40,000 	Abercrombie & Eitch HALLIE PARKA KATABAN- 012346789 ¥40,000 (税込) 	Abercrombie & Eitch 定価 ¥55,000 WOMENS-アウター ¥40,000 税込 ¥43,200 	Abercrombie & Eitch 定価 ¥55,000 KATABAN- 012346789 ¥40,000 + 消費税 ¥3,200

プライスカード印字見本
(税抜・税込、定価印字有無し)
※レシートプリンタ出力

プラダ ケシコム
 ¥100 (税抜)

プラダ ケシコム
 定価 ¥150
 ¥108 (税込)

税抜金額ラベル印字見本 (タグシールパターン (1 ~ 4) ※ ラベルプリンタ出力

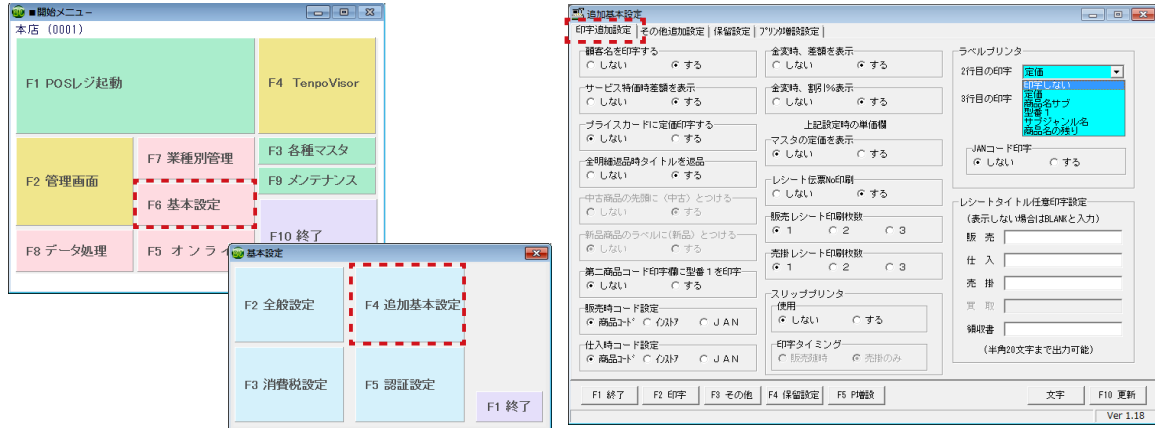
① 合計金額のみ	② 税抜印字	③ 税込印字	④ 消費税印字	⑤ + 消費税印字
トリニティドゥ カルティエリング 定価 ¥78,000 ジュエリー-&アクセサリ ¥43,200 	トリニティドゥ カルティエリング 定価 ¥78,000 ジュエリー-&アクセサリ ¥43,200 (税抜) 	トリニティドゥ カルティエリング 定価 ¥78,000 ジュエリー-&アクセサリ ¥43,200 税抜 ¥40,000 	トリニティドゥ カルティエリング 定価 ¥78,000 ジュエリー-&アクセサリ ¥43,200 内消費税 ¥3,200 	トリニティドゥ カルティエリング 定価 ¥78,000 ジュエリー-&アクセサリ ¥43,200 + 消費税

※ラベル印字の詳細マニュアルは別紙を参照してください。 ※ラベル用紙・ラベルプリンタ共に弊社指定の物となります。

5-4 追加基本設定

印字関連・販売保留・セット販売・ミックスマッチ販売・プリンタ増設・等の追加機能や詳細な設定項目となります。設定や変更を行った場合 [F10 更新] を必ず押して終了してください。

■ 印字追加設定 (追加基本設定 > 印字追加設定)



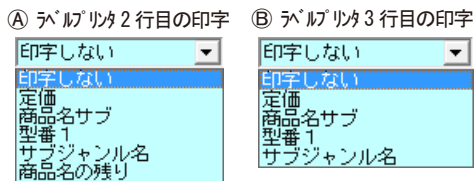
追加基本設定

顧客名を印字する	レシートに顧客名を印字する設定。(ジャーナルには残ります)
サービス特価時差額を表示	【 する 】 の場合、セールス売価を使用したとき、税込価格からの差額を印字します。
プライスカードに定価印字する	【 する 】 の場合、商品名と金額の間に定価を印字します。
全明細返品時タイトルを返品	【 しない 】 …全ての明細が返品の場合でも、タイトルは「販売」と印字します。 【 する 】 …全ての明細が返品の場合、タイトルに「販売返品」と印字します。
中古商品の先頭に(中古)とつける ※リサイクル OP 必要	【 しない 】 …(中古)と印字しません。 【 する 】 …(中古)と印字します。 ※対象はレジ画面・レシート・ラベルです。
新品商品の先頭に(新品)とつける ※リサイクル OP 必要	【 しない 】 …(新品)と印字しません。 【 する 】 …(新品)と印字します。 ※対象はラベルのみです
第二商品コード印字欄に 型番 1 を印字	【 しない 】 …基本設定初期 2 で設定してあるコードを印字します。 【 する 】 …商品に登録してある型番 1 を印字。
販売時コード設定	販売レシートに、ここで設定したコードを印字します。 ※設定したコードに登録がない場合は空欄で印字されます。 ※ JAN に設定した場合ジャーナル点検も変わります。 ジャーナル点検では設定コードに登録がない時、商品コードが表示・印字されます。
仕入時コード選択	仕入レシートに設定したコードを印字。 ※設定したコードに登録がない場合は空欄で印字されます。 ※どれを設定してもジャーナル点検は商品コードで表示・印字されます。
金変時、差額を表示	【 しない 】 …印字しません。 【 する 】 …差額がプラスの場合「〇〇」、マイナスの場合「-〇〇」と印字されます。
金変時割引%を表示 ※「金変時、差額を表示」を 【 する 】 にした場合設定可能	【 しない 】 …印字しません。 【 する 】 …直接「/〇〇」と入力したとき「〇〇%引」「〇〇%増」と印字します。
一上記設定時の単価欄 マスタの定価を表示	【 しない 】 …印字しません。 【 する 】 …レシートの単価欄にマスタの定価を印字します。
レシート伝票 No 印刷	レシートに伝票 No の印字設定。
販売レシート印刷枚数	販売レシートの印刷枚数を 1 ~ 3 枚まで任意に設定できます。
売掛レシート印刷枚数	売掛レシートの印刷枚数を 1 ~ 3 枚まで任意に設定できます。
スリッププリンタ	
使用	スリッププリンタ TM-H5000 II の使用設定。
印字タイミング	販売随時 …販売毎に印刷装置をレシートかスリップか選択します。 売掛のみ …売掛の場合のみスリップにて印刷します。



62 追加基本設定 (印字追加設定・その他追加設定)

ラベルプリンタ	
2行目印字	プルダウンメニューより印字項目を選択(下図①参照)
3行目印字	プルダウンメニューより印字項目を選択(下図②参照)
JANコード印字	【しない】…商品コードと商品コードのバーコードを印字。 【する】…JANコードとJANコードのバーコードを印字。 ※JANコード登録がない場合は、バーコードの印字なし。



印字設定例



- ① 1行目 = 固定 (商品別の商品名)
- ② 2行目 = 設定 (ラベルリタ2行目)
- ③ 3行目 = 設定 (ラベルリタ3行目)
- ④ 4行目 = 設定 (P-60 印字金額)
- ⑤ 5行目
- ⑥ バーコード = 設定 (JANコード印字)
- ⑦ コード = ※JANコードor商品コード

印字見本

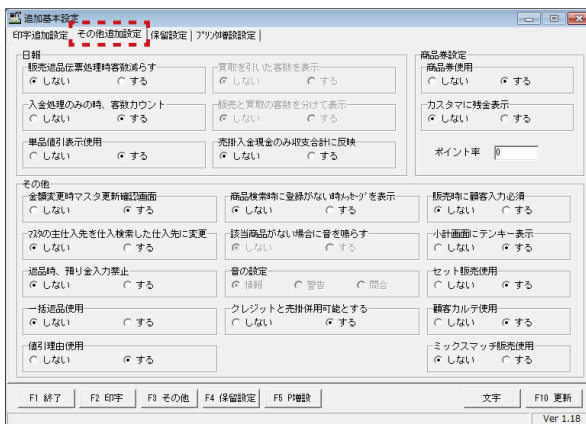
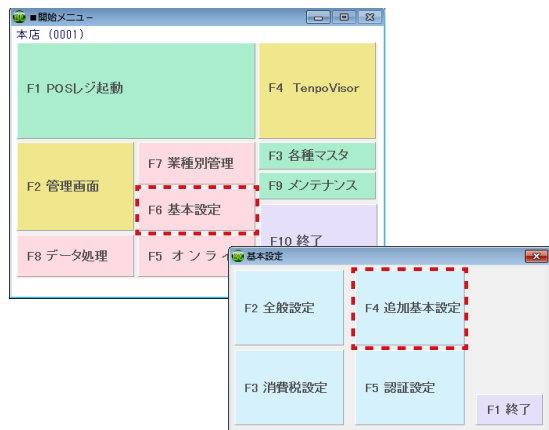


※ラベル印字の詳細マニュアルは別紙参照
 ※ラベル用紙・ラベルプリンタ共に弊社指定の物となります。
 ※ラベル印字する商品の、部門マスタで「R印刷」設定が「1」(数値)でないと印刷されません。

レシートタイトル 任意印字設定	販売・仕入・売掛・買取・領収書のタイトルを任意に設定が可能です。※半角 20 文字まで 何も印字しない場合は半角で「BLANK」と入力。(右図参照)
--------------------	---



■ その他追加設定 (追加基本設定 > その他追加設定)

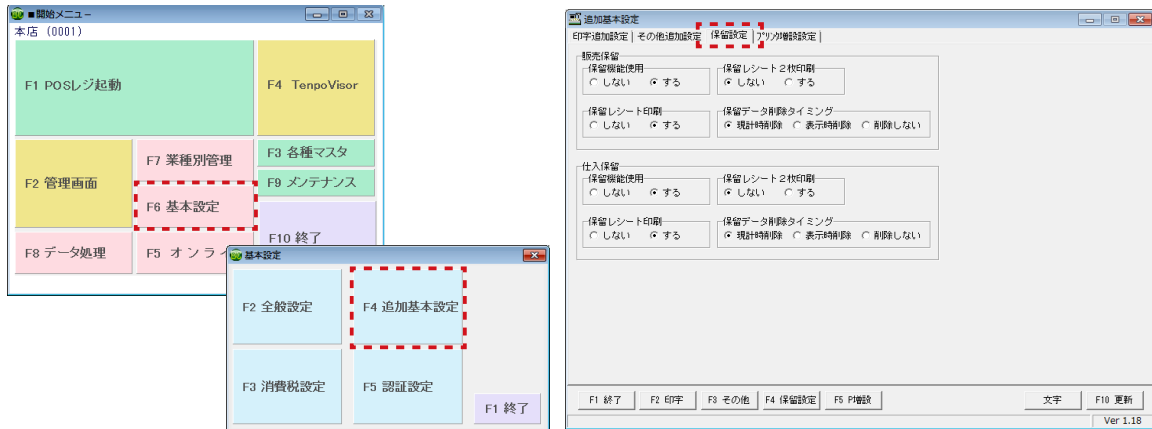


日報	
販売返品伝票処理時客数減らす	【しない】…人数を減らしません。 【する】…全明細が返品時、来客数の人数を減らします。
入金処理のみの時、客数カウント	客数のカウント設定。 ※売掛入金はカウントします。
単品値引表示使用	販売時に、商品の金額を変更した場合(かつ、マスタ更新を行わない)、日報に「単品値引」として金額が表示されます。
買取を引いた客数を分けて表示 ※リサイクル OP 必要	【しない】…買取も客数にカウント。 【する】…買取した客数を引いた来客数を表示。
販売と買取の客数を分けて表示 ※上記設定を【する】にしたとき設定可能	【しない】…分けません。 【する】…来客数・買取客数と分けて表示。
売掛入金現金のみ収支に反映	【しない】…すべて収支に反映します。 【する】…売掛入金現金のみ収支に反映します。

商品券設定	
商品券使用	複数種類に対応した商品券機能を使用…【する】【しない】詳細は P-124 参照
カスタマに残金表示	【しない】…カスタマに表示する合計金額は商品券分を含めた金額で表示する場合に使用。 【する】…カスタマに表示する合計金額は商品券分を引いた残金で表示する場合に使用。
ポイント率	商品券に対してのポイント率を設定。

その他	
金額変更時、マスタ更新確認画面	【する】の場合、レジ画面の商品呼出で(全ての処理)、金額変更した場合に、マスタ金額の更新を行うか確認画面が出ます。
マスタの主仕入先を仕入検索した仕入先に変更	【する】の場合、仕入画面で仕入先検索(SF5仕検)を行い、指定した仕入先を指定すると、マスタも変更します。
返品時、預り金入力禁止	返品処理時に小計画面にて預り金の入力を…【する】【しない】
一括返品処理	返品処理を一括または、単品毎に行う設定。詳細は P-143 参照
値引理由使用	商品値引時に、値引理由を選択し(登録は各種マスタ「値引理由」P-80)ジャーナルに記載。集計は Tenpovisoer で閲覧可能
商品検索時、該当商品がない時メッセージを表示※強調表示設定	該当商品が無い場合に、メッセージ BOX の表示設定 ※レジ画面「メッセージフィールド」(P-38 参照)には常時「該当データがありません」と表示します。
該当商品がない場合音を鳴らす	音を鳴らす設定 ※音を鳴らすにはスピーカーが必要となります。
音の設定	情報・警告・問合せのどれに割り当てられたサウンドを再生するか指定。 ※サウンド設定 ON で設定されている音量が鳴ります。(ミュートの場合、音は鳴りません)
クレジットと売掛併用可能とする	小計時、クレジット払いの残金を売掛とする…【する】【しない】
販売時に顧客入力必須	販売の際に顧客入力を行わなくても精算…【する】【しない】 ※【する】にすると、顧客コードの入力を行わないと小計画面へ進めません。
小計画面にテンキー表示	小計画面にタッチパネル用のテンキーを表示…【する】【しない】
セット販売使用	セット販売(バンドル販売)機能を使用…【する】【しない】詳細は P-105 参照 ※ミックスマッチ販売機能と併用はできません。
顧客カルテ使用	顧客カルテ機能を使用…【する】【しない】詳細は P-154 参照
ミックスマッチ販売使用	ミックスマッチ販売機能を使用…【する】【しない】詳細は P-110 参照 ※セット販売と併用はできません。

■ 保留設定 (追加基本設定 > 保留設定)



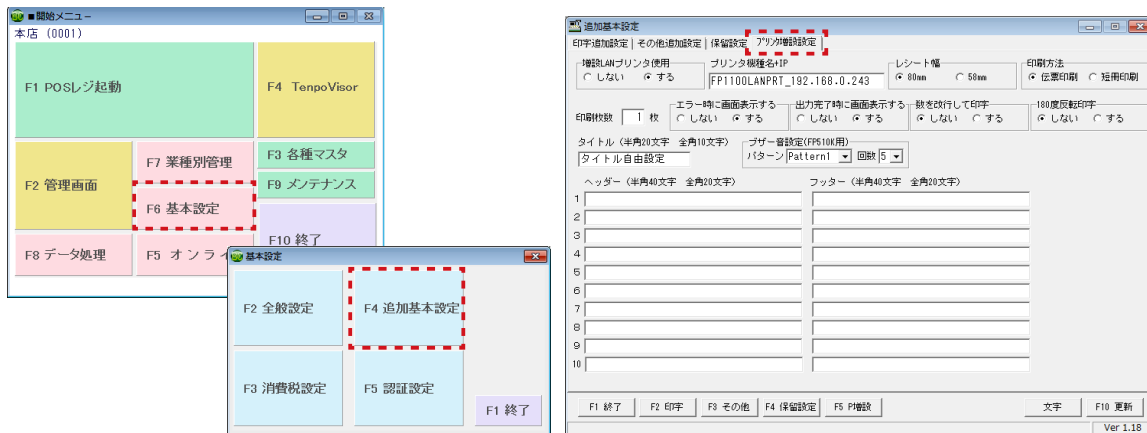
販売保留	
保留機能使用	販売保留機能の使用設定。販売保留機能 P-129 参照
保留レシート印刷	保留レシートの印刷設定。
保留レシート2枚印刷	保留時のレシート発行枚数設定。
保留データ削除タイミング	現計時削除…現計処理したときに保留 DB から削除されます。 表示時削除…レジ画面に表示したときに保留 DB から削除されます。 削除しない…保留 DB に記録した保留を手動でのみ削除する場合に指定します。

仕入保留	
保留機能使用	仕入保留機能の使用設定。仕入保留機能 P-98 参照
保留レシート印刷	保留レシートの印刷設定。
保留レシート2枚印刷	保留時のレシート発行枚数設定。
保留データ削除タイミング	現計時削除…現計処理したときに保留 DB から削除されます。 表示時削除…レジ画面に表示したときに保留 DB から削除されます。 削除しない…保留 DB に記録した保留を手動でのみ削除する場合に指定します。

※オーダリング設定表示 [Alt]+[Ctrl]+[Shift]+[F12]

■ プリント増設設定 (追加基本設定 > プリント増設設定)

プリント増設設定は、BCPOSにLANプリンタを増設し、BCPOSの販売情報を通常のレシートと、増設したプリンタへ短冊・伝票で出力する機能です。※機器の設定や詳細なマニュアルについては、別途お問合せ頂くか User Support(WEB サイト)を参照。



追加基本設定

増設 LAN プリント使用	LAN プリント使用する場合【する】に設定
プリンタ機種名 +IP	FP1100LAN プリントの場合「FP1100LANPRT_192.168.150.150」 ※ IP アドレスは設定例です KP510KLAN プリントの場合「KP500KLANPRT_192.168.150.150」 状況により異なります
レシート幅	使用するレシート幅で設定してください。
印刷方法	下図を参照して、伝票印刷または短冊印刷を設定。
印刷枚数	増設したプリンタから上記レシートを出力する枚数設定。
エラー時に画面表示する	【する】にすると、印刷ログ管理画面が表示され、再印刷が可能です。
出力完了時に画面表示する	【する】にすると、印刷完了時に「売上明細を正常に出力しました」と表示します。
数を改行して印字	商品の行と数量の行を分けて印字します。※伝票印刷のみ有効
180 度反転印字	レシートが出てくる方向を、反転して出力します。(プリンタの種類や設置方法により有効)
タイトル	レシートのタイトルを設定します。(半角 20、全角 10 文字以内)※伝票印刷のみ有効
ブザー音量設定	レシート出力時の印字音と、繰返しの回数を設定できます。※ KP510K プリントのみ有効
ヘッダー 1 ~ 10	伝票印刷時に、ヘッダー部分の印字内容を設定 ~ 10 行まで (半角 40、全角 20 文字以内)
フッター 1 ~ 10	伝票印刷時に、フッター部分の印字内容を設定 ~ 10 行まで (半角 40、全角 20 文字以内)

■ 通常の販売レシート (見本)

※ レジ横プリンタから出力

東京都文京区関口1-20-10 TEL.03-3235-6900 http://www.busicom.co.jp ** 販売 **			
2010/04/01(金) 12:01	店0001	No 0002	
担当者 0001:BC販売員			
会員番号 0001-00001		〇〇〇〇様	
コード	数	品名	金額
200-000102-000	1	ハンバーガー	300
310-034450-000	1	フライドポテトS	180
210-100580-000	1	グリーンサラダ	220
211-100650-000	1	カフェテ	220
外税対象額			900
消費税(8%)			72
セト値引			-20
合計 4点			¥ 972
<ポイント情報>			
ポイント対象額			972
加算ポイント			97
残りポイント			625
ご来店、ありがとうございます。			

■ 伝票印刷 (見本)

※ 増設プリンタから出力

注文伝票	
ご注文いただきありがとうございます。	
2014/11/13(木) 10:45	No 0004
担当者 0001:店長	
品名	数
□ ハンバーガー	1
□ フライドポテトS	1
□ グリーンサラダ	1
□ カフェテ	1
調理時間にお時間を頂く場合がございます。	

■ 短冊印刷 (見本)

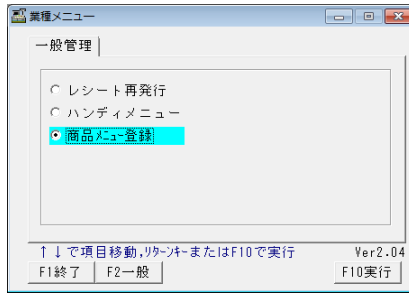
※ 増設プリンタから出力

2014/11/13(木) 10:45	No 0015
担当者 0001	(001/004)
□ ハンバーガー	1
2014/11/13(木) 10:45	No 0015
担当者 0001	(002/004)
□ フライドポテトS	1
2014/11/13(木) 10:45	No 0015
担当者 0001	(003/004)
□ グリーンサラダ	1
2014/11/13(木) 10:45	No 0015
担当者 0001	(004/004)
□ カフェテ	1

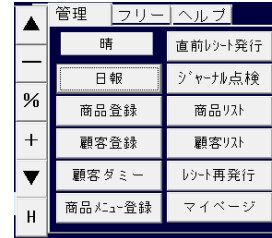
※ 短冊印刷・短冊印刷共に、パーシャルカット

⑥ 商品メニューボタン登録 (レジ画面)

商品メニューボタンを登録します。
開始メニュー > F7 業種別管理 > 「商品メニュー登録で」商品メニュー登録画面を開きます。



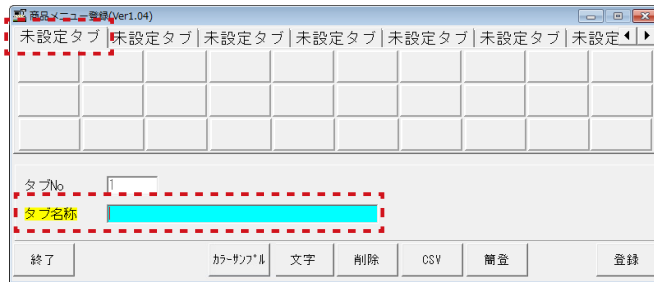
※レジ画面から(何も読まない状態)「H」ボタン>「商品メニュー登録」



1 - タブメニュー登録

タブとは商品メニュー登録上部にある(未設定タブ)で、メニュー切換を行えます。

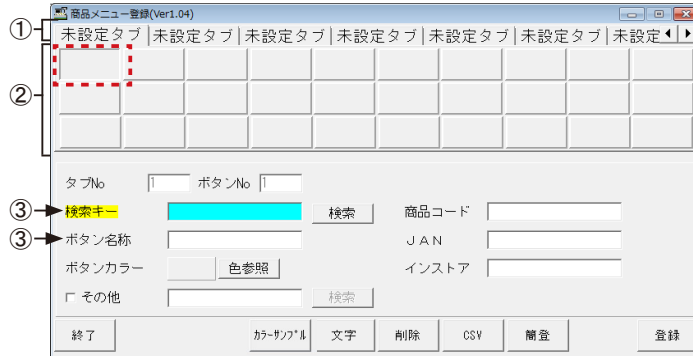
- ① 未設定タブを押し「タブ名称」を入力します。
- ② 「登録」を押します。
- ③ 「タブを登録しました」と出ますので「OK」を押す。
※登録後にレジ画面を開き押してください。



2 - 商品のメニューボタン登録

- ① 登録したいメニューボタンを押します。
- ② メニューボタン登録画面が開きます。
- ③ 検索キーに「コードを入力して検索」するか、ボタン名称に「商品名を入力して検索」します。
※コード検索はJANが優先です。別々の商品でJANとインスタに同一コードがある場合、JANに登録がある商品呼び出します。(商品コードは重複しないため対象外です)

※ボタン名称検索は検索キーに入力した文字を、全角半角関係なく部分一致で検索します。



コード検索 (例: 「49123」で検索)

検索キー: 49123 検索

ボタン名称: _____

「49123」を含む商品を表示。登録したい商品をクリック

商品コード	JAN	インスタコード	商品名
400000002000	4912345000019	736211101169	トヤツ/フル/S
401000001000	4912345000040	0040211	キャミソール/01/S
401000002000	4912345000057	11g	キャミソール/02/M
402000001000	4912345000071	0040211	ニット/01/S
402000002000	4912345000085	0040211	ニット/02/M

- ④ 登録したい商品をタッチで、ボタン名称に商品名を入力

検索キー: 4912345000019 検索

ボタン名称: トヤツ/フル/S

名称検索 (例: 「クラフト」で検索)

検索キー: _____ 検索

ボタン名称: クラフト

「クラフト」を含む商品を表示。登録したい商品をクリック

商品コード	商品名
600000020000	クラフトはさみ トンネル
600000021000	クラフトはさみ ミニゼミサークル
600000022000	クラフトはさみ ラージゼミサークル

- ④ 登録したい商品をタッチで検索キーに商品コードを入力

検索キー: 600000020000 検索

ボタン名称: クラフトはさみ トン

商品メニューボタン登録

66 商品メニューボタン登録 (商品メニューボタン登録)

⑤ 商品マスタの名称を使用しないで、ボタン名称の設定をする場合⑥へ。

商品マスタの名称を使用して、ボタンの色を設定したい場合は⑦へ、そのまま良い場合は⑨へ進みます。

⑥ ボタン名称は2行表示できます。

※ボタン名称は、商品マスタの商品名とは別の名称を登録できます。

すべて半角だと1行に10桁、それ以上入力すると文字が切れてしまいます。文字数にもよりますが、スペースを入れることによってスペースのあとが改行され2行目になります。(全角の場合6文字目で改行されます)

⑥

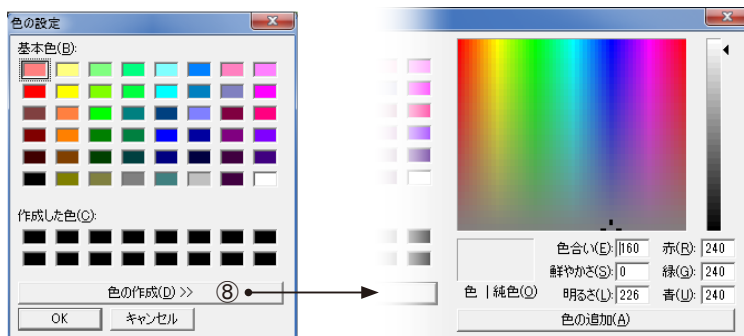
⑦

⑦ ボタンの色も自由に設定が可能です。

「色参照」ボタンを押すと、色パレットを表示します。

⑨

⑩



色の作成ボタンを押すと、パレット横に色作成画面を表示

⑧ 基本色以外に「色の作成」で自由に色を作成できます。「OK」を押すと色参照ボタン横のボタンの色が変わります。

※色の追加(作成した色)は登録画面を閉じるまで保存されていますが、1度登録画面を終了するとなくなります。

⑨ 「カラーサンプル」は、簡易登録機能で使用します。

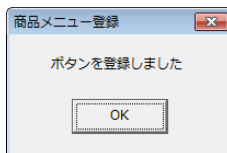
ボタンを押すと、カラーコード付の色見本をWEBブラウザで表示します。

簡易登録機能の「カラーコード」欄に、コード入力する際に使用します。(P-68「タブ・メニューボタンの簡易登録機能」を参照)

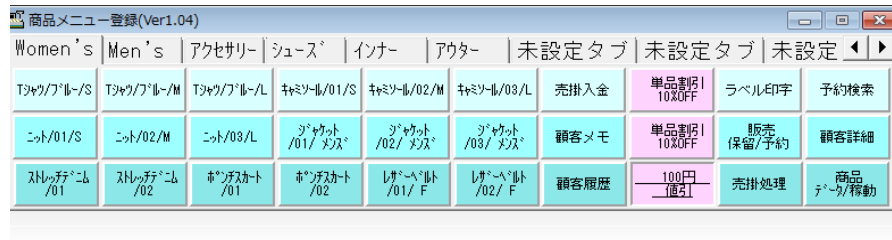
⑩ 画面右下の「登録」ボタンを押します。

「ボタンを登録しました」と表示されるので「OK」を押してください。

該当箇所にボタンが登録されますので名称や色を確認してください。



※レジ画面を開いていた場合には、レジ画面を再起動しなければレジ画面には反映されません。



3 - タブ・メニューボタンの修正

① 登録したボタンを選択すると訂正が行えます。選択しているボタンはへこみ、名称にアンダーラインが表示します。

※商品・部門割当キー・顧客の場合はボタン名称を登録してある名前と違う名前で登録している場合、検索ボタンを押してしまうとマスタの名前に変わってしまうのでご注意ください。

検索を押すと

タブNo ボタンNo

検索キー

ボタン名称

商品マスタの名前に変更されてしまう

タブNo ボタンNo

検索キー

ボタン名称

4 - タブ・メニューボタンの削除

① 削除したい、メニューボタンをクリックします。

② 画面下中央の「削除」ボタンを押します。

③ メニューボタンは、設定されていた項目が消えて初期の状態になります。

④ 削除したいタブボタンをクリックします。

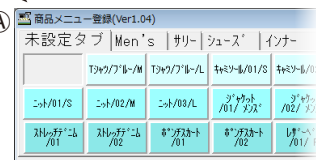
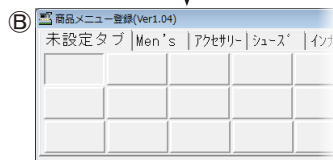
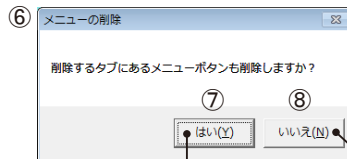
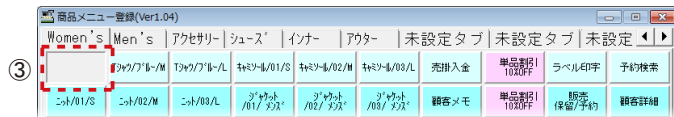
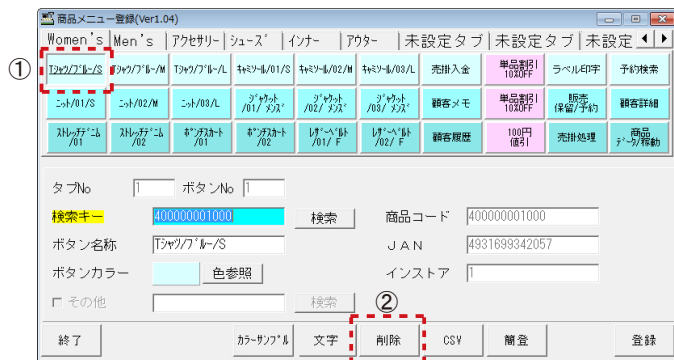
⑤ 画面下中央の「削除」ボタンを押すと、確認ダイアログが表示されます。

※下記の作業は特に注意をしてください。

⑥ 続いて、削除タブに含まれているメニューボタン（表示されているメニューボタン）も一緒に削除するか聞くダイアログが表示されます。

⑦ 「いいえ」を選択すると、タブボタンは名前が消え、初期化され⑧「未設定タブ」となります。

⑧ 「はい」を選択すると、タブボタンは名前が消え、初期化され⑨「未設定タブ」となり、削除したタブに含まれているメニューボタン（表示されているメニューボタン）も全て削除されます。



商品メニューボタン登録

5 - タブ・メニューボタンの簡易登録機能

タブとボタンは各種マスタのようにデータベースに直接登録することも可能です。

- ① 登録画面の「簡登」ボタンを押します。
- ② タブの場合「タブ」^(A)
メニューボタンの場合は「メニュー」^(B)を選択
- ③ 登録したいレコードをタッチします。
- ④ 各、登録画面が開きます。
- ⑤ 下図、項目名・備考とを参照して、登録を行います。
※必ず登録のある商品コードや部門割当キーを登録しないとレジで呼び出せません。
※「その他」は、P-70 参照
- ⑥ カラーコードの入力は、下記「※カラーコードについて」を参照してコードを入力します。
- ⑦ 「登録」を押します。
- ⑧ 「登録しました」のメッセージが表示されます。続けて登録する場合は「新規」ボタンを、すでに登録がある場合は「◀」「▶」で前や次へ移動できます。

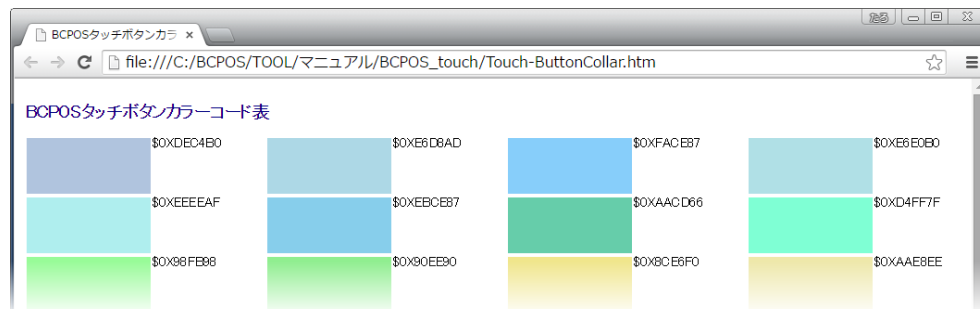
※簡易登録は商品の登録がなくても登録できますが、修正等での利用を推奨します。

タブ	
項目名	備考
タブ No	1 ~ 15 まで。 同じ数値を入力し登録しようとしても「DB に登録が出来ませんでした」と表示されます。
メニュー名称	半角 34 文字以内 (推奨、半角 10 文字以内)

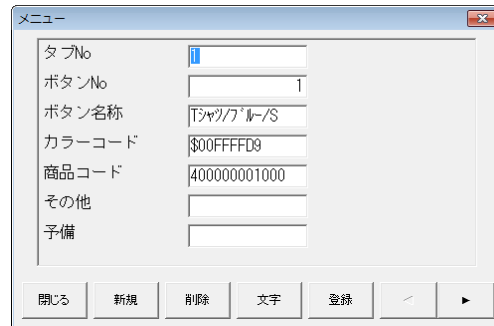
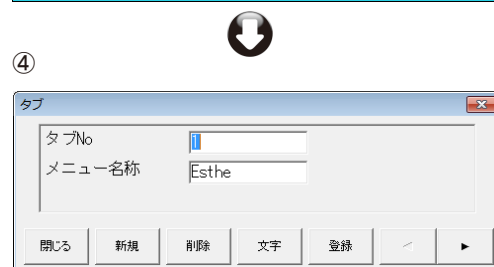
メニューボタン	
項目名	備考
タブ No	1 ~ 15 まで ※数値が入っていれば変更しない
ボタン No	1 ~ 30 まで ※数値が入っていれば変更しない
ボタン名称	半角 20 文字以内
カラーコード	入力がないと簡易登録画面終了時にエラーになります。(下記参照)
商品コード	12 桁の商品コード (JAN・インストアコードは入りません)
その他	
予備	

※ カラーコードについて

カラーコードの入力は、登録画面下部のメニュー「カラーサンプル」ボタンを押すと、カラーコード付の色見本を、WEB ブラウザで表示しますので、「カラーコード」欄に、サンプルから好きなカラーを選んで、コードをコピー&ペーストして使用します。



※上記にありませんがデフォルト値は「clBtnFace」になります。



※ 文字入力 (補助機能) について

文字入力機能の使用設定 P-50

キーボードを使用しなくても各種画面に「文字」というボタンがあれば、下図文字入力画面が起動して入力することができます。カーソルがある場所の文字を入力することになります。

① 【文字種別】

現在選択されている種類は赤枠表示になります。

② 【クリアなど】

- [DEL] カーソルの後ろの文字を削除
- [BS] カーソルの前の文字を削除
- [←] カーソルを左に移動
- [→] カーソルを右に移動
- [クリア] 一時入力欄に入力されている確定済みの文字をすべて削除。

③ 【文字選択】

入力したい行などを選択。選択すると下に候補の文字が表示。
例: 「あ」を押せば下④に「あいうえお」が表示されますので、入力した文字を選択します。

④ 【候補文字】

文字選択で選んだ文字の候補を表示。ここを押すと一時入力欄に入力されます。

⑤ 【一時入力欄】

選択された文字が表示されます。

⑥ 【カナ変換など】

- [ESC] 変換途中の文字を戻し、再度押すと削除
- [小文字] 小文字と大文字の切り替えボタン
- [スペース] スペースボタン
- ※半角英数・半角数字・記号の時は半角のスペースになります。
- [カナ変換] ひらがなを入力中に押すと全角のカタカナに変換
- [半角カナ変換] ひらがなを入力中に押すと半角のカタカナに変換

⑦ 【変換・確定】




- [変換] 入力した文字をボタンを押すたびに漢字などに変換
- [確定] 変換中の文字を確定

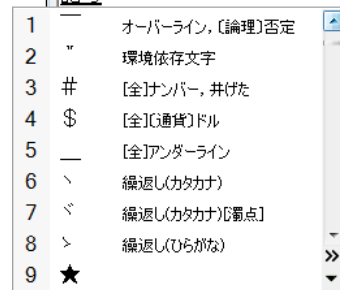
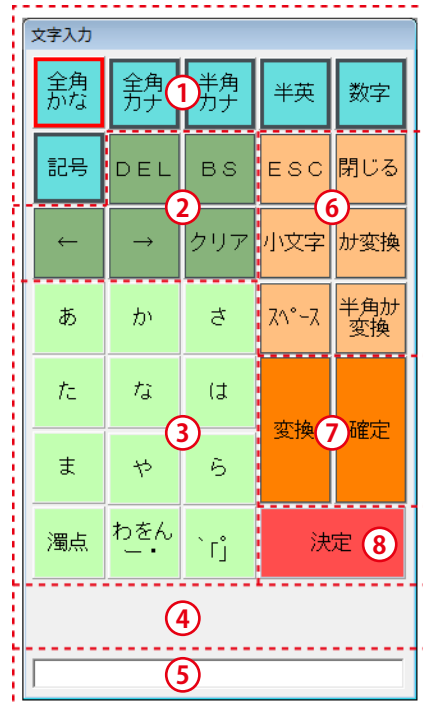
⑧ 【決定】

文字入力画面が消え、一時入力欄に入力した文字がカーソルがあった場所に入力されます。
確定していなくても決定を押すと確定とみなされます。

【特殊文字】

特殊な記号を入力したい場合は「記号」ボタンから変換してください。

- ① 全角ひらがなの  >  >  を押してください。
- ② 一覧が表示するので、その中から特殊記号を選択してください。



※入力したい場所にすでに入力がある場合に文字入力を起動すると、一時入力欄にすでに入力してある文字が入力されて起動します。その際カーソルは一番後ろにきます。
文字入力画面を開いたまま違う場所を選択しても、最初に選択した場所に入力されます。
入力する場合は必ず入力する項目を選択した状態で「文字」ボタンを押してください。
入力する項目を削除(空欄)にする場合は一時入力欄を空欄にして決定してください。
同じボタンを続けて押す場合は1秒以上空けてください。

6 - ファンクションキー等のメニューボタン登録

- ① 登録したい場所のボタンを押します。
- ② 「その他」をチェックします。
- ③ 下の表に記載したコードが登録できます。
※検索ボタンを押しても反応はありません。
- ④ ボタン名称に好きな名前を入力してください。
- ⑤ 「登録」ボタンを押して登録してください。

検索キー	<input type="text"/>	検索
ボタン名称	10%値引	
ボタンカラー	<input type="text"/>	色参照
<input checked="" type="checkbox"/> その他	/90	検索

これらのコードは、商品呼び出したあとの画面など、それぞれの作業の工程により使用するタイミングが違います。

※ 設定しないと使用できないコードもあります。

※プログラムの登録も可能ですので、下記リストにない機能を登録したい場合は別途お問合せください。

コード	内容	コード	内容
SYOKEI	小計	ONSALE	発売日変更(当日)
URIKAKE	売掛	ONSALEIN	発売日変更(日付指定)
FUNC01	終了・中止	LOGIN	登録日変更(当日)
FUNC02	金額変更・ポイント修正	LOGININ	登録日変更(日付指定)
FUNC03	数量変更	STAFFxx	xxの担当者に変更(xxは数字)
FUNC04	取消・売掛入金	KIGEN	会員期限日更新(1年後)
FUNC05	商品検索	KIGENIN	会員期限日更新(日付指定)
FUNC06	値引・仕入日入力	RANKx	ランクをxに変更(xは数字)
FUNC07	販売、仕入画面の切替・チケット	BARISSUE0	バーコード発行枚数0
FUNC08	返品	BARISSUE1	バーコード発行枚数1
FUNC09	小計・仕入予約検索	SHOUKENxx	xxの商品券呼出し(xxは商品券登録コード)
FUNC10	現計・実行	BLACK0	ブラックOFF
FUNC11	顧客情報詳細	BLACK1	ブラック1
FUNCS01	出金・ラベル	BLACK2	ブラック2
FUNCS02	入金	BLACK3	ブラック3
FUNCS03	商品データ詳細 / 商品稼動	BLACK4	ブラック4
FUNCS05	顧客検索・仕入先検索	BLACK5	ブラック5
FUNCS06	領収書発行・メモ	以下、プログラムの登録(例)	
FUNCS07	移動入・履歴	@GList	商品リスト
FUNCS08	移動出・過去	@GMaster	商品マスタ
FUNCS09	サービス・仕入予約登録	@GtaxSet	税種別変更
KARIHANBAI	販売予約・保留登録	@Nippoh	日報
FUNCS11	販売予約・保留検索	@Jarnal	ジャーナル点検
ZAIKOON	在庫管理フラグON	@Saihatsu	レシート再発行
ZAIKOOFF	在庫管理フラグOFF	@MemHist	顧客購買履歴
POINTON	ポイントフラグON	@MList	顧客リスト
POINTOFF	ポイントフラグOFF	@MMaster	顧客マスタ
以下のxxは数字			
/xx	単品%値引 例:10%引の場合=(/90)	+xx	単品割増
-xx	単品値引 例:100円引の場合=(-100)	*xx	数量変更

例) ファンクションキー等ボタン登録

ファンクションキー(操作ボタンフィールド)で、▼ボタンを押さないと表示されないキーや、良く使用する商品の単品値引等をレジ画面のメニューボタンとして下図の様に登録が可能です。

商品マスタ	顧客マスタ	売掛	売掛入金	単品値引 -100円	単品割増 +100円	予約販売	予約検索
商品リスト	顧客リスト	入金	出金	単品値引 -200円	単品割増 +200円	売価変更	売数変更
日報	ジャーナル	顧客詳細	顧客履歴	10% OFF	20% OFF	ラベル発行	レシート再発行

7 - 部門販売用メニューボタン登録

単品管理をしない商品を部門販売する場合に、部門マスタ設定で「部門割当キー」の登録があれば、商品メニューボタンに「部門販売用のメニューボタン」を登録できます。(※ 部門割当キーが登録されている事。部門割当キーの登録はP-76 参照)

- ① 登録したい場所の商品メニューボタンを押します。
- ② 「その他」を押すとチェックが入ります。
- ③ 横のテキストBOX に部門マスタで登録したキーを入力します。
- ④ 検索ボタンを押すとボタン名称に該当する部門名が入力されます。
- ⑤ ボタンの色を変更する場合は前ページを参照してください。
- ⑥ 「登録」ボタンを押せば登録されます。

例) 部門割当てキーメニューボタン登録



検索キー

ボタン名称

ボタンカラー

その他



検索キー

ボタン名称 **飲料水**

ボタンカラー

その他

8 - 顧客のメニューボタン登録

例) 顧客のメニューボタン登録

会員カードを使った顧客管理は行わないが、来店顧客の年代・性別・属性等を知りたい場合、年代別・性別・属性別に顧客マスタに登録し、顧客をメニューボタンに登録する事で簡単に分析ができます。

※ 顧客マスタ(P-89 参照) に顧客が登録されていることが前提。

- ① 登録したい場所のボタンを押します。
- ② 「その他」に☑を入れて、顧客コード 10 桁を入力します。
- ③ 検索ボタンを押すとボタン名称に該当する顧客名が入力されます。
- ④ 「登録」ボタンを押せば登録されます。

検索キー

ボタン名称

ボタンカラー

その他

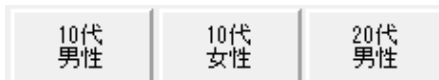


検索キー

ボタン名称 **20代男性**

ボタンカラー

その他



9 - 商品券のメニューボタン登録

例) JCB ギフト券 3,000 円 の場合 SYOKEN008

販売画面から、商品券を呼出す場合「F7 チケット」>「商品券選択」>「確定」と、3 回の処理が必要ですが、メニューボタンに登録する事で、1 回で商品券を呼出せます。

- ① 登録したい場所のボタンを押します。
- ② 「その他」に☑を入れて、SYPKEN と入力後数字 3 桁で登録したい商品券 No を入力します。

※ 商品券マスタ上で No が「8」の場合は、入力する数字は「008」と 3 桁で入力します。

- ③ 「登録」ボタンを押せば登録されます。

商品券マスタ登録

2013年11月21日(木) 登録件数=8件 18時20分現在

店舗名 **ビジコム江戸川橋店(0001)**

No

券名称

金額 0:商品券 1:ギフト 2:値引

種別 商品券 チケット チケット値引

No	名称	種	金額	税	ポ	約
1	図書券	0	500	2	True	True
2	ビール券	0	1000	2	True	True
3	QUOカード1000	0	1000	2	True	True
4	QUOカード3000	0	3000	2	True	True
5	VISAギフト券1000	0	1000	2	True	True
6	VISAギフト券3000	0	3000	2	True	True
7	JCBギフト券 1000	0	1000	2	True	True
8	JCBギフト券 3000	0	3000	2	True	True

商品券 (F7) の登録と使用方法は P-124 参照

商品メニューボタン登録

10 - タブ・メニューボタンの CSV 切り出し・取り込み

タブとボタンは CSV に切り出すとともに、取り込むこともできます。

- ① 登録画面の「CSV」ボタンを押します。
 - ② 処理内容・ファイル内容・取込ファイルを選択します。
- ※ メニューボタンに1度に取り込める件数は250件までです。それ以上になる場合はファイルを分けてください。切り出す際も250件でファイルを分けます。指定したファイル名の後ろに(1)(2)が自動でつきます。

処理内容	CSV ファイルの取り込みか切り出しかを選択
ファイル内容	タブかメニューボタンかを選択
取込ファイル (切出ファイル)	処理内容が取り込みの時は取り込みするファイルを指定 切り出しの時は切出し先を指定 参照ボタンで指定可能
第1レコードは取り込まない (第1レコードに項目名をつける)	取り込みの時は最初の1件目を取り込むかどうか 切出し時は項目名をつけるかどうか

タブ CSV フォーマット

項目名	入力可能桁数	備考
タブ No	2	1 ~ 15 まで
メニュー名称	半角 40 文字	

メニューボタン CSV フォーマット

項目名	入力可能桁数	備考
タブ No	2	1 ~ 15 まで
ボタン No	2	1 ~ 30 まで
ボタン名称	半角 20 文字	エクセルなどで作成する場合は「”」や「,」は使用しないでください。
カラーコード		入力がない場合はデフォルトの画面背景と同じ色になります。
商品コード	12	部門割当キーに入力がない限り、商品コードに入力がないと取り込めません。登録されていないコードを入力しても取り込めません。
部門割当キー	2	部門マスタに登録がある半角英数を入力
予備 1		使用しません
予備 2		使用しませんがエクセルなどで作成する場合は必ず 0 を入力

※ 下記の数字は「商品メニューボタンCSV フォーマット」「ボタンNo」の配置図になります

※ マスタ作成を行う前にお読み下さい

BCPOS のマスタ作成で一番重要なのは部門の設定です

部門が設定されていないと BCPOS 上での商品登録や商品リストなどが利用できず、あらゆるプログラム上で制約を受けます。

(他のマスタを、設定しない場合でも POS 業務を行うことは可能です)

■ マスタの作成手順概要 ■

□ 手順① - 部門マスタの作成 (必須)

P-74「部門コードについて」を参照後、
P-76「部門マスタ設定」を参照して作成してください。

□ 手順② - 商品マスタ・仕入先マスタの作成

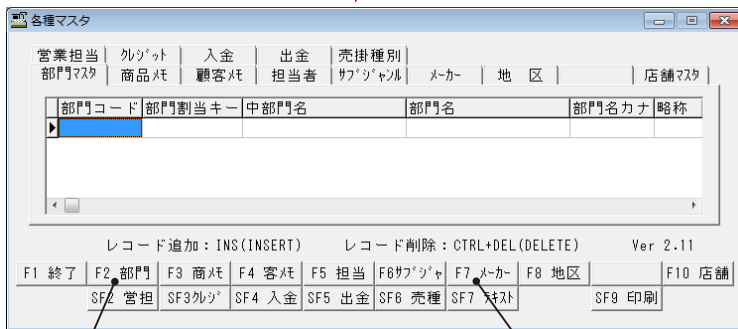
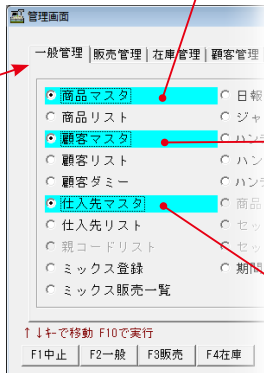
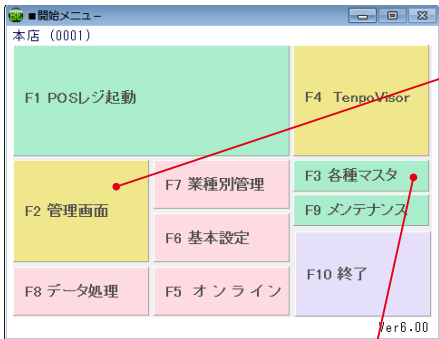
P-81「仕入先マスタ登録」を参照して作成してください。
P-82「商品マスタ登録 (新規)」を参照して作成してください。

□ 手順③ - 顧客マスタの作成

P-89「顧客マスタ登録 (新規)」を参照して作成してください。

※ 上記以外にも、運用により必要なマスタは御座いますが、各業務の欄を参照してマスタ作成してください。

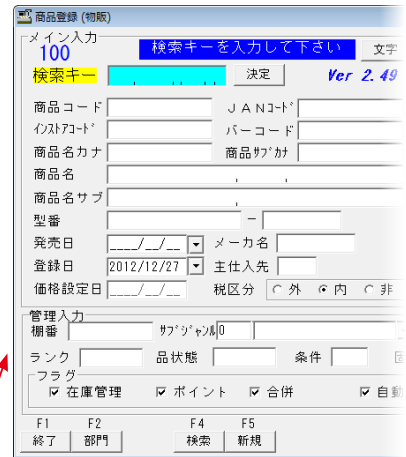
■ 主要マスタへのアクセス方法 ■



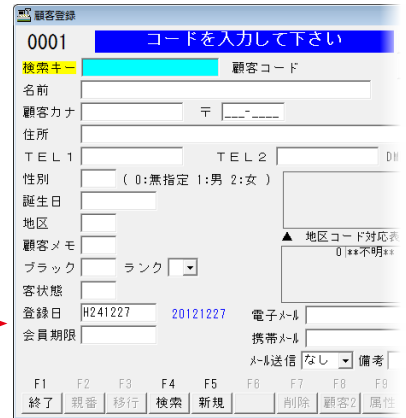
部門マスタ - P76

メーカーマスタ - P79

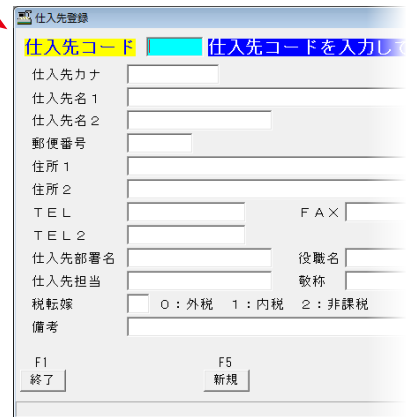
商品マスタ - P82



顧客マスタ - P89



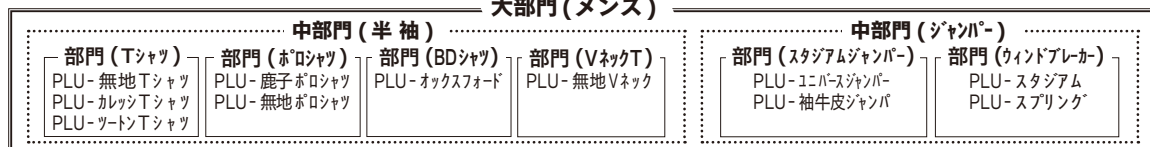
仕入先マスタ - P81



各種マスタ登録

※ 部門コードについて (商品コード構成)

商品を登録する上で、最初に部門を作成(必須)しますが、作成する際にはグループ単位の、集計や検索をどの様に行うかを決めてから作成してください



- 部門 (部門コード 3桁) とは
商品 (PLU=単品) を、グループ化 (最大 200 部門) します (1 つの部門に理論値で最大 99 万個の PLU が登録可能)
 - 中部門 (部門コード先頭 2桁) とは
部門 (最大 200 個) を、グループ化 (最大 90 個) します (1 つの中部門には最大で 10 個の部門を登録可能)
 - 大部門 (部門コード先頭 1桁) とは
中部門 (最大 90 個) を、グループ化 (最大 9 個) します (1 つの大部門には最大で 9 個(注1)の中部門を登録可能)
- 注1) 部門コード先頭1桁の「0」は、特殊業務 (オプション機能) に使用されるので使用しないで下さい。
使用すると、日報等の計算方法が異なりますのでご注意ください
- 注2) 部門コード先頭1桁の「1」は、リサイクル業務 (オプション機能) で使用されます。
販売業務で使用出来ませんが、リサイクルと販売業務を兼務する場合、「1」はリサイクルのみで使用してください。

■ 商品コード構成



注) 枝番は、運用方法により様々な使い方があります。(別途お問合せください)

- 【部門コード=3桁】
321 部門 = 先頭から 3 桁目までの数値となります (大・中部門に含まれる為、先頭から 3 桁のコード) 例) 上記、部門コードのコード範囲は、321 (ウインドブレイカー) 部門内の PLU (スタジアム & スプリング) を含みます
- 【中部門=先頭から2桁目までの数値となります (大部門に含まれる為、先頭から 2 桁のコード) 例) 上記、中部門コード 32 (ジャンパー) のコード範囲は、部門 320 (スタジアムジャンパー) ~ 329 部門の PLU (ユニバースジャンパー... ~ スプリング) を含みます
- 【大部門=先頭から1桁目の数値となります (大部門だけの為、先頭から 1 桁のコード) 例) 上記、大部門コード 3 (メンズ) のコード範囲は、300 ~ 399 の中部門・部門となり PLU (無地 T シャツ... ~ スプリング) を含みます

※部門設定例

大部門 (先頭 1 桁)		中部門		部門 (3 桁)		連番	商品名	枝番	商品コード (PLU)				
コード	名称	コード	名称	コード	名称				部門 +	連番	+ 枝番		
3	メンズ	31	半袖	311	T シャツ	000001	無地 T シャツ	000	>	311	000001	000	
					000002	カレッジ T シャツ	000	311		000002	000		
					000003	ツートン T シャツ	000	311		000003	000		
				312	ポロシャツ	000001	鹿子ポロシャツ	000		312	000001	000	
					000002	無地ポロシャツ	000	312		000002	000		
					000001	オックスフォード	000	313		000001	000		
		314	Vネック	000001	無地 Vネック	000	>	314	000001	000			
		32	ジャンパー	320	スタジアムジャンパー	000001	ユニバースジャンパー	000	>	320	000001	000	
						000002	袖牛皮ジャンパー	000		320	000002	000	
				321	ウインドブレイカー	000001	スタジアム	000		>	311	000001	000
						000002	スプリング	000			311	000002	000
						000001	キャラクター	000			200	000001	000
						000002	ボーターシャツ	000			200	000002	000
000003	マリントシャツ	000	200	000002	000								
000001	無地ポロシャツ	000	201	000001	000								
2	ウィメンズ	20	半袖	200	T シャツ	000001	キャラクター	000	>	200	000001	000	
					000002	ボーターシャツ	000	200		000002	000		
					000003	マリントシャツ	000	200		000002	000		
		201	ポロシャツ	000001	無地ポロシャツ	000	201	000001		000			
				000001	無地ブラウス	000	>	202		000001	000		
21	スカート	210	ミニスカート	000001	フレアミニ	000	>	210	000001	000			
				000002	タイトミニ	000		210	000002	000			
		211	ロングスカート	000001	コットンロング	000		>	211	000001	000		

各種マスタ登録

⑦ 各種マスタ登録

各種マスタの登録を行う前に下記内容をお読みになって下さい。

各種マスタの追加はキーボードを使用する場合には [Insert] キーを押してください。
 削除はキーボードの [Ctrl]+[Delete] キーを押してください。
 項目を入力や変更した場合には、そのレコード (行) の上下いずれかのレコードの項目にカーソルを移動してください。(これをしていただかないと反映されません。)
 また、タッチ用入力画面に切り換える事も可能です。P-73「入力モードの切換」を参照



F3 各種マスタ画面 【詳細説明用 - 目次 -】

部門マスタ	…………… P - 76	クレジット	…………… P - 80
商品マ	…………… P - 78	入金	…………… P - 80
顧客マ	…………… P - 78	出金	…………… P - 80
担当者	…………… P - 78	売掛種別	…………… P - 80
サブジャンル	…………… P - 79	値引理由	…………… P - 80
メーカー	…………… P - 79		
地区	…………… P - 79		
店舗マスタ	…………… P - 79		
営業担当	…………… P - 80		

上部タブと下部タブは、同じ設定項目を呼び出します。
 また、下部タブに記載されているファンクションキー (F1 ~ F10、SF2 ~ SF8) を押しても同じ設定項目を呼び出します。



各種マスタ登録

7-1 部門マスタ設定

部門マスタを作成します。商品コードの中に含まれる重要なコードとなります。

[開始メニュー] → [F3 各種マスタ] を選択すると [部門マスタ] が表示されます。

マスタが反転してブルーの箇所は入力できます。(クリックで次項の「部門入力フォーム」が表示されます)

※別の項目を開いている場合は [F2 部門] を押すと部門マスタ画面になります。

□ 部門コード

部門コードは P-74 「部門コードについて」を参照して、3桁のコードを入力します。

□ 部門割当キー

単純に部門売上(金額入力+部門)を立てたいときには [部門割当キー] を登録しておきます。

キーボードの、アルファベットキーの1~2桁(例: a, Aa, aa, a, A1, a1等)を使用して [部門割当キー] を設定します。

レジ画面で商品コードを入力しなくても [金額] の後に [部門割当キー] を入力し [Enter] を押せば

割り当てられた部門に売上が立ちます。※先頭に数値、数値を2つは設定不可となります。

例: [単価 3150円] 婦人服シャツプリント柄の部門割当キーを [A1] とする場合

《キー操作》 [3+1+5+0] → [A+1] → [Enter] = 割当てた部門で 3,150円の商品を売りました。

※ 部門割当キーをレジ画面のタッチメニューへ登録する方法は、P-71 「7- 部門販売用メニュー登録」参照

※ 大部門名

大部門名はありませんが、日報の部門集計「部門個別1桁」の集計単位となります。

□ 中部門名

部門コード頭2桁で構成されるものが1つのグループ(中部門)になります。

中部門名は商品検索で表示されます。また、日報の部門集計「部門グループ(2桁)」の集計単位となります。

登録できるのは全角で10文字までです。※コードは部門コードの中に含まれた先頭2桁のコードです。

□ 部門名(小部門)

頭3桁で構成される部門に任意に名前をつけてください。部門名や商品の売上の集計や検索は部門を基軸に行っています。

レジ画面で部門売上を立てた際には商品名の欄に表示されます。

□ 部門名カナ

ジャーナル/レシートプリンタ、帳票など印字スペースの狭い印刷設定の際に商品名として印字されます。

意味がわかる程度に任意に設定してください。登録できるのは半角で10文字までです。

例: 部門名: 婦人シャツプリント柄 → 部門名カナ: Fシャツプリント

部門名: 紳士コート無地柄 → 部門名カナ: Mコートムジ等

□ 条件種別1~10 / 条件金額1~10

「条件種別1~10」は「条件金額1~10」と対で連動して使用。(条件金額1~10は、商品マスタの金額1~10に連動)

部門ごとに商品マスタの単価①~⑩までの金額に一律100円増や3割引などの設定が出来ます。

「条件種別1~10」に記号(+、-、%)、「条件金額1~10」に数字を入力します。

(例) 売値(税抜)価格1000円、(税込)1050円の場合

・ 売値(税抜)を100円増しする場合は条件種別④に+、条件金額④に100と入力 → 表示金額1150円

・ 売値(税込)を30%引きにする場合は条件種別⑩に%、条件金額⑩に-30と入力 → 表示金額735円

* 基本設定の顧客 P-52) で特別会員価格設定の使用を [する] にしていると、特別会員に設定した顧客だけにしか反映されないのので注意してください。(条件金額は運用が難しいので別途お問合せください。)

□ 基本税種別

商品新規登録時、税金のデフォルト条件を 0 : 外税、1 : 内税、2 : 非課税のどれにするかを設定します。
 商品のマスタを持たない商品 (部門売、委託商品など) はこの税種別を反映します。
 ※総額対応の場合、外税にしても内税で表示されます。

□ まるめ

精算金額の端数を 1、10、100、1000 の指定した位で切り上げ、切捨て、四捨五入して端数をださないようにまるめる処理のことを言います。

例)
 1 : 1 円単位でまるめ処理をおこなう
 10 : 10 円単位でまるめ処理をおこなう
 100 : 100 円単位でまるめ処理をおこなう
 1000 : 1000 円単位でまるめ処理をおこなう

□ 条件処理

まるめ処理を
 1 : 切り上げ、2 : 切り捨て、3 : 四捨五入
 のどれにするかを設定します。

例) 10 円単位で四捨五入によるまるめ処理をおこなった場合
 総額対応時 → 税込 980 円
 まるめ処理 → 980 円 = 1,000 円 (80 を四捨五入して繰上げて 100 へ)
 非総額時 → 税抜 980 円 × 消費税 = 1,029 円
 まるめ処理 → 980 円 = 1,000 円 × 消費税 = 1,050 円

□ 調整値引

レジ画面に表示する金額から調整値引で設定された金額が足されて表示されます。

例) 調整値引 20 円設定の場合
 通常 → 税込 980 円
 調整値引に「20」を入力 → 980 円 + 20 円 = 1,000 円
 調整値引に「-20」を入力 → 980 円 + (-20 円) = 960 円

□ ポイント付加

商品マスタの、ポイント付与設定のデフォルト条件を設定します。
True : 設定する (デフォルト) **False** : 設定しない
 商品マスタのポイント付与初期設定を、部門単位で設定「する」か「しない」かを設定します。
 (あくまで、商品マスタの初期設定値となり、商品マスタ画面で個別に変更が可能です)

□ R印刷 (バーコードラベル印刷設定)

ラベルプリンタ/レシートプリンタから、バーコードラベルを発行したい商品の部門には、必ず数値の「1」を入力します。
 (1 以外の数値を入れると、正常に動作しなくなります。)
 また、ラベル印字実行時の、発行枚数は商品毎に、商品マスタで設定します。
 (画面上の数量×商品マスタの設定値=発行枚数)

□ 原価率

部門割当キーを使用して販売を行った商品の粗利計算を行う為に、原価率の設定を行います。(数値 2 桁)%
 例) 入力値%となりますので、100 円で販売した場合の原価は 70%=70 円となります。

□ 免税区分

免税販売機能【する】の時 (P-59 参照)、免税対象区分が設定されている部門に含まれる商品が
 0 : 消耗品 (5,001 円以上)
 1 : 一般免税品 (10,001 円以上)
 2 : 免税除外品
 になると、免税販売が適用され、小計画面のファンクションフィールドの免税ボタンがアクティブになります。
 (小計画面 免税対応 P-135 参照)

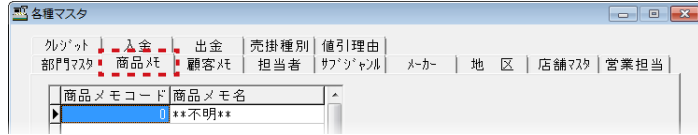
■ 入力モードの切換

部門マスタの入力画面上で、入力項目欄をダブルタップする事で、入力モードが下記の様になります。

例) 部門マスタ

7-2 商品メモ設定

商品メモ設定で、予めメモを登録しておく事で、商品ごとにメモを設けることができます。
また、メモ内容は販売画面(ライン版)または、コード詳細画面(タッチ版)に表示されます。(全角10文字まで登録可能)



商品メモコードは任意の数字を入れてください。入力できる数値は0～9999迄です。デフォルトは「0.不明」。
※0は必ず入力しておいてください。同じ数値を入力するとキー違反になります。ご注意ください。
販売画面で商品を出した後に、登録されているメモを商品情報に登録できます。(P-161 参照)
販売画面で商品を出した後に、コード詳細画面で登録されているメモを商品情報に登録できます。(下図参照)

■コード詳細画面

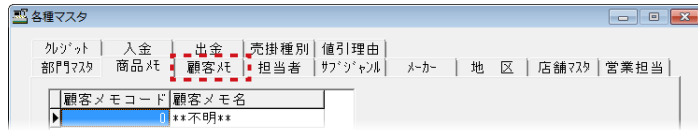
商品呼出し後、Noを押すと10キー部がコード詳細画面に切り替わります。(画面がライン版の際はレジ画面に表示)メモ欄を押す事で、登録されている商品メモが呼出され設定が可能となります。(コード詳細画面の詳細はP-34)

No	商品名	在庫	数	金額	
1	*Tシャツ/ブルー/S	32	1	6588	
2	*ストレッチデニム/O2	29	1	11124	
3	*ニット/O3/L	49	1	5508	
合計		3		¥23,220	

商品コード	410000002000
JANコード	4912345000194
インスタア	20040211
バーコード	
税種別	内
メモ	人気商品

7-3 顧客メモ設定

商品メモ同様に、予めメモを登録しておく事で、顧客ごとにメモを設けることができます。
また、メモ内容は販売画面の上部、顧客情報に表示されるので来店時に確認したい内容や、特別なお客様として対応を必要とする際の情報になります。(全角10文字まで登録可能)



例：登録情報の確認をしたい場合 → 0.不明 1.TEL 確認、2.住所確認、3.誕生日確認、等
お得意様やブラックリスト顧客など特別な接客対応をしたい場合 → 0.不明 1.VIP、2.要注意、等

顧客メモコードは任意の数字を入れてください。入力できる数値は0～9999迄です。デフォルトは「0.不明」。
※0は必ず入力しておいてください。同じ数値を入力するとキー違反になります。ご注意ください。
販売画面で顧客を出した後に、登録されているメモを顧客情報に登録できます。(P-161 参照)
顧客マスタ登録・変更時に、登録されているメモを顧客情報に登録できます。(P-161 参照)

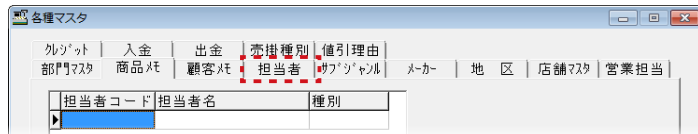


メニューバー「Staff」を押す事でプルダウンで、登録されている担当者を表示。

顧客メモ表示、メモを押す事でメモの内容を変更、メモ未登録の場合は、メモが表示される場所を押す事で登録されているメモを表示します。

7-4 担当者設定

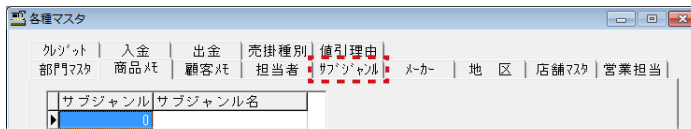
担当者の登録を行います。
BCPOS で一日の業務を開始する際、スタッフの名前を登録しておくで担当者を選択できます。



担当者コードは任意の数字を入れてください。入力できる数値は0～9999迄です。通常は0から入力してください。
※同じ数値を入力するとキー違反になります。ご注意ください。
担当者を登録しておくで、販売管理オプションご利用時に担当者別売上一覧の抽出が出来るようになります。

7-5 サブジャンル設定

サブジャンルの登録を行います。
サブジャンルとは、1つの部門の中でさらに
細分化したい場合に使用します。



例：P-77 部門コード設定例（アパレル業務のイメージ）参照		
中部門（部門マスタ）	小部門（部門マスタ）	部門サブ名（サブジャンル名）
20 婦人シャツ	203 プリント柄	ネコプリント・イヌプリント・ゾウプリント・等

※中部門、小部門は部門マスタで登録します。

その他参考例として		
中部門（部門マスタ）	小部門（部門マスタ）	部門サブ名（サブジャンル名）
CD	邦楽	演歌・ポップス・歌謡曲・等
ビデオ	洋画	アクション・ホラー・サスペンス・等
TVゲーム	プレイステーション	シューティング・パズル・ロールプレイング・等

登録されたサブジャンルの各項目は「商品マスタ」の登録画面内に、サブジャンルとしてプルダウンメニュー
▼の中から商品ごとに設定できるようになります。（P82-85 参照）
※ 設定する際に、サブジャンルコードは必ず 0 から登録してください。

サブジャンルを登録しておく、ラベル印字の際に印字項目として選択が可能となります。
販売管理オプションご利用時にはサブジャンル別売上一覧の抽出が出来るようになります。
サブジャンルコードは任意の数字を入れてください。入力できる数値は 0 ~ 999 迄です。
デフォルトで「0」が入力されています。0を入力しないと商品登録で不具合が生じる可能性があります。
※同じ数値を入力するとキー違反になります。ご注意ください。

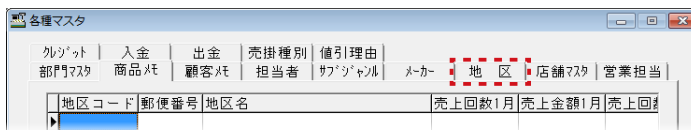
7-6 メーカー設定

メーカー名を設定します。
ここでメーカー名をあらかじめ登録しておく、
商品マスタに新規商品を登録する際に直接文字入力をしなくても [F9] キーとカーソル操作だけでメーカー名を
入力できるようになります。（P82-85 参照）
メーカーコードは任意の数字を入れてください。入力できる数値は 0 ~ 9999 迄です。
※同じ数値を入力するとキー違反になります。ご注意ください。
メーカー名を登録しておく、販売管理オプションご利用時にはメーカー別売上一覧の抽出が出来るようになります。



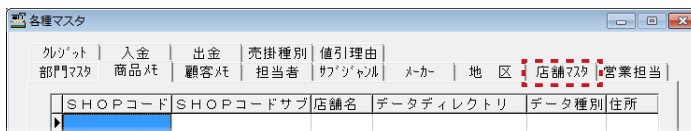
7-7 地区設定

地区の登録を行います。
地区コードは任意の数字を入れてください。
入力できる数値は 0 ~ 9999 迄です。
※同じ数値を入力するとキー違反になります。ご注意ください。
ここで顧客の分布する地区をあらかじめ登録しておく、新規顧客登録する際に直接文字入力をしなくても
地区入力ができます。（P-89 参照）
顧客を地区で分類すれば、顧客管理オプションご利用の際にはリストの抽出や DM ラベルの出力などに役立ちます。



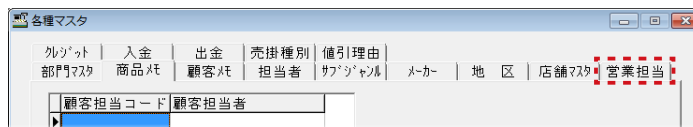
7-8 店舗マスタ設定

複数店舗のある場合、店舗登録を行います。
商品の店舗間の移動（移出入）の際に
移動元・移動先の店舗の選択ができるようになります。（P-100 参照）クラウド型店舗本部管理システム「TenpoVisor」を
ご利用の場合は、弊社より発行された SHOP コードは TenpoVisor の「店舗コード」を入れてください。
※同じ数値を入力するとキー違反になりますのでご注意ください。店舗コードは必ず 4 桁の数値を入力ください。



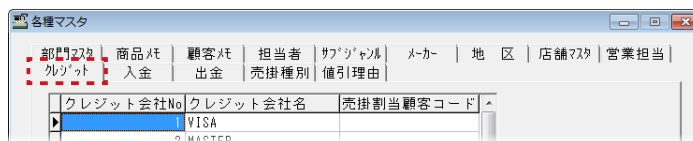
7-9 営業担当設定

営業担当者の登録を行います。
※通常使いませんので、設定は不要です。



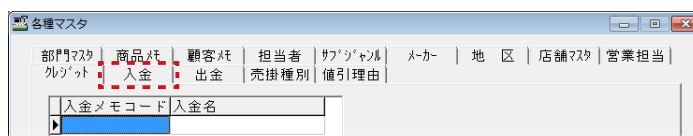
7-10 クレジット設定

クレジット会社名を登録します。
ご契約のクレジット会社名を入力してください。
(BCPOS クレジット決済連動の是非は問いません) クレジット登録を行う事で、小計画面でクレジット会社選択ができるようになり、売上管理も「現金」と「クレジット」を分けて管理できます。(P-133 参照)
クレジット会社No.は、1～50番以内で登録してください。設定する際、クレジットNoは必ず1から登録してください。



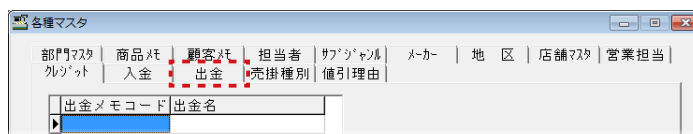
7-11 入金メモ設定

入金メモを登録します。
キャッシュドローアを精算時以外に開ける際に、その理由となりそうな項目をあらかじめ登録しておく、直接文字入力せずにカーソルの操作だけで入金理由を入力できます。
例：0.両替、1.つり銭、2.予約金、3.一時預かり、4.チップ、等
設定する際に、入金メモコードは必ず0から登録してください。
販売画面からの入金操作の際にも登録は可能です。(P-132 参照)



7-12 出金メモ設定

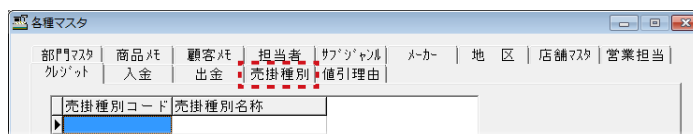
出金メモを登録します。
入金メモ同様、キャッシュドローアを精算時以外に開ける際に、その理由となりそうな項目をあらかじめ登録しておく、直接文字入力せずにカーソルの操作だけで出金理由を入力できます。
例：0.両替、1.消耗品、2.雑費、3.商店街集金、4.冠婚葬祭、5.立替、等



設定する際に、出金メモコードは必ず0から登録してください。
販売画面からの出金操作の際にも登録は可能です。(P-132 参照)

7-13 売掛種別設定

売掛種別を登録します。
予め売掛種別を使用する設定にしておく必要があります。(P-44 参照)
売掛種別コードの「999」は通常の売掛コードになります。種別の中に通常売掛を登録する場合は必ず売掛種別コード「999」、売掛種別名称「通常売掛」で登録を行ってください。それ以外で「999」は登録しないでください。(P-159 参照)



7-14 値引理由設定

値引理由を登録します。
予め値引理由使用を【する】にしておく必要があります。(P-63 参照)



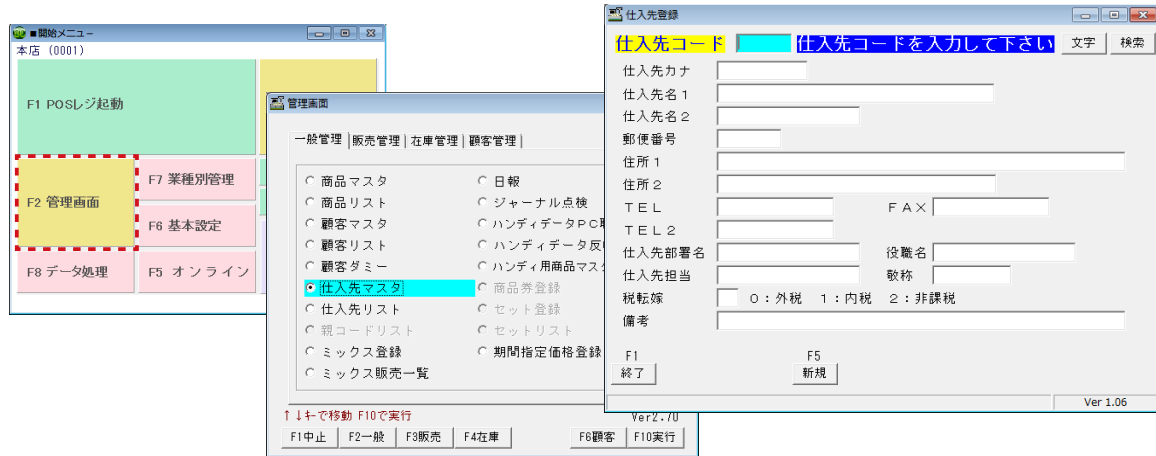
⑧ 仕入先マスタ・商品マスタ・顧客マスタ登録

8-1 仕入マスタ登録

仕入先を登録する事で、商品マスタ(次項)に仕入先が登録でき、販売管理オプションや本部管理オプションで、仕入先別売上一覧等の分析が可能となります。

■ 仕入先登録画面

[開始メニュー] → [管理画面] → [一般管理] → 「仕入先マスタ」を表示します。



■ 仕入先登録に仕入先を登録します。

商品登録時に仕入先コードを入力するための仕入先を登録します。

仕入先コードは連番でも任意のコード番号でも与えることができます。

「0」はBCPOSの内部処理で「仕入先コード未登録」として扱われますので使用しないでください。

コード番号の入力可能桁数は4桁までで「1」～「9999」です

仕入先コードに任意の番号を割り当てる場合には、仕入先コード入力ボックスに番号を入力し[Enter]キーを押してください。

必要事項を入力したら[F10 登録]を押してください。

[仕入先カナ]は商品登録画面の仕入先コード欄横に表示されます。

[F5 新規]を押すと、すでに割り当てた仕入先コードの最終番号の次番号を新規に割り当てます。

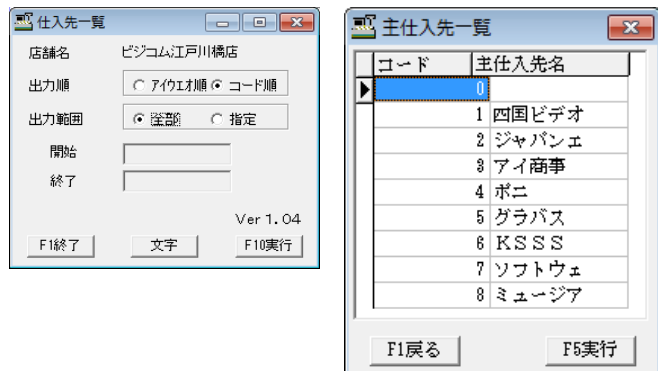
(新規ボタンを続けて押せば連番になります。)

■ 仕入先リスト

仕入先をマスタ登録する事で[開始メニュー] → [管理画面] → [一般管理] → 「仕入先リスト」を表示します。

また、商品マスタ登録時に右図の様に

仕入先一覧として表示が可能です。(P-81 参照)



8-2 商品マスタ登録 (新規)

商品マスタの登録を行う前に必ず、部門マスタ登録 (P-76) を行ってください。

各商品には、仕入先・メーカーの関連付けが可能です。

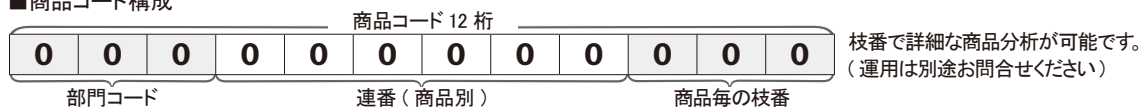
仕入先・メーカーを関連付ける場合には、仕入先登録 (P-81 参照) メーカー登録 (P-79 参照) を先に行ってください。

① 商品マスタに新規商品を登録します。

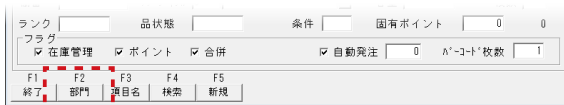
[開始メニュー] → [F2 管理画面] → [一般管理] → 「商品マスタ」を開きます。



■商品コード構成



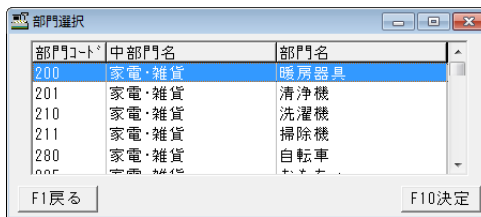
② 最初に、登録する商品の部門を選択します。画面左下、[F2 部門] を押してください。右画面の部門選択 (一覧) が表示されますので、対象部門を選択し [F10 決定] を押します。



例) 部門コード : 200
 中部門名 : 家電・雑貨
 部門名 : 暖房家電

③ 部門を選択すると、その部門内で使用されていない、一番小さい (昇順) 商品コードの連番を自動入力します。

注) 商品コードの自動入力を行わずに、手入力でコードの採番を行った時や、連番の途中の商品を削除した場合などは、選択した部門の、現在登録されている商品コードで最大の番号の次からコードの自動入力を行います。



例) 部門コード 200 を選択

□新規の場合	□追加の場合
200 000001 000	200 000001 000
部門 連番の	200 000002 000
コード 一番最初	200 000003 000
	200 000100 000
	200 000101 000

← 手入力により入力された商品コード
 ← 現在登録されている最大の商品コードの次に自動入力された商品コード

※「F3 空番前」

手入力で商品コードの採番を行い、コードが飛んでいる場合には、部門選択後に表示される機能の「F3 空番前」を押す事で連番の穴埋めが可能です。上記例の場合には、200 000099 000 を入力します。
 (データ削除したコードを 2 重で使用すると、削除した商品と登録した商品のデータ (販売・在庫等) が混在するので注意してください)

※「F4 末尾」

登録を行う部門で使用している最大の商品コードを表示します。

④ [Enter] キーを押すことによってカーソルが入力する項目に移動し入力欄がブルーに反転します。

入力が必要な項目へ移動しながら必要な情報を入力し、最後に [F10 登録] を押して [F1 終了] または [F10 登録] を押した段階で、次のコードが自動入力されていますので、続けて商品登録を行います。

商品マスタ（入力項目の説明）

●メイン入力項目

商品コード *必須入力*	BCPOS で商品を管理する上で、必ず必用になるユニークなコードで、12 桁で構成され、先頭 3 桁に部門コードを持たせることで部門管理等が行えます。	※ラベル印字の際に、JAN コードまたは商品コードをバーコードとして印字するか選択が可能となります。 (初期値は商品コード。設定 P-62)
JAN コード	商品に印刷されている JAN と呼ばれるバーコードを登録してください。 バーコードリーダがあれば商品のバーコードのスキャンでも登録可能。	
インスタ コード	店舗にて独自のバーコード等を発行している、特殊な場合に登録します。 インスタコードは半角英数字とアルファベットで 13 桁まで登録可能。 (記号は登録不可。例：-(ハイフン)/(スラッシュ)等)	このコードを使用する場合、JAN コードまたはバーコードとの重複を避けるよう桁数やコード体系をルールづける必要があります。
バーコード	インスタコードと同様に店舗にて独自のバーコード等を発行している特殊な場合に登録します。 バーコードは数値のみ 13 桁まで登録できます。	※必ずこのコードを入れた後、POS 画面で商品呼び出せるかどうかの動作の確認をしてください。
商品名	販売画面、及びレシートに出てくる商品の名前です。(※必ず入力してください。) ※商品名は半角 40 字まで入力可能ですが、レシート印字は半角 25 字までとなります。 ※商品名はラベル印字の際の必須印字項目となります。	
商品名カナ	商品名のカナ読みです。(※必ず半角のカタカナで入力してください。) 商品検索に使用するほか、カスタマディスプレイに一部表示されます。	
商品名サブ	商品名のサブタイトルです。 販売画面の明細フィールドに表示されますが、不要の場合は入力しなくてもかまいません。 ※ラベル印字の際に印字項目として選択が可能となります。	
商品名サブカナ	商品名のサブタイトルカナ読みです。(※必ず半角のカタカナで入力してください。) 商品検索に使用しますが、不要の場合は入力しなくてもかまいません。	
型番	商品の型番等を入力してください。(型番入力欄左側が型番 1、右側が型番 2 となります。) 商品の検索に使用できませんが、不要場合は入力しなくてもかまいません。 ※型番 1 はラベル印字の際に印字項目として選択が可能となります。	
メーカー名	メーカー名を入力してください。 不要の場合は入力しなくてもかまいません。	メーカー名・主仕入先共に、入力フィールドがブルーに反転している場合に、商品マスタ下部に [F9 メーカー][仕入先] ボタンが表示されます。
主仕入先	主要仕入先名を入力してください。 不要の場合は入力しなくてもかまいません。	ボタンを押す事で、入力補助の「メーカー」「仕入先」一覧を表示します。(P-85 ⑥⑦参照)
発売日	商品の発売日を入力してください。(自由設定)	
登録日	新規で登録された日付が自動的に入ります。(自由設定)	
価格設定日	商品の金額を変更すると自動的に日付が変更されます。(自動設定、変更不可)	
税区分	商品の税区分を選択します。 総額表示設定時(P-43)に税区分を[外]としても自動的にレジ画面上、内税として取り扱われます。	

●価格入力項目 -1

定価	本体価格を入力します。 ※ラベル印字の際に印字項目として選択が可能となります。
複数単価	管理入力項目 P-84 の [複数] 欄の使用と連動します。 売価 500 円の商品を 3 個まとめて購入すると、本来 1500 円を 1200 円とするような、同一商品を複数購入した際に、設定金額を適用する機能で「複数単価」に適用金額を力します。 (この単価を適用する個数設定は管理入力項目 P-84 の [複数] 欄に入力してください。) (例：3 個 1200 円の場合 → 複数単価欄に 1200 円を入力します)
仕入値	仕入価格を入力します。
税抜金額	税表示が【税抜】販売時の標準売価。税抜金額を入力します。

●価格入力項目 -2

税込金額	税表示が【税込（総額）】販売時の標準売価。 税込金額を入力します（消費税を含む総額表示金額） 税抜金額を入力し [Enter] キーを押すと自動的に税込金額が計算されて表示されます。 ※手動入力可能
セールス仕入	P-46 [基本設定初期3] → [価格設定] > 「仕入価格」 & 「販売価格」 で使用する価格を設定します。 価格・売価の入力は、セールス価格 1or2、セールス売価 1or2 の選択すると、 「商品マスタ > 価格入力」 に、選択したセール価格・売価の入力欄が追加され登録が可能となります。
セールス売値	※セールス価格 1or2、セールス売価 1or2 の設定をしても、商品マスタでセールス価格・売価の入力が無く 0 円の場合には、標準単価が適用されます。 また、商品マスタの「価格入力」欄で入力フィールドがブルーに反転している場合に、商品マスタ下部に [F9 全価格] ボタンが表示されます。 ボタンを押す事で全ての価格を入力できる、「全価格入力」画面が表示されます。（次項 ⑤ 参照）

※ セールス仕入・セールス売価機能について、詳細は P-104

●商品管理入力項目

棚番	商品の棚の番号を入力してください。 数字、アルファベットで入力してください。 重複していてもかまいません。
サブジャンル	[F3 各種マスタ] の [部門サブ] タブで登録されたサブジャンルが選択できます。 ※ラベル印字の際に印字項目として選択が可能となります。
容量	商品の内容によって、g/cm/分/時間/ml/等の数字を入れてください。
複数	ここに入力した数字と P-83 前項の [複数単価] に入力した金額が連動します。 例：500 円の商品を 3 個 1200 円にしたい場合…複数単価に 1200 と入力、複数に 3 と入力
ランク	商品のランクを入力してください。（※オプション利用時に使用します）
品状態	基本的に使用しません。（※連動ソリューション等で使用します）
条件	セット販売機能（バンドル販売）P-105 を使用する場合は「1」を入力します。
固有ポイント	通常のポイント率ではなく、その商品に特定のポイントをつけたい場合に使用します。 ここに 0 以外の数字が入っている場合は固有ポイントが設定されているとみなされ、 通常のポイント計算は適用されず、入力された数値分をポイント数として付与します。 この設定は P-58 [ポイント設定] → [固有ポイントを%で表示する] を選択すると%表示されます。

●管理入力チェック項目

在庫管理	商品の在庫を管理します。 チェックを外された商品は販売画面上で在庫表示しません。 （フラグ変換ツールで一括処理が可能です。メンテナンス > 商品ユーティリティ > フラグ変換）
ポイント	商品にポイントを付加します。 販売画面の商品名の前に * 印が付きます。 チェックを外された商品はポイント付加計算の対象外となります。
合併	テキストデータ合併時に上書きします。 チェックを外された商品は合併時に上書きされません。
自動発注	在庫管理オプション利用時に、発注点切れリストで使用する数量。（P-228 参照）
バーコード枚数	仕入時に一度に発行するバーコード枚数を決定します。 （※バーコードを発行する場合は必ず数値を入力してください。）

Column

バーコードラベルの発行について

バーコードラベルプリンタをご利用の場合（BCPOS 指定機種）販売画面・仕入画面・商品リストから商品コードを読ませた段階で商品メニューボタン左の▼を押すことでラベルボタンが表示され、ラベルボタンを押すと、バーコードラベルを印字します。

（※レシートプリンタからもバーコードラベル（レシート用紙）の印字は可能です）

マニュアルは、Cドライブ > BCPOS フォルダ内 > TOOL > マニュアルフォルダ内 > 「ラベル印字マニュアル」

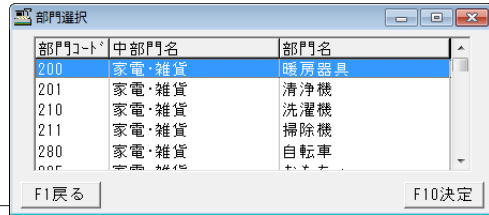


※ラベル用紙・ラベルプリンタ共に弊社指定の物となります。

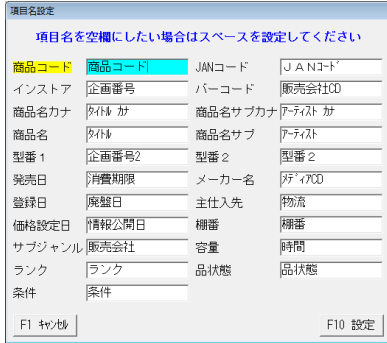
商品マスタ (商品登録ファンクションキーの説明)

- [検索キー] にカーソルが有る場合
ファンクションフィールドに下記を表示

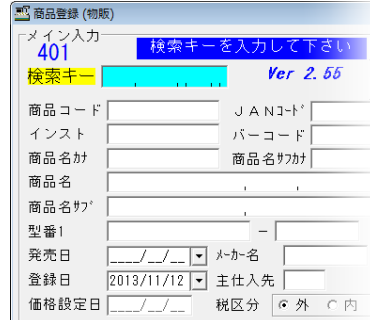
F1 終了	商品登録画面を終了します。
F2 部門	部門選択画面 (右図) を開きます。 部門を選択すると、その部門内で使用していない一番小さい (昇順) 商品コードの連番を自動入力します。
F3 項目名	商品マスタ・商品リスト・商品別売上一覧 (販売管理オプション) の各項目名をカスタマイズできます。



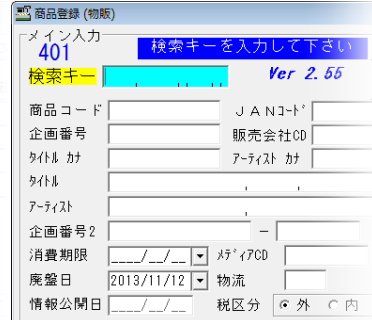
項目設定画面



商品マスタ(項目名 初期設定)



商品マスタ(項目名 カスタマイズ)



F4 検索	登録されている商品を、商品名・カナ・型番1で、検索できる簡易検索画面 (右図A) を表示します。
F5 新規	商品検索や修正・削除時に「F5 新規」を押すと、新規商品登録となり、現在の部門内で使用していない一番小さい (昇順) 商品コードの連番を自動入力します。

- [検索キー・商品コード以外] にカーソルが有る場合
ファンクションフィールドに下記を表示

F1 終了	商品登録画面を終了します。
F3 メイン	[商品コード] にカーソルを移動します。
F5 価格	[価格入力] の [定価] にカーソルを移動します。
F8 管理	[管理入力] の [棚番] にカーソルを移動します。

- [メーカー名] にカーソルが有る場合
「F9 メーカー名」を押すと、B「メーカー名」を(右図)表示

F9 メーカー	[マスタメンテ] の [メーカー] で登録したメーカー一覧から選択する画面が表示されます。 選択するメーカーを選択して [F5 実行] を押すことで選択可能です。
---------	--

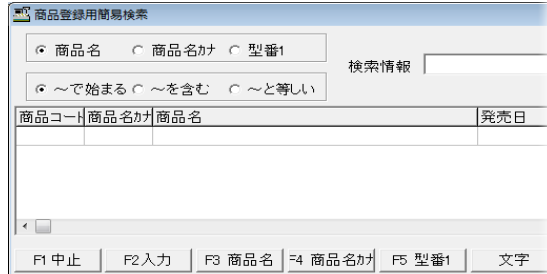
- [主仕入先] にカーソルが有る場合
「F9 主仕入先」を押すと、C「主仕入先」を(右図)表示

F9 仕入	[仕入先マスタ] で登録した仕入先が一覧表示されます。選択する仕入先を選択して [F5 実行] を押すことで選択可能です。
-------	---

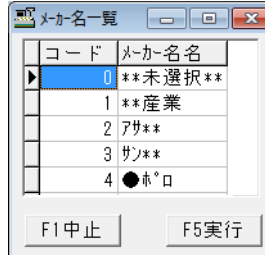
- [価格入力] にカーソルが有る場合
「F9 全価格」を押すと、D「全価格」を(右図)表示

F9 全価格	BCPOS で入力可能な、全ての価格を入力できるフィールドが表示されます。
--------	---------------------------------------

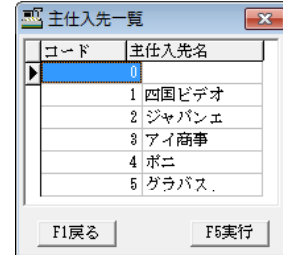
A「商品登録用簡易検索」画面



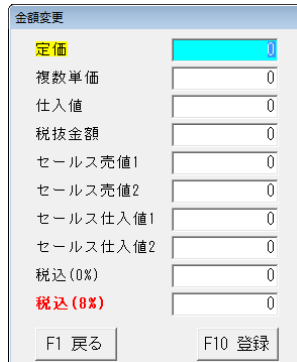
B「メーカー」選択画面



C「主仕入先」選択画面



D「全価格」入力画面

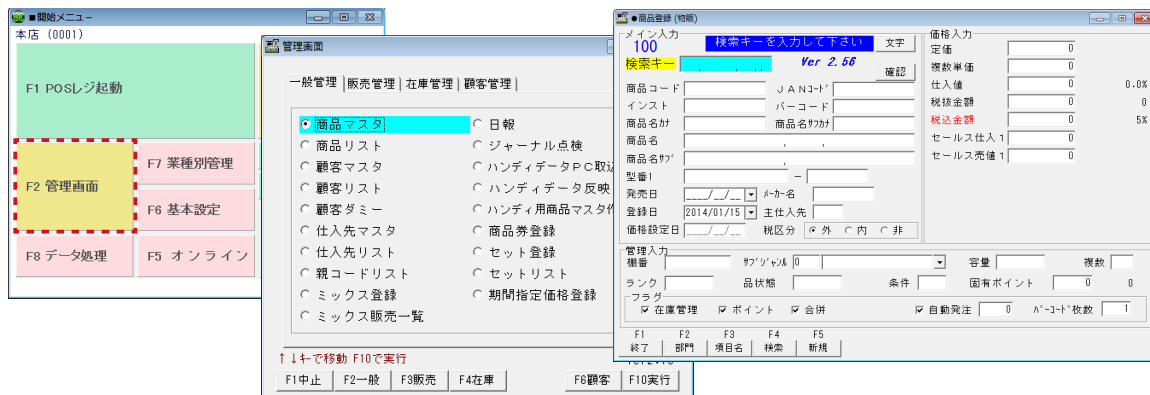


8-3 既存商品の訂正

すでに登録されている商品の登録内容を訂正します。

[開始メニュー] → [管理画面] → [一般管理] → 商品マスタを開きます。

※ 商品リストから対象商品をダブルクリックする事で、対象の商品マスタが開きます。



すでに登録されている商品コードを入力 (またはスキャン) すると訂正画面が表示されます。

検索キーの欄に商品コード、JANコード、インスタコード、バーコード等を入力してください。

もしくは [F4 検索] を押すことで現在登録されている商品を検索する画面が表示されますので、変更したい商品を選択または Enter ボタンを押すと、商品登録画面のコード欄に自動的に入力され商品が表示されます。



[Enter] キーを押すことによってカーソルが入力する項目に移動し入力欄がブルーに反転します。

登録変更が必要な項目へ移動しながら必要な情報を入力し、最後に [F10 登録] を押して登録変更終了です。

※訂正を行っている部門で新規に商品登録を行う場合は [F5 新規] を押すと、現在訂正している部門内で使用していない一番小さい (昇順) 商品コードの連番を自動入力します。

※商品を削除する場合は、検索後 [F6 削除] を押す事で削除されます。

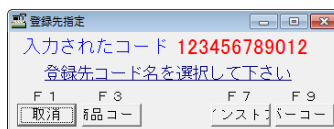


8-4 登録先指定

すでに登録されている商品コードまたはJAN、インスタ、バーコードであれば検索キーに入力すると訂正画面で商品が表示されますが検索で見つからないコードが入力された場合は[登録先指定]が表示されます。

入力したコードを新規商品コードとして登録する際に、[F3商品コード][F7インスタ][F9バーコード]のどれに登録するかを指定します。

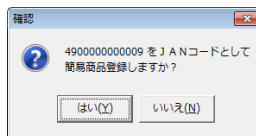
登録先と、新規商品登録画面が表示されますので新規商品登録の手順に従って登録してください。



8-5 簡易商品登録

販売画面で商品コードを入力すると、商品名と金額を呼び出します。
 P-43基本設定の初期で、簡易登録JANの使用を[する]に設定時、登録の無い13桁のコードを入力すると新規のJANコードと認識して簡易登録確認の画面が表示されます。

[はい]を選択すると簡易登録が始まります。



[簡易商品登録]画面が表示されます。

[部門選択]項目から登録したい[部門]を選択しEnterキーを押します。

自動的に新しい商品コードが検索され表示されます。

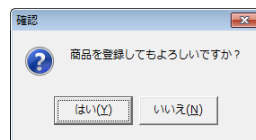
[商品名] (商品名がカタカナであれば商品カナ(半角カタカナ)は自動的に入力されます)[仕入価格][税抜価格]または[税込価格]を入力します。

[税抜価格]または[税込価格]を入力し[Enter]キーを押せば自動的に[税込価格]または、[税抜価格] (P-60定価に登録する金額の設定)は入力されます。

[F10実行]または[Enter]キーを押します。



[確認]画面が表示されたら[はい]を押します。



[はい]を押すと簡易商品登録が完了し、販売画面に戻って商品コード・商品名・金額(売値)が表示されます。

8-6 書籍・雑誌の登録方法

雑誌コード

雑誌の裏表紙左下に「雑誌 xxxxx-xx/xx」または「雑誌 xxxxx-x」と書いてあるのが雑誌コードと呼ばれています。
 雑誌コードはJAN13桁+アドオン5桁の計18桁で構成されています。

【雑誌バーコードの例】



JAN13桁					
491	0	12345	07	4	2
フラグ	予備1	雑誌コード	月号	年号	CD

アドオン5桁	
0	0680
予備2	本体価格

このバーコードを読み込ませて販売するには次項の設定が必要です。



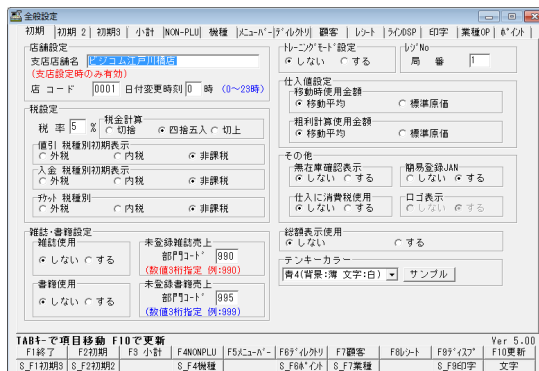
《雑誌販売をする場合の設定》

基本設定の雑誌使用[する・しない]を[する]に設定します。

基本設定の未登録雑誌売上部門[***]を決定します。

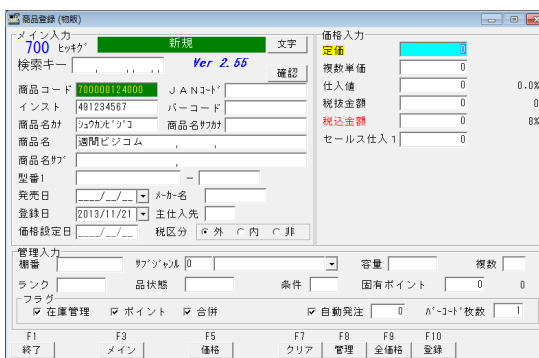
(デフォルトは990)

(登録されていない雑誌は基本設定で決定された未登録雑誌売上部門に売上があがります。)



商品マスタに雑誌を登録します。

インスタコードに491*****の必ず頭の9桁を登録します。



雑誌バーコードを読み込ませたときに商品マスタに登録されたインスタコードの9桁で検索が行われます。

(8桁以上のインスタコードが登録されると検索が一致せず、商品を決定することが出来ません)

登録された雑誌は、商品登録で決められた部門の売上になります。

商品マスタで販売価格を入力された場合は商品マスタの価格が優先的に採用されます。

書籍コード

書籍にはバーコードの付いているものと付いていないものがあり、バーコードのある書籍には通常2段のバーコードが印刷されています。

【書籍バーコードの例】 ISBN978-4-77777-123-3
C2000 ¥1234E



上段のバーコード13桁は、頭978(国際コード)、次の9桁(ISBNコード書籍番号)、最後の1桁はチェックデジットです。下段のバーコード13桁は、頭192(これも国際コード)、次の4桁が分類コード、次の5桁が販売価格、最後の1桁がチェックデジットです。



《バーコードがある書籍販売をする場合の設定》

基本設定の雑誌販売処理[する・しない]を[する]に設定してください。基本設定の未登録書籍売上部門[***]を決定してください。

(デフォルトは995)(登録されていない書籍はすべて基本設定で決定された未登録書籍売上部門に売上が上がります。)

商品マスタで書籍を登録します。その際、商品マスタのJANコードに、上段の13桁バーコード(987***)を登録します。

(雑誌はインスタに登録しますが、書籍はJANコードに登録します。ご注意ください)

下の13桁のバーコードは登録する必要がありません。

(書籍はバーコードリーダで上段を読み込ませたら、続けて下段も読み込ませます。)

商品マスタで登録された書籍はここで決められたジャンルの売上になります。

商品マスタで入力された価格が優先的に採用されます。販売価格を入力しない場合は下段のバーコードを読み込ませたときに、下段のバーコードの中に入っている商品価格がそのまま反映されます。

(販売価格は下段バーコードの価格に差し変わります。)

《バーコードがない書籍販売をする場合の設定》

OCR文字のISBNコードをそのまま商品マスタのインスタコードに入力します。

OCRリーダで入力を行う場合はハイフン(-)が省略されますのでハイフンは登録しないでください。また、手入力の場合は頭にISBNをつけて下10桁を入力すれば検索したい書籍が表示されます。

8-7 顧客マスタ登録 (新規)

注意) ポイント共有オプションを利用予定のあるお客様は別途お問合せください。

新規に顧客を登録される場合は、以下の方法がございます。

[開始メニュー] → [管理画面] → [一般管理] → [顧客マスタ] → [F10 実行] で顧客を登録する。
または販売画面の [管理画面] 内 (P-39 参照) → [顧客登録] を選択します。

①- 顧客パスワード入力画面が表示されます。

登録した顧客パスワードを入力し [F10 実行] を押してください。

⇒顧客パスワードの設定 P-185 参照

②- 顧客マスタ登録画面が表示されます。

[F5 新規] を押すと、顧客コードの最終空番が自動検索されて表示されます。

P-53 顧客コード設定で、使用するコードを【店舗4桁+連番6桁】の場合、先頭4桁の店舗コードは固定で6桁連番で作成されます。【連番10桁】の場合は、10桁で作成されます。

[Enter] キーを押すことによってカーソルが移動し、入力欄がブルーに反転します。

入力が必要な項目へ移動しながら必要な情報を入力し、最後に [F10 登録] を押すとその顧客の登録は終了します。

入力項目の説明は下記の通りです。

名前	お客様の名前を入力します。
顧客カナ	フリガナを半角カタカナで入力します。
〒	郵便番号を入力します。
住所	住所を入力します。
TEL1	電話番号(ハイフンなしで入力してください)
TEL2	他に電話番号があれば入力します。 (携帯電話番号などをハイフンなしで入力)
性別	0:不明 1:男性 2:女性 数字で入力します。
誕生日	誕生日は西暦、もしくは和暦で入力します。 (ハイフンや/スラッシュなし) 和暦の場合は日付の頭に H:平成 S:昭和 T:大正 M:明治 を入力。
地区	各種マスタで登録した情報が右側に 表示されるので、その中から選択すると 数字で空欄に入力されます。
顧客メモ	
ブラック	レンタル業務オプションをご利用の場合のみ 使用します。

フェリカ会員証設定は P-152 を参照

会員カード(ポイント・ショップカード・等)を使った顧客管理と併用して、会員カードの変わりにお客様のスマートフォンや交通系乗車カード(電子マネー)等、フェリカが利用されている物を会員カード(フェリカID)として登録できる機能。

ランク	[開始メニュー] → [基本設定] → [ポイント] → [顧客ランク追加ポイント] と連動します。このポイント付加を有効にする場合、ランクを入力してください。
客状態	この欄には入力しないでください。 会員カード紛失等により会員コードが他のコードに移行された顧客の旧コードであることを示す内容が表示されます。
登録日	デフォルトで自動的に入力しているときの日付が入っています。それ以外の日付を登録したい場合は直接入力してください。
会員期限	顧客ごとに会員期限を入力します。
電子メール	E-mail アドレスを入力します。
携帯メール	携帯電話のE-mail アドレスを入力します。
メール送信	プルダウンメニューの中から、どちらのメールアドレスにメールを送信するか、もしくは両方に送信するかを選択します。 (送信には別ソフトが必要になります)
備考	必要であれば入力してください。

8-8 既存顧客の訂正

新規顧客登録で説明した方法のいずれかで顧客登録画面を呼出してください。

すでに登録されている顧客コードを入力すると訂正する事が出来ます。

検索キーの欄に顧客コードを入力してください。

そのコードで登録された顧客の画面が表示されます。

顧客登録画面の「訂正」モード。検索キー欄に「0001000001」を入力し、顧客コード「0001-000001」が設定されている。顧客名「ビジコム太郎」、住所「東京文京区関口1-20-10 住友不動産江戸川橋駅前ビル8F」などの情報が表示されている。

顧客コードの検索は 顧客登録画面の[F4 検索] で右の画面から探すことが出来ます。

[氏名][カナ][電話番号][誕生日] のいずれかに検索条件を入力し、検索方法を3種類から選択してください。

入力完了後[F10 検索] を押すことで検索条件に合致する顧客がリストアップされます。

リストから呼び出したい顧客を選択またはEnter ボタンを押すことで顧客マスタを表示します。

顧客検索画面。検索方法として「氏名」「カナ」「電話番号」「誕生日」を選択可能。検索結果一覧表は以下の通り。

顧客コード	名前	顧客カナ	住所
0001000001	ビジコム太郎	ビジコム太郎	東京文京区関口1-20-10
0001000002	安田寛次郎	アノチロウ	東京都港区
0001000003	福澤静香	フクサワシズカ	東京都目黒区上目黒
0001000004	石田洋二	イシダヨウジ	千葉県那珂市
0001000005	高橋貞治	タカハシサダハル	東京都渋谷区代々木
0001000006	佐藤京子	サトウキョウコ	目黒区上目黒
0001000007	加藤けん	カトケン	横浜市緑区十日市場町
0001000008	浜田人志	ハマダヒトシ	千葉県八千代
0001000010	須藤のりふみ	スズテノリフミ	埼玉県川口市
0001000011			

[Enter] キーを押すことによって、カーソルが入力する項目に移動し入力欄がブルーに反転します。

登録変更が必要な項目へ移動して入力し、最後に[F10 登録] を押すとその顧客の登録変更は終了します。

顧客登録画面の「登録」モード。住所欄「東京文京区関口1-20-10 住友不動産江戸川橋駅前ビル8F」がブルーに反転している。

フェリカ会員証の機種・カード変更は P-152 を参照

BCPOS の会員カードと併用して、フェリカ ID を登録している、スマートフォンや交通系乗車カード (電子マネー) 等の機種変更・カード変更を行う設定。

8-9 顧客の移行

会員証を紛失した場合など、新しい番号に移行することができます。
 既存顧客登録変更の画面でのみファンクションキー[F3 移行]が表示されます。

会員証を紛失したなど、移行する顧客の画面を呼び出した状態から[F3 移行]を押すと[移行先顧客コード設定]が表示されます。

[移行先]の欄に移行先の新しいコードを入力し[F5 実行]を押します。

登録確認画面が表示されます。移行する場合は[はい]を押してください。

もしも移行先に既に顧客マスタが存在する場合は、右の画面が表示されます。

上書きしても良い場合は[OK] ボタンを押し[F5 上書] ボタンを押してください。

移行が完了したメッセージが表示されます。

マスタ画面に戻ると移行された顧客は旧コードも移行した旧顧客コードとしてマスタに残ります。

客状態の欄には[1 移行]と表示されます。

[F1 終了] を押すと販売画面に戻ります。

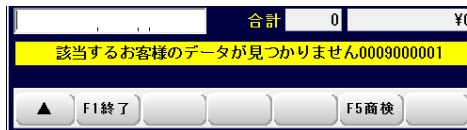
移行処理をすることで、レジ画面で移行前の旧顧客コードで呼び出そうとすると、既に移行されているメッセージが表示され呼び出しできなくなります。

8-10 顧客ダミー登録

連番の会員コード (バーコード) 入り会員証を予めご用意して、会員管理をされるお店様は「顧客ダミー登録」を行う事で、会員証の発行をスムーズに行えます。

顧客ダミー登録を行っていない場合、会員コード入り会員証の顧客コードを使い、販売を行おうとしても「該当データが見つかりません」とエラーが出て販売の履歴等を残すことができません。

顧客ダミー登録を行うことにより、初めて来店されたお客様の初回購買履歴等を記録することが可能になります。



顧客ダミーを登録しておくで顧客データが未登録でも商品の販売が可能です。

[開始メニュー] → [管理画面] → [一般管理] → [顧客ダミー] → [F10 実行]
または販売画面の [管理画面] 内(P-34 参照) → [顧客ダミー] を選択します。

顧客ダミーを起動すると右下 (左) の画面が表示されます。

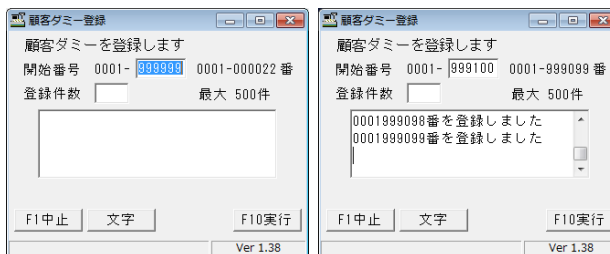
開始番号はレジで現在登録されている一番最後の顧客コードの次番号が自動的に表示されます。

今回作成するダミー件数を [登録件数] 欄に入力して [F10 実行] を押すことで件数分の顧客ダミーを作成することができます。

一度に登録できる顧客ダミー件数は500件までです。

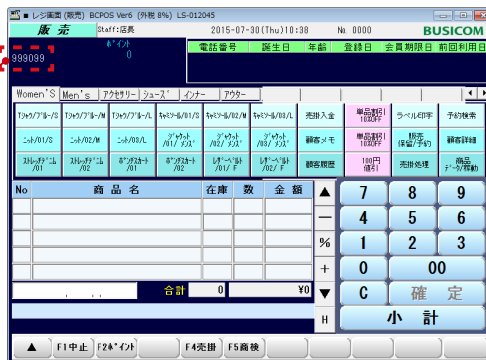
もしも顧客ダミー作成範囲指定内に、既に登録された顧客がいる場合は何もせずに次の顧客コードのダミー登録を行います。

(既存顧客データには影響ありません。)



この顧客ダミー処理をした後で、顧客コードをレジ画面で、呼び出すと右のようにエラー表示なく会計ができ、購買履歴を記録できるようになります。

顧客ダミーのコード表示
コード以外の入力項目はありません



Column

顧客ダミー登録の運用

顧客ダミーの登録を行い・会員カードを作成・会員カード登録用紙を用意しておきます。

※作成した会員カードの番号で「顧客ダミー」を作成します。

※会員カード登録用紙には会員カードの番号を記入し、番号と付け合せたカードをセットしておきます。

- 1- お客様に会員カードとセットの会員カード登録用紙を渡し記入して頂きます。
- 2- 記入が終わった登録用紙を回収し、会員カードをバーコードリーダーで読込んだ後に、商品を読込んで精算を行います。
- 3- 会員カードはお客様にお渡しします。
- 4- お店で余裕がある時間に、会員カード登録用紙の会員番号で顧客検索を行い [既存顧客の訂正] で情報を登録します。

上記で、顧客ダミー登録で作成した会員番号と顧客情報が紐付きました。

⑨ 基本レジ操作

9-1 BCPOS の起動と終了

BCPOS の起動

■ 手順 1
 各種周辺機器の電源を付けて、パソコンの電源を付けてください。BCPOS のインストール時に自動起動設定されている場合には BCPOS が自動で起動します。

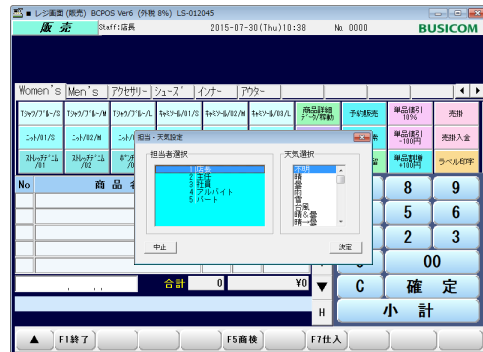
■ 手順 2
 デスクトップにある BCPOS のアイコンを押してください。



■ 手順 3
 [開始メニュー] が表示されます。
 [F1 レジ画面起動] を押してください。



■ 手順 4
 [担当・天気設定] が表示されます。
 それぞれ選択後、決定 [F10] を押してください。



■ 手順 5
 レジ画面が表示されますので、
 ここから販売や仕入等を実施します。



レジ画面の終了 [F1 終了]
 レジ画面を終了させるときには、画面左下、終了 [F1] を押します。
 終了してもよろしいですか？ のメッセージが表示されますので、[はい] をと販売画面が終了し、
 開始メニュー画面に戻ります。

レジ操作 / レジ画面起動

BCPOS の終了

BCPOS を終了する場合、下記の手順を行って頂く事で、バックアップの処理を行います。
※日報集計は、BCPOS を終了した時点で集計が完了しています。

■ 手順 1

レジ画面で、終了 [F1] キーを押してください。
終了の [確認] 画面が表示されます。
終了してよければ [はい] を押してください。



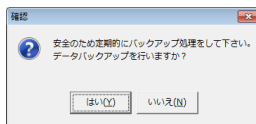
■ 手順 2

[開始メニュー] に戻ります。
[F10 終了] を押してください。



■ 手順 3

データバックアップの [確認] 画面が表示されます。
[はい] を選択するとデータのバックアップメニューが表示され、バックアップ処理を行うことができます。
[いいえ] を選択するとバックアップを取らずに BCPOS を終了します。



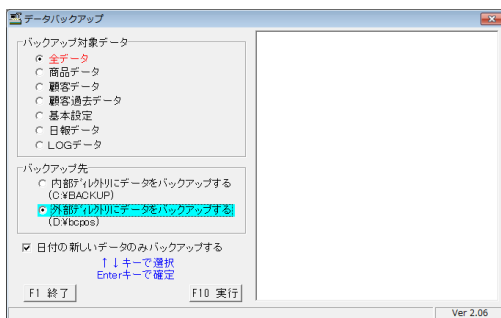
注意

データのバックアップはハードウェア・ソフトウェア・OS等コンピュータのトラブルに備えて定期的に行うようにしてください。

※※※※※ **重要** ※※※※※

「バックアップ先」を【外部ディレクトリにデータバックアップする】にして、外付け HDD や USB メモリ等の外部媒体に取ることを推奨します。

バックアップを取らずにデータが破損した場合は弊社では一切の責任を負いかねます。



Windows の終了

起動中のプログラムをすべて終了してから Windows を終了してください。コンピュータはいきなり電源を切ることはいけません。
※いきなり電源を切るとデータが破損する恐れがあります。

■ 手順 1

Windows の [スタート] ボタンを押すか、キーボードの [Windows キー] を押すと表示されるスタートメニューから [シャットダウン (電源オプション)] を選択してください。



9-2 釣銭準備金の登録方法

釣銭準備金を登録する事で、在高計算 (P-137) を行える用になります。
 ※在高計算【売上(現金収支「クレジット・売掛除く」)】+【釣銭準備金】=レジになければならない現金

■ 手順 1

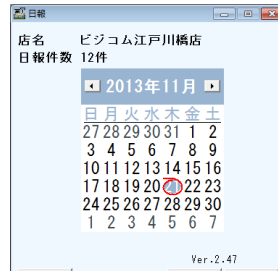
釣銭をドリアに入れる場合に[釣銭準備金の登録]をしていただくことで在高計算時に現金誤差を把握することができます。

テンキー部「H」を押して日報[F2]を押してください。



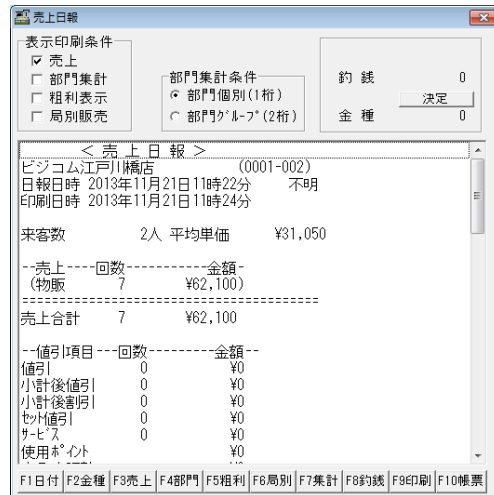
■ 手順 2

日付指定画面が表示されます。
 [F10 実行]を押してください。



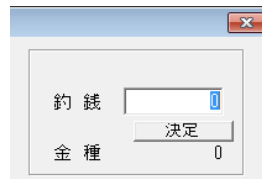
■ 手順 3

日報が表示されます。
 [F8 釣銭]を押してください。



■ 手順 4

右上の[釣銭]フィールドにカーソルが移動します。
 本日ドリアに入れる釣銭額を入力し[Enter]を押してください。

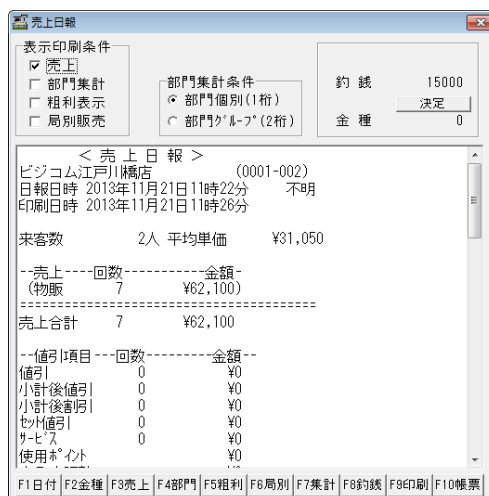


レジ操作 釣銭準備金



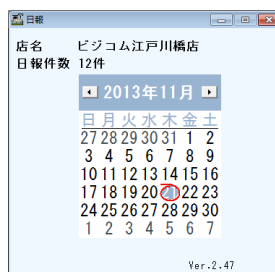
■ 手順 5

[釣銭] フィールドに入力した金額が表示されていることを確認し
[F1 日付] を押してください。



■ 手順 6

日付指定画面に戻ります。
[F1 終了] を押してください。



■ 手順 7

レジ画面に戻ります。
以上で釣銭準備金の登録作業は終了です。



■ ドロアの開閉 (ドロア [F10])

[F10 ドロア] を押すと、販売処理をしなくてもドロアを開けることができます。
([基本設定] → [メニューバー] → [ファンクションボタンの表示設定] → [ドロア] を [する] に設定し
[基本設定] → [機種] の [ドロア使用] でドロアの設定を行い、ドロアの接続をしないと [F10 ドロア] の
ファンクションボタンは表示されません。(ドロアの開閉は、全て操作ログとして記録されます P-52 参照)

Column

紙幣・硬貨自動釣銭機

BCPOS は拡張ハードウェアとして、紙幣・硬貨自動釣銭機との連動が可能です。
紙幣・硬貨自動釣銭機を使用する事で、会計時間の短縮・金銭授受トラブルの回避・在高自動計算等、
業務効率があがります。
紙幣・硬貨自動釣銭機については、別途お問合せください。

9-3 仕入の方法 (F7 仕入れ)

P-81 仕入先マスタ
P-82 商品マスタ

■ 手順 1

[レジ画面] で仕入 [F7] を押してください。

■ 手順 2

[レジ画面] で商品メニューを押して商品呼び出してください。
(バーコードリーダーをお使いの場合は、商品の JAN コード等を
スキャンすると商品が呼び出されます。)

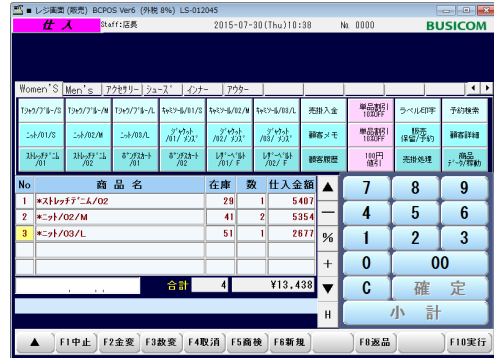
商品コードと商品名、金額が表示されます。

そのときに、数量はデフォルトで 1 が入っているので入庫した

数量をタッチしてテンキーで仕入れ数を入力するか、

数変 [F3] ボタンを押して仕入れ数を入れてください。

[F10 実行] ボタンを押してください。



必要があればその仕入処理に対する仕入先の記録を、残すことが
できます。(必須ではありません) ※マスタの変更はありません。

・仕入先コード (4 桁) をスキャンまたは入力・[SF5 仕検] にて
仕入先検索。もしも仕入先が新規の場合は [SF3 仕マスタ] から
新規仕入先情報を登録します。

[SF3 仕マスタ] は商品コードを読み込ませる前の画面で表示され
ます。仕入先情報が顧客フィールドに表示されます。



その仕入処理に対する伝票日付や発注番号の記録を残すことが
できます。

[F6 仕日] を押し、仕入を行った日付・伝票番号を入力して
仕入情報を登録し、実行 [F10] ボタンを押してください。

※ [基本設定] → [初期 3] で仕入日の日付・伝票番号の強制入
力設定を選択している場合は、これを入力しないと仕入が
起こせない (実行ボタンが表示されません) ので
必ず入力してください。



■ 手順 3

レジ画面に戻り、仕入レシートが発行されます。

自動的に販売モードになりますので、続けて仕入を行う場合は
再度、仕入 [F7] を押してください。

なお、右の情報画面は次の商品が呼び出されるまで表示され
続けます。

続いて商品を販売される時はこの画面が表示されたままで、
商品メニューを押して商品呼び出してください。



※仕入画面で左図の様に、仕入金額の背景に色が付いている
場合には「セールス価格」が仕入金額に適用されています。



9-4 仕入保留機能

商品を仕入中に他の業務(販売等)を行う時は、仕入保留で仕入を中断後、保留にした仕入を再度呼び出して処理が出来ます。

※仕入保留の機能を使用するには P-96 保留設定>「仕入保留」の設定行ってください。

保留の登録

■ 手順 1

「仕入保留」を行いたい場合は、仕入画面で商品呼び出したあと、画面下部の操作ボタンフィールド▲を押して、保留登録 [SF9] を押してください。

※仕入保留はレジ画面上的ファンクションキーにボタン表示されませんのでご注意ください。下記「POINT」を参照して商品メニューへ登録する事を推奨します。

■ 手順 2

右の画面が表示されます。
保留レシートを印刷する設定にしてある場合「OK」を押すとレシートが発行されます。

(レシートの枚数は、P-96 保留設定で行ってください)

レシートの一番下には保留 No のバーコードが印刷されます。

以上で保留データの登録が完了しました。

※呼び出した商品はクリアされません。
仕入しない場合は ESC キーでクリアしてください。



Column

仕入商品が商品マスタに無い場合

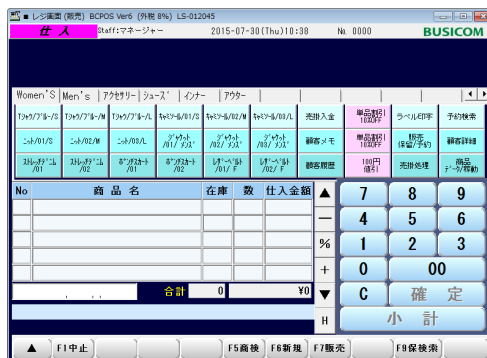
仕入時に、マイナーチェンジ等で、JAN コードが変わっている、予期しない新製品が届いた等商品マスタにない JAN コードを読取った場合、P-45 基本設定>初期「簡易登録 JAN」を「する」にしていると、「簡易商品登録」 P-85 が行えます。

※仕入処理だけでなく、販売処理も同様に「簡易商品登録」が可能です。

保留の呼び出し

■ 手順 1

仕入画面で保検索 [F9] ボタンを押してください。



■ 手順 2

右の画面が表示されます。
「F9 検索」ボタンを押して下さい。

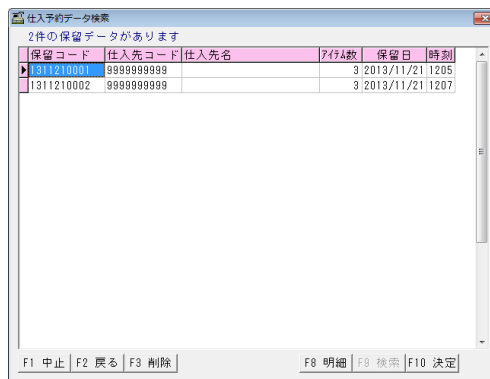


※呼び出したい保留 NO や仕入先コードを「抽出条件」に入力して「F9 検索」ボタンを押しても呼び出せます。

また、発行されたレシートに印刷されているバーコードを「抽出条件」にスキャンしても呼び出せます。

■ 手順 3

現在保留されている一覧が表示されます。
仕入先を呼び出していない場合は、仕入先コードに「999999999」が入り、仕入先名は表示されません。



「F8 明細」ボタンで詳細が確認できます。

呼び出したいデータを選択して「F10 決定」ボタンを押してください。

■ 手順 4

以上で保留したデータの呼び出しが完了します。



9-5 移出 (SF8)・移入 (SF7) 処理の方法

P-79 店舗マスタ

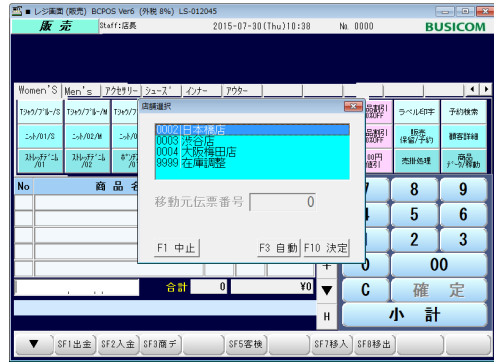
商品を他店へ移動するときの操作です。
 [販売画面] 下部操作ボタンフィールドの▲を押して、
 移出 [SF8] を押すと [店舗選択] が表示されます。
 ※移入処理もほぼ同様の手順となります。

■ 手順 1
 [レジ画面] で移出 [SF8] または移入 [SF7] を押してください。
 これからスキャンする商品をどこの店舗へ移動させるのかを、
 店舗一覧から選択して [F10 決定] を押してください。
 ※商品移動時に「仕入累計金額」を変更する場合 P-46 参照

■ 手順 2
 [商品移動 (出)] モードに切り替わります。
 (または [商品移入 (入)] モード)
 移動させる商品メニューをタッチ or スキャンして画面に
 呼び出してください。

数量はデフォルトで 1 と入っているのですが、数量にあわせて
 数量をタッチしてテンキーで入力するか、数変 [F3] で
 正しい数量を入力して実行 [F10] を押してください。

■ 手順 3
 レジ画面に戻り、移出レシートが発行されます。
 ※レシートを 2 枚出力する場合 P-54 参照



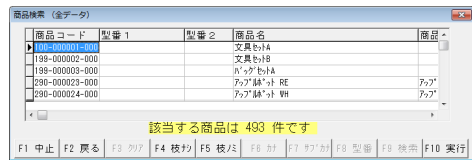
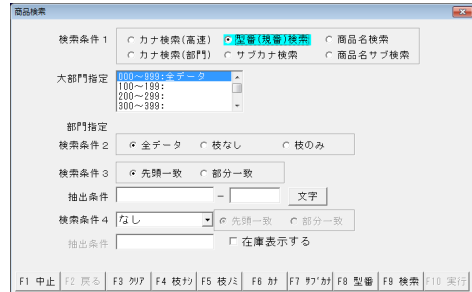
9-6 商品検索

□ 商品の検索 (F5 商検)
 キーボードの [F5] キーもしくは画面下方 [F5 商検] を押すと [商品検索] 画面が表示されます。
 商品を [商品名カナ]、[サブ商品名カナ] [型番] 等で検索することができます。

■ 手順 1
 検索条件 1・2・3 の項目の中から検索条件を選択します。
 (ただし、検索条件 1 のなかでカナ検索 (高速) を選択した場合には、
 大部門・部門などの指定はグレイアウトしてできなくなります)
 検索条件を選択したら [F9 検索] を押します。

■ 手順 2
 検索結果が一覧で表示されます。一覧表の商品を 2 回押すると、
 販売画面の商品欄に入力されます。

※ 2 度目から [F5 商検] を押すと、前回の設定条件での
 検索結果一覧画面が表示されます。
 一度検索を行うと前回の検索条件を記憶していますので選択条件を
 変更したい場合は [F2 戻る] を押して条件設定の画面に戻り、
 再度条件設定してください。



検索条件 1	
カナ検索 (高速)	カナ読みで検索します。 大部門、部門などの指定はできません。
カナ検索 (部門)	カナ読みで検索します。
型番 (規番) 検索	型番で検索します。
サブカナ検索	サブカナで検索します。
商品名検索	商品名で検索します。
商品名サブ検索	商品のサブ名で検索します。

検索条件 2	
枝なし	商品コード 12 桁の後ろ 3 桁が 000 のものだけ抽出します。
枝のみ	商品コード 12 桁の後ろ 3 桁が 001 ~ 999 のものだけ抽出します。
検索条件 3	
先頭一致	先頭が一致しているものを検索します。
部分一致	部分的に一致しているものを検索します。 (あいまい検索)

9-7 販売の流れ

■ 手順 1

[レジ画面] で商品メニューを押して、商品呼び出してください。
(バーコードリーダーをお使いの場合は、商品の JAN コード等を
スキャンすると商品が呼び出されます。)

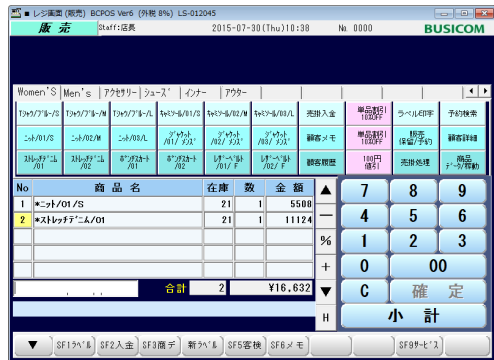
※部門販売の設定は、P-76「部門割当キー」
P-71「部門割当キーのメニューボタン登録」を参照

操作ボタンフィールドの

小計 [F9] を押す事で、手順 2 へ

現計 [F10] を押す事で、手順 3 へ進みます。

※小計ボタンは設定で必須入力になります。



■ 手順 1-2

お客様を呼び出して販売する必要がある場合はお客様を
呼び出してください。(顧客管理の詳細は P-150)

※商品呼び出し→顧客呼び出し というように、
呼び出し順が前後しても問題ありません。

操作ボタンフィールドの

小計 [F 9] を押す事で、手順 2 へ

現計 [F10] を押す事で、手順 3 へ進みます。



■ 手順 2

レジ画面の操作ボタンフィールド、小計 [F9] を押しください。
小計画面に切り替わります。

自動的に [預り] フィールドにカーソルが移動していますので、
お客様からお預かりした金額を入力してください。

入力後、現計 [F10] またはキーボードの [Enter キー] を
2 回押すことで会計が終了となります。

※「担当者コード入力強制 P-47」がするの場合、
担当者コードを入力しないと会計を終了できません。



■ 手順 3

レジ画面に戻り、レシートが発行されます。

なお、お釣等の会計情報画面は、次の商品が
呼び出されるまで表示され続けます。

※表示を消したい場合には
・画面左上「販売」ロゴをタッチする
・パソコンのキーボードで「Enter」を押す
上記操作で表示は消えます。

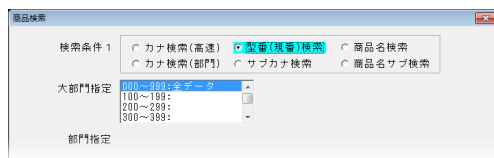
続いて商品を販売される場合、会計情報画面が
表示されたままで商品呼び出して販売が可能です。



※ 商品検索 (F5 商検) 前項を参照

商品メニューへの登録もれや、バーコードラベルが読込めない
時などは、レジ画面下の「商検」を押すと「商品検索」画面が
表示されます。

商品名、カナ、型番、商品名サブ等で検索でき、
検索結果の商品を選択する事でレジ画面に反映されます。



レジ操作 / 販売

9-8 販売 (各種処理)

□ 商品の数量の変更 (数変 [F3])

[レジ画面] で商品メニューを押して商品呼び出してください。
(バーコードリーダーをお使いの場合は、商品の JAN コード等を
スキャンすると商品が呼び出されます。)

数量は常にデフォルトで 1 と入ります。

数量を増やす場合には、同じ商品メニューを複数タッチするか、
数変 [F3 数変] を押すと、カーソルがその商品の数量のところ
に移動し反転しますのでテンキーで数量を入力します。

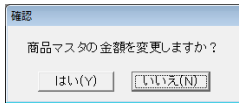
「確定」[Enter] を押すと数量が決定され、
金額はその単価×数量になります。

□ 商品の金額変更 (金変 [F2])

販売商品の金額を変更する場合に使用します。金額をタッチし
てテンキーで入力するか、金変 [F2] で金額を変更してください。

※金変 [F2] 時、商品が単品 (数量 1) の場合

入力した金額を、商品マスタの金額と
して変更するかどうかの [確認] 画面が
表示されます。



マスタ価格を変更する場合は [はい(Y)] を選択し、
商品マスタの金額を更新します。

その場だけの金額変更の場合は [いいえ(N)] を選択してください。

※ [開始メニュー] → [F6 基本設定] → [F4 追加基本設定]
→ [F3 その他追加基本設定] の「金額変更時マスタ更新確認
画面」を「しない」とすると確認画面を非表示に設定できます。

(この設定をした場合は、金額変更してもその場だけの金額変更となります。)

※タッチ用レジ画面の場合、金額欄をタッチするか「金変」ボタンを押すことで入力可能状態になりますが、
一旦金額が 0 になります。他のところをタッチすると元に戻ります。(数変も同様)

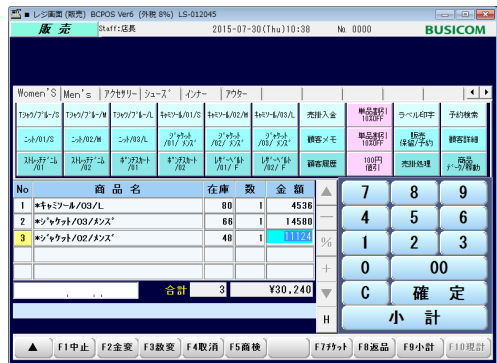
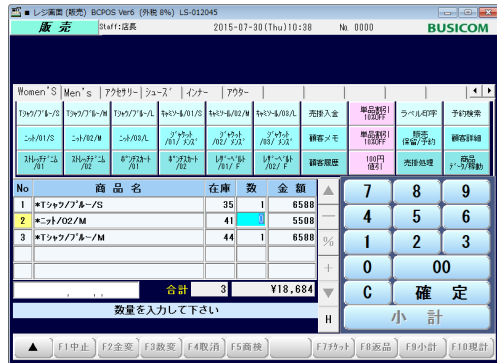
□ 商品の販売キャンセル (取消 [F4])

販売画面で呼び出した商品をキャンセルしたい場合には、レジ画面の操作ボタンフィールド、
取消 [F4] キーを押すとキャンセルすることができます。

複数の商品を読み込ませた場合のいずれかをキャンセルする場合には、キャンセルしたい商品をタッチすると
コード欄が黄色くなります。この状態で取消 [F4] を押すと取り消すことができます。

販売をキャンセルする場合には、レジ画面の操作ボタンフィールド、中止 [F1] キーを押すと

「販売を中止しますか」と尋ねられ「はい」を押すと、販売がキャンセルされ、販売画面 TOP に戻ります。



※ 備考 (キーボードを併用して運用されている場合)

金額変更の方法は金変 [F2] や金額欄をタッチすることで変更可能ですが、これ以外にも下記の方法で変更可能です。

例 1) [-] (マイナス) キー + [値引きしたい金額] +
[Enter] キー ⇒ 値引き処理ができます。



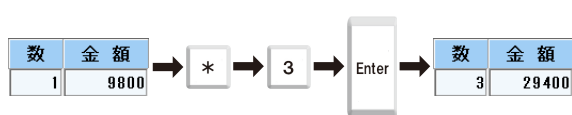
例 2) [+] キー + [値増ししたい金額] + [Enter] キー
⇒ 値増し処理ができます。



例 3) [/] (スラッシュ) キー + [100 - 割引率]
(20% 引きの場合は "80" と入力) + [Enter] キー
⇒ 割引処理ができます。



例 4) [*] (アスタリスク) キー + [変更したい数] +
[Enter] キー ⇒ 数量の変更ができます。



例 5) [PageUp] キー [PageDown] キー ⇒ 数量を 1 つ増やしたり減らしたりできます。



□ 商品の値引・割引方法

(小計画画面の値引・割引は P-134 参照)

販売画面で商品を出し(No 部分が黄色が対象)

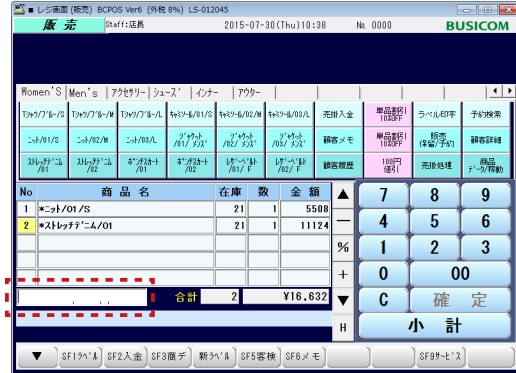
コード入力フィールド(右図赤枠内)に、

値引 = 「マイナス」+ 金額、割引 = 「バックslash」+ 数値、
(値増「+」、割増「*」)で、単品割引・値引・・・等が可能です。

フィールド入力例)

1,000 円値引 = 「-1000」、100 円値増 = 「+100」

10% Off = 「/90」、80% Off = 「/80」、10%増し = 「*10」



※ ファンクション 7 の値引 (値引 [F6])

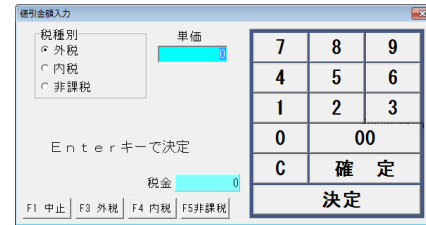
レシートに値引を強調したい時は、「F6 値引」を使用します。

対象商品を出し後、レジ画面下の「F6 値引」をクリックします。

(商品券使用「する」P-62 の場合、表示されません)

金変 [F2]と、コード入力フィールドの値引・割引に比べ、
レシートに商品明細とは別に、1 行新たに値引が追加される

事で、より値引・割引が強調されます。



※ ファンクション 7 の値引 (値引 [F6]) 利用時の注意

外税商品の売上に対して値引を行う場合は必ず外税値引を使用してください。

外税商品から内税または非課税値引をしてしまうと税金だけが残ってしまう場合があります。

例) 外税商品 : 500 円 + 外税 : 25 円 - 内税値引 : 500 円 = 残金外税分 25 円

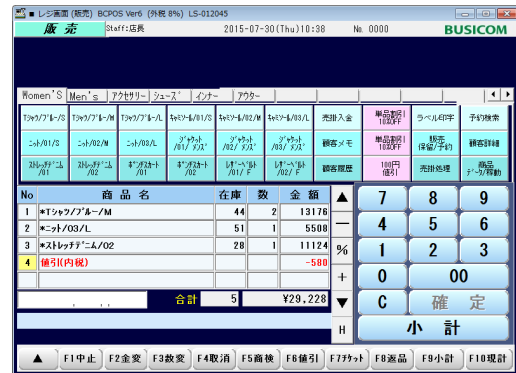
※値引税種のデフォルト条件(内税、外税、非課税)は
基本設定で指定できます。(P-42 参照)

販売画面に値引の項目が赤い字で表示され、

値引金額は 5 段まで入力できます。

値引の税種が異なる複数の値引を行う場合は、

別々の項目に表示されます。



□ 商品の無料サービス (SF9 サービス)

商品をサービス(無料)にしたい場合は、操作ボタンフィールド

の左端▲を押して表示を切り換え、サービス [SF9] を押すとその商品の金額表示欄が「サービス」に変わります。

サービスを取り消したい場合は同じ商品の上でもう一度、[SF9 サービス] を押してください。



※サービス処理をした場合の日報
表示は、右のようになります。

< 売上日報 >			
ビジコム大阪支店		(0001-004)	
日報日時	2008年08月11日14時30分	(晴)	
印字日時	2008年08月11日14時31分		
来客数	2人	平均単価	¥6,370
---売上---回数---金額---粗利---			
(物販)	2	¥12,741	8936)
=====			
売上合計	2	¥12,741	
---値引項目---回数---金額---			
値引	0	¥0	
小計後値引	0	¥0	
小計後割引	0	¥0	
セット値引	0	¥0	
サービス	1	-¥1,200	
使用ポイント		¥0	
まるめ調整		¥0	

9-9 部門販売 (バーコードの無い商品販売)

バーコードが無い商品を、部門単位で販売できます。
 販売金額入力後、商品メニューの部門キーを押して小計します。
 部門割当キーの設定については P-76「部門キー割当て」を参照。
 「商品メニュー登録」については P-71 を参照。



9-10 複数割引機能 (同一商品セット販売)

同一商品がある一定数 (設定値) になると、
 値引価格が適用されます。

1 缶 ¥ 250-
 (単品価格)

6 缶 ¥ 1,380-
 (複数単価)

複数割引機能は、商品マスタの登録で行います。
 (P83-84「複数単価」参照)

※ミックスマッチ (P-110 参照) とセット販売 (P-105 参照)
 及び、複数割引機能は併用できません。



9-11 セールス特価機能

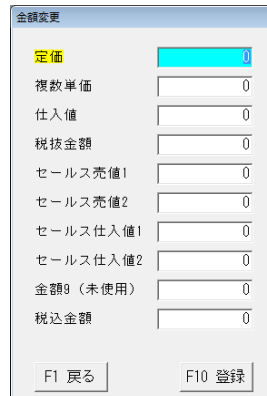
商品マスタのセールス価格 1・2 を、標準設定から、手動でセールス価格の 1 または 2 を適用します。
 ミックス販売との併用時は、P-114 の「注」ミックス販売とセール売価・期間指定売価機能の併用時における注意点」を参照

■ 手順 1

商品マスタの必須項目を入力し、定価入力欄にカーソルが当たると、
 商品マスタ下部に「F9 全価格」タブが出現しますので「F9 全価格」
 を押します。(商品マスタ登録は P-82 参照)

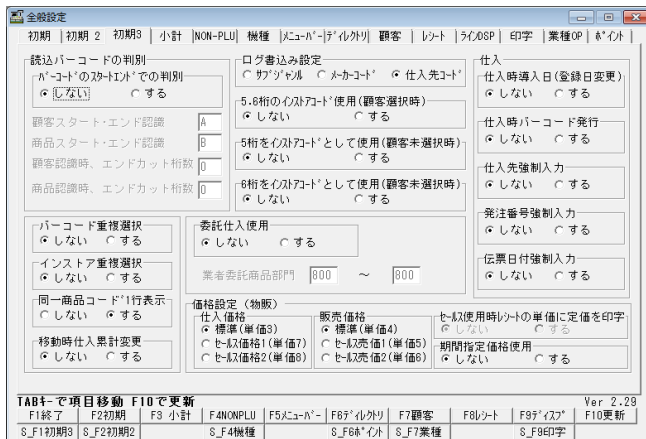
■ 手順 2

「金額変更」画面の
 セールス売値 1・2 に価格を設定します。



■ 手順 3

全般設定「初期 3」P-46 の [価格設定 (物販)] 販売価格の設定で適用したい「セールス売価」を設定します。
 設定されている間は、セールス売価が適用されます。(セールス売価の設定が無い商品は、定価が適用されます)



レジ操作 / 販売 (各種処理)

9-12 セット販売機能 (バンドル販売)

バラバラの製品をセットして販売する事で、単品で購入するよりも、販売価格を安く販売します。一つのバーコード読取でセットした商品の在庫を減らします。

例) 手帳 ¥1,980- 万年筆 ¥2,980 電卓 ¥1,580- 文具セット ¥5,980-



商品マスタの売価を変更しないで、セットの時だけ値引が適用され、バラで販売する時は、通常の売価で販売されるので、マスタ管理が煩雑にならない。「セットマスタ」のコードを一つ呼出すだけで、セットマスタに含まれる商品全ての在庫を一括で減らせる。・・・等のメリットがあるのが、セット販売(バンドル販売)です。

- ※「追加基本設定」でセット販売使用を[する]に設定しないと使用できません。(P-63参照)
- ※セット販売機能を使用する際は、設定で同一商品一行表示を「しない」にする事をお勧めします。(P-46参照)
- ※※ミックスマッチ(P-110参照)とセット販売及び、複数割引機能(P-104参照)は併用できません。

セット商品の販売

■ 手順 1

セットマスタコードをレジ画面のメニューに登録しておくか、バーコードリーダーで、セットマスタコードを読取ると、登録した商品が全て表示されます。

※セット販売は、一つのコードを読取ることによってセットの商品を値引する機能ですので、販売時には商品を一まとめ(同梱包)にして、セットマスタコードのバーコードラベルを貼ることを推奨します。

■ 手順 2

注)セットの値引金額はレジ画面に表示されません。セットの値引金額は小計画面で確認できます。

■ 手順 3

後は通常の販売方法と同じ様に操作して会計を終えてください。
セット商品を販売した時のレシートは右のように出力されます。(セットで販売した場合、粗利は値引前になります)

No	商品名	在庫	数	金額
1	*ロイヤルゼリーギフトセット		1	0
2	*ロイヤルゼリー 100ml	29	1	9280
3	*ナマロイヤルゼリー100G	30	1	6368
4	*クアマザサイクス360T	42	1	3168
合計		4		¥17,000

小計	17,000
内金	0
ポイント	0
セット値引	-1816
金額調整	0
商品券	0
外税金	0
クレジット	0
合計	¥17,000

** 販売 **

2010/10/17(日) 00:17 店0001 No 0002
 担当者 0001:BC販売員
 会員番号 0001-00001 ビジコム太郎様

コード	品名	数	単価	金額
950-000102-000	ロイヤルゼリーギフトセット	1	0	0
200-000111-000	ロイヤルゼリー 100ml	1	9,280	9,280
200-000103-000	ナマロイヤルゼリー100GT	1	6,368	6,368
200-000105-000	クアマザサイクス 360T	1	3,168	3,168
税込対象額				17,000
セット値引				-1,816
合計	2点		¥17,000	
			(内消費税 5%)	810

レジ操作 / 販売 (セット販売)

注) セット販売機能 使用時における「同一商品コード 1 行表示」の設定

セット販売機能を使用する際は「初期設定 3」>「同一商品コード 1 行表示」を [しない] にする事を推奨します (P-46 参照)

例) ローヤルゼリーギフトセット (1816 円の値引商品) に、セットに含まれている商品を追加で読取った場合

同一商品コード 1 行表示 【しない】

ローヤルゼリーが同一商品ですが、No2 と No5 の行に別々に表示され、No5 に表示されたローヤルゼリーは通常売価が適用されていますので、小計画面での値引は「1816 円」となっています。 << 適正值引 >>

No	商品名	在庫数	金額
1	*ローヤルゼリーギフトセット	1	0
2	*ローヤルゼリー 100ml	29	9280
3	*ナプロイタルゼリー100G	30	6368
4	*クアマザサエキス360T	42	3168
5	*ローヤルゼリー 100ml	29	9280
合計		5	¥26,280

クレジット会社名:	小計	26,280
クレジットカードNo:	内金	0
	ポイント	0
	セット値引	-1816
	金額調整	0
	商品券	0
	外税金	0

同一商品コード 1 行表示 【する】

ローヤルゼリーが同一商品ですが、No2 に数量 2 と一行に商品が纏まって表示され、追加で読取ったローヤルゼリーにも、セット値引が適用されてしまい、小計画面での値引は「3096 円」となっています。 << 二重値引 >>

No	商品名	在庫数	金額
1	*ローヤルゼリーギフトセット	1	0
2	*ローヤルゼリー 100ml	29	18560
3	*ナプロイタルゼリー100G	30	6368
4	*クアマザサエキス360T	42	3168
合計		5	¥25,000

クレジット会社名:	小計	25,000
クレジットカードNo:	内金	0
	ポイント	0
	セット値引	-3096
	金額調整	0
	商品券	0
	外税金	0

セットマスタの登録

セットマスタとして登録されたコードを読込むことで、セットマスタに関連付けられた商品を一度に呼び出します。セットマスタも通常の商品と同様に「商品マスタ」で登録します。
 ※セット用の部門を作成する事で、セットがどれくらい販売されたか等分析や纏めて値引等が行えます。

手順 1

「開始メニュー」> [F2 管理画面] > [商品マスタ] を押してください。

手順 2

[セットマスタコード] を「商品コード」に [セットマスタ名] を「商品名」に入力してください。
 ※通常の商品と異なり、セット用のマスタは商品コードでしか機能できません。JAN やインストアにコードを登録して呼び出そうとしてもセット用のマスタしかレジ上表示されません。ご注意ください。

手順 3

[セットマスタ] は、単品商品ではないので「在庫管理フラグ」を外し「税込み金額」or「税抜き金額」を [0 円] にしてください。

手順 4

「条件」を必ず [1] にしてください。

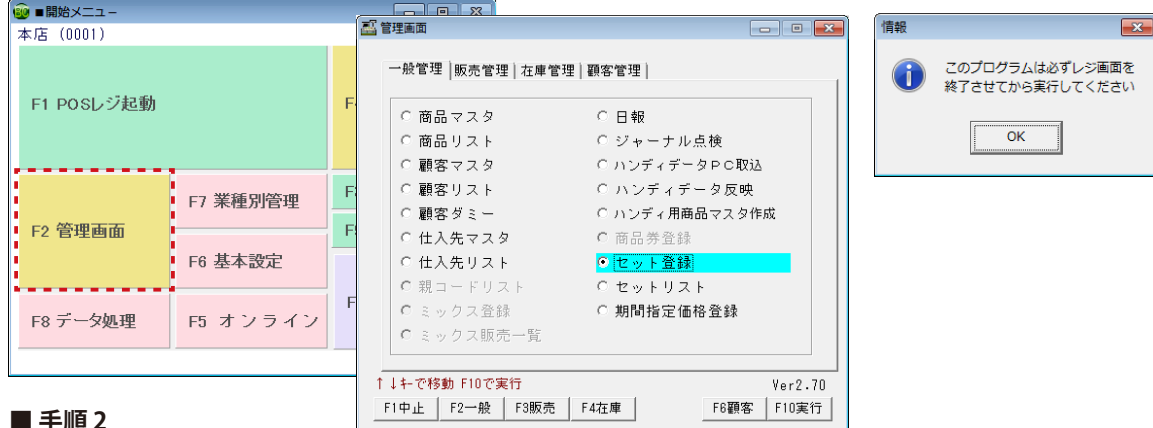
レジ操作 / 販売 (セット販売)

セット商品の登録

■ 手順 1

「開始メニュー」> [F2 管理画面]> [セット登録] を押してください。

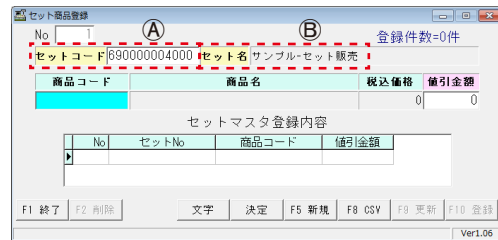
情報画面(右下図)が表示されますので、レジ画面を閉じてから「OK」を押して下さい。セット商品登録が開きます。



■ 手順 2

① 「セットコード」に前項で登録した、セットマスタの商品コードを入力し [決定] を押して、セットマスタを呼び出します。

※商品名が ② 「セット名」に表示され「商品コード」がフォーカスされブルーになります。



■ 手順 3

※レジ画面やレシートに、セットマスタ名を表示する場合には、一番最初にセットマスタコードを値引金額 0 円で登録してください。上段にセットマスタ名、以下順に登録した商品が表示されます。(最後にセットマスタを登録すると、一番下にセットマスタ名が表示されます。また、セットマスタを登録しないと、セットマスタ名は表示されません。)

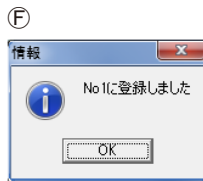
①-③ 「商品コード」にセットにする商品の、商品コードを入力し [決定] を押してください。

②-④ 「価格」は売価が表示されます。

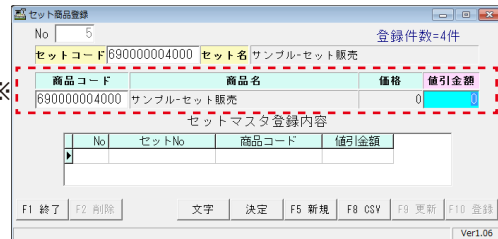
③-⑤ 「値引金額」を入力し [F10 登録] ボタンを押してください。

④-⑥ 登録したメッセージが表示されるので [OK] を押してください。

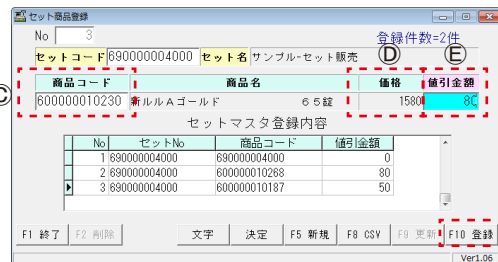
⑤ 同じセットマスタに続けて商品を登録する場合は「商品コード」に登録する商品コードを呼び出し [決定] ボタンを押してください。」



※



③



以降①～④の手順でセット登録を行います。

セットする商品の登録が終了しましたら [F1 終了] で画面を閉じてください。

別のセット商品を登録する場合には、手順 1 から手順 3 を繰り返します。

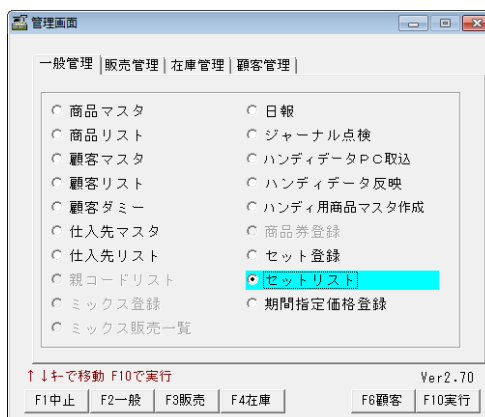
※セット登録画面には、すでに登録済みのセット内容が表示されていますが(右図)そのまま登録してください。



セット登録一覧の確認

■ 手順 1

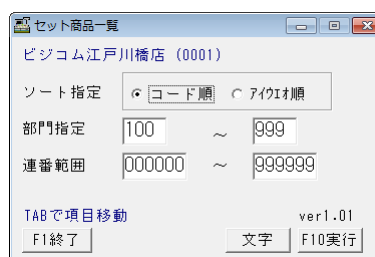
[開始メニュー] から [F2 管理画面] を開き [セットリスト] を選択して [F10 実行] を押してください。



■ 手順 2

出力条件指定画面が表示されます。
設定後 [F10 実行] を押してください。

ソート指定	セット内容の商品の順番 ※セットマスタは商品コード順
部門指定	セットマスタの範囲
連番範囲	セットマスタの範囲
枝番範囲	セットマスタの範囲



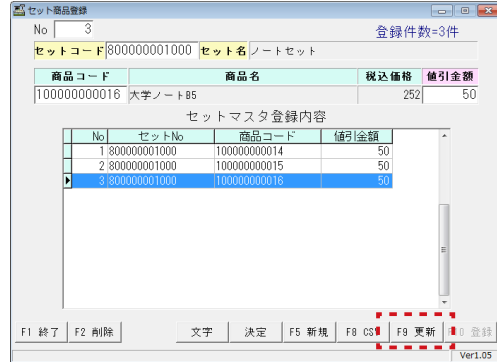
■ 手順 3

一覧が表示されます。
商品名の前に付いている「*」印はセットマスタを表す印となっています。

商品コード	商品名	J A N	仕入値	売 値	値引金額	登録
部門範囲 100 ~ 999 セットコード範囲 100-000000-000 ~ 999-999999-999 該当件数 7 件						
199-000001-000	*文具セットA					
199-000001-000	文具セットA		0	0		0 2010/
290-000064-000	カードケース 電卓 BK	4517565054721	682	1300	1300	2010/
290-000179-000	ハンディミニノート/ペンコ	4988342138499	210	400	400	2010/
290-000196-000	フルーツボールペン	8207556769654	210	400	400	2010/
	* * 合計 * *			4100	3049	
199-000002-000	*文具セットB					
199-000002-000	文具セットB		0	0		0 2010/
290-000064-000	カードケース 電卓 BK	4517565054721	682	1300	300	2010/
290-000179-000	ハンディミニノート/ペンコ	4988342138499	210	400	100	2010/
290-000196-000	フルーツボールペン	8207556769654	210	400	100	2010/
	* * 合計 * *			2100	500	
	総 計			6200	3549	

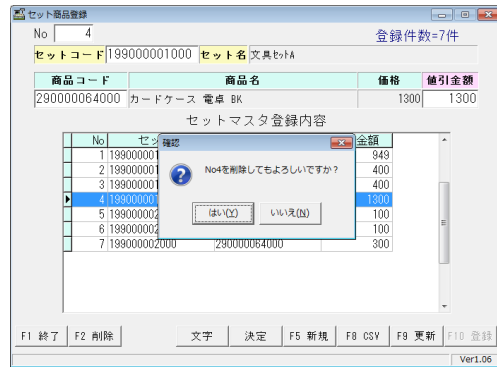
セット内容の修正

修正したいレコードを押して青く反転させます。
上部に登録内容が表示されるので、修正したい項目を押し、
変更後は [F9 更新] ボタンを押してください。



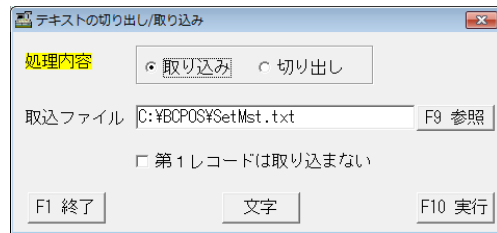
セット商品の削除

削除したいレコードを押して青く反転させます。
[F2 削除] ボタンを押すと確認画面が出るので [はい] を
選択すると削除されます。



セット商品の CSV 切り出し / 取り込み

登録画面の [F8CSV] ボタンを押します。
処理内容・取込ファイルを選択します。
※ 1 度に取り込める件数は 250 件までです。それ以上になる
場合はファイルを分けてください。
切り出す際も 250 件でファイルを分けます。250 件以上の場合
は指定したファイル名の後ろに (1) (2) が自動でつきます。



処理内容	CSV ファイルの取り込みか切り出しかを選択
取込ファイル (切出ファイル)	処理内容が取り込みの時は取り込みするファイルを指定。切り出しの時は切出し先を指定。参照ボタンで指定可能
第 1 レコードは取り込まない (第 1 レコードに項目名をつける)	取り込みの時は最初の 1 件目を取り込むかどうか切出し時は項目名をつけるかどうか

CSV フォーマット		
項目名	入力可能桁数	備考
No	4	
セット No	12	セット用の商品コード
商品コード	12	
値引金額	10	値引金額を使用しない場合でも、エクセルなどで作成する場合は必ず 0 を入力

9-13 ミックスマッチ販売機能

靴下 3 足 1,000 円等の、設定された複数の商品を一定数定額で販売を行い、商品毎に在庫数を減らします。

※ミックスマッチとセット販売 (P-105 参照) 及び、複数割引機能 (P-104 参照) は併用できません。



基本設定

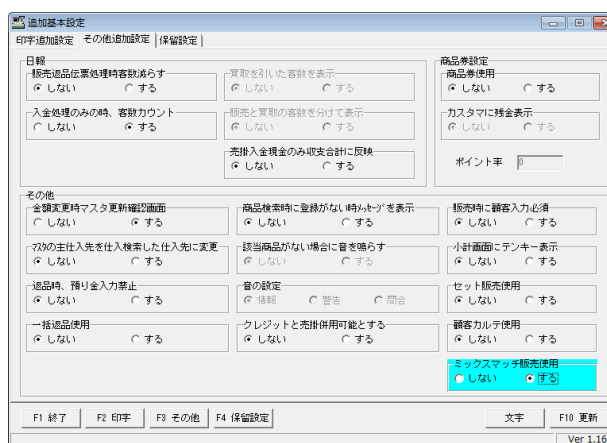
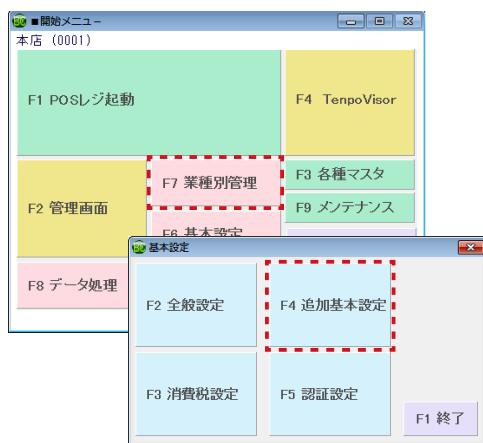
■ 手順 1

開始メニューから [F6 基本設定] > [F4 追加基本設定] > [その他追加設定] を開き「ミックス販売使用」を【する】にしてください。

※「ミックスマッチ販売使用」を【する】にすると、強制的に同一商品 1 行表示しない設定になります。

販売画面でミックス対象商品を読込んだ場合、数量・金額の変更は行えません。

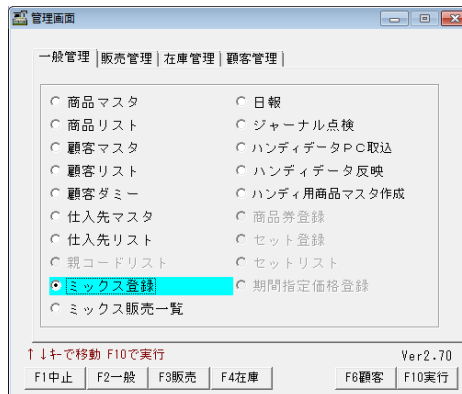
(ミックス対象商品以外は、通常通りに変更可能です。)



パターンの登録

■ 手順 1

開始メニューから [F2 管理画面] を開き、[ミックス登録] を選択して [F10 実行] を押してください。



※注意

レジ画面が起動していると左の画面が表示されます。レジ画面起動している場合は、レジ画面を閉じてから [OK] を押してください。※複数台使用している場合は全台で閉じる必要があります。

■ 手順 2

始めにミックスパターンを登録します。1つのミックスパターンに2段階まで設定可能です。ミックスパターンは最大99まで登録可能です。入力後[F10 更新]を押してください。

No	ミックス No。 入力した数字に登録可能。
ミックス名称	レシートに印字される名称。
成立数量1	個数を入力
成立金額1	個数に達したときの金額を入力。
成立数量2	個数を入力
成立金額2	個数に達したときの金額を入力。
使用禁止	チェックが入っている場合は、レジ画面で呼び出してもミックスにならない。

※注意

成立数量1が優先になるため、1の方の個数を多く設定する必要があります。右図(エラー)
パターン1の方が単価(成立金額÷成立数量)が高いと警告メッセージが表示しますが、登録は可能です。右図(警告)

ミックス商品の登録 (コード入力)

■ 手順 1

ミックスパターンを登録することで、コード入力欄が有効になります。コード入力欄に、商品コード、JAN、インスタコード、バーコードのいずれかのコードを入力して、入力欄横の[決定]を押すか、エンターキーを2回押してください。同じコードがあった場合は重複選択画面が表示されます。上記を繰り返して登録します。

※注意

違う税種別は登録できないようになっています。



レジ操作 / 販売 (ミックスマッチ)

ミックス商品の登録 (一覧登録)

■ 手順 1

ミックスパターンを登録することで、コード入力欄が有効になります。

[F2 一覧登録] ボタンより、商品リストからミックスパターンが登録可能です。

■ 手順 2

商品リストの一覧検索条件を下記表から決め [F10 実行] を押すことでリストが表示されます。

部門範囲	部門の範囲を選択します。
枝番範囲	枝番の範囲を選択します。
価格設定日範囲	[する]にすると日付範囲が有効になります。
名称検索	名称で検索する場合は[する]に。
検索文字	商品名か商品名カナで検索可能。
検索条件	先頭一致か部分一致を選択。 大文字小文字半角は区別しません。
名称選択	検索したい文字を入力。

■ 手順 3

リストが表示されたら、ミックス No に数字を入力してください。入力したらそのレコード (行) の上下いずれかのレコードにカーソルを移動してください。(これをしないと反映されません。)

商品コード	JAN	商品名	売価	ミックスNo
101900098000	4995394312555	ema ケトル RD	4095	
101900099000	4995394312562	ema ケトル GR	4095	
101900100000	8800546200801	EMALIA Teapot	3675	
101900101000	0067742940568	チョコレートフォンデュセット PINK	2100	
101900102000	4536818200393	ボルカ・マルチ 21cm BROWN	4200	
101900103000	4995394588325	Magnifico フライパンM (24cm) GR	1050	
102900001000	4536818154605	プチフルール ベアモーニングセット	3150	
102900002000	4536818500055	ウェザー 飯椀 晴れ	787	
102900003000	4995394073487	ステンシルハートプレート GD	840	
102900004000	4547845215986	Tala STACKING COCOTTE	997	
102900005000	4547845216013	Tala BUTTER CASE	3150	

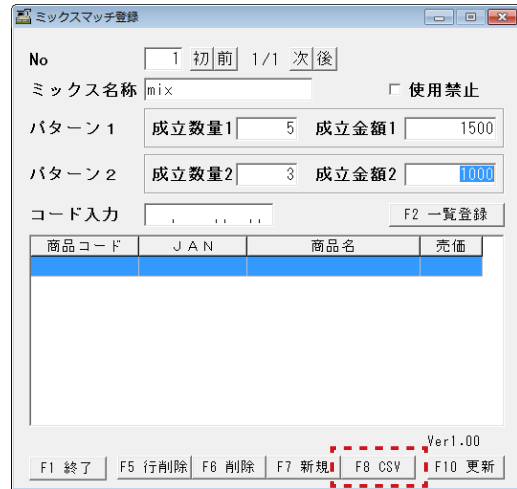
■ 削除する場合

削除する場合はミックス No に [0] を入力してください。

CSVの切り出し / 取り込み

■ 手順 1

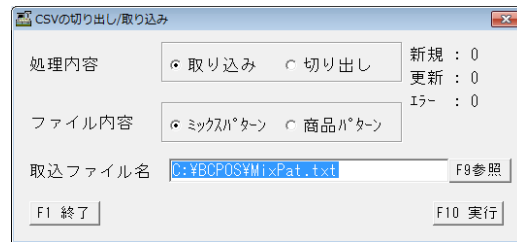
登録画面の [F9CSV] ボタンを押します。



■ 手順 2

処理内容、ファイル内容、取込ファイルを選択します。

処理内容	CSV ファイルの取り込みか 切り出しかを選択
ファイル内容	ミックスパターンか商品パターンを選択
取込ファイル (切出ファイル)	処理内容が取り込みの時は 取り込みするファイルを指定 切り出しの時は切出し先を指定 参照ボタンで指定可能



■ ファイルフォーマット

項目名	入力可能桁数	備考
ミックス No	2	1 ~ 99 まで
ミックス名称	40	
成立数量1	3	0 ~ 200 まで
成立金額1	9	0 ~ 999999999 まで
成立数量2	3	0 ~ 200 まで
成立金額2	9	0 ~ 999999999 まで
使用禁止フラグ	1	T: 使用可能 F: 使用不可

項目名	入力可能桁数	備考
商品コード	13	取込時は商品コード、JAN、 インスタ、バーコードどの コードでも取り込み可能。 切り出し時は商品コード固定。
ミックス No	2	1 ~ 99 まで

※取込時にヘッダー (項目名) があってもなくても取り込み可能です。

ミックス商品の販売

■ 手順 1

レジ画面でミックス商品呼び出すと、商品名の前に#○が付きます。(○はミックス No)
※販売時のみ # が付いている商品は、数量・金額が変更できません。



■ 手順 2

成立数量に達すると、自動的に値引金額が入り、成立金額になります

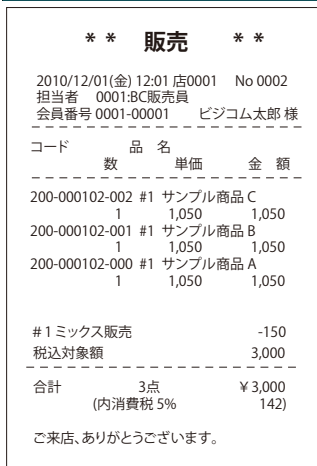


■ 手順 3

後は通常の販売方法と同じ様に操作して会計を終えてください。ミックス商品を販売した時のレシートは右のように出力されます。

※ 2 つ以上のパターンを販売した場合、レジ画面から出力されるレシートにはそれぞれの値引が表示されますが、レシート再発行やジャーナル点検では、まとめてミックス値引として足した金額を表示します。

※ミックスで販売した場合、粗利は値引前になります



注) ミックス販売とセール売価・期間指定売価機能の併用時における注意点

通常のセール売価機能と期間指定価格機能の併用は可能ですが、ミックスマッチが優先されます。

例：
「ミックスマッチ」の構成の商品で、尚且つ「期間指定価格」の設定もされている商品 (1・2 段目の商品)

右の画面は元々 450 円の商品を 3 個で 1200 円にしたミックスマッチ商品ですが、レジ画面の明細では、期間指定価格が適用され 300 円となっています。小計欄を見ると、値引 1200 円になります。

※金額欄が、ピンクやオレンジ色に変化します。この場合は、セール売価機能や期間指定価格機能をご確認ください。

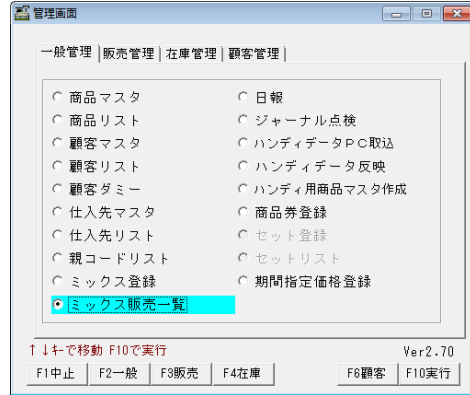
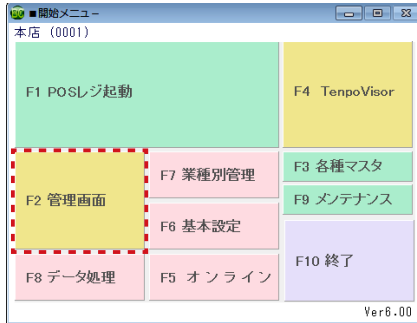


レジ操作 / 販売 (ミックスマッチ)

ミックス販売一覧

■ 手順 1

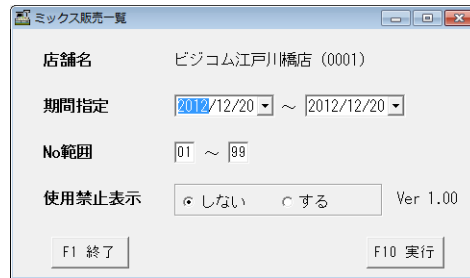
開始メニューから [F2 管理画面] を開き、[ミックス販売一覧] を選択して [F10 実行] を押してください。



■ 手順 2

条件画面が表示するので、条件を設定し [F10 実行] ボタンを押してください。

期間指定	集計したい範囲を選択
No 範囲	集計したいミックス No の範囲を選択
使用禁止表示	使用禁止になっているミックスを表示するかのチェック



■ 手順 3

帳票が表示されます。



ミックス No	指定した期間の中で販売があった No。1 パターンに 2 つ登録が可能なので、同じ No が表示することがあります。
ミックス名称	表示したときに登録してあるミックス名称が表示されます。過去に販売したもので現在登録してあるパターン 1、パターン 2 と違う数量、金額だと名称が入りません。
成立数量	
成立金額	
回数	成立数量が何回販売されたか
金額	成立金額がいくら販売されたか

レジ操作 / 販売 (ミックスマッチ)

9-14 期間指定価格機能 (期間指定セール売価)

P-46 期間指定価格使用 設定参照

リストアップした商品に対し、期間と値引率の設定を行い、指定日が来ると自動でセール売価を適用します。
(1 商品につき 5 つの期間指定セール売価が可能です。)

※期間の重なりは不可

ミックス販売との併用時は、P-114 の

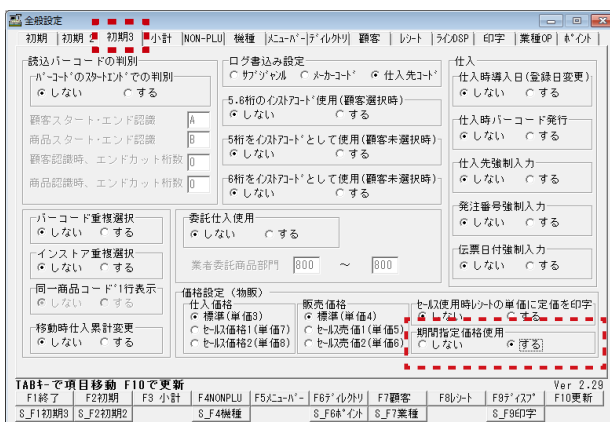
「注」ミックス販売とセール売価・期間指定売価機能の併用時における注意点」を参照



例)
GW セール開催中
5月1日～5日まで、最大50%off

■ 手順 1

開始メニューから [F6 基本設定] > 基本設定 [F2 全般設定] > 全般設定、上部タブ [初期 3] を押します。
右下の [期間指定価格使用] の「する」にチェックを入れます。



※通常のセール売価との併用は可能ですが、両方登録がある商品については期間指定価格が優先されます。
ミックスマッチと併用した場合には、ミックスマッチの価格が優先されます。

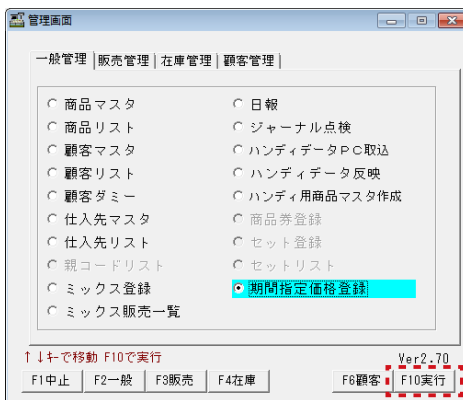
期間指定価格の登録

P-46 期間指定価格使用 設定参照

■ 手順 1

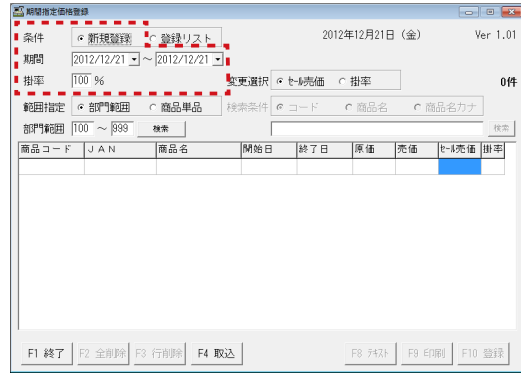
開始メニューから [F2 管理画面] を開き、[期間指定価格登録] を選択して [F10 実行] を押してください。

レジ操作 / 販売 (期間セール)



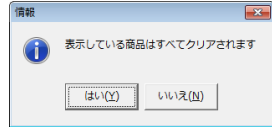
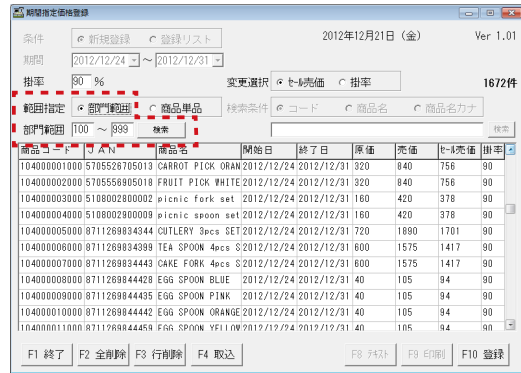
■ 手順 2

始めに期間と掛率を指定します。
 指定した期間内にセールを行う商品を登録します。
 部門範囲と単品追加とテキストの取込の 3 通りで登録が可能です。



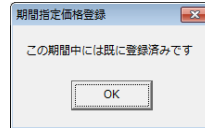
■ 手順 3(部門範囲)

範囲指定を部門範囲にチェックし、部門範囲を指定して検索ボタンを押します。
 指定した部門範囲の商品が下のリストに表示されます。
 部門範囲を分けて登録するときは、一回ずつ登録を行ってください。登録せずに部門範囲を変更して検索すると下記メッセージが表示されます。



■ 注意

すでに登録がある期間には登録できません。
 その部門を検索しても「対象となるデータが存在しません」と表示されます。



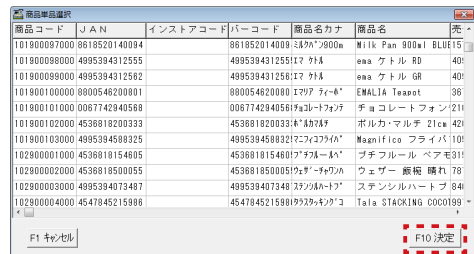
■ 手順 3-1(単品追加)

部門範囲を商品単品にチェックすることで、右側の検索条件が有効になります。
 コード、商品名、商品名カナであいまい検索が可能です。
 コードは商品コード、JAN、インスタ、バーコードの中から検索します。



■ 手順 3-2(単品追加)

検索すると別画面が開くので、追加したい商品を選択して [F10 決定] ボタンを押します。

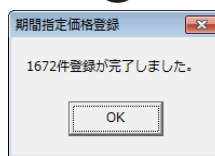


■ 手順 4

[F10 登録] ボタンを押すことで登録されます。



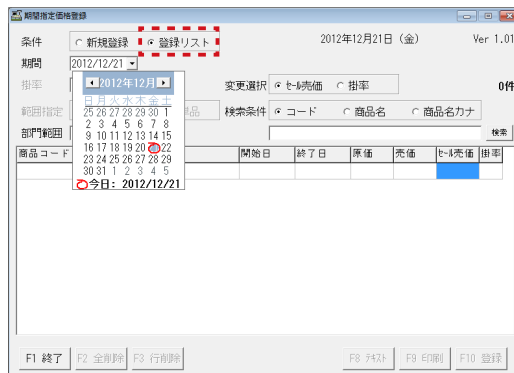
登録が完了すると、右図が表示されます。



登録済み商品の検索 (修正・削除)

■ 手順 1

条件を [登録リスト] にチェックします。
期間中の日付を選択し検索ボタンを押してリスト表示します。



■ 手順 2

表示されたリストを絞りこむ場合には、部門範囲を入力後、「検索」ボタンを押します。



■ 手順 3-1(修正 / 掛率)

掛率の修正は [変更選択] の「掛率」にチェックを入れて行います。

全リストの掛率を一括修正するには、左上 ❶「掛率」に変更数を入力して「掛率変更」を押します。

個別に変更する場合には、対象リスト右側の掛率の欄 ❷ を押して数値を入力します。

修正が終了したら「F10 登録」を押します。



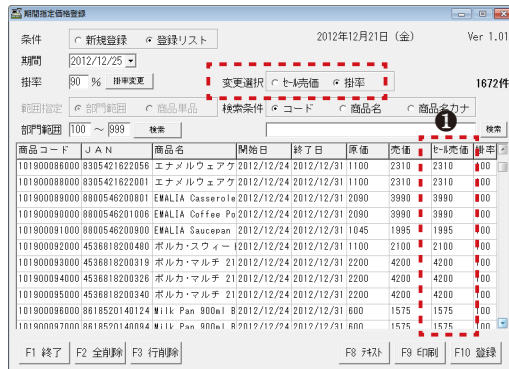
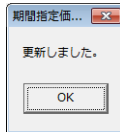
■ 手順 3-2(修正 / セール売価)

セール売価の修正は [変更選択] の「セール売価」にチェックを入れて行います。

修正は、対象リストのセール売価の欄 ❶ を押して数値を入力します。

修正が終了したら「F10 登録」を押します。

登録が完了すると、右図が表示されます。

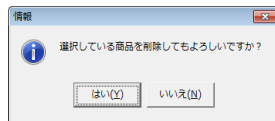


■ 手順 3-3(削除)

リストを全件削除する場合には、画面左下の「F2 全削除」❶を押します。

個別に削除する場合には、対象リストを押すと、セール売価または掛率の欄 ❷ のバック背景が変わります。

「F3 行削除」❸を押すと、確認の為に下図が表示されます。



問題が無ければ「はい」を押して実行してください。

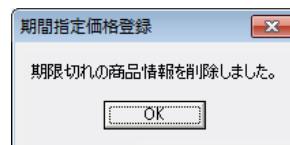


POINT

■ 期間指定セール売価リストを繰り返して使用したい。

繰り返して使用する「期間指定価格リスト」は、次項の「リストのテキスト切出し」を参照して、テキスト形式で保存してください。保存したテキストは「テキストの取込」で取り込んで、繰り返して期間を指定しての利用が可能です。(次項を参照)

期限を過ぎた期間指定価格リストは [期間指定価格登録] 画面を開いた時に、下図が表示され削除されます。



期間指定セール売価リストの印刷・テキスト出力

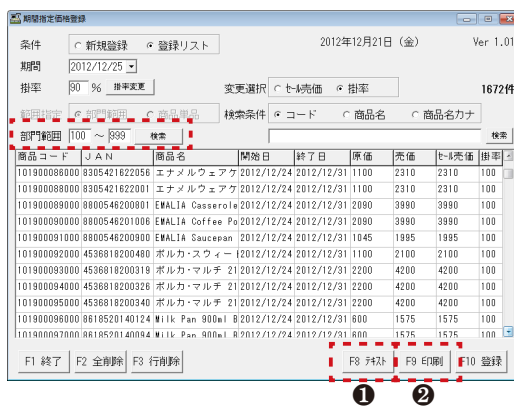
■ 手順 1

条件を [登録リスト] にチェックします。
期間中の日付を選択し検索ボタンを押してリスト表示します。



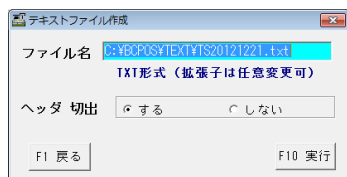
■ 手順 2

表示されたリストを絞りこむ場合には、部門範囲を入力後、「検索」ボタンを押します。リスト表示した結果を、テキスト出力の場合は「F8 テキスト」①、印刷の場合は「F9 印刷」②を実行します。



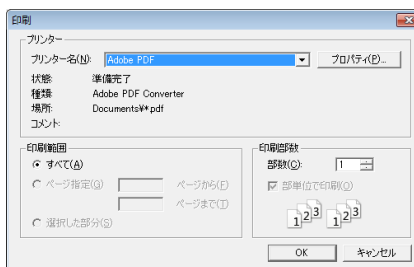
■ 手順 3(テキスト出力)

テキストの場合は「テキストファイル作成」が開き、ファイルの保存名を尋ねられます。
TS ○○○○○○○○.txt(○は本日の日付)
同日に何個かのテキストファイルを作成する場合は、名称を変更して「F10 実行」してください。



■ 手順 3(印刷)

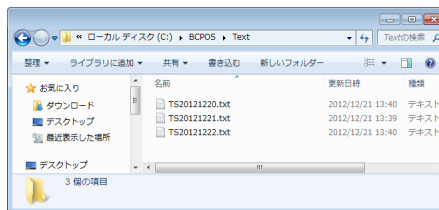
印刷の場合は、印刷ダイアログボックスが表示され、パソコン (BCPOS) に接続されたページプリンタから帳票で印刷されます。



POINT

■ 期間指定セール売価リストのテキストファイルの保存場所について

ファイルの保存場所は、My コンピューター→
C:ドライブ> BCPOS > Text フォルダ内になります。

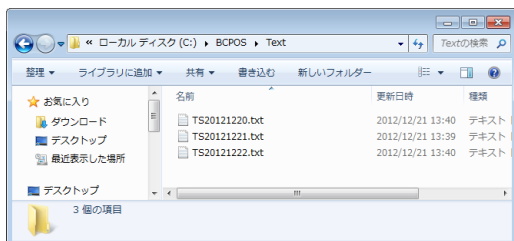


期間指定セール売価リストのテキスト取込

テキストファイルの取り込みは、下記 3 つのパターン (A・B・C) で取り込みが可能です。
(取り込み処理は 1000 件で約 2 ~ 3 分程度、5000 件で 12 ~ 15 分程度の時間がかかります)

■ 準備

次項パターン B とパターン C の場合、メモ帳や表計算ソフトで作成する場合には、
各パターンのファイル解説を読んで作成してください。
作成したファイルは、下記 My コンピューター > C: ドライブ > BCPOS > Text フォルダ内に保存してください。



■ パターン A (期間指定価格登録画面よりテキスト出力)

前項の「期間指定セール売価リストのテキスト切出し」で出力した「TS00000000.txt」テキストファイル
テキスト例)

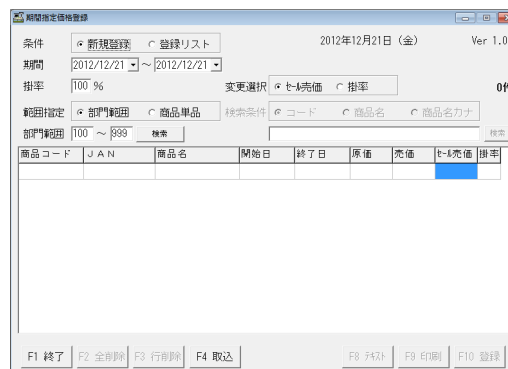
101900005000,4536818074194, スニーカー (メッシュ ,2012/12/24,2012/12/31,3150,7350,6615,90

商品コード	JAN	商品名	開始日	終了日	原価	売価	セール売価	掛率
101900005000	4536818074194	スニーカー (メッシュ)	2012/12/24	2012/12/31	3150	7350	6615	90
101900025000	8809267760090	ロングブーツ	2012/12/24	2012/12/31	5200	13650	12285	90
101900040000	8888236034448	スニーカー (革)	2012/12/24	2012/12/31	3150	7350	6615	90

※期間は取り込みません。

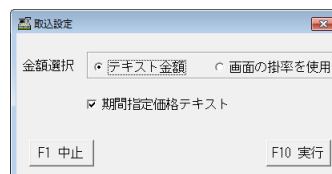
■ 手順 1 (パターン A の取込)

始めに期間を指定します。
次に「F4 取込」を押します。



■ 手順 2 (パターン A の取込)

テキストにセール売価・掛率があるので「テキスト金額」
を選択して「F10 実行」を押します。



■ 手順 3 (パターン A・B・C 共通) P-123 へ続く



■ パターン B

商品コードまたは、JAN コード + セール売価をカンマ区切りで作成したテキストファイル

テキスト 例)

101900005000,6615,101900025000,12285,101900040000,6615

商品コードまたは JAN コード	セール売価
101900005000	6615
101900025000	12285
101900040000	6615

■ 手順 1(パターン B の取込)

始めに期間を指定します。

テキストのセール売価を使用する場合には「F4 取込」を押します。

テキストのセール売価ではなく、掛率を使用する場合には、掛率に数値を入力して「F4 取込」を押します。

■ 手順 2(パターン B の取込)

テキストのセール売価を使用する場合には「テキスト金額」を選択して「期間指定価格テキスト」のチェックを外して「F10 実行」を押します。

掛率を使用する場合には「画面の掛率を使用」を選択して「期間指定価格テキスト」のチェックを外して「F10 実行」を押します。

■ 手順 3(パターン A・B・C 共通) 次項へ続く

■ パターン C

商品コードまたは、JAN コードをカンマ区切りで作成したテキストファイル

テキスト 例)

101900005000,101900025000,101900040000

商品コードまたは JAN コード
101900005000
101900025000
101900040000

■ 手順 1(パターン C の取込)

始めに期間を指定し、次に掛率を指定します。「F4 取込」を押します。

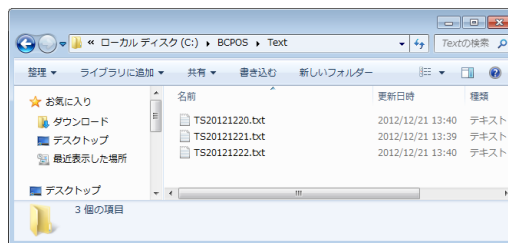
■ 手順 2(パターン C の取込)

テキストにセール売価・掛率がないので「画面の掛率を使用」を選択して「F10 実行」を押します。

■ 手順 3(パターン A・B・C 共通) 次項へ続く

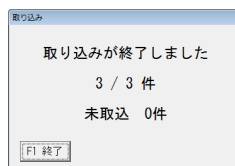
■ 手順 3(パターン A・B・C 共通)

取り込むファイルの選択が開きます。
BCPOS フォルダが開きますので、Text フォルダを選択して、
表示されたファイルから取り込むテキストファイルを選択します。

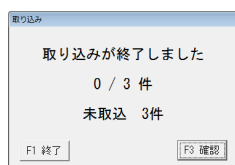


■ 手順 4(パターン A・B・C 共通)

ファイルを選択すると取り込みが開始され、終了すると
右図が表示され、取り込みが完了です。



期間がすでに選択されている場合には、右図が表示されます。



期間指定セール売価商品の販売

レジ画面で期間指定セール売価を登録した商品を選び出すと、金額欄がピンク色になります。

No	商品名	在庫	数	金額
1	*大学ノートB5	20	1	252
2	*ボールペン	25	1	367
3	*シャープペンシル	20	1	105
4	*レターオープナー	15	1	399
合計		4		¥1,123

レジ操作 / 販売 (期間セール)

9-15 商品券 (F7) の登録と使用方法

商品券の登録方法

※ [追加基本設定] で商品券使用を [する] に設定しないと使用できません。(P-62 参照)

※ 商品券を使用すると、金変 [F2] が使用できなくなります。(P-102 参照)

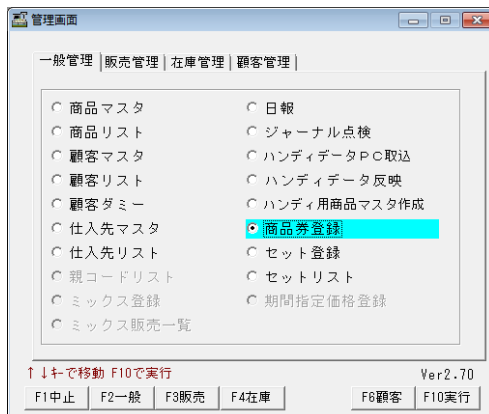
■ 手順 1

開始メニューから [F2 管理画面] を押してください。



■ 手順 2

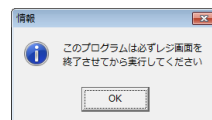
[商品券登録] を選択して [F10 実行] を押してください。



■ 手順 3

右画面が表示されます。

レジ画面起動している場合は、レジ画面を閉じてから [OK] を押してください。

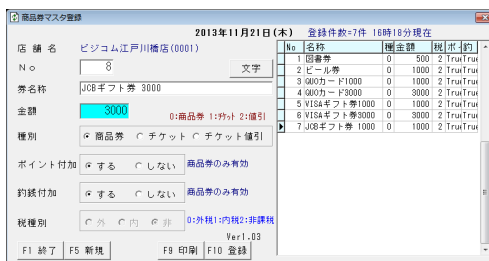


■ 手順 4

商品券登録画面が起動します。

現在登録されている商品券の一覧が表示されます。

[F5 新規] を押してください。



■ 手順 5

[No 欄] に番号が自動で振られます。

■ 手順 6

券名称欄を押してレシートに表示させたい名称を入力して [Tab キー] を押すか、金額をタッチしてください。



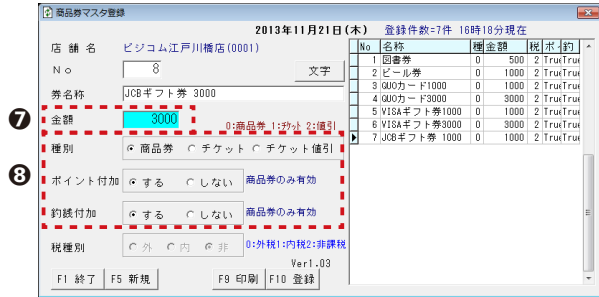
■ 手順 7

金額欄に移ります。
商品券呼び出した時に表示される金額を入力して
[Tab キー] を押してください。

■ 手順 8

種別欄に移ります。
ここでの種別により以下の項目が設定できる・できない
が発生しますのでご注意ください。

	商品券	チケット	チケット値引
「ポイント付加」設定	○	×	×
「釣銭付加」設定	○	×	×
「税種別」設定	×	○	○

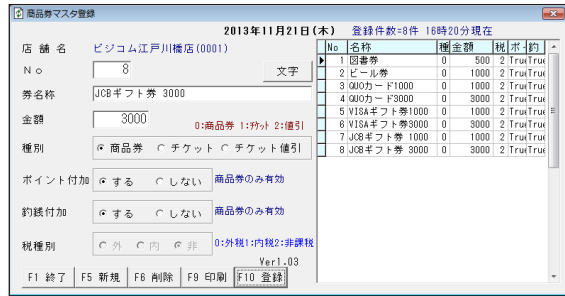


■ 手順 9

登録が完了しましたら「F10 登録」を押すと
登録完了となります。

■ 手順 10

登録が完了しましたら画面右側の一覧に登録した
項目が表示されます。
※続けて登録したい場合 [F5 新規] を押すと
新たな No が登録され、入力が可能となります。



商品券の使い方

■ 手順 1

通常どおり商品・顧客を呼び出してください。
画面には [F7 チケット] のみが表示されています。
[F7 チケット] を押してください。
※商品券は商品券単位で、商品メニューボタンに登録が可能です。
P-71「商品メニューボタン登録」参照



■ 手順 1-2

小計画面からは「商品券 の金額欄」をクリックしてください。
販売画面に戻り「商品券選択画面」が表示されます。

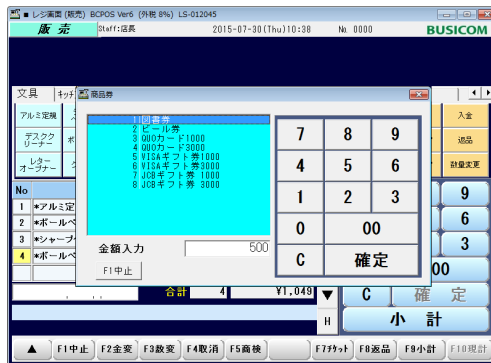


レジ操作 / 販売 (商品券)



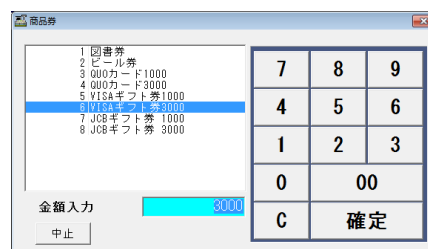
■ 手順 2

現在登録されている商品券の一覧が表示されます。
 ↑ ↓ のカーソルキーで使いたい商品券を選択し、
 Enter キーを押してください。



■ 手順 3

1枚当たりの金額の調整する場合は、金額欄をタッチします。
 金額を変更して、確定 [F10] を押してください。



■ 手順 4

選択された商品券がレジ画面に表示されます。

■ 手順 5

商品券の枚数を増やしたい場合は、
 ・ [F3 数変] を押して調整
 ・ [PageUp][PageDown]にて調整
 以上の方法で調整してください。



※通常の商品のように[*]キーを活用しての数量変更はできません！
 なお、現計するには必ず[F9 小計]を押して小計画面に移ってください。

■ 手順 6

後は通常どおりに [現計] または [Enter] × 2 回を押して
 終了してください。



■ 手順 7

以上で会計が終了となります。
 なお、商品券欄に今回の商品券での決済金額が表示されます。



商品券の種類別集計の出力

■ 手順 1

1日の商品券の種類別集計を出力したい場合は、
テンキー部「H」を押して日報[F2]を押してください。



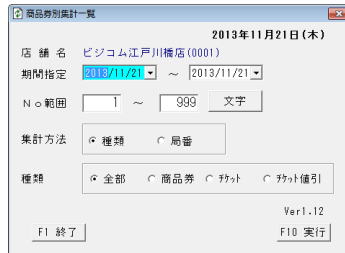
■ 手順 2

日報が表示されます。
[F5 商品券]を押してください。
※[F5 商品券]は商品券を使用していないと表示されません。



■ 手順 3

商品券別集計一覧の画面が表示されます。
1日の商品券の集計を出力したいだけの場合は、
条件指定不要ですので[F10 実行]を押してください。



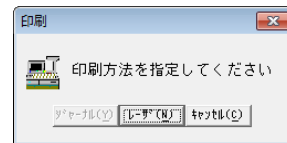
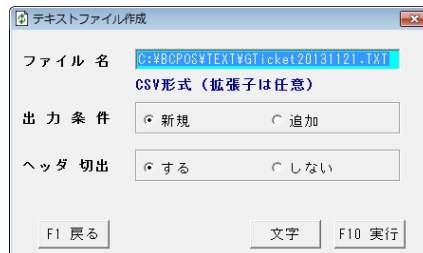
■ 手順 4

集計結果が表示されます。



■ 手順 5

集計結果は[F4 テキスト]または[F9 印刷]で
出力する事が可能です。



商品券の日報表示

商品券機能を使用することで日報上、以下の項目が表示されます。

- ・商品券 ・商品券釣銭調整 ・商品券釣銭

商品券……………当日受領した商品券の枚数・金額を表示。 →
 商品券釣銭調整…購入金額以上に釣銭を渡さない商品券を受領した場合に計上。

商品券釣銭……………購入金額以上に釣銭を渡す商品券を受領した場合のその釣銭した金額。 →

現金収支	回数	金額
クレジット	0	¥0
デビット	0	¥0
売掛	0	¥0
カット商品券	0	¥0
商品券	0	-¥6,000
商品券釣銭調整	0	¥767
入金	0	¥0
出金(支払)	2	¥0
売掛入金	0	¥0
内金入金	0	¥0
残金入金	0	¥0
=====		
現金収支		¥0
釣銭準備金*		¥0
現金在高*		¥0
=====		
現金過不足		*****
商品券釣銭		¥0
発行ポイント		0

商品券機能使用時の日報表示例

商品券で販売した場合に・釣銭付加設定を【する】or【しない】場合の日報表示例。
 6,000 円の商品券で 5,233 円の商品を販売した場合。

【例①】
 釣銭付加(する)場合

【例②】
 釣銭付加(しない)場合

現金収支	回数	金額
クレジット	0	¥0
デビット	0	¥0
売掛	0	¥0
カット商品券	0	¥0
商品券	0	-¥6,000
商品券釣銭調整	0	¥0
入金	0	¥0
出金(支払)	2	¥0
売掛入金	0	¥0
内金入金	0	¥0
残金入金	0	¥0
=====		
現金収支		-¥767
釣銭準備金*		¥0
現金在高*		¥0
=====		
現金過不足		*****
商品券釣銭		¥767
発行ポイント		0

お客様に渡した釣銭 767 円のうち、商品券分の釣銭が計上

お客様へ渡した釣銭 767 円が計上

現金収支	回数	金額
クレジット	0	¥0
デビット	0	¥0
売掛	0	¥0
カット商品券	0	¥0
商品券	0	-¥6,000
商品券釣銭調整	0	¥767
入金	0	¥0
出金(支払)	2	¥0
売掛入金	0	¥0
内金入金	0	¥0
残金入金	0	¥0
=====		
現金収支		¥0
釣銭準備金*		¥0
現金在高*		¥0
=====		
現金過不足		*****
商品券釣銭		¥0
発行ポイント		0

現金収支の調整の為に [商品券釣銭調整] が計上

レジ操作 / 販売 (商品券)

9-16 販売保留機能

P-63 保留設定

保留の登録

「販売保留」を行いたい場合は、商品呼び出したあと「KARIHANBAI」というバーコードをスキャンするか「Sift キー」を押しながら「F12」を押してください。

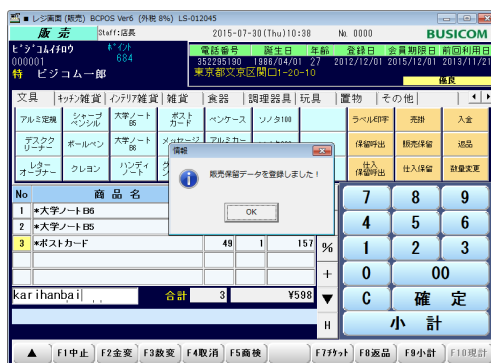
※販売保留はレジ画面上的ファンクションキーにボタン表示されませんのでご注意ください。
下記「POINT」を参照して商品メニューへ登録する事を推奨します。



右の画面が表示されます。

保留レシートを印刷する設定にしてある場合「OK」を押すとレシートが発行されます。
レシートの一番下には保留 No のバーコードが印刷されます。

以上で保留データの登録が完了しました。

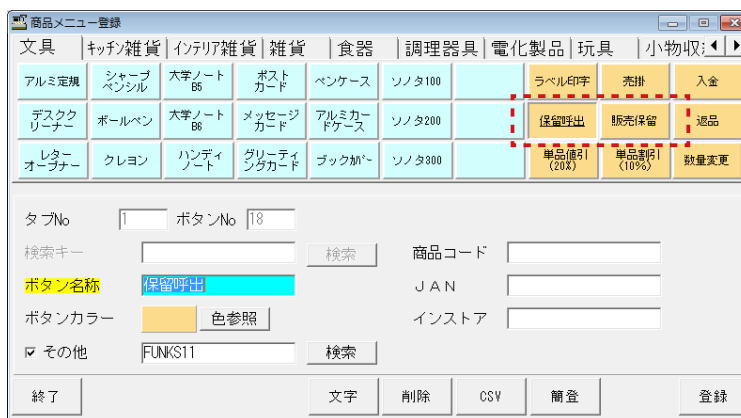


POINT

販売保留ボタン登録

販売保留は操作ボタンフィールドに表示されませんので、商品メニューへの登録を推奨します。
商品メニューに登録する事で、簡単に保留を行えるようになります。

- ・ ボタン名称 / 任意
- ・ ボタンカラー / 任意
- ・ その他 / □に☑をいれてください。
- ・ その他の窓への入力
販売保留 : KARIHANBAI
保留検索 : FUNCS11



※商品メニューの登録方法は、P-70を参照してください。

「販売保留」を「予約販売」で運用し、「預かり金」がある場合、別途弊社までお問合せください。

保留の呼び出し

販売画面で保留レシートに印字されているバーコードを
スキャンしてください。保留した商品が表示されます。

もしくは「Sift キー」を押しながら「F11」を押してください。

※販売保留はレジ画面上のファンクションキーに
ボタン表示されませんのでご注意ください。

前項の「POINT」を参照して商品メニューへ登録される事を
推奨します。



「Shift+F11」を押した場合は、右の画面が表示されます。
「F9 検索」ボタンを押して下さい。

※呼び出したい保留 NO や顧客コードを「抽出条件」に
入力して「F9 検索」ボタンを押しても呼び出せます。

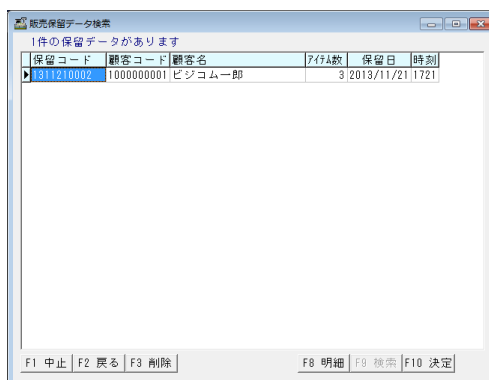


現在保留されている一覧が表示されます。

顧客を呼び出していない場合は顧客コードに
「999999999」が入り、顧客名は表示されません。

「F8 明細」ボタンで詳細が確認できます。

呼び出したいデータを選択して「F10 決定」ボタンを
押してください。



以上で保留したデータの呼び出しが完了します。



※ 注意点

保留登録する際に「値引き」「チケット」「商品券」「セット値引」が含まれている場合は登録されません。
商品のみが登録されます。

9-17 内金機能

P-47 小計設定「内金機能使用」
「する」にする必要があります。

商品代金の一部を現金で内金として、残りを残金とする
処理で、内金+残金の合計金額が日報上に売上処理されます。

■ 手順 1

小計画面で、内金 [SF9] フィールドを押して金額を入力します。
合計金額から内金金額を引いた金額を残金フィールドに表示します。
右の例は、今回内金として先に 4,000 円を受領し、残り 1,200 円は
次回以降の入金処理とする会計処理を示しています。

■ 手順 2

現計 [F10] を押すと
レシートが 2 枚発行されます。

※印字設定で設定したヘッダー・フッターが
印字されているレシート

左→ お客様用レシート

※印字設定で設定したヘッダー・フッターが
印字されていないレシート

右→ お店控え用レシート

□ お客様用レシート

□ お店控え用レシート

■ 手順 3

お客様が残金を持参されたときには、入金処理を行います。
販売画面の操作ボタンフィールド左▲を押して表示を切り換えて、
入金 [SF2] を押し、入金金額入力画面を表示します。
入金種別は残金を選択し、伝票番号・金額を入力し
[F10 決定] を押します。

※伝票番号

伝票発効日の日付 6 桁 (YYMMDD)+ 店舗コード 4 桁 + レシート番号 4 桁
の 14 桁になります。

例)
10120100010002
年号 月日 店舗 レシート
(下2桁)

■ 手順 4

レジ画面に戻り [***-ZANKIN-000] として入力したデータが
表示されます。

後は [F10 現計] を押せば内金入金処理が完了となります。

レジ操作 / 販売 (内金)

9-18 出金 (SF1)・入金 (SF2) 機能

P-50 メニューバー設定「入金表示」「出金表示」
 P-62 その他追加設定「入金処理のみの時、客数カウント」

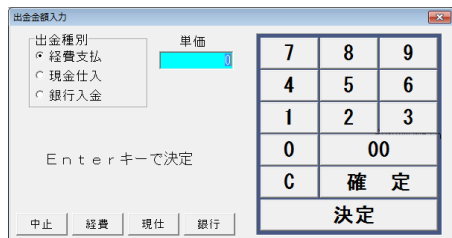
■ 手順 1

「レジ画面」にて商品を選択していない状態で、操作ボタンフィールドの左端▲を押して表示を変更します。出金 [SF1] または、入金 [SF2] ボタンを押します。

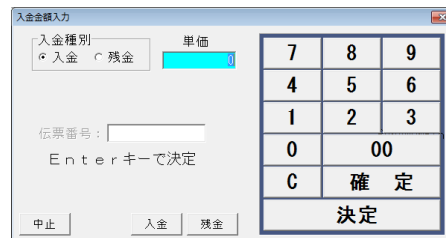


■ 手順 2

出金・入金画面の表示



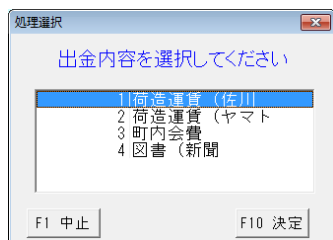
[出金金額入力] が表示されます。
 出金種別を経費支払い・現金仕入・銀行入金の中から選択し、単価を入力してください。
 決定 [F10] を押します。



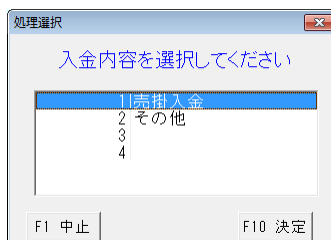
[入金金額入力] が表示されます。
 店舗により入金のもつ意味が違ってきますので、くれぐれも税種別に気をつけて入金処理を行ってください。
 税種別を選択し、金額とその数を入力して、決定 [F10] を押すと確定されます。

■ 手順 3

出金・入金にはその目的を記載するメモがつけられます。
 ※ [F10 決定] を押した時点で処理が行われます。 [処理選択] 画面で入金・出金内容を選択します。
 (ここで表示されるメモは、各種マスタ登録で設定した入金・出金メモが表示されます。(設定 P-80 参照))



出金 [処理選択] 画面。



入金 [処理選択] 画面。

レジ操作 / 販売 (出金入金)

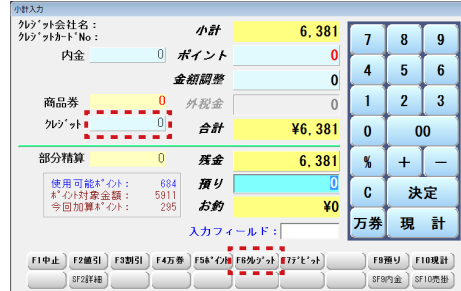
9-19 クレジット販売

P-47 小計設定「クレジット機能使用」
P-63 その他追加設定「クレジットと売掛機能併用可能とする」

クレジット端末と連動しなくとも、クレジット販売で売上を登録する事で、クレジット売上管理ができます。
※ BCPOS カード決済連動ソリューション (決済端末連動) については別途お問合せください。

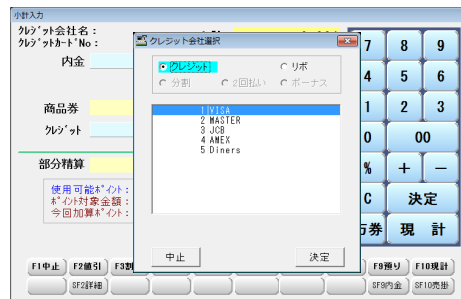
■ 手順 1

通常販売の手順で、小計画面が表示されたら、
[F6 クレジット] または [クレジット金額入力欄] を押してください。



■ 手順 2

現在登録されているクレジットカード会社が表示されます。
クレジット (分割払い) またはリボ (リボルビング払い)、
クレジット会社名を選択しカード番号を入力します。
(カード番号は省略可能)
カード会社名は各種マスタのクレジット会社設定で登録します。
(P-80 参照)



■ 手順 3

小計画面に戻り [クレジット] フィールドに
今回の販売金額が表示されます。
全額クレジットでの決済を行う場合は、
[F10 現計] を押してください。
レジ画面に戻り、レシートが発行されます。



■ 日報表示例

※クレジット部分を抜粋しております。

表示印刷条件		部門集計条件	釣銭
<input checked="" type="checkbox"/> 売上		<input checked="" type="checkbox"/> 部門個別 (1桁)	0
<input type="checkbox"/> 部門集計		<input type="checkbox"/> 部門グループ (2桁)	金種 決定 0
<input type="checkbox"/> 粗利表示			
<input type="checkbox"/> 局別販売			
純売上	¥245,344		
(内税 税抜)	¥245,344		
消費税等	¥19,626		
(消費税 内税分含)	¥19,626		

総売上 (値引前税込)	¥264,970		
総売上 (値引後税込)	¥264,970		

---現金収支---回数---	金額---		
クレジット	2	-¥43,576	
売掛	0	¥0	
引当商品券	0	¥0	
入金	0	¥0	
出金 (支払)	0	¥0	
売掛入金	0	¥0	
内金残金	0	¥0	
残金入金	0	¥0	

現金収支		¥221,394	

---対象額---計算上税額---値引内訳---			
外税売上	164049 (13123) (0)		
内税売上	0 (0) (0)		
内税税抜	0 (0) (0)		
非課税売上	0 (0) (0)		
---対象額---免税額---			
免税売上	0 (0)		
外税受領額	¥13,124		
内税受領額	¥0		
< クレジット会社別集計 >			
No	会社名	回数	金額
1	VISA	1	¥10,154
2	MASTER	1	¥33,422
合計		2	¥43,576

9-20 小計画面 (各種処理)

P-47 小計設定

販売画面より、小計 [F9] を押すと預かり金の入力ができます。カスタマディスプレイ (つり銭表示をお客様に見えるように表示しているディスプレイ) を接続している場合は小計 [F9] を押すことで合計金額をお客様に表示します。

受け取ったお預かり金額を入力し、現計 [Enter] キーを押すとお釣りが表示されます。カスタマディスプレイを使用している場合は、お客様にも預かり金とつり銭が表示されます。

小計画面の操作ボタンの説明

中止 [F1]	小計操作を中止し、販売画面に戻ります。
値引 [F2]	値引の操作を行います。実際に値引する金額を入力します。 ([基本設定]-[小計設定 P-47]が必要)
割引 [F3]	割引の操作を行います。基本設定の小計設定 P-47 で設定した小計割引率%が適用されます。 (個々の売上に対し別々の割引率を適用させる場合は次項を参照してください。)
万券 [F4]	万券での精算時に使用します。
ポイント [F5]	ポイント精算時に使用します。([基本設定]-[ポイント設定 P-57]が必要)
クレジット [F6]	クレジットでの精算時に使用します。([基本設定]-[小計設定 P-47]が必要)
デビット [F7]	デビットカードでの精算時に使用します。([基本設定]-[小計設定 P-47]が必要)
全部 [F8]	預りフィールドにカーソルがある場合に選択すると、残金が預かりに入力されます。
預り [F9]	預かり金を入力します。
現計 [F10]	すべての処理を確定します。
詳細 [SF2]	税対象金額の詳細を画面に表示することができます。
内金 [SF9]	内金処理を行うときに使用します。([基本設定]-[小計設定 P-47]が必要)
売掛 [SF10]	売掛処理を行うときに使用します。([基本設定]-[初期2 P-44]が必要)
免税 [SF4]	免税機能使用時に、免税適用金額超時に表示 ([基本設定]-[消費税設定]-[免税機能 P-59])

□ 小計画面での値引・割引設定

小計画面での (=小計後の) 値引・割引機能を使用する場合には [基本設定] → [小計設定] 画面で小計割引機能の使用を [する] に設定します。
また、割引率を入力すればその数値がデフォルトで割引率として適用されます。
(割引率のフィールドに何も入力しなければ 100% がデフォルト値になります。)
総額モードでない場合、小計画面での値引・割引は消費税加算前の金額から引かれます。
レシート上にも値引・割引金額が表示されます。

□ 小計値引 (値引 [F2])

[F2 値引] を押すとカーソルがポイントフィールドの下の金額調整フィールドに移動します。値引する金額を入力してください。
[F2 値引] を使わずに小計画面下部にある入力フィールドに直接入力することも出来ます。
例) 入力フィールドに -1000 を入力 → 小計金額から 1000 円引く
入力フィールドに +1000 を入力 → 小計金額から 1000 円加える (割増)

※ 小計値引の単品粗利計算

小計にて値引をおこした場合には、各商品の売値金額に比例して値引金額を反映し粗利を計算します。
(高いものは大きく値引、安いものは少なく値引をおこします。)

□ 小計割引 (F3 割引)

[F3 割引] を押すと基本設定 (小計設定画面) で設定した割引率を元に自動計算を行い金額調整フィールドに割引金額を表示します。
[F3 割引] ボタンを使わずに、小計画面下部にある入力フィールドに割引率を直接入力することにより、デフォルトの数値以外の割引率を適用することができます。

例) 入力フィールドに	% 80 を入力	→ 小計金額を 80% にします
	/ 80 を入力	→ 小計金額を 80% にします
	* 2 を入力	→ 小計金額を 2 倍にします
(% 80 = /80 おなじです)		

□ 万券機能 (F4 万券)

[F4 万券] キーを押すことで 1 万円を入力することができます。

例えば、5,250 円の販売に対してお客様より 10,250 円を預かった場合には、[預り] 欄にて 10,250 を入力して頂くことも可能ですが [万券] キーを活用することで以下のようにスムーズな入力が可能になります。

- ① 「F4 万券」キーを押します。
下のように [入力フィールド] に [10000+] が入力されます。
- ② 続いて端数の 250 をテンキーで入力して [Enter] ボタンを押してください。下のように [預り] 欄に 10,250 円を入力することができます。

合計	¥5,250
残金	5,250
預り	10000
お釣	¥0
入力フィールド:	10000+



合計	¥5,250
残金	5,250
預り	¥10,250
お釣	¥5,000
入力フィールド:	

□ 現計 (F10 現計)

すべての処理を確定したい場合は [F10 現計] を押してください。

[F9 小計] で預かり金を入力している場合は合計金額・お預かり金額・お釣りが表示されます。

[F9 小計] を押さずに [F10 現計] を押す場合は合計金額が表示されます。

ジャーナル / レシートプリンタ、ドリア等が接続されている場合は [F10 現計] によって動作します。

画面中の合計表示は何かのキー入力操作 (次の作業、または [Enter] キーやスペースキーを押すなど) がされるまで表示されます。

□ 領収書 (SF6 領収)

上記現計後、合計表示が出ている間は [SF6 領収] を押すと、金額の入った領収書の発行ができます。

空の領収書を発行したい場合は、金額欄に 0 を入力します。

□ スタッパーコードでの終了

スタッパーコードの強制入力設定は [基本設定] → [小計設定] 画面で「販売員入力強制」を [する] に設定します。(P-47 参照)

[F10 現計] で終了するのは別に、スタッパーコードと呼ばれるバーコードを読ませることで [F10 現計] を押した動作と同じ処理をすることができます。

CODE39 形式にて“ STAFF*** ” (*** には数字を入れる) のバーコードを作成し、それをバーコードリーダーで読ませることでそのスタッフナンバーの人が処理をした形で終了します。

スタッパーコードを読ませることによってレジ担当者もその人に変更されますのでご注意ください。

スタッパーコードシートは STAFF01 ~ STAFF60 までを以下の場所で PDF ファイルにて準備しておりますので活用ください。



STAFF01

スタッパーコードの見本

<C:¥BCPOS¥TOOL¥ バーコードシート ¥ スタッフ用 .pdf>

□ ドリアの開閉 (F10 ドリア)

[F10 ドリア] を押すと、販売処理をしなくてもドリアを開けることができます。

[基本設定] → [メニューバー] → [ファンクションボタンの表示設定] → [ドリア] を [する] に設定 (P-50 参照)

[基本設定] → [機種] の [ドリア使用] でドリアの設定を行います。(P-49 参照) ドリアの接続をしないと [F10 ドリア] のファンクションボタンは表示されません。(ドリアの開閉は、全てジャーナルに記載されます)

※ [基本設定] → [小計 P-47] の [販売時のドリアオープン時入力] で、[する] の場合、担当者コードを入力しないとドリアが開きません。また、ドリアを開いた担当者をジャーナルに記載します。

□ 免税対応「旅券番号入力」(F10 ドリア)

免税機能の使用設定は [消費税設定] → [免税機能] (P-59 参照) で設定します。

販売価格 (部門マスタ P-77 免税区分) が税抜きの区分単位で免税額を超えると、小計画面のファンクションフィールドに「SF4 免税」が表示されます。

パスポートスキャナ使用【する】の場合右図「旅券番号入力」欄が表示されますので、旅券番号を入力し「F10 実行」を押すと、小計画面に面税額が表示され、消費税を課税しない販売金額となります。

※免税販売については、免税書類作成アプリ「あつと免税」を含んだマニュアルが別途ございますので、お問合せください。

免税処理時のレシート印字例

** 販売 **			
2014/07/07(月) 12:01 店0001		No 0002	
担当者 0001:BC販売員			

コード	品名	単価	金額

200-000102-000	カシミアセーター		
	1	40,000	43,200
免税対象額			40,000
(免税額)			(3,200)

合計	1点		¥40,000
ご来店ありがとうございました			

9-21 レシート再発行

直前レシートの再発行

レジ画面で、商品を選択していない状態で、テンキー部「H」を押して「直前レシート再発行」を押すと再発行されます。
※この機能はレシートが発行されていないと使用できません。
何らかの理由でレシートが発行されずに再発行したい場合は以下の手順で発行してください。



過去のレシート再発行

■ 手順 1

レジ画面で、商品を選択していない状態で、テンキー部「H」を押して「レシート再発行」を押します。
または[開始メニュー]>[F7 業種別管理]>[レシート再発行]



■ 手順 2

レシート再発行のプレビュー画面が表示されます。
当日のレシートを再発行したい場合は [F8 前へ] [F9 次へ] を押して対象となるレシートを表示させて [F10 印刷] を押すことで再発行が可能となります。



■ 手順 3

もしも当日以外のレシートを再発行したい場合は、処理日欄を発行したい日付に変更いただき [Enter] キーを押してください。
プレビュー表示されているレシートの、最上段にある日付が変更した日付に変わり、指定した日の最終伝票 No がプレビュー表示されます。
後は手順 2 と同じように [F8 前へ] [F9 次へ] を押して発行したいレシートを表示し [F10 印刷] で再発行ください。



9-22 レジ締め業務

BCPOS は販売と同時に、日報計算・在庫調整・ポイント計算等を行っているので、在高計算(売上げ(売掛を除く)から、つり銭準備金を差し引く計算)を行って業務を速やかに終了することができます。

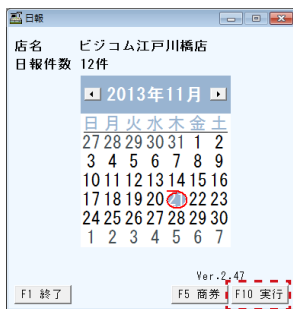
■ 手順 1

レジ画面で、商品を選択していない状態で、テンキー部「H」を押して、日報「F2」を押してください。または[開始メニュー]>[F2 管理画面]>[日報]



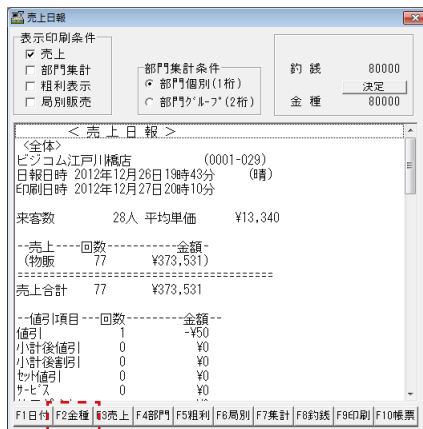
■ 手順 2

日付指定画面が表示されます。[F10 実行]を押してください。



■ 手順 3

本日の日報が表示されます。[F2 金種]を押してください。



■ 手順 4

[金種入力]画面が表示されます。現在ドリアにあるそれぞれの金種の枚数をカウントし、入力してください。完了後 [F7 在高] を押してください。

【金種入力画面】

釣銭準備金登録している場合、点検時にドリア内のお金を、金種別に数えて、「金種入力」画面に入力することで、在高の確認ができます。

現金の過不足がある場合、日報の中に表示されます。

※紙幣硬貨自動釣銭機連動の場合、
金種の枚数カウントは自動取得になります。
(在高計算の業務も省く事が可能です。)



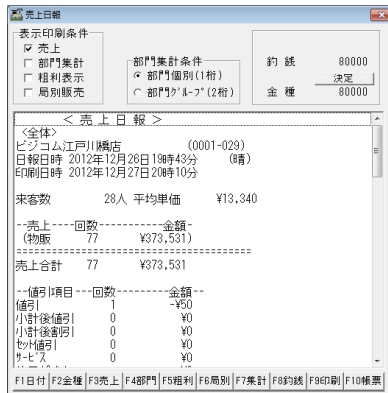
金種入力

F1 戻る	日報画面に戻ります。
F7 在高	金種別にそれぞれ枚数を入力し、最後に在高と日報画面の右上[在高]項目に表示され日報のレシート表示部分にも反映されます。
F8 釣銭	金種別にそれぞれ枚数を入力し、最後に釣銭と日報画面の右上[釣銭]項目に表示され日報のレシート表示部分にも反映されます。それぞれの金種を入力するのではなく、釣銭準備金を直接入力する場合は、売上日報画面の釣銭ボタンから入力できます。
F9 印刷	金種を印刷します。

レジ操作 / 販売 (レジ締め)

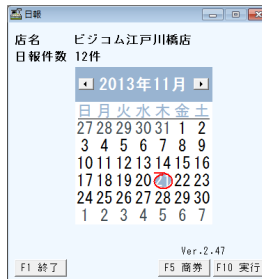
■ 手順 5

日報画面に戻ります。
 [金種入力]にて入力した合計額が日報画面右上の
 [金種]フィールドに表示され、かつ日報中段付近にあります
 [現金在高]に反映されます。
 同時に[現金過不足]フィールドに数字が表示されます。
 ・プラスの場合、現金を多く受領していることを表示しています。
 ・マイナスの場合、受取現金が少ないことを表示しています。
 確認後[F1日付]を押してください。



■ 手順 6

日付指定画面に戻ります。
 [F1 終了]を押してください。



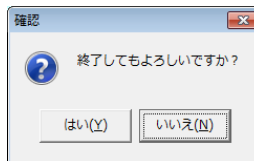
■ 手順 7

[レジ画面]に戻ります。
 終了[F1]を押してください。



■ 手順 8

確認画面が表示されます。
 [はい]を押してください。



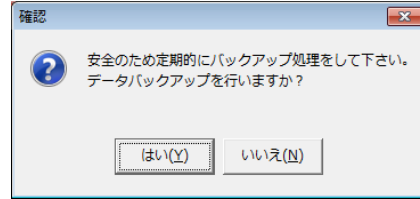
■ 手順 9

[開始メニュー]に戻ります。
 [F10 終了]を押してください。



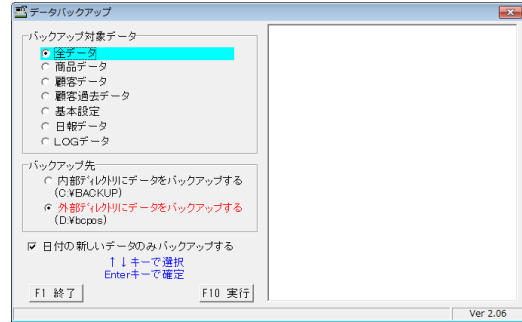
■ 手順 10

データバックアップを実施するかの確認画面が表示されます。
[はい] を押してください。



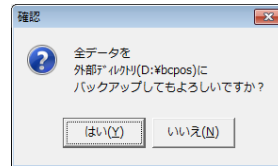
■ 手順 11

[データバックアップ] 画面が表示されます。
[F10 実行] を押してください。



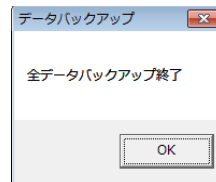
■ 手順 12

確認画面が表示されます。
[はい] を押してください。



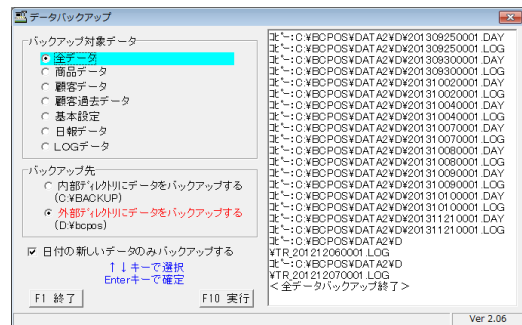
■ 手順 13

バックアップが実行されます。
終了しましたら右の画面が表示されますので
[OK] を押してください。



■ 手順 14

再び [データバックアップ] 画面に戻りますので
[F1 終了] を押してください。
以上でレジ上での閉店作業が終了となります。
後はパソコン・周辺機器等の電源を落としてください。

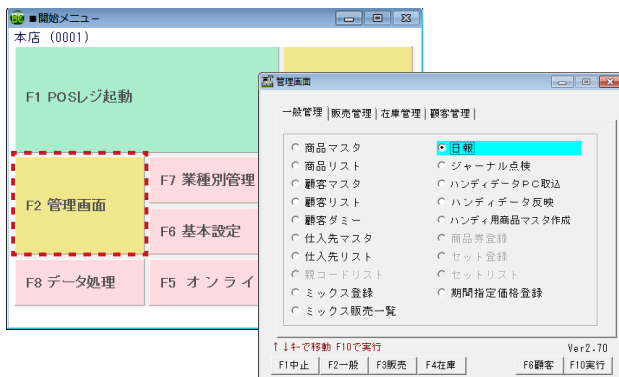


9-23 日報 (F2)

BCPOS は販売と同時に、日報計算・在庫調整・ポイント計算等を行っているので、何時でも日報の確認が可能です。

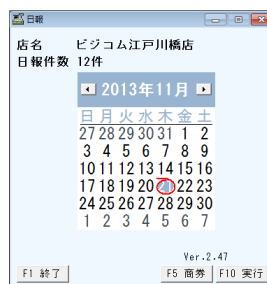
■ 手順 1

レジ画面で、商品を選択していない状態で、テンキー部「H」を押して、日報「F2」を押してください。または、開始メニューから、管理画面の「日報」を選択します。



■ 手順 2

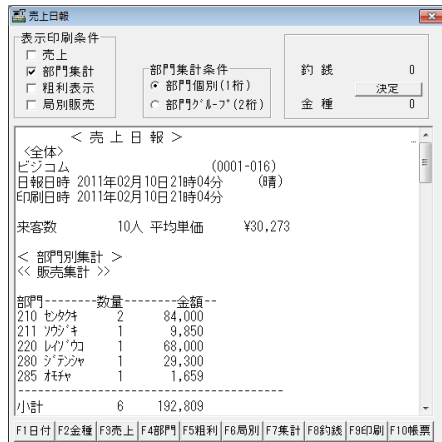
日付指定画面が表示されます。
日付を選択して「F10 実行」もしくは「Enter」キーを押します。
(ピンク色の日付は日報が存在する日を示しています。)



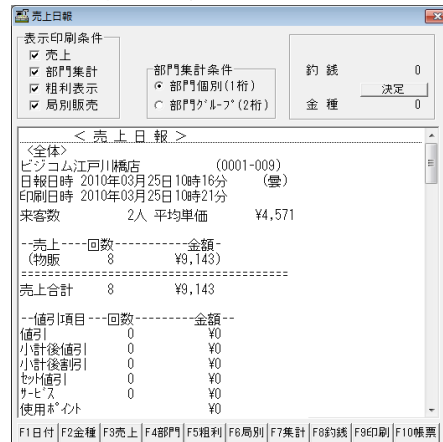
■ 手順 3

「売上日報」が表示され、日報日付指定で選択した日付の日報が表示されます。
各ファンクションキーにより、レシート表示条件を変更・印刷することができます。

□ 売上日報 (部門集計)

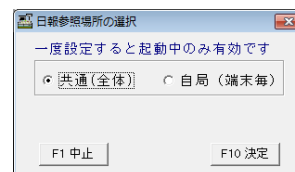


□ 売上日報 (粗利表示)



※ LAN 使用時

〔基本設定〕→〔初期2〕で「LAN 使用する」を選択したときは、全体日報と、自局日報が「F2 切替」を使用して画面を切替、参照する事が可能です。



F1 日付	日報日付指定画面(カレンダー)に戻ります。
F2 金種	金種入力画面を開きます。入力された金額は画面右上「金種」項目に表示されます。(P-137 参照)
F3 売上	全体の売上を表示します。選択すると画面左上「表示印刷条件」項目のチェックボックスにチェックが入ります。
F4 部門	部門ごとの売上を表示します。選択すると「表示印刷条件」項目のチェックボックスにチェックが入ります。 部門集計条件で 部門個別(1桁)とした場合、大部門単位での集計を行います。 部門グループ(2桁)とした場合、中部門単位での集計を行います。 ※大部門・中部門の解説は(P-74/P-76 参照)
F5 粗利	部門ごとの粗利を表示します。選択すると「表示印刷条件」項目のチェックボックスにチェックが入ります。 粗利金額の計算の設定は、下記で行います。 基本設定>初期>仕入値設定>「粗利計算使用金額」(P-43 参照) 基本設定>総額設定>詳細設定>「粗利計算金額」(P-59 参照)
F6 局別	局別(レジごと)の売上を表示します。選択すると「表示印刷条件」項目のチェックボックスにチェックが入ります。
F7 集計	部門集計条件の切り換え:[大部門]部門個別(1桁),[中部門]部門グループ(2桁)(P-139 参照)
F8 釣銭	釣銭入力欄に釣銭金額を入力します。(金種入力画面からも入力できます。)
F9 印刷	プリンタから印刷します。印刷はジャーナル(レシートプリンタ)ページプリンタの選択が可能です。
F10 帳票	部門別の集計を帳票形式で印刷します。 (※印刷にはページプリンタの接続が必須です) ※部門マスタに部門を登録されていないものは表示しません)

[F9 印刷] イメージ

＜ 売上日報 ＞			
ビジコム大阪支店 (0001-004)			
日報日時 2008年08月11日14時30分 (晴)			
印字日時 2008年08月11日14時31分			
来客数	2人	平均単価	¥6,370
---売上---	回数	金額	粗利
(物販)	2	¥12,741	8936)
===== 売上合計	2	¥12,741	
---値引項目---	回数	金額	
値引	1	¥50	
小計後値引	0	¥0	
小計後割引	0	¥0	
セト値引	0	¥0	
サービス	0	¥0	
使用ポイント		¥0	
まるめ調整		¥0	
===== 値引項目小計		¥50	
===== 純売上上げ		¥12,691	
(内税 税抜		¥12,430)	
消費税等		¥0	
(消費税 内税分含		¥261)	
===== 総売上(値引前税込)		¥12,741	
総売上(値引後税込)		¥12,741	
---現金収支---	回数	金額	
クレジット	0	¥0	
デビット	0	¥0	
売掛	0	¥0	
チケット商品券	0	¥0	
商品券	0	¥0	
商品券釣銭調整	0	¥0	
入金	0	¥0	
出金(支払)	2	¥90	
売掛入金	0	¥0	
内金入金	0	¥0	
残金入金	0	¥0	
===== 現金収支		¥12601	
===== 釣銭準備金*		¥0	
現金在高*		¥0	
===== 現金過不足		*****	

「外税・内税・非課税」
全ての値引前、売上金額
を合計表示

「外税・内税・非課税」
全ての値引額を合計表示

「外税・内税・非課税」
全てを合計した値引後の
純粋な売上金額を表示

外税販売に対する
消費税額を表示

内税販売に含まれる
消費税額を表示

(注)
ここでの消費税はレシート
に印刷されている消費税を
合計した数値になります。

[F10 帳票] イメージ

部門	部門名	仕入数	仕入金額	販売数	販売金額	粗利
800	プリント	0	0	0	0	0
810	証明写真	0	0	0	0	0
820	フルム巻線	0	0	0	0	0
830	メディアフィルム	0	0	0	0	0
	小計					
500	デザート	0	0	0	0	0
501	ハン	0	0	0	0	0
510	軽食	0	0	0	0	0
520	コースメニュー	0	0	0	0	0
530	和食	0	0	0	0	0
531	洋食	0	0	0	0	0
	小計					
	総計					
		0	0	0	0	0

9-24 ジャーナル点検

レジ画面で、商品を選択していない状態で、テンキー部「H」を押して、ジャーナル点検を押してください。または [開始メニュー] > [F2 管理画面] > [ジャーナル点検] で呼び出します。[F10 実行] で右の欄にレシート画面が呼び出されます。

F1 終了	ジャーナル点検画面を終了します。
F2 時刻	見たいジャーナルの開始時間が指定できます。 右側の時間保存ボタンで起動時に表示される時間を保存できます。
F3 商品	見たい商品のコード(12桁)を指定できます。
F4 顧客	見たい顧客の会員ナンバーを指定できます。
F5 伝票	見たい伝票のナンバー範囲を指定できます。
F6 担当	見たい販売担当者の指定ができます。
F7 処理	販売のみ、仕入のみ、その他の処理、を指定できます。
F8 局別	局番(レジNo.)を指定できます。
F9 印刷	ジャーナル/レシートプリンタから表示した内容を印刷します。
F10 実行	指定した条件の内容でジャーナル表示を実行します。
処理明細	通常の売上の処理とは異なり、業務中でどのような作業や処理を行ったか参照できます。 [スペース]キーを押すとチェックが入り、再度押すとチェックが解除されます。
	[業務処理を表示する]を選択(チェック)
	ジャーナルレポートの間に処理を追加していきます。
	[販売・仕入明細を表示しない]を選択(チェック)
	販売のレポートを除いて業務処理だけを表示します。

9-25 返品 (F8) 処理

- P-45 小計設定「販売返品時のみ入力」(担当者コード)
- P-61 印字追加設定「全明細返品時タイトルを返品」
- P-62 その他追加設定「販売返品伝票処理時客数減らす」

様々な方法で販売した商品の返品処理及び、仕入品の返品処理の方法です。

※スタッフコードを入力後、返品処理が可能になる設定があり、誰が返品処理を行ったのかを管理できます。

P-45 小計設定「販売返品時のみ入力」を参照

現金販売した商品の返品

■ 手順 1

販売画面で返品対象の商品を読み込みます。

※一括返品処理設定 (P-63)

商品を連続で読んで、返品処理を一括で行う場合は、「一括返品処理設定」をするにします。

■ 手順 2

レジ画面右下「返品」を押します。

複数返品商品がある場合には、返品対象商品にカーソルが当たっている所で「返品」を押して、背景を赤にします。



■ 手順 3

「小計」を押して小計画面を開きます。

小計、合計などがマイナス (赤字) になっているのを確認して下さい。



■ 手順 4

小計後値引を行っている場合は値引した金額分をプラスします。

金額調整項目でプラス (+) キーを押して値引金額を入力し「決定」または Enter キーを押して下さい。

※金額調整項目で

プラス (+) キー → 値引金額 → 決定 (Enter)

「現計」で返品処理を完了します。



レジ操作 / 返品 (現金)

クレジット販売した商品の返品

注) クレジット決済連動【する】P-47の場合は、クレジット決済端末側の操作も必要となりますので、別冊のマニュアルをい参照してください。

■ 手順 1

クレジットで売上をたてた商品呼び出します。
「返品」を押して呼び出した商品の列を赤くしていく(全ての商品)
「小計」を押して下さい。



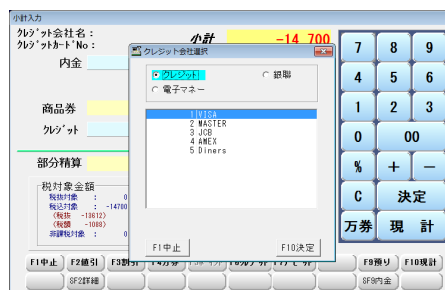
■ 手順 2

「小計」を押して小計画面を開いて小計、合計などがマイナス(赤字)になっているのを確認して下さい。
小計画面の「クレジット」を押します。



■ 手順 3

クレジット会社画面から、対象のクレジット会社を選択します。
「F10 決定」を押して会社選択を終了して下さい。



■ 手順 4

「現計」で返品処理を完了します。



■ 手順 5

□一部現金有りの場合□
小計画面のクレジット項目に合計金額(マイナスで赤字)が表示されるのでクレジット分の金額を打ち込んで「決定」または、Enterを押します。
例) 右図の場合、¥4,125の合計金額の内 ¥2,000 クレジットで ¥2,125 を現金で払った場合には、クレジット項目に表示された金額 -4,125 を -2,000 に打ち直します。
入力する前か後に必ずマイナス(-)キーを入力してください。
入力後赤字になっているのを確認して「現計」で返品処理を完了します。



売掛処理した商品の返品

売掛処理を行っている商品の返品は、必ず最初に売掛を行った顧客を呼び出してください。

■ 手順 1

売掛を行った顧客を呼び出します。
「売掛金が〇〇〇円あります。」と表示されますので「OK」を押します。
※売掛機能については P-159 参照



■ 手順 2

販売画面で返品対象の商品を読み込み「返品」を押して前記同様に返品処理を行います。



内金処理した商品の返品

■ 手順 3

前記同様に返品処理を行い、小計画面で「内金」を押して内金項目に内金の金額を入れて「決定」または Enter キーを押します。
例)
¥2000 を内金として払っていた場合、2000 と打ち込んでからマイナスキーを押します。
すると数字部分が赤くなり、マイナスとして処理されます。
金額を確認して「現計」を押します。



ポイント値引した商品のポイント返還

■ 手順 3

ポイントを利用されたお客様と購入した商品呼び出します。前記同様に返品処理を行い、販売画面で「小計」を押して小計画面を開きます。
小計、合計などがマイナス(赤字)になっているのを確認し「ポイント」を押してポイント項目にポイントが入った状態で「決定」または Enter キーを押して下さい。



仕入れた商品の返品

■ 手順 1

販売画面で「仕入」を押して仕入画面にします。
 返品対象の商品を呼び出し、レジ画面右下「返品」を押します。
 複数返品商品がある場合には、返品対象商品にカーソルが
 あたっている所(No部分の背景が黄色)で「返品」を押すと、
 背景が赤になります。「実行」を押して終了です。



サービス商品の返品

■ 手順 1

レジ画面で返品対象の商品を呼び出し、
 操作ボタンフィールド、左側の▲を押して表示を変更します。
 「サービス」を押します。



■ 手順 2

操作ボタンフィールド左側の▼を押して表示を変更します。
 「返品」を押して、背景を赤にします。
 「F10 実行」を押して終了です。



9-26 商品詳細・商品の稼動実績 / 在庫

P-50 メニューバー設定
「商品単品詳細表示」「単品詳細フィールド表示」

商品詳細・商品の稼動実績 (SF3 稼動)

販売画面から商品コードを読ませた段階で、操作フィールド左の▲を押すと表示がかわります。商デ [SF3] を押すと、商品詳細が表示されます。商デ [SF3] ボタンが、稼動 [SF3] に変わっているので、稼動 [SF3] を押すと、商品の週・月表示の仕入、販売、在庫の動きが見られる稼動一覧表が表示されます。表示を消すには、表示窓のいずれかを押ししてください。

No	商品名	在庫数	金額	7	8	9
1	*大卒ノートB6	33	1189	4	5	6
				1	2	3
				0	00	
				C	確定	
				H	小計	

商品稼動更新について

- 商品の販売・仕入の稼動状況はコンピュータの日付を見てその月に書き込み処理されます。
- 在庫は累計処理ではありませんので、月次データ更新処理の際に確定し書き込み処理され先月末の在庫になります。(月次P-183参照) たとえば1月の月次データ更新処理の際には12月の在庫部分に更新処理時の在庫数を書込みます。合計は現時点の在庫です。
- 月次更新はその月の日報ファイルの有無によって判別され、毎月、その月初め、販売画面を立ち上げ時に行われます。その為、その月の日報ファイルをすべて削除等した場合は月次更新処理を再度行いますので注意してください。
- 週次更新は4週間に一度、販売画面立ち上げ時に行われます。 ※月次更新処理・週次更新処理とは、バックアップデータを書換え、該当月・週の稼動データをクリアするシステム上の処理のことを意味しています。

仕入	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
仕入	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35
販売	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	39

在庫数変更の注意

在庫の変更は、在庫管理の問題から [F7 仕入] で行ってください。

Column

在庫リストの表示

商品リスト (P-148) に在庫を表示して在庫金額を一覧表示させたい場合

条件設定を以下のように設定してください。

- ①処理内容: 商品価格一覧
- ②金額表示: 仕入 (買) 値
- ③在庫商メモ表示: 在庫

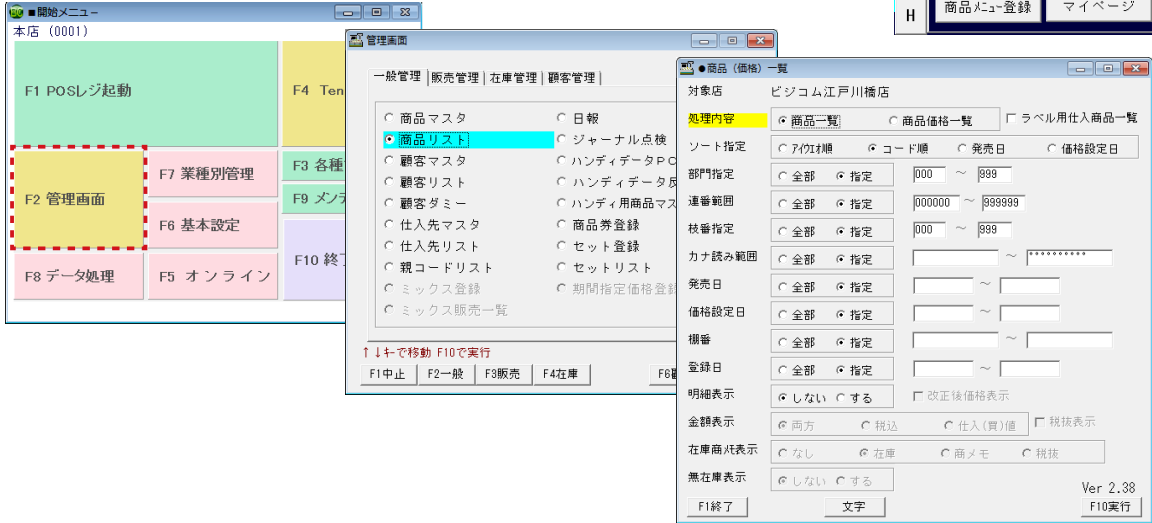
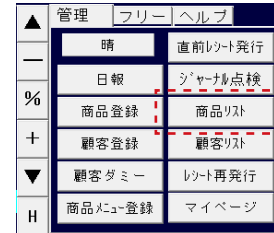
これ以外の設定は出力したい設定内容に設定してください。

商品コード	商品名	発売日	定価	仕入値	税込	在庫	数×値
100000000001	アルミ定規		150	87	157	11	1727
100000000002	デスククリーナー		800	380	840	11	9240
100000000003	ブリーフェースA4		680	374	819	10	8190
100000000004	ブックマーカー M		680	340	714	6	4284

9-27 商品リスト

商品リスト (F4 商品リスト)

[開始メニュー] > [F2 管理] > [商品リスト] > 「商品 (価格) 一覧」または、
 [レジ画面] > [テンキー「H」] > 「商品リスト」で開きます。
 ※ 商品リストから対象商品をダブルクリックする事で、対象の商品マスタを開きます。
 ※ 在庫リストを表示したい場合は前項を参照してください。



対象店	店名が表示されます。	
処理内容	商品一覧	商品コード、商品名、JAN、税、発売日、価格設定日を表示します。
	商品価格一覧	商品コード、商品名、発売日、定価、売値、仕入値、金額表示の項目の設定値、在庫商メモ表示の設定値、無在庫表示するかどうかを表示します。
ラベル用仕入商品一覧	商品リストで絞り込み + 仕入れた期間指定を行い、バーコードラベルプリンタからラベルを一括出力する機能です。(詳細は次項)	
ソート指定	リストの整列順序をアイウエオ順、コード順、発売日順、価格設定日順の中から選択します。	
部門指定	全部または指定した範囲からのリスト作成をします。指定を選択した場合は、部門コードの範囲を入力してください。	
連番範囲	同上。指定の場合は連番範囲を入力してください。	
枝番指定	同上。指定の場合は枝番の範囲を入力してください。	
カナ読み指定	同上。指定の場合はカナの範囲を入力してください。	
発売日	同上。指定の場合は発売日の範囲を入力してください。	
価格設定日	同上。指定の場合は価格設定日の範囲を入力してください。	
棚番指定	同上。指定の場合は棚番の範囲を入力してください。	
登録日	同上。指定の場合は登録日の範囲を入力してください。	
明細表示	[しない]を選択	商品コード、商品名、JAN、税、発売日、価格設定日が表示されます。
	[する]を選択	商品コード、商品名、JAN、税、発売日、価格設定日、型番1、型番2、棚番、定価、税抜、税込、登録日が表示されます。
※明細表示は処理内容で商品価格一覧を選択するとグレイアウトして選択できません。		
金額表示	商品価格一覧で表示する価格は[売値と買値、売値のみ、仕入値のみ]の、どの価格を表示させるかを選択します。	
在庫商メモ表示	在庫一覧表を表示させたときは在庫を表示させるか、在庫・商品メモを表示させるかを選択します。	
無在庫表示	在庫が無い商品も在庫一覧表で表示させるか選択します。	
※金額表示、在庫商メモ表示、無在庫表示は処理内容で商品一覧を選択すると、選択できません。		

[F10 実行] を押しいただきますと条件に合致する商品リストが出力されます。商品ダブルクリックすると、商品マスタが開きます。

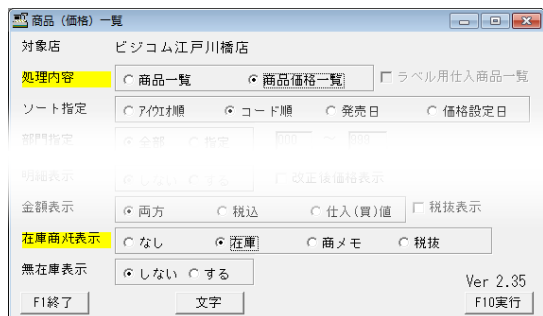
商品コード	商品名	発売日	定価	仕入値	税込	在庫	数×値
290000001000	アケル コーヒー*ン 白ロ		200	105	216	80	17280
290000002000	アケル コーヒー*ン グラ		200	105	216	40	8640
290000003000	アケル コーヒー*ン グリン		200	105	216	55	11880
290000006000	アケル*ップ BLUE		600	315	648	55	35640
290000007000	アケル*ップ CLEAR		600	315	648	40	25920
290000009000	アケル*ップ RED		600	315	648	65	42120

商品リスト (F4 商リスト) ラベル印字機能

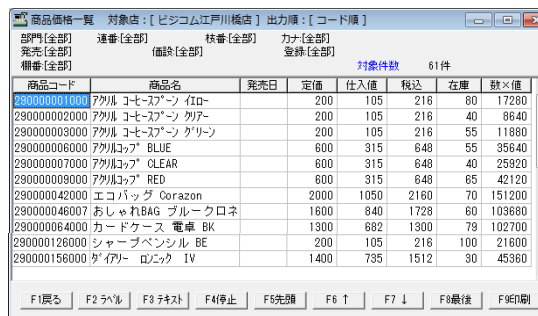
- 商品リストでピックアップした商品一覧で、ラベラー一括印字 (在庫数分 or 商品マスタ設定数)
- 仕入商品 (仕入数分×仕入日指定) のラベラー一括印字が行えます。(レジ操作可能)

●商品リストのラベラー一括印字 (在庫数分)

①商品一覧 [処理内容] を「商品価格一覧」に、
[在庫商メモ表示] を「在庫」にし、その他条件を
入力して「F10 実行」で一覧表示します。

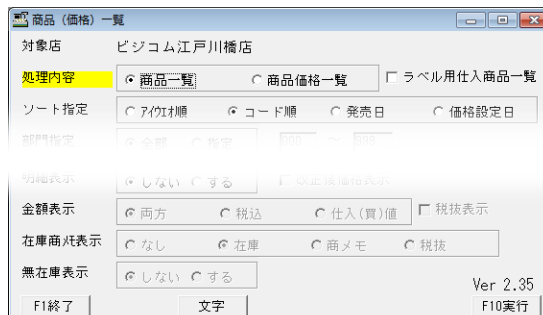


②作成された「商品価格一覧」に「在庫」が
表示されています。「F2 ラベル」で一覧表示された商品の
在庫数分を一括でラベル印字します。



●商品リストのラベラー一括印字 (商品マスタ設定分)

①商品一覧 [処理内容] を「商品一覧」にし、
他条件を入力して「F10 実行」で一覧表示します。

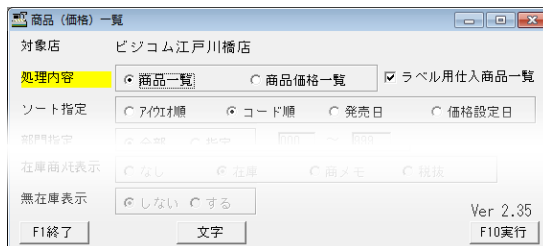


②作成された「商品価格一覧」の「F2 ラベル」で
商品マスタ設定分を一括でラベル印字します。

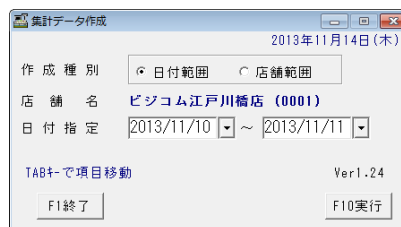


●仕入商品のラベラー一括印字 (仕入数分)

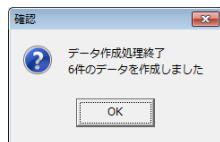
①商品一覧 [処理内容] の「ラベル用仕入商品一覧」
に☑をいれ「F10 実行」で一覧表示します。



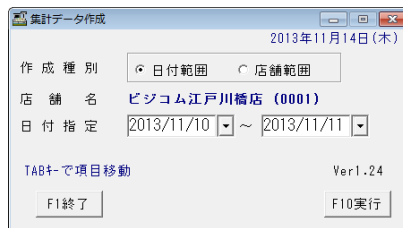
②「集計データ作成」が表示されますので、ラベル印字
する「仕入期間」を設定し「F10 実行」を押します。



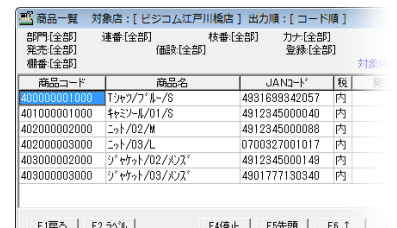
③確認ダイアログが表示
されますので「OK」を押します。



④「集計データ作成」画面の「F1 終了」
を押してください。



⑤作成された「仕入一覧」の「F2 ラベル」
で仕入数分を一括でラベル印字します。



※ラベル印字の詳細マニュアルは別紙参照 ※ラベル用紙・ラベルプリンタ共に弊社指定の物となります。

レジ操作 商品リスト

9-28 顧客管理

P-52 顧客管理設定全般 P-57 ポイント設定全般
P-185 顧客パスワード設定

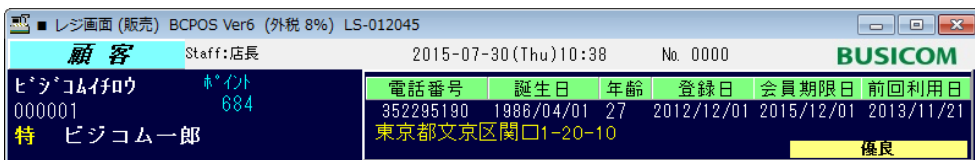
BC POS は顧客管理を行う事で、ポイント発行・売掛販売・カルテ作成等さまざまな顧客管理が可能です。

顧客管理を行うためには、会員カード(ポイントカード)を発行する必要があります。(会員カードを使用しなくても、POS画面で顧客検索(名前・TEL番号等)は行えますが煩雑になります。)また、会員カードと併用でおさいふケータイ・電子マネー等フェリカIDを使った顧客管理も可能です。



□ 会員情報の表示

販売画面から会員証(顧客コードの入力)を読ませると、会員情報が表示されます。顧客管理が不要な場合は[基本設定]>[全般設定]>[顧客]>「顧客機能使用」で設定します。



会員番号	登録されている会員番号を表示	顧客名カナ	顧客名カナを表示
会員名	会員名を表示	ポイント	現在のポイントを表示
電話番号	電話番号を表示(非表示設定可能)	誕生日	誕生日を表示(非表示設定可能)
年齢	年齢を表示(非表示設定可能)	登録日	顧客登録された日を表示
会員期限日	会員期限がある場合表示	前回利用日	前回の利用日を表示
住所	会員の住所を表示(非表示設定可能)	メモ	登録されている顧客メモを表示

□ 会員検索

顧客コード以外にカナ読み、電話番号で顧客の検索ができます。販売画面で[Shift]キー+[F5]キー(または[Sf5客検])を押します。

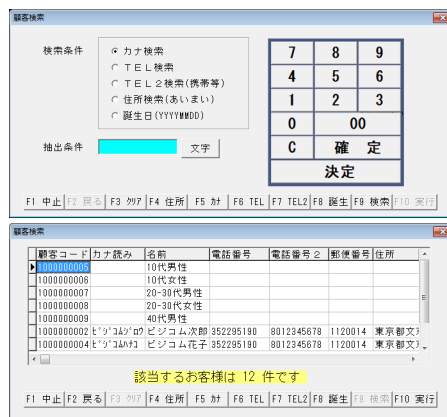
[顧客検索]が表示されます。

検索条件を選択して抽出条件を入力してください。検索は先頭一致です。

検索条件、抽出条件を入力し[Enter]キーを押すか[F9検索]を押します。

一覧表示画面の下に該当するお客様件数が表示されます。

該当人数が多い場合は[F2戻る]を押して元の検索画面にもどり、再度抽出条件を絞り込んで再度検索してください。

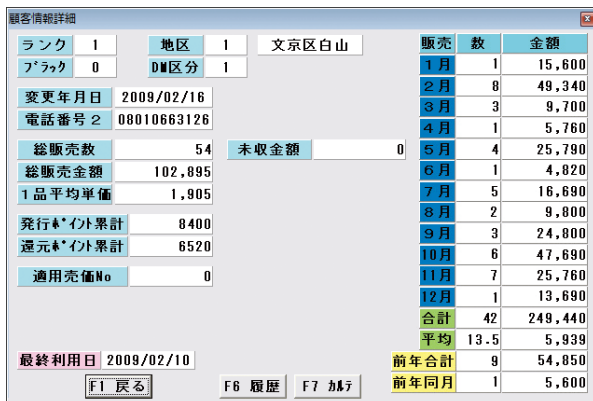
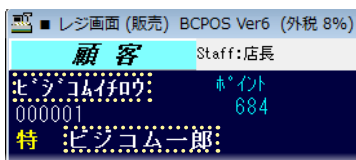


□ 顧客の動向

顧客情報の顧客名を押すと「顧客情報詳細」が表示されます。または、顧客コードを読み込ませた状態で[F11]キーを押すと顧客の情報を見ることが出来ます。この画面は、参照するだけで内容の書換えはできません。

過去1年間の各月の売上数・売上金額や顧客ランク、販売総数・総売上金額、総発行ポイント・総還元ポイント等の顧客情報の詳細を表示できます。

月の数、金額は基本設定の顧客設定にて顧客稼働実績本数のカウントを商品件数か伝票枚数から算出するかを選択して設定ができます。必要に応じて設定をしてください。(P-53参照)



□ 顧客ランク

顧客ランクをつける事で、会員情報欄に顧客のランク(1～5の5段階)を表示する事ができます。
顧客ランクに応じて、ポイントを追加で付与する事もできます。
顧客ランク1については「特別会員価格設定使用」で使用「する」にして、部門マスタの条件種別及び条件金額を設定する事で、条件金額が適用されます。(顧客情報画面で、名前の横に「特」が表示されます)P-76 条件金額参照
※ 特別会員に、条件金額を適用する運用を利用する場合、運用が難しい為弊社までご相談ください。

□ 顧客の購買履歴-1 (F6 履歴)

「顧客情報詳細」から、F6 履歴を押すと、日付範囲指定が表示されますので、検索範囲決定して F10 実行で「顧客購買履歴」を表示できます。または、レジ画面上で顧客を呼び出した状態にして [Shift] キーを押しながら [F7] キーを押すか [SF7 履歴] を押してください。日付範囲が本日から1年間指定してあります。
[F10 実行] を押すとその顧客が購入したデータが表示されます。[F2 テキスト] を押すとテキストで保存できます。
[F9 印刷] を押すとレシートプリンタに印刷することができます。



□ 顧客の購買履歴-2 (SF8 過去)

その顧客がこれまでに購入された商品のリストを最大 120 件まで参照することができます。
レジ画面上で顧客を呼び出した状態にして [Shift] キーを押しながら [F8] キーを押すか [SF8 過去] を押してください。左下の画面が表示されます。特定の商品がこれまでに購入しているのか確認したい場合には、商品コードを入力し [F10 実行] を押すと、顧客の購買履歴からその商品だけを抽出してリストアップします。
右下の画面で何も入力せずに [Enter] キー、または [F10 実行] を押すとその顧客が購入した過去 120 件までのデータが表示されます。[F9 印刷] を押すとレシートプリンタに印刷することができます。



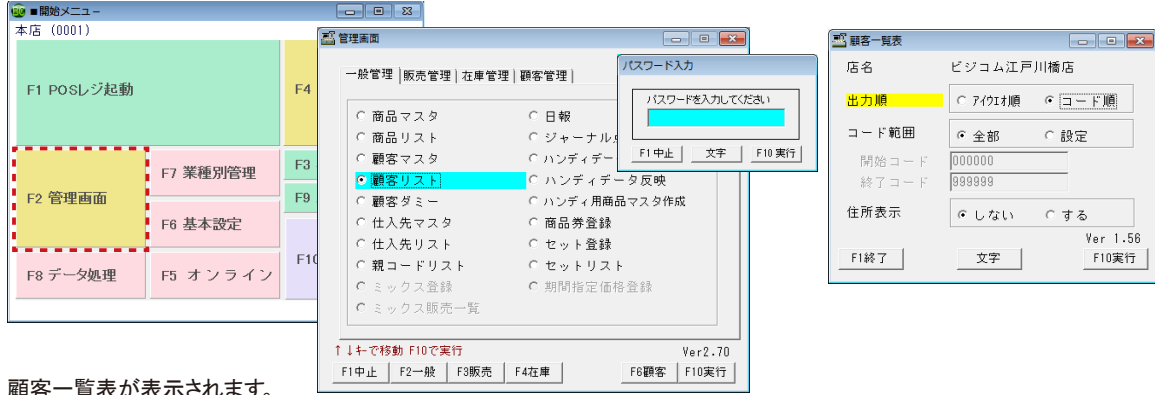
□ 顧客パスワード設定

管理者用パスワードと制限付パスワードが設定でき、下対応表の顧客関連の画面にパスワードの設定が可能です。設定の詳細は、P-185 を参照してください。

プログラム名	管理者	制限付	プログラム名	管理者	制限付
顧客登録	○	○	得意先別売上一覧 (顧客 OP)	○	×
顧客一覧	○	×	売掛金未収一覧 (顧客 OP)	○	×
テキスト切出 / 合併	○	×	DM ラベル発行 (顧客 OP)	○	○
顧客カルテ	○	○	顧客稼働ベスト (顧客 OP)	○	○
親コードリスト	○	○	カルテ用 DM	○	○
顧客データ一括削除	○	×	レンタル商品履歴 (レンタル OP)	○	○
商品別売上一覧 (販売 OP) ※顧客表示するにした時のみ	○	×	未返却一覧 (レンタル OP)	○	○
顧客 (不) 稼働一覧 (顧客 OP)	○	×			

□ 顧客リスト

[F2 管理] > [顧客リスト] > 「顧客一覧表」を開きます。
 ※顧客パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力し [F10 実行] を押してください。(設定 P-185 参照)
 [顧客一覧表] が表示されたら、出力順、表示するカナ読みの範囲、住所表示をする・しないを選択して [F10 実行] を押します。



顧客一覧表が表示されます。
 作成された一覧表はレーザープリンタのみで印刷できます。印刷は [F9 印刷] を押します。

密コード	カナ読み	名前	電話番号	登録日	会員期限日	性別	誕生日
000001	ピタム存助	ピタム一郎	352285180	2004/01/04	2005/01/04	女	1879/08/13
000002	ピタム助	ピタム次郎	352285180	2010/01/08	2012/01/05	男	1885/10/25
000003	ピタム助	ピタム三郎	352285180	2010/01/08	2012/01/05	男	1872/03/13
000004	ピタム助	ピタム花子	352285180	2010/01/08	2012/01/05	男	1882/08/15
000005		10代男性		2010/01/06	2012/01/05	男	
000006		10代女性		2010/01/07	2012/01/05	女	
000007		20-30代男性		2010/01/08	2012/01/05	男	
000008		20-30代女性		2010/01/08	2012/01/05	女	
000009		40代男性		2010/01/08	2012/01/05	男	
000010		50代男性		2010/01/08	2012/01/05	男	
000011		カッブル		2010/01/08	2012/01/05		

[F1 戻る]	[顧客一覧表] 画面に戻ります。
[F4 停止]	[F6] [F7] の動きをストップします。
[F5 先頭]	リストの先頭にジャンプします。
[F6 ↑]	↑の方向へリスト画面を上ります。
[F7 ↓]	↓の方向へリスト画面を下ります。
[F8 最後]	リストの最後にジャンプします。
[F9 印刷]	A4 プリンタからリストを印刷します。

□ ポイントの付与

P-57 ポイント設定

- ・ポイント付加率、クレジット・現金での率の変更、最低付与金額、顧客ランク(1～5段階)による追加ポイント(ポイント率にプラスします)、セール期間中のポイント率変更、商品毎のポイント率変更
- ・ポイントの還元方法の選択(値引・キャッシュバック・サービス券変更)
- ・ポイントの任意増減等 [基本設定] > [全般設定] > [ポイント] で、各種設定が行えます。

処理内容	値引方式		キャッシュバック方式	サービス券方式
	自動	確認	現金の払い戻し	サービス券を渡す
処理方法 (F10 現計時)	小計画面で任意に使用	小計画面で任意に使用	メッセージ表示無くポイントを引く F10 現計時にメッセージを表示 キャッシュバックの場合、 通常こちらを設定	メッセージを表示しポイント発行 発行の確認画面を表示
最低金額設定	任意	任意	任意	任意
達成ポイント	設定不可	必要	必要	必要
記録	日報項目	ポイント	出金	発行チケット
	LOG	販売・ポイント	出金・キャッシュ	出金・チケット

□ フェリカ会員証設定

P-53 顧客設定

会員カード(顧客コードのバーコード化)を使った顧客管理と併用して、会員カードの変わりにお客様のスマートフォンや交通系乗車カード(電子マネー)等、フェリカが利用されている物を会員カード(フェリカID)として登録できます。
 ※会員カードと併用してのご利用を推奨します。また、ポイント共有機能を利用している場合は会員カードの併用が必須です。
 ※フェリカ会員証をご利用になるには、フェリカリーダーとしてSONYのパソリが別途必用です。

手順-1 SONY パソリに付属している製品 CD-ROM からドライバーをインストールしてください。
 ※インストール手順は、製品の取扱説明書を参照してください。

手順-2 開始メニュー→F6 基本設定→F2 全般設定→顧客フェリカID使用を「する」にします。
 ID新規登録は次項「顧客コードとフェリカIDの関連付け」を参照。



F6ディスプレイ	F7顧客	F8リスト	F9ディスプレイ	F10更新
S_F6ディスプレイ	S_F7業種		S_F9印字	文字

□ 既存顧客コードとフェリカ ID の関連付け

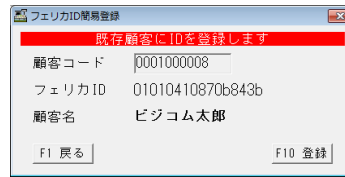
顧客コードとフェリカ ID の関連付けは、レジ画面で行います。フェリカと会員カードを読み順番で手順が異なります。

● 既存顧客コードを読んでからフェリカ ID を関連付けます。

① 会員カードを読みみます。



② フェリカをリーダーにタッチすると「既存顧客に ID を登録します」と表示されますので「F10 終了」を押して登録完了です。

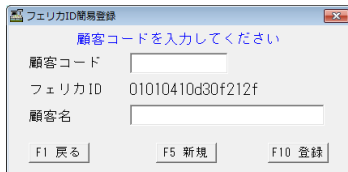


● フェリカ ID を読んでから既存顧客コードに関連付けます。

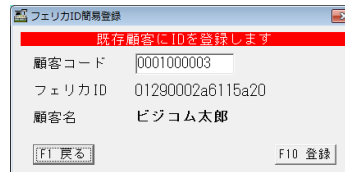
「ID 新規登録」P-53 を【する】に設定してください。

【しない】の場合は、未登録フェリカ ID の場合、既存顧客との関連付けが出来ませんので、上記「既存顧客コードを呼んでからフェリカ ID を関連付けます」で運用してください。

① フェリカをリーダーにタッチすると「顧客コードを入力してください」と表示されます。



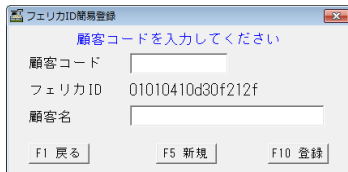
② 会員カードを読んで「F10 終了」で登録します。



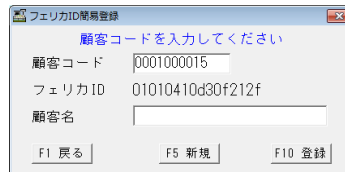
□ 新規顧客にフェリカ ID を登録します

顧客ダミー登録 P-92 を使った運用の場合には、上記「既存顧客コードを呼んでからフェリカ ID を関連付けます」と同じです。

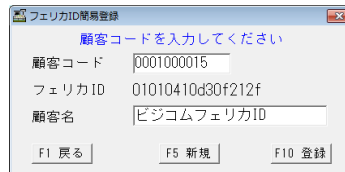
① フェリカをリーダーにタッチすると「顧客コードを入力してください」と表示されます。



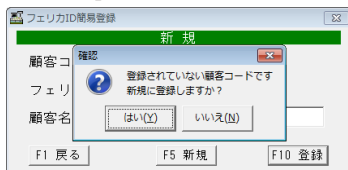
② 「F5 新規」を押すと、顧客コードで利用されていない、一番小さいコードが自動入力されます。



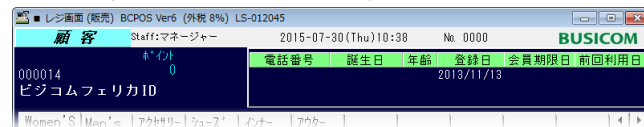
③ 顧客名を登録する場合は入力して「F10 登録」を押します。
※顧客名は必須ではありません。



④ 確認ダイアログが表示されますので「はい」を押します。



⑤ 登録が終了し、レジ画面に顧客が表示されます。
※簡易登録となっていますので、詳細情報は必要に応じて後ほど登録してください。



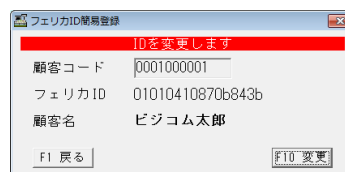
□ フェリカ会員証の機種・カード変更

フェリカ ID を登録している、スマートフォンや交通系乗車カード(電子マネー)等の機種変更・カード変更を行う設定。

① 会員カードを読みみます。



② フェリカをリーダーにタッチすると「既存顧客に ID を登録します」と表示されますので「F10 変更」を押して変更完了です。



9-29 顧客カルテ機能

P-63 その他追加基本設定
「顧客カルテ使用」

※ [その他追加基本設定] で顧客カルテ機能使用を [する] に設定しないと使用できません。(P-63 参照)

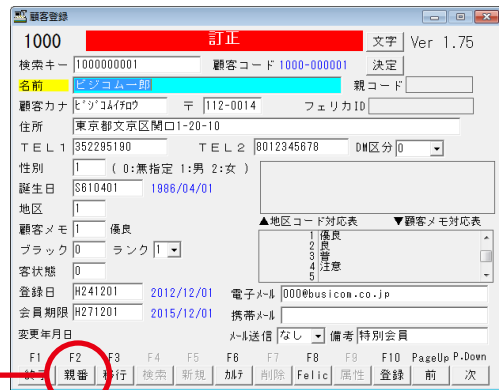
□ カルテデータへの顧客登録

顧客登録とは別にカルテのデータに顧客を登録する必要があります。カルテに登録する場合は親コードを決める必要があります。

①顧客登録画面から新規登録した場合

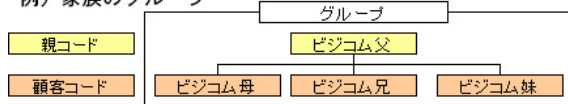
カルテデータにも登録されます。
親コードには登録した顧客コードが自動的に入ります。
親コードを変更したい場合は、顧客登録画面でその顧客を呼び出し [F2 親番] を押して、新たに親コードを入力して下さい。

訂正画面でなければ親番ボタン、カルテボタンは表示されません

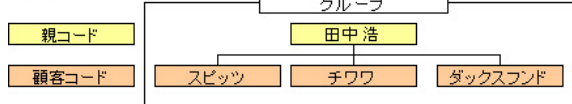


※親コードとは、顧客のグループ分けを行う事ができる機能です。

例) 家族のグループ

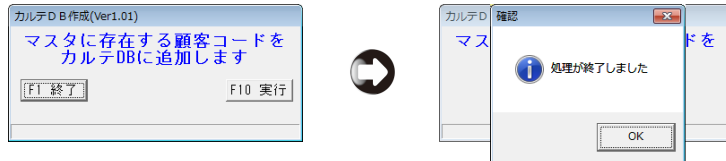


例) ペットのグループ



②テキスト取り込み、顧客ダミー作成をした場合

取り込みとダミーは顧客登録されますが、カルテデータに登録はされません。
一括で登録するためにマイコンピュータからCドライブ→BCPOS フォルダを開きます。その中にある「MemKrtDB.exe」を起動して「F10 実行」を押して下さい。ダミー登録画面のみ [F5 カルテ] ボタンを押すと下図プログラムが開きます。
取り込んだ顧客及び作成したダミー顧客を一括でカルテデータに登録します。
親コードには自分のコードが登録されます。変更する際は①で説明したやり方で変更して下さい。



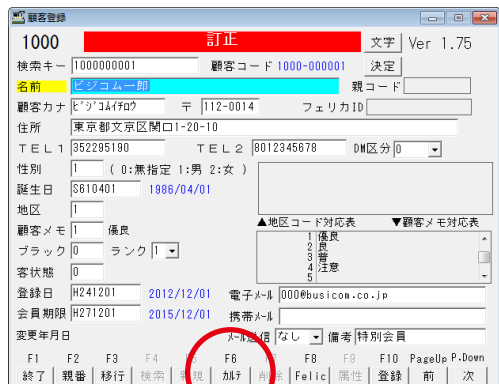
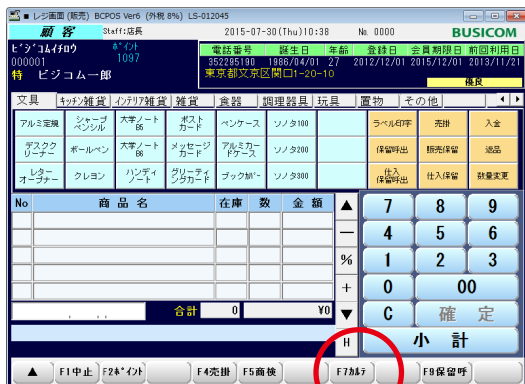
□ カルテ画面の起動

①カルテを登録するにはレジ画面もしくは顧客登録から起動します。

②レジ画面からは顧客を呼び出し、カルテ「F7」ボタンを押します。パスワードを入力すればレジ画面で呼び出した顧客がカルテに表示されます。

③顧客登録からは上記で説明したように訂正画面にして「F6 カルテ」を押して下さい。顧客登録を起動する際にパスワード入力しているのでそのまま起動してきます。

レジ操作 - 顧客カルテ



□ カルテ画面の説明

①顧客情報

親コードや顧客情報が表示されます。

②プルダウン形式の設問と回答
予め回答を登録しておき、登録した回答から選択して使用します。

③テキスト形式の設問と回答
回答が不明瞭な設問をする場合に使用します。最大半角 200 文字まで。半角 50 文字 (全角 25 文字) までに改行を入れるようにし、設問は 4 行以内、回答は 6 行以内に収めないと正しく印刷されないの注意してください。

④備考入力欄

最大半角 200 文字まで。半角 100 文字 (全角 50 文字) までに改行を入れるようにし、4 行以内に収めないと正しく印刷されないの注意してください。

⑤ファンクションボタン

F1 終了	カルテ画面を終了
F2 設問	設問の設定
F3 担当者	画面上部の担当者欄にカーソルが移動
F4 画面	画面の設定
F6 回答検索	テキスト解答欄の検索

F7 削除	回答のみ削除
F8 履歴	P-151 参照
F9 印刷	P-157 参照
F10 更新	回答を更新



□ 設問の登録

①プルダウン形式の設問

入力できる桁数は半角 20 文字 (全角 10 文字) までです。
例: コンタクトレンズの使用は?

②回答

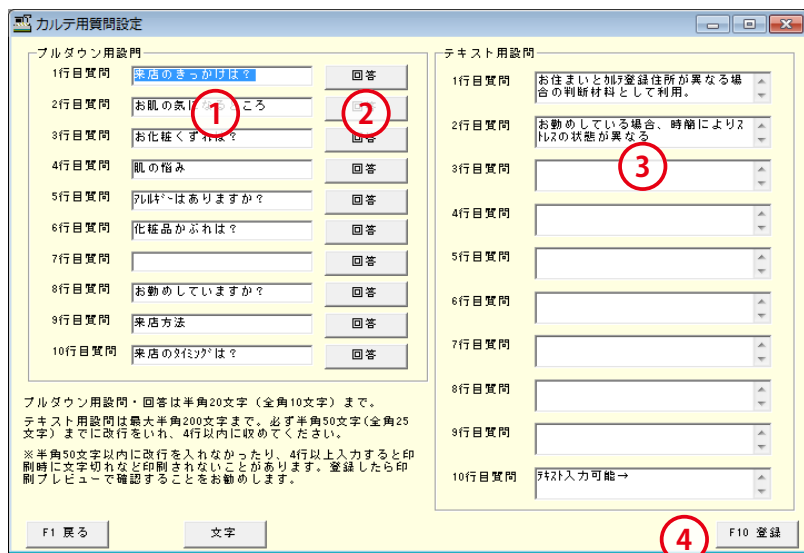
それぞれ設定した設問ごとに回答を決める必要があります。回答ボタンを押すと事項の画面が表示されます。

③テキスト形式の設問

必ず半角 50 文字 (全角 25 文字) までに改行を入れ 4 行以内に収めないと、正しく印刷されないの注意して下さい。
印刷にはプレビュー機能があるので、登録した後はプレビューで確認することをお勧めします。

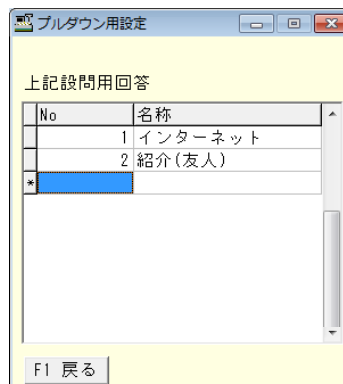
④登録ボタン

登録や変更を行ったら必ず登録ボタンを押してください。



□ 回答の登録

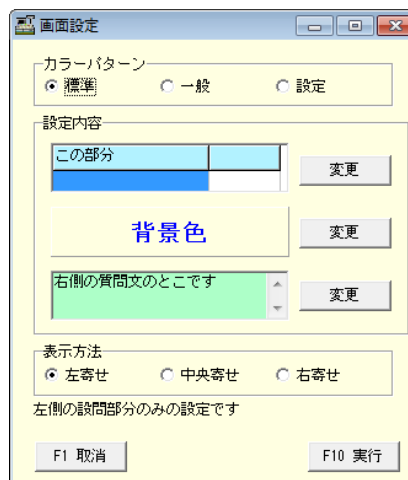
回答登録画面	
・追加はキーボードの [Insert] キーか下矢印キーを押して新しいレコードを作成して下さい。 ・削除はキーボードの [Ctrl]+[Delete] キーを押してください。 ※入力や変更した場合には、そのレコード(行)の上下いずれかのレコードにカーソルを移動しないと登録されません。	
No	0 ~ 30000 の任意の数字を決めて下さい。 ※同じ数値を入力するとキー違反になるのでご注意ください。
名称	半角 20 文字 (全角 10 文字) まで。
F1 戻る	設問画面に戻ります。



□ F4 画面の設定

カルテ画面の色を設定できます。

カラーパターン	画面のカラーパターンを設定できます。
設定内容	カラーパターンを設定にしたときのみに有効。 お好きな色に設定できます。
表示方法	プルダウン用の設問の表示方法を設定できます。



□ F6 回答検索

テキスト回答欄と備考のみ対象で検索できます。

検索1	検索する文字を入力
検索2	検索する文字を入力
条件	OR条件かAND条件を選択

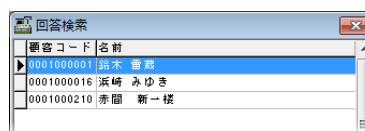
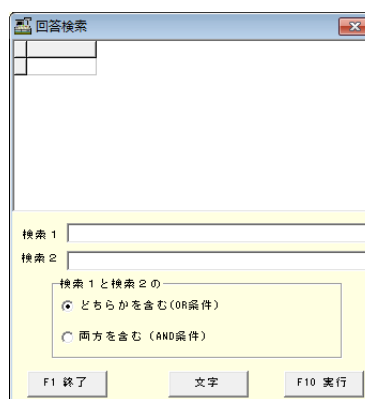
検索する文字を入力して「F10 実行」を押すと、画面上部に該当の顧客が表示されます。

該当の顧客を押すか、上下でカーソルを移動しエンターキーを押すと選んだ顧客がカルテ画面に表示されます。

※検索の注意点として、テキスト入力箇所は改行が入られるので改行されている場合 1つのキーワードとみなしません。

例：検索窓に「株式会社ビジコム」と入力されていたら「ビジコム」では該当しません。

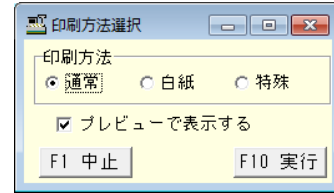
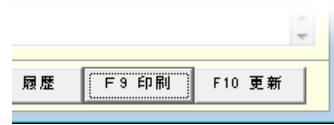
ここで改行 (Enter) を入れた



□ F9 カルテの印刷

カルテ画面から「F9 印刷」を押すとカルテが印刷できます。
印刷は 3 パターンあります。

印刷方法	
通常	そのまま印刷
白紙	顧客情報、回答が空欄で印刷
特殊	顧客情報を顧客コードのみ印刷
プレビューチェック	チェックがあるとプレビュー画面に移行 チェックを外すとそのまま印刷



[通常印刷のプレビュー画面]

お客様カード				担当者		
会員No.	0001111113	名前	ビジコム花子		誕生日	1990/12/15
住所	東京都文京区関口1-20-10					
TEL1	03-5229-519	TEL2		初回記入日		最終更新日
来店のきっかけは？	1 インターネット	化粧品かぶれは？	1 はい			
お肌の気になるところ	1 かさつき		0			
お化粧くずれは？	1 Tゾーンのみ	お勤めしていますか？	1 アルバイト			
肌の悩み	1 にきび	来店方法	1 徒歩			
アレルギーはありますか？	1 はい	来店のタイミングは？	1 会社帰り			
お住まいと加算登録住所が異なる場合の判断材料として判						
お勤めしている場合、時給により対応の状態が異なる						

[白紙印刷のプレビュー画面]

お客様カード				担当者	
会員No.		名前		誕生日	
住所					
TEL1		TEL2		初回記入日	
来店のきっかけは？				化粧品がぶれは？	
お肌の気になるところ					
お化粧くずれは？				お勤めしていますか？	
肌の悩み				来店方法	
アルバイトはありますか？				来店の頻度は？	
お住まいと所登録住所が異なる場合の住所材料として判					
お勤めしている場合、時給により支払の状況が異なる					

[特殊印刷のプレビュー画面]

お客様カード				担当者	
会員No.	0001111113	名前		誕生日	
住所					
TEL1		TEL2		初回記入日	
来店のきっかけは？	2	紹介(友人)		化粧品がぶれは？	1
お肌の気になるところ	1	かさつき			0
お化粧くずれは？	2	顔全体		お勤めしていますか？	1
肌の悩み	3	しみ		来店方法	3
アルバイトはありますか？	1	はい		来店の頻度は？	1
お住まいと所登録住所が異なる場合の住所材料として判					
お勤めしている場合、時給により支払の状況が異なる					

9-30 売掛機能

- P-44 初期設定 2 「擬似売掛機能使用」「売掛種別使用」
- P-52 顧客管理設定「売掛金を顧客に計上」
- P-63 その他追加設定「クレジットと売掛機能併用可能とする」

顧客管理を行う事で、売掛機能が使用できます。

売掛が有るお客様の会員証を読み込むと「売掛金が〇〇〇円あります」と画面に表示されます。

※ 顧客管理を行わないで、売掛を立てる事もできますが、売掛金の入金できません。

□ 売掛機能の注意点

BCPOS においては、売掛の登録・入金のみで売掛機能を使用することができます。請求書の発行・入金消し込み・元帳の発行は行えませんので、BCPOS 連動の「販売管理ソフト」をご利用ください。

□ 通常の売掛 (SF10 売掛)

販売画面で、顧客を呼び出し通常の販売処理を行い、操作ボタンフィールド左の▲を押して表示を変更します。

売掛 [SF10] を押すか、小計画面で、売掛 [SF10] を押します。

※売掛金を顧客にもたせるためには基本設定 (P-44 P-52 参照) で設定が必要になります。



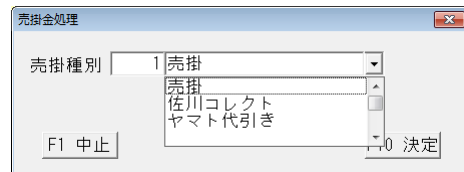
□ 売掛種別機能設定

※ [基本設定] で売掛種別使用を [する] に設定しないと使用できません。(P-44 参照)

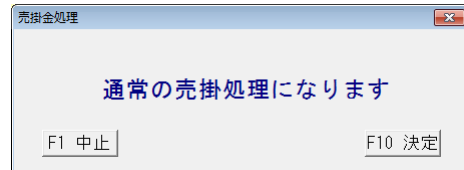
事前に売掛種別を登録しておく必要があります。(P-80 参照)

売掛種別一覧を見るには顧客管理 OP が必要になります。

上記通常の売掛と同じ処理を、販売画面または小計画面で行います。売掛ボタンを押すと右の画面が表示するので、種別を選択して [F10 決定] を押すと処理されます。



内金か預りに1円でも入力がある場合は、通常の売掛になります。右の画面になるので、よければ [F10 決定] を押すと処理されます。



以上の処理を行うことで売掛種別一覧が閲覧できるようになります。

※売掛種別一覧を見るには顧客管理 OP が必要になります。



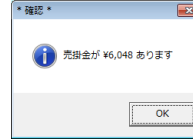
□ 売掛金の入金 (F4 売掛)

※注意

売掛金を顧客に持たせている場合は、売掛金の入金は必ず [F4 売掛] で精算してください。
[SF2 入金] で入金されると売掛金額は精算されず、そのまま残ってしまいます。

■ 手順 1

基本設定にて [売掛金を顧客に計上する] 設定 (P-52 参照) としている場合には、売掛残金のある顧客が呼び出されると「売掛金が〇〇〇円あります」と表示されます。
金額を確認して [OK] を押します。

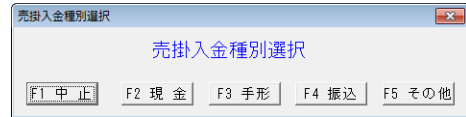


レジ画面に戻りましたら通常通り顧客が表示された状態になります。
[F4] キー、または [F4 売掛] を押します。



■ 手順 2

[売掛入金種別選択] 画面が表示されるので、入金される金種 (現金、手形など) を表示された中から選択してください。



■ 手順 3

レジ画面に戻り [売掛金入金 (〇〇〇)] が表示されます。
このとき [売掛金入金] 額は、その顧客の売掛残金全額が表示されています。
全額で無い場合には、[F2 金変] または金額欄を直接押してテンキーで金額調整を行ってください。
終了後 [F10 現計] を押して終了してください。



□ 売掛販売レシート

BUSICOM
東京都文京区関口1-20-10
TEL.03-3235-6900
http://www.busicom.co.jp

*** 売掛 ***

2010/04/05(月) 11:12 店0001 No 0002
担当者 0001:BC販売員
会員番号 0001-00007 ビジコム太郎 様

コード	品名	数	単価	金額
206-000016-000	まるバツカ2LX6	1	5,200	5,200
206-000017-000	上選さけバツカ2LX6	1	7,200	7,200
税込対象額				12,400
4合計				¥12,400
1点 (内消費税 5%)				590

<ポイント情報>
ポイント対象額 12,400
加算ポイント 620
残りポイント 620

ご来店、ありがとうございます。

□ 売掛種別販売レシート

BUSICOM
東京都文京区関口1-20-10
TEL.03-3235-6900
http://www.busicom.co.jp

*** 売掛 ***

2010/10/17(日) 00:17 店0001 No 0002
担当者 0001:BC販売員
会員番号 0001-00001 ビジコム太郎 様

コード	品名	数	単価	金額
200-000102-000	シャンパン MOET	1	6,279	6,279
税込対象額				6,279
合計				1点 6,279
(内消費税 5%)				299

<売掛種別情報>
佐川コレクト

□ 売掛入金レシート

BUSICOM
東京都文京区関口1-20-10
TEL.03-3235-6900
http://www.busicom.co.jp

*** 販売 ***

2010/04/05(月) 15:34 店0001 No 1008
担当者 0001:田中店長
会員番号 0001-00007 ビジコム花子 様

コード	品名	数	単価	金額
***-URIKAK-000	売掛金入金(現金)			18,035非
税込対象額				18,035
合計				¥18,035

<ポイント情報>
加算ポイント 0
残りポイント 33

ご来店、ありがとうございます。

9-31 メモ機能 (SF6)

商品と顧客にメモをつけることができます。(メモの登録は P-78 参照)

メモ内容は販売画面の上部、顧客情報に表示されるので来店時に確認したい内容や、特別なお客様として対応を必要とする際の情報になります。(全角 10 文字まで登録可能)

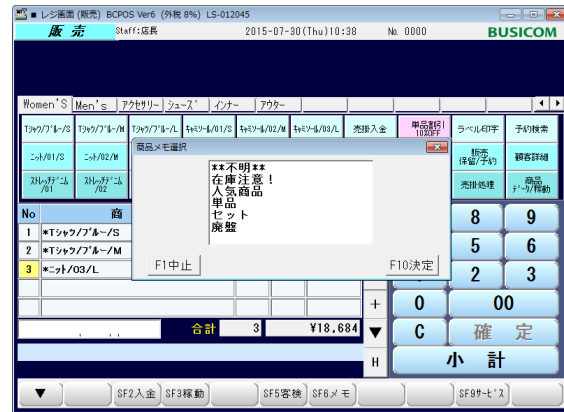
顧客コードだけを読み込ませた状態で操作フィールド左▲を押して表示を変更し、メモ [SF6] を押すと [顧客メモ選択] 画面が表示されます。

商品コードだけを読み込ませた状態で操作フィールド左▲を押して表示を変更し、メモ [SF6] を押すと [商品メモ選択] 画面が表示されます。

■ 顧客メモ選択画面



■ 商品メモ選択画面



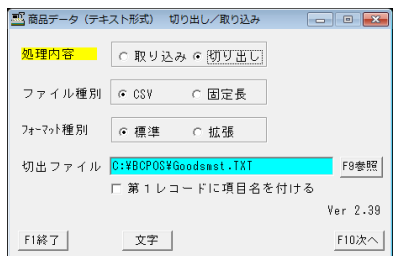
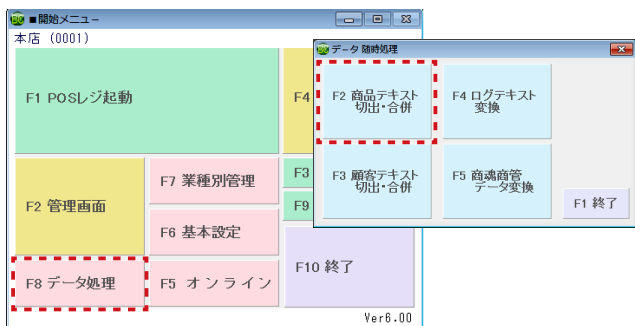
顧客コードと商品コードを読み込ませた状態で操作フィールド左▲を押して表示を変更し、メモ [SF6] を押すと [商品メモ選択] または [顧客メモ選択] のどちらを表示するかが表示選択画面が表示されます。

■ メモ選択画面



10 BCPOS データ随時処理

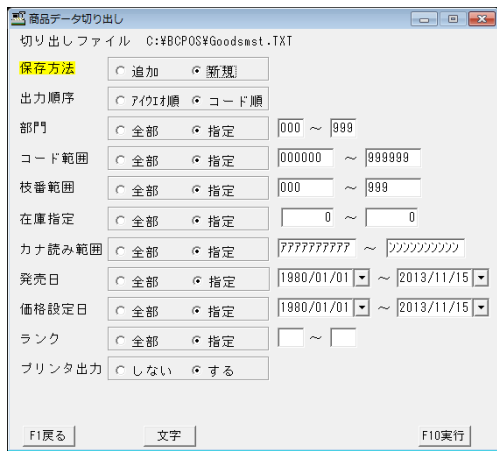
10-1 商品マスタのテキスト切出し



[データ随時処理]画面 → [F2 商品テキスト切出・合併] を押します。商品マスタを切出すときは、処理内容の「切り出し」を選択し切出してください。
 通常のデフォルトファイル名は「goodsmsst.TXT」になります。(ファイル名を変更する場合には、拡張子を“.txt”にしてください。)切出される最初のレコードに、項目名(商品コード、商品名等)をつけたい場合は[第一レコードに項目名を付ける]にチェックを入れてください。(切出し取り込みは、同じフォーマット種別で行ってください)[F10 次へ]を押します。

[商品データ切り出し]画面になりますので「切出しの条件を選択」します。(各項目の説明は下記を参照してください。)各項目を選択し[F10 実行]を押します。

保存場所と名称 > C:\BCPOS\Goodsmsst.TXT



●商品データ切り出し

保存方法	追加	同名のファイルがあった場合、前回到切出したファイルに追加してデータを切出します。
	新規	新しくファイルを作成します。同名のファイルがあった場合には、以前の内容を消去してよいかの確認が表示されます。
出力順序	アイウエオ順	商品名カナ順にデータを切出します。
	コード順	商品コード順にデータを切出します。
部門	全部	すべての部門を対象にデータを切出します。
	指定	指定した部門を対象にデータを切出します。
コード範囲	全部	すべての商品コードを対象にデータを切出します。
	指定	指定した商品コードを対象にデータを切出します。
枝番範囲	全部	すべての枝番を対象にデータを切出します。
	指定	指定した枝番を対象にデータを切出します。
在庫指定	全部	すべての在庫数を対象にデータを切出します。
	指定	指定した在庫数を対象にデータを切出します。
カナ読み範囲	全部	すべてのカナ読み範囲を対象にデータを切出します。
	指定	指定したカナ読み範囲を対象にデータを切出します。
発売日	全部	すべての発売日範囲を対象にデータを切出します。
	指定	指定した発売日範囲を対象にデータを切出します。
価格設定日	全部	すべての価格設定日範囲を対象にデータを切出します。
	指定	指定した価格設定日範囲を対象にデータを切出します。
ランク	全部	すべてのランクを対象にデータを切出します。
	指定	指定したランクを対象にデータを切出します。
プリンタ出力	切出したデータをプリント出力【する】か、【しない】かを選択してください。【する】を選択した場合、切出し終了後に表示される商品切出しデータ一覧ウィンドウの[F9 印刷]を押してください。	

- ▼全ての指定条件に該当する商品データのみ切出しされます。
- ▼切出し実行後「商品切出一覧」として、切出したデータが一覧で表示されます。
 内容確認後「F1 戻る」で閉じてください。ウィンドウの「×」で閉じた場合は、次回に切出した際に、前回の「商品切出一覧」に、今回分が追加されて表示される場合があります。※切出されるデータは今回分のみです。

10-2 商品マスタのテキスト取込み

① - [データ随時処理] 画面 → [F2 商品テキスト切出・合併] を押します。

商品マスタを取り込みますので [取り込み] を選んでください。

② - 次に取込むファイルを選択してください。

通常はデフォルト値の Goodsmst.TXT になります。

(取り込める商品マスタは [商品データ切り出し] で

切出されたデータと、同じフォーマット種別のデータです。)

※取込まれる最初のレコードに項目名 (商品コード、商品名等) が含まれている場合は必ず「第一レコードは取り込まない」にチェック印を入れてください。

※データに不安がある場合は [F8 確認] を押し、商品データの並びが合っていることを確認してから実行してください。

[F8 確認] を押すと [入力データ確認] 画面になり、

テキストデータの中身を見ることができます。

上記※項目は、ファイル種別を「CSV」とした時に設定が可能です。

③ - [入力データ確認] 画面 → [F10 実行] を押す、

または [商品データ切出し / 取込み] 画面 → [F10 次へ]

を押すと、[商品データ取込み] 画面に移ります。

④ - ① [商品データ取込み] 画面で、取込む際の

条件を指定します。各項目の説明は下記を参照してください。

商品マスタの変更等を行ったデータを取り込みする場合には「商品データ取込み」画面で各設定を行います。

新規 OPEN のお店等で、商品マスタを Excel 等の表計算ソフトで

作成し .csv で保存した商品マスタを取り込む場合には

「商品データ取込み」画面での設定は不要ですので

[F10 実行] を押してください。

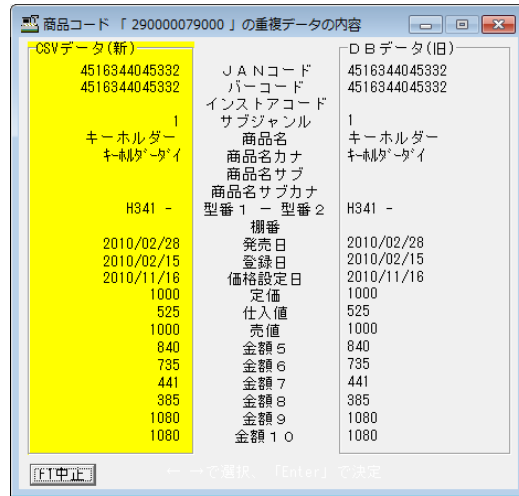
●商品データ取り込み

取込み開始レコード	取込み開始レコードを指定します。
重複時データの選択	元のデータと取込むデータの商品コードが重複した場合の設定を行います。 (重複時データの選択 次項参照)P-164 参照
設定パターンを使用	「テキスト取込みカスタマイズ」画面 (設定パターンを使用 次項を参照) で設定した設定パターンの使用 [しない] [する] を選択します。より細かく取込み条件を設定できます。P-165 参照
開始～終了ジャンル	取込みジャンルの範囲を設定します。
合併不可商品	合併不可商品の扱いを設定します。
店舗 JAN	店舗 JAN コードを [更新する] または [更新しない] から選択します。
定価	定価を [更新する] または [更新しない] から選択します。
仕入 (買) 値	仕入 (買) 値を [更新する] または [更新しない] から選択します。
売値 (税抜)	売値 (税抜) を [更新する] または [更新しない] から選択します。
売値 (税込)	売値 (税込) を [更新する] または [更新しない] から選択します。
価格設定日	価格設定日を [今日の日付] にするか [マスタ] の日付にするか選択します。
定価、売値が同じ場合には 価格設定日は変更しない	チェックが入っていると更新しません。 チェックをはずすと定価、売値が同じでも価格設定日を変更します。
ポイント対象フラグ	部門マスタの P-77「ポイント付加設定」を取り込みます。 ※別途お問合せください。



④ - ⑧ - ① 「重複時データの選択」

商品データ取り込み P-163「重複時データの選択」が [手入力] (右下図⑧) の場合、元のデータと取込むデータの商品コードが同じであった場合は「商品コード〇〇の重複データの内容」右図が表示されます。

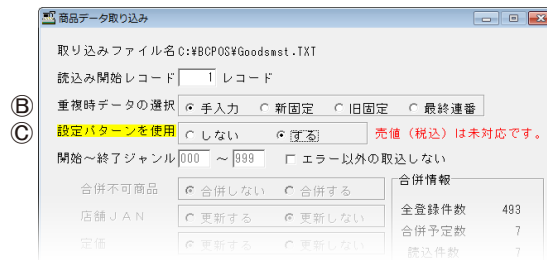


④ - ⑧ - ② 商品コード の重複データの内容 (右図)

左側「新」は取込むデータ、右側「旧」は現在のデータです。キーボードの十字キーで [←] [→] で選択し [Enter] キーを押してください。新固定を選んだ場合は取込む新しいデータを、(旧) 固定を選んだ場合は従来のデータを優先します。最終連番を選ぶとその商品の部門の最終連番を検索し、その後ろに新たに番号を割り振り重複した商品を新たに登録します。商品コードが重複しない場合は、数字がカウントされていきます。

④ - ⑧ - ③ 「設定パターンを使用」

商品データ取り込み P-163「設定パターンを使用」が [する] (右下図⑨) の場合、画面下部に [F8 設定] ボタンが表示されます。



[F8 設定] を押すと [テキスト取込みカスタマイズ] 右下図が表示されます。

一度設定を行い [テキスト取込みカスタマイズ] 画面の [F5 実行] を押すと設定が保存されます。

設定を変更する場合は再度 [テキスト取込みカスタマイズ] 上で条件を入力し直してください。
※売値 (税込) は未対応です。

●テキスト取込カスタマイズ

枝番により取込み条件変更	[する] を選択すると指定した範囲で異なる取込み条件を設定することができます。
部門範囲	取込み条件を設定する範囲を入力します。
枝番範囲	取込み条件を設定する範囲を入力します。
合併不可商品	合併不可商品の扱いを設定します。
店舗 JAN	店舗 JAN コードを [更新する] または [更新しない] から選択します。
定価	定価を [更新する] または [更新しない] から選択します。
仕入 (買) 値	仕入 (買) 値を [更新する] または [更新しない] から選択します。
売値 (税抜)	売値 (税抜) を [更新する] または [更新しない] から選択します。
上書き不可部門	[する] を選択するとウィンドウ下部の入力ボックスに上書きをさせたくない部門コードを入力できます。



商品マスタの切出しを行った、Goodsmt.TXT を表計算ソフトで読み込んだ場合には、下記のフォーマットで作成されます。表計算ソフト等で作成や加工を行ったデータを TXT(CSV カンマ区切り) で保存すれば、取込み (インポート) が可能です。

● 商品マスタファイルのフォーマット

項目名の ※ は必須項目です

No.	表計算列	項目名	入力可能桁数	備考
1	A	※ 商品コード	12	000000000000 ~ 999999999999 半角数 【省略不可】
2	B	JAN	1 ~ 13	0000000000000 ~ 9999999999999 半角数
3	C	バーコード	1 ~ 13	0000000000000 ~ 9999999999999 半角数
4	D	インスタ	1 ~ 13	半角英数
5	E	サブジャンル	1 ~ 4	0 ~ 9999
6	F	商品名	半角 40 全角 20	テキスト
7	G	商品名カナ	10	半角テキスト (他にカスタマディスプレイに表示、検索キーで使用)
8	H	商品名サブ	半角 40 全角 20	テキスト (他に検索キーで使用)
9	I	商品名サブカナ	10	半角テキスト (他に検索キーで使用)
10	J	型番 1	18	半角英数
11	K	型番 2	10	半角英数
12	L	棚番	10	半角英数
13	M	発売日	8(10)	YYYY/MM/DD ("/" 省略不可)
14	N	登録日	8(10)	YYYY/MM/DD ("/" 省略不可)
15	O	価格設定日	8(10)	YYYY/MM/DD ("/" 省略不可)
16	P	金額 1	8	(定価) 00000000 ~ 99999999
17	Q	金額 2	8	(複数単価) 00000000 ~ 99999999
18	R	金額 3	8	(仕入値 / 買値) 00000000 ~ 99999999
19	S	金額 4	8	(税抜き売価) 00000000 ~ 99999999
20	T	金額 5	8	(セールス売価 1) 00000000 ~ 99999999
21	U	金額 6	8	(セールス売価 2) 00000000 ~ 99999999
22	V	金額 7	8	(セールス仕入 1) 00000000 ~ 99999999
23	W	金額 8	8	(セールス仕入 2) 00000000 ~ 99999999
24	X	金額 9	8	(税込み売価 2) 00000000 ~ 99999999
25	Y	金額 10	8	(税込み売価 1) 00000000 ~ 99999999
26	Z	複数単価数	2	初期値 : 0
27	AA	品状態	1	初期値 : 0
28	AB	容量	4	初期値 : 0
29	AC	メーカー	10	テキスト
30	AD	ランク	2	半角英数
31	AE	バーコード発行数	3	半角数字 初期値 : 0
32	AF	※ 合併フラグ	1	合併可 : T 合併不可 : F 【省略不可】
33	AG	※ 税種別	1	外税 : 0 内税 : 1 非課税 : 2 【省略不可】
34	AH	※ 固有ポイント	6	初期値 : 0 【省略不可】
【以下 拡張フォーマット】				
35	AI	仕入先コード	4	半角数字
36	AJ	単位	6	未使用
37	AK	※ 使用属性	1	初期値 : 0 【省略不可】

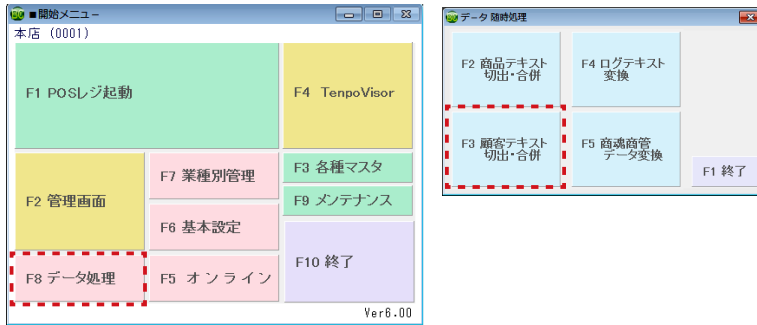
■ ご注意 ■ 商品コード、合併フラグ、税種別、固有ポイントの 4 つのフィールドは省略することができません。必ず値を入力してください。表計算ソフトでデータを作成した場合、ソフトによっては項目に値がないフィールドがある場合、その項目以降のカンマを省略してしまうものもあります。その場合、最後のフィールド「固有ポイント」(拡張フォーマット時は「使用属性」) に項目を入力すれば中のフィールドに値が入っていないかすべてのフィールドにカンマをつけてくれますので、必ず初期値の 0 を入力してください。

表計算ソフト表示例 (第一レコードの項目名を表示)

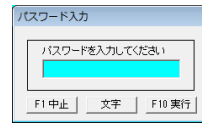
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P				
1	商品 コード	JAN	バーコード	インスタ コード	サブ ジャンル	商品名	商品名 カナ	商品名 サブ	商品名 サブカナ	型番 1	型番 2	棚番	発売日	登録日	価格 設定日	金額 1				
	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH
	格 定日	金額 1	金額 2	金額 3	金額 4	金額 5	金額 6	金額 7	金額 8	金額 9	金額 10	複数 単価数	品状態	容量	メーカー	ランク	バーコード 発行数	合併 フラグ	税種別	固有 ポイント

10-3 顧客マスタのテキスト切出し

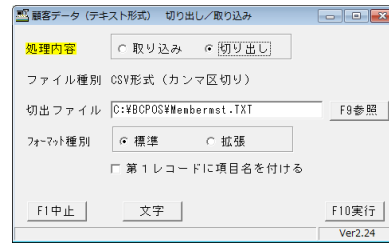
[データ随時処理]画面 → [F3 顧客テキスト切出・合併]を押します。



パスワード入力画面が表示されます。
 設定した顧客パスワードを入力してください。
 ⇒顧客パスワードの設定 P-185 を参照



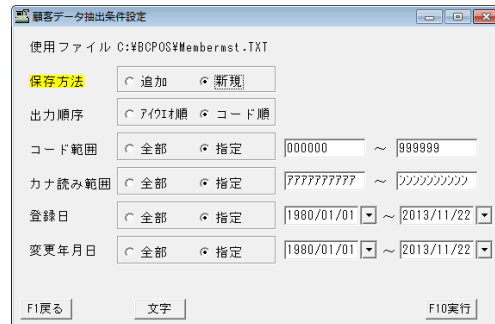
顧客マスタを切出すときは処理内容の [切り出し] を
 選択し切出してください。
 通常のデフォルトファイル名は Membermst.txt になります。
 (ファイル名を変更する場合には、拡張子を “.txt” にしてください。)



「顧客マスタファイルのフォーマット」を参照し、
 出力したいフォーマットを選択ください。
 (切出し取り込みは、同じフォーマット種別で行ってください)
 切出される最初のレコードに、項目名 (顧客コード、顧客名等) を
 付けたい場合は [第1レコードに項目名を付ける] にチェックを
 入れてください。
 [F10 実行] を押します。

「顧客データの抽出条件設定」画面になりますので、
 データの抽出条件を指定します。

各項目を選択し [F10 実行] を押します。
 各抽出条件の項目説明は下記を参照してください。

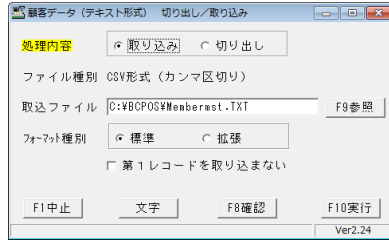


●設定パターンを使用

保存方法	追加	すでにあるファイルに追加して書き出します。
	新規	新しくファイルを作成し書き出します。同名のファイルがあった場合には上書きされ、以前の内容は消去されます。
出力順序	アイウエオ順	カナ読み順にデータを抽出します。
	コード順	顧客コード順にデータを抽出します。
コード範囲	全部	全ての顧客コードのデータを抽出します。
	指定	抽出する顧客コードの範囲を指定します。右の入力ボックスに範囲を入力します。
カナ読み範囲	全部	全ての顧客コードのデータを抽出します。
	指定	抽出する顧客コードの範囲を指定します。右の入力ボックスに範囲を入力します。

10-4 顧客マスタのテキスト取込み

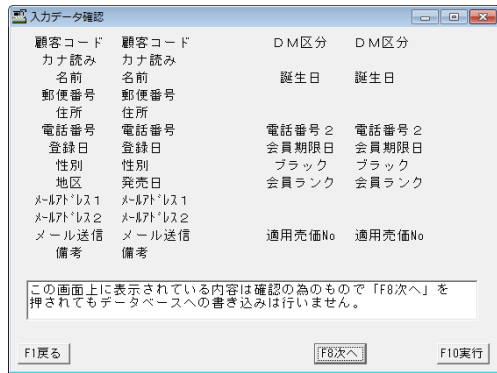
① - [データ随時処理] 画面 → [F3 顧客テキスト切出・合併] を押します。
顧客マスタを取り込むときは処理内容で [取り込み] を選んでください。



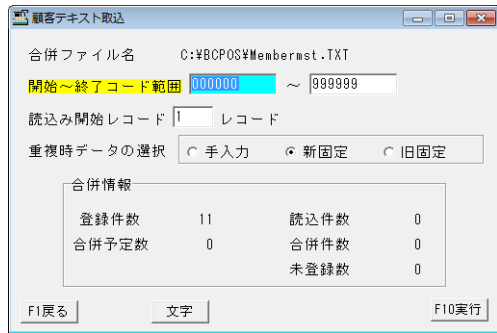
② - 次に取込むファイル名を選択してください。
通常はデフォルト値の Memberst.TXT になります。
取り込める顧客マスタは [商品データ切り出し] で切出されたデータと、同じフォーマット種別 (次項参照) のデータです。

注) 取込まれる最初のレコードに項目名 (顧客コード、顧客名等) が含まれている場合は必ず「第1レコードは取り込まない」にチェック印を入れてください。

データに不安がある場合は [F8 確認] を押し、商品データの並びが合っていることを確認してから実行してください。
[F8 確認] を押すと [入力データ確認] 画面になり、テキストデータの中身を見ることができます。



③ - ① [入力データ確認] 画面 → [F10 実行] を押す、または [顧客 データ切出し / 取込み] 画面 → [F10 次へ] → [顧客テキスト取込] 画面に移り、取込む際の条件を指定します。各項目の説明は下記を参照してください。



顧客マスタの変更等を行ったデータを取り込みする場合には「顧客テキスト取込」画面で各設定を行います。

新規 OPEN のお店等で、顧客マスタを Excel 等の表計算ソフトで作成し .csv で保存した商品マスタを取り込む場合には「顧客テキスト取込」画面での設定は不要ですので [F10 実行] を押してください。

●各項目の説明

開始～終了レコード範囲	取込むデータの範囲を指定します。
読み開始レコード	取込むデータの開始レコードを入力します。
重複時データの選択	元のデータと取込むデータの顧客コードが重複した場合の設定を行います。



顧客マスタの切出しを行った、Membermst.TXT を表計算ソフトで読み込んだ場合には、下記のフォーマットで作成されます。表計算ソフト等で作成や加工を行ったデータを TXT(GSV カンマ区切り) で保存すれば、取込み (インポート) が可能です。

● 顧客マスタファイルのフォーマット

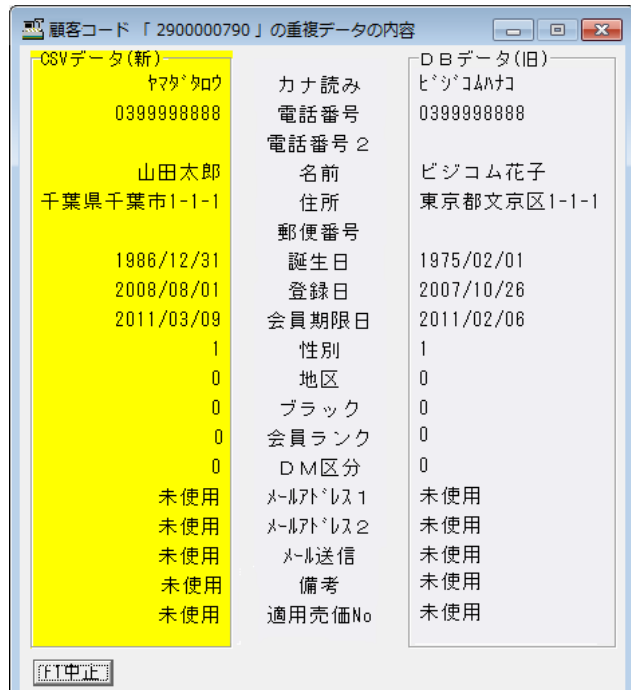
▼項目名※は必須項目です

No.	表計算列	項目名	入力可能桁数	備考
1	A	※顧客コード	10	0000000000 ~ 9999999999 【省略不可】 店舗コード (4 桁) + 連番 (6 桁)
2	B	カナ読み	10	半角テキスト
3	C	電話番号 1	11	半角数字
4	D	電話番号 2	11	半角数字
5	E	名前	40	テキスト
6	F	住所	80	テキスト
7	G	郵便番号	7	半角数字 (“-” 無し)
8	H	誕生日	8(10)	YYYY/MM/DD (“/” 省略不可)
9	I	登録日	8(10)	YYYY/MM/DD (“/” 省略不可)
10	J	会員期限日	8(10)	YYYY/MM/DD (“/” 省略不可)
11	K	性別	1	不明: 0 男: 1 女: 2
12	L	地区	4	半角数字
13	M	ブラック	1	0 ~ 9
14	N	会員ランク	1	0 ~ 5 初期値: 0
15	O	※ DM 区分	1	0 ~ 9 【省略不可】
以下 拡張フォーマット				
16	P	メールアドレス 1	60	半角英数記号
17	Q	メールアドレス 2	60	半角英数記号
18	R	メール送信	1	初期値: 0 無し: 0 電子: 1 携帯: 2 両方: 3
19	S	備考	20	テキスト
20	T	※適用売価	1	初期値: 0 未使用 【省略不可】

■ ご注意 ■ 顧客コード、適用売価、DM 区分、3 つのフィールドは省略することができません。必ず値を入力してください。表計算ソフトでデータを作成した場合、ソフトによっては項目に値がないフィールドがある場合、その項目以降のカンマを省略してしまうものもあります。その場合、最後のフィールド「DM 区分と適用売価」に項目を入力すれば中のフィールドに値が入ってなくてもすべてのフィールドにカンマをつけてくれますので、必ず初期値の 0 を入力してください。

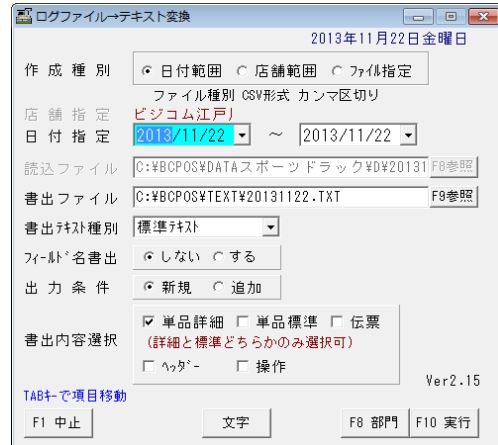
③ - ⑧ 重複時データの選択

[重複時のデータの選択] で [手入力] を選択した場合、顧客コードが重複すると次の画面になります。左右の矢印キー [←] [→] で選択し [Enter] キーを押してください。
新固定を選んだ場合は、取込む新しいデータを、旧固定を選んだ場合は従来のデータを優先し、右記の画面は表示されません。



10-5 ログテキスト 変換プログラム

[データ随時処理] 画面 → [F4 ログテキスト変換] を押します。



●各項目の説明

作成種別	日付範囲	テキストに落としたい LOG の日付の範囲を指定します。
	店舗範囲	テキストに落としたい店舗の範囲を指定します。 日付範囲は 1 日のみ指定できます。
	ファイル指定	特定の LOG を指定したいときに使用します。
店舗指定	作成種別で店舗範囲を選択すると、画面下に [F7 店選択] という F キーが表示されます。そこで店舗の範囲を指定できます。	
日付指定	作成種別で店舗範囲を選択すると、日付の範囲が指定できます。 ただし、切り出されるのは 1 店舗のみです。	
読込みファイル	通常は ¥Bcpos¥Data¥D の中、今日の LOG ファイルが指定されています。 作成種別でファイル指定を選択すると、読込みファイルの設定ができます。	
書出ファイル	テキストファイルの書出し先、ファイル名を指定します。	
書出テキスト種別	標準テキスト	標準テキスト。
	貸出実績テキスト	レンタル用テキスト。
	入荷実績テキスト	レンタル用テキスト。
フィールド名書出 (単品詳細を選択した時だけ指定可能)	しない	フィールド名を書出しません。
	する	1 行目にフィールド名を書出します。
出力条件	新規	新しくファイルを作成します。
	追加	すでにあるファイルに追加書出します。
書出内容選択	必要に応じて書出し内容を選択してください。(次ページからのフォーマット参照)	



170 データ随時処理(ログテキスト各種フォーマット)

●各書出し内容のフォーマット

BCPOS のログファイルからテキストへ変換されたフォーマットは下記のようにになります。

●単品詳細 伝票レコードの一部と単品レコードを足したもの

項目名	バイト数	数型	内容
シンボル	2:固定長	文字	#1
日付	8:固定長	文字	例:19980623
店番	4:固定長	数値	例:0001
処理時刻(時)	2:固定長	数値	例:16時→16
処理時刻(分)	2:固定長	数値	例:20分→20
担当者コード	可変長	数値	0以上の数字
顧客コード	10:固定長	文字	上4桁店番、下6桁顧客コード 例:店番0001、顧客コード000001の場合→0001000001
局番	可変長	数値	1~30のいずれかが入る 通常は1
伝票No.	可変長	数値	1以上の数字
処理種別1	可変長	文字	販売、仕入、移動出、移動入、廃棄、外税値引、内税値引 非課税値引、外税入金、内税入金、非課税入金、出金 外税チケット、内税チケット、非課税チケット、残金入金 売掛入金、売掛入金手形、売掛入金振込、売掛入金その他 業者委託預り、業者委託仕入、業者委託販売、商品券 現金在高、買取、委託仕入、委託受付、委託販売 委託清算、委託返却、貸出、返却
処理種別2	可変長	文字	販売時:サービス、返品 移動出時:返品 出金時:キャッシュバック、サービス券 買取時:返品、移動入 貸出時:サービス、返品、強制返却 返却時:強制返却、BOX返却、未収
部門	3:固定長	数値	
サブジャンル	可変長	数値	P-45「ログ書込み設定」で設定したコード
商品コード	12:固定長	文字	
商品名	可変長	文字	
JANコード	13:固定長	文字	
単価	可変長	数値	最大8桁合計金額÷数
数	可変長	数値	最大4桁
合計金額	可変長	数値	最大8桁
在庫	可変長	数値	最大5桁
移動平均	可変長	数値	最大8桁
原価	可変長	数値	マスタ仕入値(買値)
税種別	1:固定長	文字	外税、内税、非課税
年齢	可変長	数値	0以上の数字
性別	全角1文字	文字	無、男、女のいずれか
CR	1	文字	
LF	1	文字	

● 単品標準

項目名	バイト数	数型	内容
シンボル	2: 固定長	文字	##
伝票 No.	可変長	数値	1 以上の数字
処理種別 1	可変長	文字	※単品詳細と同様
処理種別 2	可変長	文字	※単品詳細と同様
商品コード	12: 固定長	文字	
商品名	可変長	文字	
JAN コード	13: 固定長	文字	
単価	可変長	数値	最大 8 桁合計金額÷数
数	可変長	数値	最大 4 桁
合計金額	可変長	数値	最大 8 桁
在庫	可変長	数値	最大 5 桁
移動平均	可変長	数値	最大 8 桁
原価	可変長	数値	マスタ仕入値 (買値)
税種別	1: 固定長	文字	外税、内税、非課税
サブジャンル	可変長	数値	
CR	1	文字	
LF	1	文字	

● ヘッダレコード

項目名	バイト数	数型	内容
シンボル	2: 固定長	文字	++
処理日時	12: 固定長	数値	例: 1998 年 8 月 02 日 17 時 10 分 → 199808021710
店舗コード	4: 固定長	数値	例: 0001
取込日時	12: 固定長	数値	取込み済の場合のみ書込まれている 例: 1998 年 8 月 02 日 17 時 10 分 → 199808021710
取り込フラグ	1: 固定長	数値	取込み済の場合 → 1、未取込みの場合 → 0
種別	1: 固定長	文字	レンタル → R、リサイクル → F、物販 → B
伝票開始 No.	可変長	数値	1 以上の数字
天気	可変長	文字	晴、曇、雨、雪、台風…文字で出力
管理 No			現在未使用のため空欄
CR	1	文字	
LF	1	文字	

● 操作レコード

項目名	バイト数	数型	内容
シンボル	2: 固定長	文字	**
処理時刻	4: 固定長	文字	例: 17 時 12 分 → 1712
操作名称	可変長	文字	起動プログラム名等 (最大半角 16 文字)
操作前データ	可変長	文字	最大半角 8 文字
操作後データ	可変長	文字	最大半角 8 文字
その他	可変長	文字	最大半角 24 文字
局番	可変長	数値	1 ~ 30 のいずれかが入る 通常は 1
CR	1	文字	
LF	1	文字	

【例】

"シンボル","日付","店番","時","分","担当者","顧客コード","局番","伝票No","処理種別1","処理種別2","部門","サブジャンル","商品コード","商品名","JANコード","単価","数","金額","在庫","移動平均金額","原価","税種別","年齢","性別"

"#1","20100526","0001","14","38","0","","1","1","販売","","200","451","200000018000","Tシャツ","4514603147711","935","1","981","34","400","400","1","0","無"

"#1","20100526","0001","14","38","0","","1","2","販売","","200","451","200000019000","Gパン","","9800","1","10290","23","3980","3980","1","0","無"

"#1","20100526","0001","14","38","0","","1","3","販売","","200","451","200000020000","CAP","0000000000001","1500","1","1575","21","575","575","1","0","無"



●伝票レコード

項目名	バイト数	数型	内容
シンボル	2: 固定長	文字	\$\$移動(出入)時は @@
伝票 No.	可変長	数値	1以上の数字
処理種別	可変長	数値	販売、売掛、仕入、移動出、移動入、廃棄、現金在高買取、委託、貸出、返却
処理時刻(時)	2: 固定長	数値	例: 16時→16
処理時刻(分)	2: 固定長	数値	例: 20分→20
担当者コード	可変長	数値	0以上の数字
顧客コード	10: 固定長	文字	上4桁店番、下6桁顧客コード 例: 店番 0001、顧客コード 000001 の場合→ 0001000001
局番	可変長	数値	1～30のいずれかが入る 通常は 1
合計金額	可変長	数値	伝票毎合計金額
外税税金	可変長	数値	伝票毎外税金合計金額
内税税金	可変長	数値	伝票毎内税金合計金額
移動先	可変長	数値	移動時に設定した店舗コード 廃棄時は -1 上記以外は 0
プリペイドカード	可変長	数値	プリペイドカード使用合計金額
リボカード	可変長	数値	リボ使用合計金額
クレジットカード	可変長	数値	クレジット使用合計金額
単品レコード数	可変長	数値	単品時のレコード数
レート	可変長	数値	外貨使用時のレート
外貨金額	可変長	数値	外貨使用時の外貨金額
外貨変換金額	可変長	数値	外貨使用時の変換金額(円)
使用ポイント	可変長	数値	
加算ポイント	可変長	数値	
喪失ポイント	可変長	数値	
手入力ポイント	可変長	数値	
残りカードポイント	可変長	数値	
預かりポイント	可変長	数値	
会員年齢	可変長	数値	0以上の数字
会員性別	全角1文字	文字	無、男、女 のいずれか
カードナンバー	16: 固定長	数値	
顧客担当者コード	可変長	数値	
受取現金種別	1: 固定長	数値	1: 現金、2: 売掛、3: クレジット、4: クレジット+現金、 5: クレジット+売掛、6: 現金+売掛、7: 内金+残金、 8: デビット、10: 商品券、11: 現金+商品券、 12: 商品券+クレジット、13: 商品券+ ALL
受取現金額	可変長	数値	上記種別により意味変動 1、4、6、7、10～13 以外 0 例: 7の場合→内金 10～13の場合→合計金額 - 商品券金額
残金額	可変長	数値	受取現金種別が 1 の場合→ 0 2、5、6 の場合→売掛金 3、4 の場合→クレジット 7 の場合→残金 8 の場合→デビット 10～13 の場合→合計金額 - 受取現金額
小計後値引	可変長	数値	
預かり	可変長	数値	
お釣り	可変長	数値	
顧客ランク	1: 固定長	数値	
カード会社 No	可変長	数値	1-50 (0 の場合は未使用)
カード内容	1: 固定長	数値	1→クレジット 2→リボ 3→デビット
CR	1	文字	
LF	1	文字	

10-6 他社データ変換

他社、販売管理ソフト連携時等は下記設定で行います。（APIを使った連携は別途お問合せください）

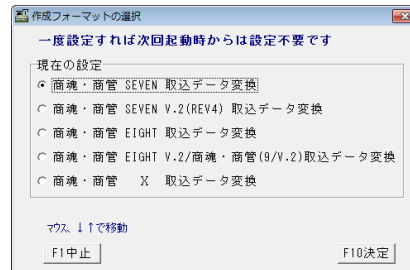
[データ随時処理]画面 → [F5 他社データ変換]を押します。



●各項目の説明

日付範囲指定	日付範囲を指定します。
売上明細	売上明細データを変換します。（デフォルトは、¥¥¥PCAOF¥PCAH21M¥TXT¥ 売上明細.TXT）
入金データ	入金データを変換します。（デフォルトは、¥¥¥PCAOF¥PCAH21M¥TXT¥ 入金.TXT）
仕入明細	仕入明細データを変換します。（デフォルトは、¥¥¥PCAOF¥PCAH21M¥TXT¥ 仕入明細.TXT）
出荷明細	出荷明細データを変換します。（デフォルトは、¥¥¥PCAOF¥PCAH21M¥TXT¥ 出荷明細.TXT）

[データ随時処理]画面 → [F5 他社データ変換] → [F2 PCA 商魂・商管テキスト] → [取込みデータ変換]画面 → [F3 設定]を押すと作成フォーマットの画面が表示されます。ここで、設定を変更すれば次回の起動時からフォーマットを選択は不要です。



[データ随時処理]画面 → [F5 他社データ変換] → [F2PCA 商魂・商管テキスト] → [取込みデータ変換]画面 → [F4 マスタ]をとBCPOSの商品データ、得意先データ、仕入先データをPCA 商魂・商管へのデータ変換を行うことができます。



●各項目の説明

商品	商品データを変換します。（デフォルトは ¥¥¥PCAOF¥PCAH21M¥TXT¥ 商品.TXT）
出力形態	出力形態を指定します。（デフォルトは区切り:[,]）
商品コード	商品コードを指定します。
登録日	登録日を指定します。
価格設定日	価格設定日を指定します。
値引データ等作成	値引データ等の作成の有無を選択します。
得意先	得意先データを変換します。（デフォルトは、¥¥¥PCAOF¥PCAH21M¥TXT¥ 得意先.TXT）
出力形態	出力形態を指定します。（デフォルトは区切り:[,]）
商品コード	商品コードを指定します。
登録日	登録日を指定します。
仕入先	仕入先データを変換します。（デフォルトは ¥¥PCAOF¥PCAH21M¥TXT¥ 仕入先.TXT）

⑪ BCPOS メンテナンス

11-1 バックアップ

ハードウェア・ソフトウェア・OS等のトラブルに備えて定期的にバックアップを取る習慣をつけてください。バックアップを取らずデータが破損した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

バックアップには内部ディレクトリのバックアップと、外部ディレクトリのバックアップがあります。

(バックアップ先は任意の場所に設定可能です)バックアップ先は起動 HD に指定することも可能ですが、

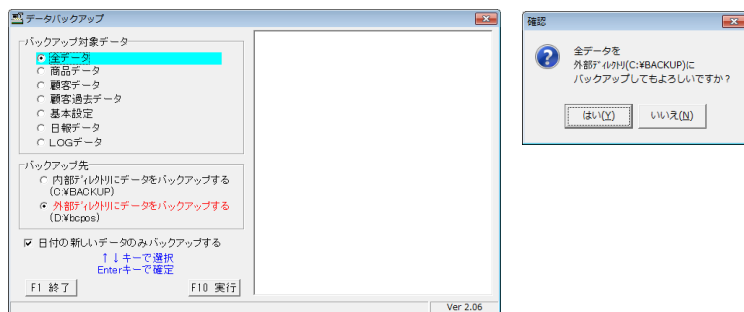
起動 HD が破損した場合を考えて、必ず外部の媒体へのバックアップを定期的に取りように習慣づけてください。

また外部バックアップは、データ容量に応じて、大容量の媒体(外付け HDD、USB メモリ等)でのバックアップをお願いします。

[バックアップ対象データ]を選択します。バックアップ先ディレクトリの指定は基本設定画面で行います。

開始メニューの[F6 基本設定] - [F2 全般設定] - [ディレクトリ]P-51でバックアップするディレクトリ名を指定してください。

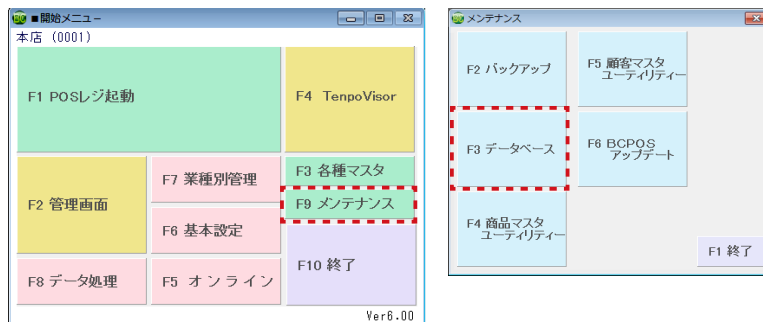
[F10 実行]を押します。



[確認]画面が表示されます。
[はい]をとバックアップを開始します。

11-2 データベース

※このメンテナンスにある[F3 データベース]プログラムは通常は使用しません。
危険ですから弊社サポートからの指示がない場合には実行しないでください。



何らかのトラブルが起きた場合にのみ行いますが、危険なプログラムもありますので、使用方法がわからない場合は必ず弊社にお問合せください。

F2 インデックス再構築

何らかのトラブルで各種データベースのインデックス（見出し）データ等の破損や、狂いが生じた場合に実行します。通常は行う必要のないものですが、実行する前には必ずバックアップを取るなどして細心の注意の上で行ってください。

F3 インデックス修復

各種データベースのインデックス（見出し）データを修復します。修復を行いたいデータを指定し [F3 インデックス修復] を押してください。データ件数によっては処理に時間がかかる場合があります。

F5 データ最適化

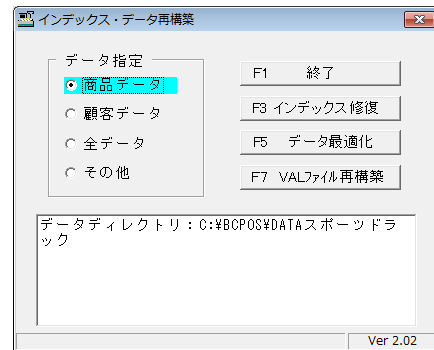
大量のデータの削除を行ってデータベースに無駄な領域が発生した場合に使用します。

データベースを直接書換えるために非常に危険なプログラムです。（必ずデータのバックアップを実行してから行ってください）

最適化を行いたいデータを指定し、[F5 データ最適化] を押してください。データ件数によっては処理に時間がかかる場合があります。なお、以前のデータは "/BACKUP" ディレクトリに "最適化前 DATA1 ~ 2" のファイル名で保存されます。

F7 VAL ファイル再構築

各種データベースの VAL ファイル（初期値）を再構築します。サポートからの指示がない場合には実行しないでください。（データ件数によっては処理に時間がかかる場合があります）

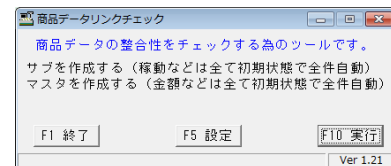
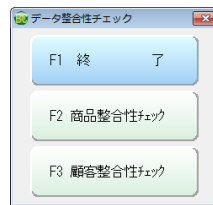


F3 データ整合性チェック

商品・顧客データの不整合が発生した場合に実行します。
危険ですから弊社サポートからの指示がない場合には実行しないでください。

F2 商品整合性チェックの場合

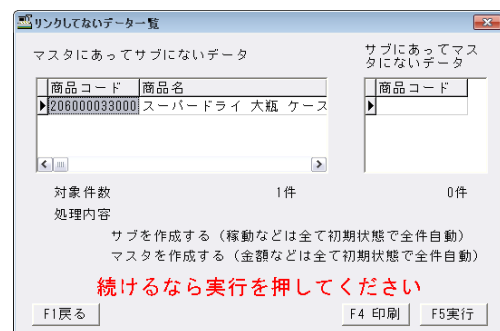
[F10 実行] ボタンを押してください。



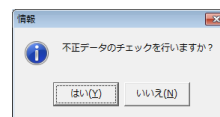
処理中に右の画面が表示された場合、メンテナンスが必要となるデータが存在していることを示しています。

[F5 実行] ボタンを押して処理をしてください。
[F4 印刷] ボタンを押すと表示されているリストをパソコンのプリンタから出力できます)

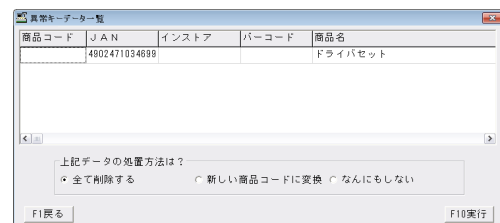
処理が終了すると画面下に赤字で、“処理が終了しました”と表示されます。「F1 戻る」を押してください。



不正データのチェックを行います。[はい] を押してください。



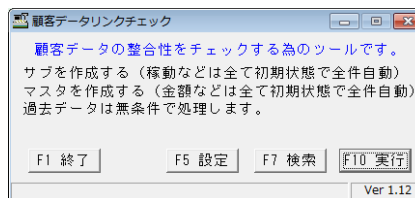
不正データが存在する場合は右の画面が表示されます。下にあるチェックボックスより処理を選択し [F10 実行] ボタンを押してください。



F3 顧客整合性チェック

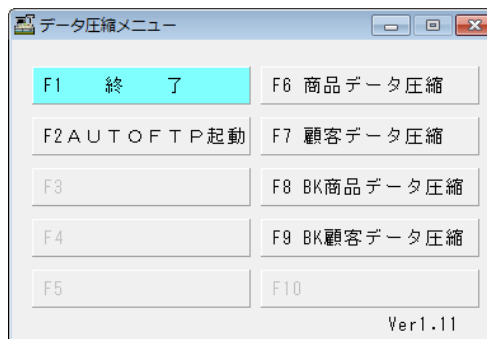
商品整合性チェックと同様の動きになります。
過去データは無条件で処理します。

商品・顧客データの不整合が発生した場合に実行します。
危険ですからサポートからの指示がない場合には
実行しないでください。

**F4 データ圧縮**

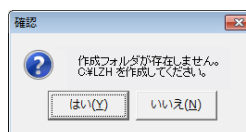
本部へのデータ送信に使用します。

AUTOFTP 起動	AUTOFTP を起動します。
商品データ圧縮	商品データを圧縮します。
顧客データ圧縮	顧客データを圧縮します。
BK 商品データ圧縮	バックアップ先の商品データを圧縮します
BK 顧客データ圧縮	バックアップ先の顧客データを圧縮します



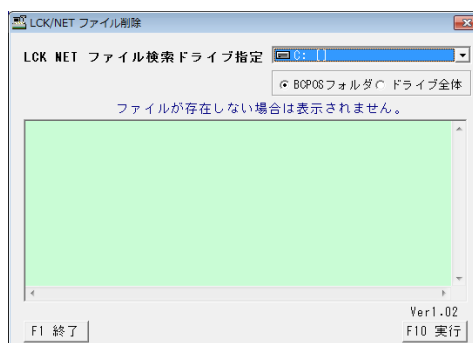
AUTOFTP は BCPOS 内のツールフォルダに [af100.lzh] の名前で圧縮されております。こちらを解凍してお使いください。

圧縮をする際は C ドライブ内に [LZH] フォルダを作成してください。
※ C ドライブ内に [LZH] フォルダが無い場合は右のエラーが表示されます。

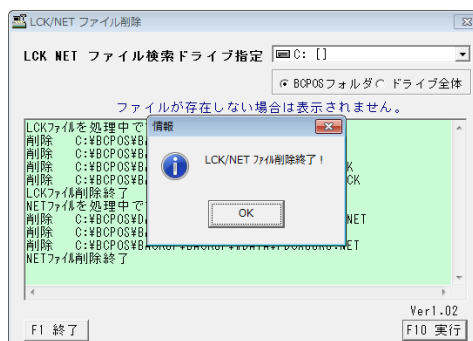
**F5 Lock ファイル削除**

システム内で異常が発生し、Lock ファイルが残ってしまった場合に、その Lock ファイルを削除します。

[F10 実行] を押してください。

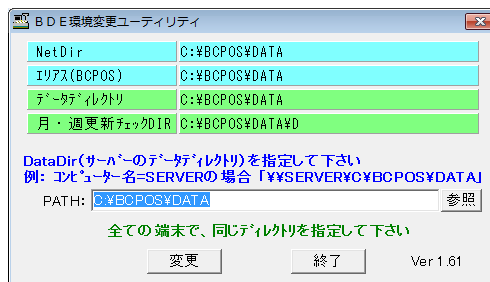


処理が終了しましたら右画面になります。
[OK] ボタンを押し [F1 終了] ボタンを押すと終了します。



F6 BDE 設定

LAN 環境で BCPOS を使用している場合の
データディレクトリ設定を行います。
※詳細は P-175 [LAN 設定] をご参照ください。



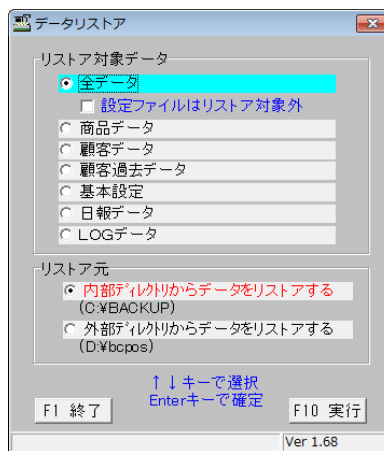
F7 データリストア

ご注意!!

この作業は通常行う作業ではありません。
起動する場合は十分な責任の上で行ってください。
わからない場合は必ず弊社にご連絡ください。

データリストアはバックアップ先の
データを元に戻すときに使用します。
この作業は何らかのトラブルでデータが破損した場合に
バックアップ先からデータを復旧する場合の作業です。
必ず十分な確認の上で操作してください。
確認を怠ってデータが破損した場合は一切の責任を
負いかねます。

リストアには内部ディレクトリからと外部ディレクトリからの
リストアがあります。
リストア元を選択し [F10 実行] を押すと確認画面が表示されます。
画面の [はい] を押すとリストアが開始されます。



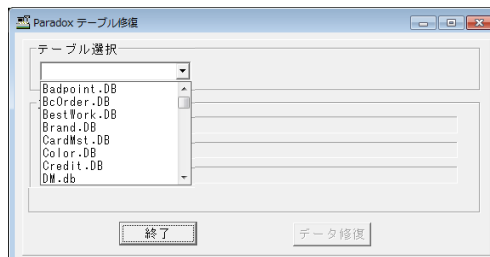
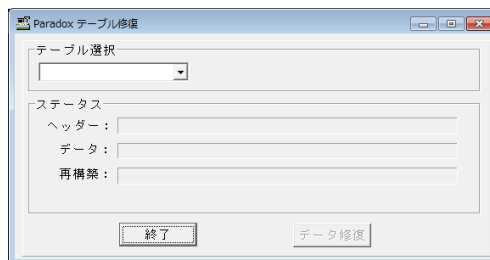
F8 テーブルヘッダ修復

各種データベースのテーブルヘッダ情報が
破損した場合に実行します。

危険ですからサポートからの指示がない場合には
実行しないでください。

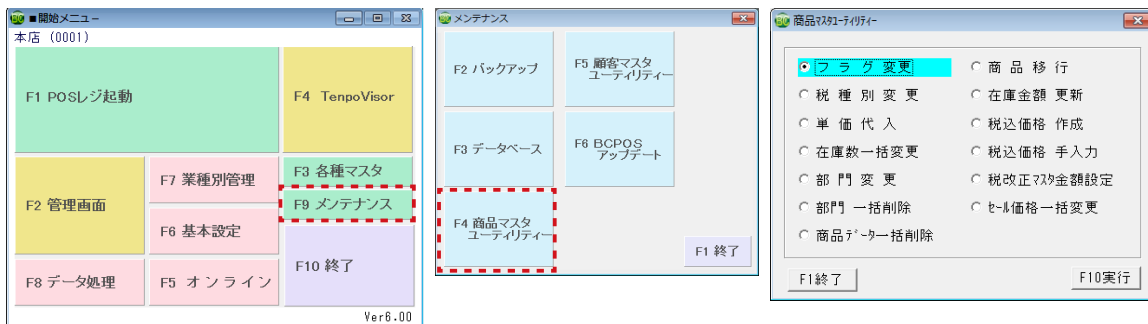
修復を実施する場合は、画面左上のテーブル選択から
対象テーブルを選択し [データ修復] を押してください。

修復が完了すると [データ修復終了!] と画面表示されます。
[終了] を押すと画面を閉じます。



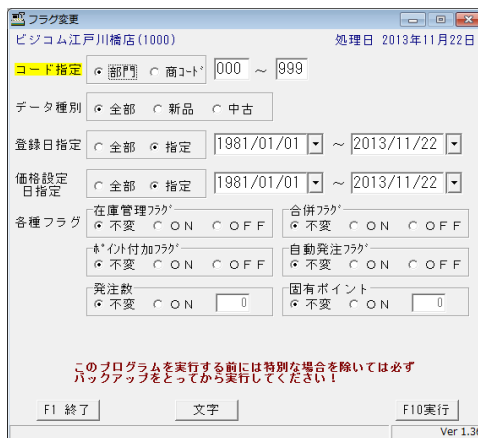
11-3 商品マスタユーティリティ

商品移行や一括削除など商品に関するツールがあります。



フラグ変更

商品マスタのフラグ (商品登録画面のフラグ項目参照) を条件で指定し、一括で変換します。
 変更できるフラグは「在庫管理フラグ」「合併フラグ」「ポイント付加フラグ」「自動発注フラグ」「発注数」の五種類です。
 念のため、プログラムを実行する際には必ずバックアップを実行してください。



コード指定	一括変更したい範囲を部門コードまたは商品コードで指定します。	
データ種別	新品データのみ・中古データのみ・全部かを選択します。 (リサイクルオプション使用時のみ有効です)	
登録日指定	登録日の範囲を指定します。	
在庫管理フラグ	不変	変更しません。現在登録されている状態のまま残します。
	ON	フラグを ON にします。チェックを入れた状態です。
	OFF	フラグを OFF にします。チェックをはずした状態です。
合併フラグ	不変	変更しません。現在登録されている状態のまま残します。
	ON	フラグを ON にします。チェックを入れた状態です。
ポイント付加フラグ	不変	変更しません。現在登録されている状態のまま残します。
	ON	フラグを ON にします。チェックを入れた状態です。
	OFF	フラグを OFF にします。チェックをはずした状態です。
自動発注フラグ	不変	変更しません。現在登録されている状態のまま残します。
	ON	フラグを ON にします。チェックを入れた状態です。
	OFF	フラグを OFF にします。チェックをはずした状態です。
発注数	不変	変更しません。現在登録されている状態のまま残します。
	ON	発注数を指定数に変更します。

税種別変更

商品マスタの各商品の税区分を一括で変更します。

コード指定	一括変更したい範囲を部門コードまたは商品コードで指定します
税区分	変更後の税区分を選択します。



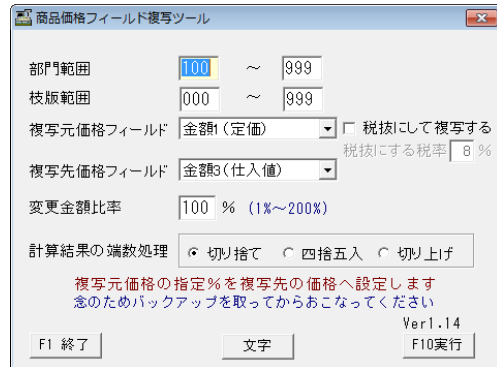
単価代入

商品マスタの特定の価格フィールドに入力されている金額を別の価格フィールドにコピーします。

定価に対して、売値を指定の%に設定するような場合にも使用できます。

変更を取り消すことは出来ませんので、プログラムを実行するには必ずバックアップを実行してください。

部門指定	代入を行いたい部門の範囲を指定します。
枝番指定	代入を行いたい枝番の範囲を指定します。
複写元価格フィールド	複写元の価格フィールドを指定します。 このフィールドの金額を複写先の価格フィールドにコピーします。
複写先価格フィールド	複写先の価格フィールドを指定します。 複写元のフィールドの金額がこのフィールドにコピーされます。
変更金額比率	コピーする際に金額を変更したいときに変更率を入力します。 金額を変更しない場合には 100%と指定します。端数は切り捨てとなります。ご注意ください。



在庫数一括変更

在庫数の一括変更を行います。

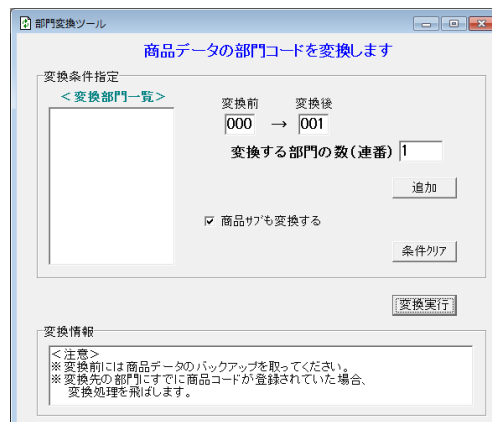
部門指定	一括変更したい部門の範囲を指定します。
枝番指定	一括変更したい枝番の範囲を指定します。
価格設定日	[指定] にすると商品マスタの価格設定日で変更できます。
在庫数指定	変更したい在庫数を入力します。



180 商品マスタユーティリティ (部門変更) (部門一括削除)

部門変更

登録済みの商品データの部門コードを変換します。
変換先の部門に既に商品が登録されている場合には、
その部門への変換はできません。
このプログラムを実行する際には必ずバックアップを実行して
ください。



変換条件指定	変換前…変換前の部門コードを入力します。
	変換後…変換後の部門コードを入力します。
	変換する部門の数 (連番) …連続した部門を同条件で変更したい時、必要数を入力してください。 (下記入力例参照)
	商品サブも変換する…商品サブデータも合わせて変換するかどうかを選択します。 (通常はこのまま「変換する」にしてご使用ください)

条件を入力したら [追加] ボタンを押します。

ウインドウ左部分の <変換部門一覧> を確認し、条件が正しければ [変更実行] ボタンを押してください。
条件を入力し直す場合には [条件クリア] ボタンを押し、条件を入力しなおしてください。

例：部門 200 の商品を部門 300 に変更したいとき。

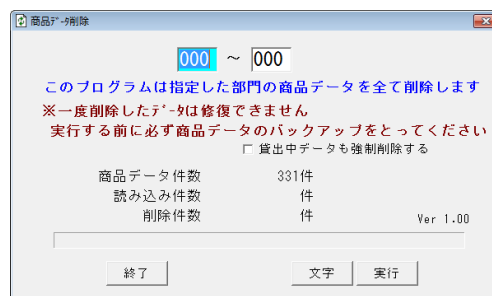
変更前…200
変更後…300
変換する部門の数…1
変更部門一覧表示…1 : 200 → 300

例：部門 200 の商品を部門 300 に変更し、続く 201、202、203、204 の部門も (合計、連続して 5 部門)
それにならって 301、302…というように変更したいとき。

変更前…200
変更後…300
変換する部門の数…5
変更部門一覧表示…1 : 200 → 300 2 : 201 → 301 3 : 202 → 302 4 : 203 → 303
5 : 204 → 304

部門一括削除

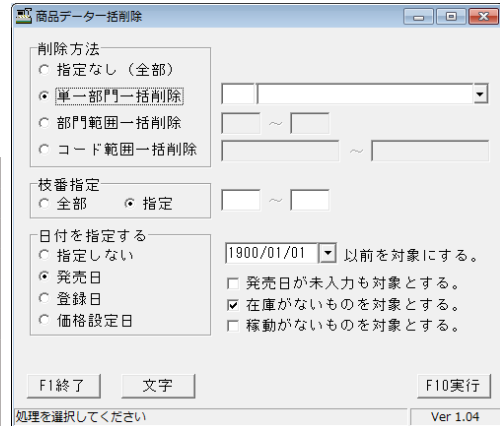
商品マスタデータと商品サブ (稼動) データを部門単位で
一括して削除します。
一括削除したい部門の範囲を指定し [F10 実行] を押してください。
削除したデータは修復できません。
このプログラムを実行する前には必ずバックアップを
実行してください。



商品データ一括削除

条件を指定して商品データを一括で削除します。
 削除したデータは修復できません。
 ※このツールを起動すると「実行前に安全のためバックアップを行ってください。」と表示されます。バックアップを行う場合は [はい] を選択してバックアッププログラムを起動してください。

削除方法	
指定なし	全てのデータが削除対象になります。
単一部門	チェックすると削除対象部門の選択が出来ます。
部門範囲	チェックすると削除対象部門の範囲入力出来ます。
コード範囲	チェックすると削除対象商品コードの範囲入力出来ます。
枝番範囲	「削除方法」で指定した削除対象データの中から更に枝番で指定します。「指定」にチェックを入れると枝番範囲の入力が出来ます。



日付を指定する	
指定しない	日付を指定しません。「削除方法」と「枝番範囲」で指定したデータをそのまま対象とします。
発売日	チェックすると日付部分が入力出来るようになります。「削除方法」と「枝番範囲」で指定した削除データの中で入力した発売日以前の発売日で登録されているものが対象になります。
登録日	チェックすると日付部分が入力出来るようになります。「削除方法」と「枝番範囲」で指定した削除データの中で入力した登録日以前の登録日で登録されているものが対象になります。
価格設定日	チェックすると日付部分が入力出来るようになります。「削除方法」と「枝番範囲」で指定した削除データの中で入力した価格設定日以前の価格設定日で登録されているものが対象になります。 ※日付が空欄の商品は範囲に含まれません。

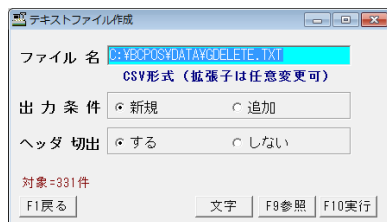
在庫がないものを対象とする	稼動がないものを対象とする
チェックを入れると「削除方法」「枝番範囲」「日付」で指定した削除データの中で在庫がないものだけを削除の対象とします。チェックを外すと在庫があるものも削除の対象とします。 ※チェックが入っている時は、在庫がマイナスの商品も削除対象とします。	「在庫がないものを対象とする」にチェックが入っているとチェックができます。 チェックを入れると上記「削除対象」「枝番範囲」「日付」で指定した削除データの中で、稼動がないものだけを削除対象とします。チェックを外すと稼動があるものも削除対象とします。 ※商品稼動は1年間保持の為、それ以前の稼動は対象外です。

実行すると指定したデータを検索し、削除するデータを画面表示します。
 (右図) 本当に削除しても良いデータか確認してください。

「F1 中止」で削除を中止します。



削除する前に削除対象データをテキストに残しておくことが出来ます。「F9 テキスト」を押してください。

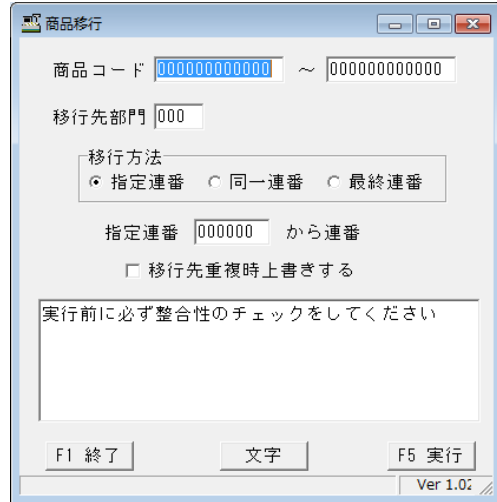


ファイル名	
出力条件	新規…指定した場所に同名のファイルが存在した場合、上書きして新規にファイルを作成します。 追加…指定した場所に同名のファイルが存在した場合、そのファイルに追加します。
ヘッダ切出し	する…ファイルの先頭に項目名を切出します。 しない…ファイルの先頭に項目名をつけず、先頭行からデータを切出します。

商品移行

現在登録してある商品を違う商品コードに移行します。
※作業前には必ずデータ整合性チェックとバックアップを行ってください。

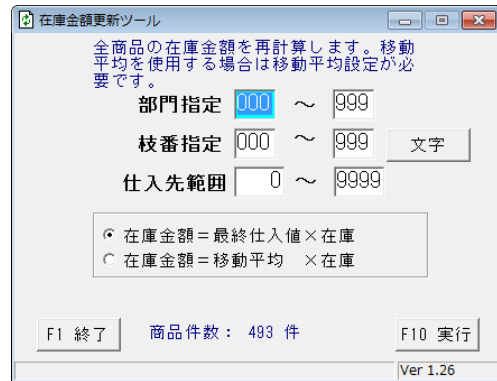
商品コード	変更したい商品コードの範囲を入力してください。
移行先部門	変更したい商品の部門コードを入力してください。
移行方法	指定連番…指定連番に入力した番号で番号が割り振られます。 同一連番…商品コードで範囲指定した連番で番号が割り振られます。 最終連番…移行先の最終番号から番号が割り振られます。
移行先重複時上書き	チェックなし…移行方法が指定、同一の場合、新しく割り振られる番号が重複する場合に警告メッセージを表示します。 チェック有り…番号が重複する場合でもメッセージを表示しません。



在庫金額更新

在庫金額を指定範囲で「最終仕入値金額」または「移動平均金額」で再計算します。
※作業前には必ずデータバックアップを行ってください。

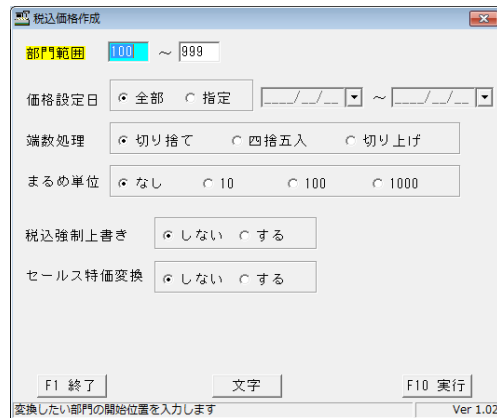
部門指定	変更したい部門コードの範囲を入力してください。
枝番指定	変更したい枝番コードの範囲を入力してください。
仕入先範囲	変更したい仕入先コードの範囲を入力してください。
最終仕入×在庫	最終仕入×在庫で再計算します。
移動平均×在庫	移動平均×在庫で再計算します。



税込価格作成

税抜価格に対して税率をかけた金額を作成し、税込価格を作ります。
※このツールを起動すると「実行前に安全のためバックアップを行ってください。」と表示されます。
バックアップを行う場合は[はい]を選択してバックアッププログラムを起動してください。

部門範囲	税込価格を作成する部門範囲を選択します。
価格設定日	特定の価格設定日の商品のみを対象にする場合に指定します。
端数処理	税率をかけたときに発生する小数点以下の端数の処理方法を選択します。
まるめ単位	税込価格を設定するときいきりの良い単位でまるめたい場合に指定します。
税種別変更	税種別が外税のものを「内税」に変更する場合「する」に設定します。 「しない」の場合は、税種別は変更されません。
動作状況	[F10 実行]を押すと変換する対象件数が表示されます。「処理を続けますか？」で[はい]を選択すると、データが変換されます。対象件数が予想と異なる場合は[いいえ]にて一旦処理を中止し、条件を見直してください。



税込価格手入力

税込価格作成は自動的に税抜価格に税率をかけた金額を作成して、税込価格を作るのに対し、税込価格手入力はお客様がソートや部門、コード等を指定して税込価格を作成するものです。税込価格作成とは異なり、ここでの指定範囲は部門、コード範囲、枝番範囲、カナ読み範囲、発売日、価格設定日、在庫指定となっております。

任意の指定を行い [F10 実行] を押すと、指定範囲の一覧が表示されます。税抜金額に商品の税抜金額を入力し [Enter] キーを押してください。税込金額が自動で入力されます。

※税込金額に既に金額が入力されている場合には自動入力されません。税込金額を再計算させたい場合は税込金額の欄に「0」を入力してください。

税改正マスタ金額設定

- 消費税込に併い
- 「税抜き金額の作成」
- 「新税率で税込み金額一括作成」
- 「作成した金額のリスト作成」
- 「各種金額まるめ機能」等。

(詳細は別紙参照)

商品コード	商品名	定価	税抜価格	税込価格	差	改正後価格

セール価格一括変更

消費税込に併い各種セール価格「セールス売価 1.2」「セールス仕入 1.2」「複数単価」「ミックスマッチ」を「税抜き金額の作成」「新税率で税込み金額一括作成」「作成した金額のリスト作成」「各種金額まるめ機能」等。

□セール・複数・仕入

(詳細は別紙参照)

商品コード	商品名	セ-ル売値1	セ-ル売値2	セ-ル仕入1	セ-ル仕入2	複数単価	仕入値

□ミックスマッチ

No	ミックス名称	成立数量1	成立金額1	成立数量2	成立金額2

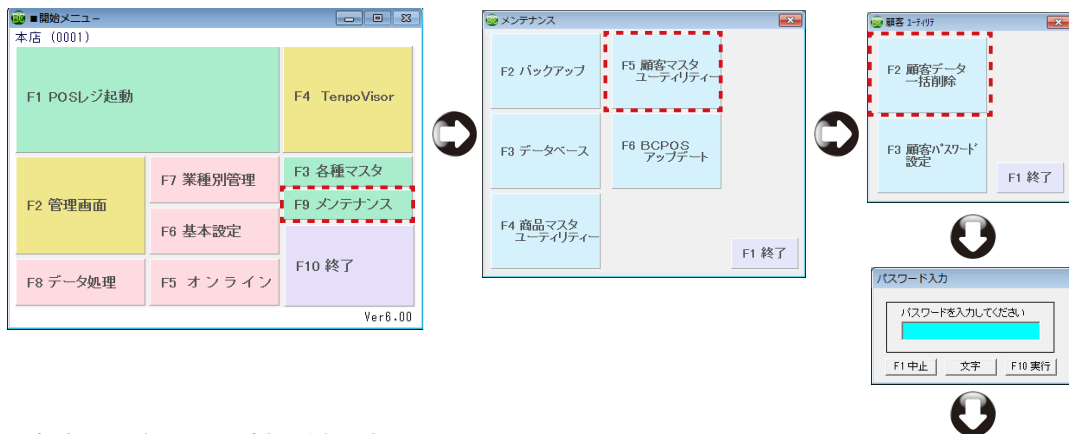
Column

年次・月次・週次データ更新について

BCPOS は、年・月・週単位で最大 12 ヶ月のデータを保存しています。商品移動状況フィールドに表示される在庫数・・・等の更新を行う上で重要な処理となります。※ BCPOS のデータを切出して加工等を行う場合には最大 12 ヶ月以内にはデータを取得してください。12 ヶ月を超えたデータは上書きされて取得できなくなります。

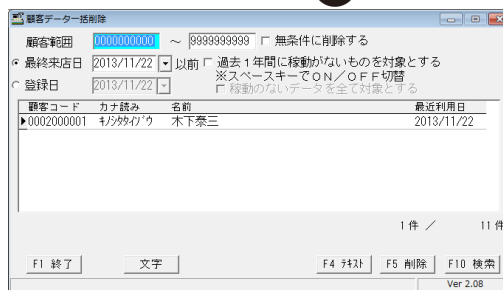
11-4 顧客ユーティリティ

顧客データ一括削除



顧客パスワード入力画面が表示されます。
登録した顧客パスワードを入力し [F10 実行] を押してください。
⇒次項、顧客パスワードの設定を参照

削除プログラムを使用する時には、必ずレジ画面などのプログラムを閉じて作業を行ってください。
プログラムを起動するとバックアップの確認が表示されます。
操作ミスに備えバックアップを取ってください。

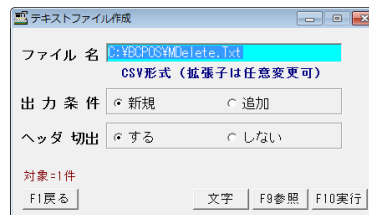


顧客範囲	削除する顧客コードの範囲を指定します。
無条件に削除する	顧客範囲で指定した顧客を無条件で削除します。
最終来店日	指定した日付以降に来店が無い顧客を指定します。
過去1年間に移動が無いものを対象とする	1年間移動がない顧客を削除対象とします。
移動のないデータを全て対象とする	移動が1回もない顧客を削除します。顧客ダミーも削除されます。

テキストの切出し

削除前に削除するデータをテキストに残しておく事が出来ます。
「F4 テキスト」を押してください。

起動チェック入力が表示され、管理者用パスワードを入力しないとテキスト切出しが実行出来ません。



ファイル名	テキストファイルを作成する場所、ファイル名を指定します。「F9 参照」で場所を指定することも出来ます。
出力条件	新規…指定場所に同名ファイルが存在する場合、上書して新規にテキストファイルを作成します。 追加…指定場所に同名ファイルが存在する場合、そのファイルに追加します。
ヘッダ切出し	する…作成したテキストファイルの先頭に項目名を切出します。 しない…作成したテキストファイルの先頭に項目名を付けず先頭からデータを切出します。

顧客パスワード設定【重要】

BCPOS は個人情報保護の観点から顧客情報の閲覧、ファイル出力にはパスワードを設定しなければ一部の機能をお使いいただく事が出来ません。

これらの顧客情報に関する処理を実行する際には常にパスワード入力が必要となります。

パスワードは管理者が厳重に管理し（特に管理者用パスワード、秘密の質問）必要に応じて変更してください。

顧客情報管理の為、処理を実行するのにパスワードが必要な画面は以下の画面です。

プログラム名	管理者	制限付	プログラム名	管理者	制限付
顧客登録	○	○	商品別売上一覧（販売 OP） ※顧客表示するにした時のみ	○	×
顧客一覧	○	×	顧客（不）稼動一覧（顧客 OP）	○	×
テキスト切出 / 合併	○	×	得意先別売上一覧（顧客 OP）	○	×
顧客カルテ	○	○	売掛金未収一覧（顧客 OP）	○	×
親コードリスト	○	○	DM ラベル発行（顧客 OP）	○	○
顧客データ一括削除	○	×	顧客稼動ベスト（顧客 OP）	○	○
カルテ用 DM	○	○			

① - パスワードの設定

例を参考に秘密の質問とその答えを入力して「F10 設定」を押してください。

顧客情報にアクセスすると、PW 入力画面が表示されます。
PW 入力画面の「起動設定」画面にログインする PW の設定を行います。

秘密の質問と答えの確認画面が表示されますので、確認後「F10 決定」を押してください。
秘密の質問は顧客情報管理のパスワードを管理、変更する為の「起動設定」画面を開く為の重要なパスワードです。
管理者が厳重に管理してください。

「起動設定」画面が開きますので、顧客情報管理パスワードを設定します。
管理者用パスワードと制限付パスワードに任意のパスワードを入力します。
入力内容の確認の為「確認入力」に同じパスワードを再度入力し「F10 設定」を行います。

② - パスワードの入力

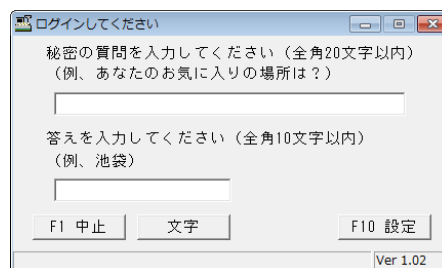
実際のパスワードの入力画面は以下のようになります。

画面の場合、処理内容が顧客テキスト切出 / 合併ですので管理者パスワードを入力して「OK」を押します。

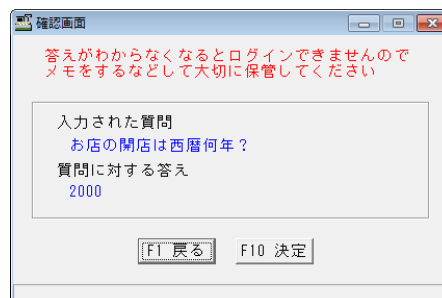


③ - パスワードの変更

パスワードを変更する場合は顧客パスワード設定を再度起動し秘密の質問の答えを入力して「F10 ログイン」を押してください。パスワードの入力を6回連続して間違えますとパスワードが無効になります。設定用パスワードをお知らせしますので弊社までご連絡ください。



秘密の質問の変更をしたい場合は「F5 変更」を押すと、1-3の秘密の質問の設定画面が表示されます。管理者、制限付パスワードを変更したい場合は「F10 設定」を押すとパスワード設定画面が表示されます。



11-5 BCPOS アップデート

※インターネットが利用できる環境であれば、BCPOS のプログラムをアップデートできます。開始メニュー → メンテナンス → BCPOS アップデート → お客様ショップページ (WEB サイト) が開きます。

直接 URL を入力する場合には、下記 URL でアクセスして下さい。
http://www.busicom.jp/userinfo/userinfo.php

または、株式会社ビジコム の WEB ページ、下記 URL にアクセスして頂き、http://www.busicom.co.jp/ の右上にある、お客様 MyPage(ログイン) からアクセスして下さい。



① - ログイン

登録済電話番号・PIN コードを入力し、ログインしてください。初めてのの方は「初めてのの方は⇒こちら」より登録作業を行ってください。ログインすると下記画面が表示されるので、左側の「最新版ダウンロード」を押してください。



② - ダウンロード

下記画面が表示されますので更新ファイルダウンロードして任意の場所に保存してください。



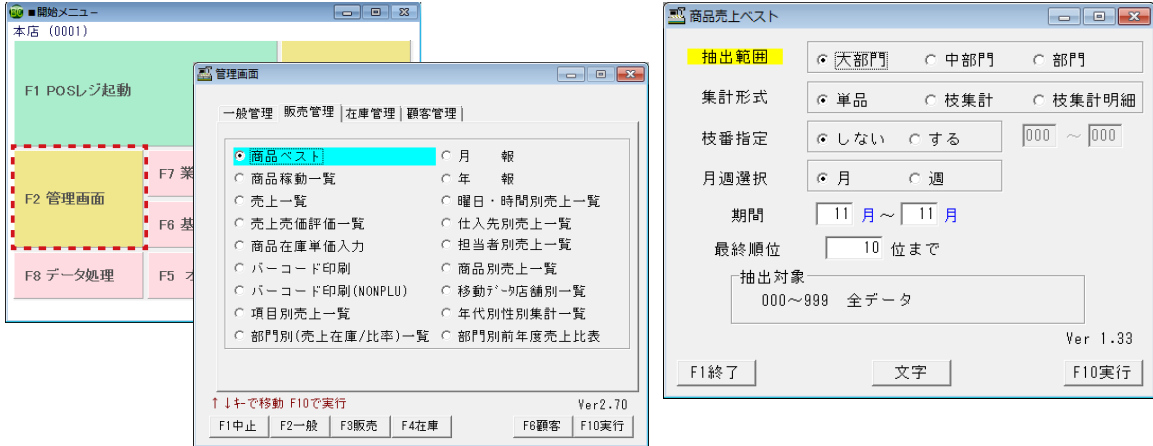
(画面はシステム改善、更新等により予告なく変更される場合があります)

12 販売管理オプション

12-1 商品ベスト

指定した期間で、商品の売上ベストを集計し [商品売上ベスト] を表示します。
 [商品売上ベスト] 画面で集計をとる、部門の範囲、期間を条件設定します。

販売管理オプション

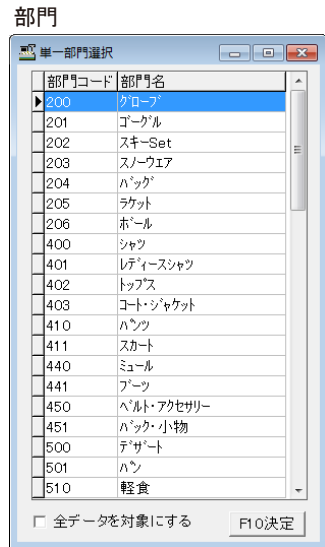
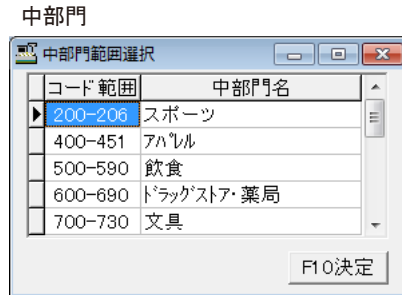
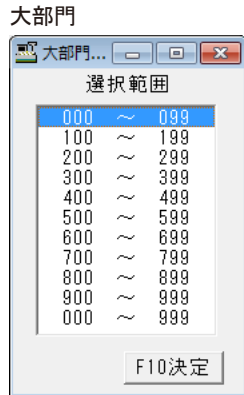


抽出範囲	大部門…大部門範囲選択 (商品コードの頭 1 桁目) から選択します。(下図選択範囲参照) 中部門…中部門範囲選択 (商品コードの頭 2 桁目) から選択します。(下図選択範囲参照) 部門…単一部門範囲 (商品コードの頭 3 桁目) から選択します。(下図選択範囲参照)
集計形式	単品 ……枝番を含むすべての商品を別商品として順位付けします。 枝集計 ……枝番号商品を合算集計して順位付けします。 枝集計明細…枝番商品を合算集計した上、個々の枝番ごとに商品の動きを [F3 詳細] として別枠で表示します。
枝番指定	しない …商品コード後 3 桁の範囲を指定しません。000 ~ 999 まで。 する …商品コード後 3 桁を任意で範囲指定します。 ※ リサイクルオプション使用時、中古商品のみを指定したい場合は、001 ~ 001 と指定してください。
月週選択	期間の選択をします。※次項「期間について」を参照してください
期間	順位をとりたい期間を月単位もしくは週を指定します。
最終順位	何位まで順位をとりたいのか指定します。

上記各条件を入力後、または部門を選択して、「F10 実行」を押すと、各部門の「抽出範囲」が表示されます。(下図参照)

他条件を選択後、再度「F10 決定」を押してください。

※一度集計を行った後に、部門の「抽出条件」を変更したい場合には [商品売上ベスト] を一度「F1 終了」させてから、再度開き直してください。



商品ベスト

※販売回数でベスト集計されます。
販売金額でのベスト集計したい場合は「商品別売上一覧」を活用ください。

商品ベスト

売上ベスト一覧 【物販】 分類: [中部門] 条件: [総本数] 順位: [10位迄]
期間: [1週 ~ 1週] 部門範囲: [700-720] 文具 種別: [単品]

順位	商品コード	商品名	登録日	メーカー	期間回数
1位	710000004000	ライナー 黄	2009/02/23	オト	100回
2位	710000002000	ニードルポイントペンカラーボックス	2009/02/23	オト	79回
3位	700000003000	かろケース 77001 透明	2009/02/23		60回
4位	710000006000	フロイト 万年筆	2009/02/23	ヒラー	55回
5位	720000001000	帳簿B5売上帳	2009/02/23	コクヨ	53回
6位	720000005000	家計簿 A5	2009/02/23	コクヨ	52回
7位	710000003000	ボールペン替芯黒	2009/02/23	オト	51回
7位	720000002000	ノト式帳簿A5仕入帳	2009/02/23	コクヨ	51回
7位	720000003000	3色リフ B5 売上帳	2009/02/23	コクヨ	51回
7位	720000004000	NC複写簿 A6 3枚納品書	2009/02/23	コクヨ	51回

F1戻る F8印刷

期間について

期間について (商品ベストや商品稼働)

【月】 カレンダーの月通りの指定です。

特定の1ヶ月間を指定したいとき → 「4月～4月」(例: 4月分)

特定の数ヶ月を指定したいとき → 「1月～4月」(例: 1月から4月の4か月分)

1年間を指定したいとき → 「4月～3月」(例: 4月から翌年の3月の一年間)

※月の期間は通常は月末までですが、設定により任意の日付に指定可能です。

【週】 今現在の週を第一週と考えます。

週をさかのぼるごとに、先週が二週、先々週が三週、さらにその前が四週になります。

初期状態では一週間は月曜日が基点日となります。(基点日の変更はお問合せください)

日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

【例】 今日が29日の場合

第一週 28～29日

第二週 21～27日

第三週 14～20日

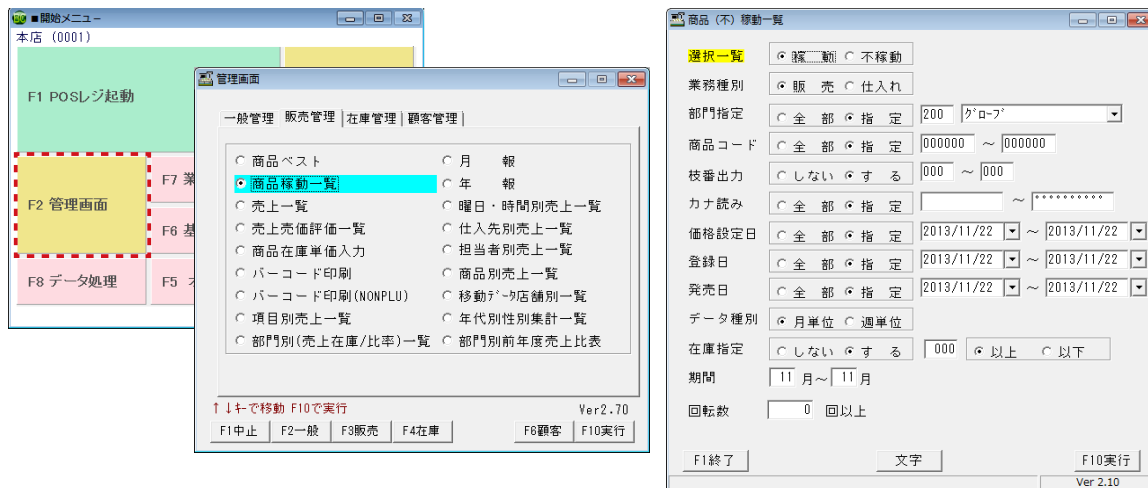
第四週 7～13日

全商品から商品ベストを集計

前項、抽出範囲の「大部門」を選択後「抽出範囲」が表示されますので、最下部の000～999を選択する事で、全商品からの商品ベストを集計します。

12-2 商品稼動一覧

商品稼動一覧は、その商品の月及び週の動きを一覧で見られるようにした帳票です。
各項目を選択し [F10 実行] を押すと [商品稼動一覧] 画面が表示されます。



選択一覧	稼 動…任意の回転数以上の商品を抽出します。 不稼動…任意の回転数以下の商品を抽出します。
業務選別	販売…販売の回転数で条件抽出します。 仕入…仕入の回転数で条件抽出します。
部門指定	全部…全部門を抽出の対象とします。 指定…横の入力ボックスから抽出する単一部門を選びます。
商品コード	全部…全商品を抽出の対象とします。 指定…商品コード 12 桁のうち部門 (頭三桁) と枝番 (後三桁) を除いた、中 6 桁の範囲を指定します。
枝番出力	枝番出力をする場合、通常は 000 ~ 999 から選択してください。 ※ リサイクルオプションを使用時、中古商品を指定するときは、001 ~ 001 と指定してください。
カナ読み	全部…全商品を抽出の対象とします。 指定…指定された範囲の商品名だけを抽出の対象とします。 半角カナで入力指定してください。
価格設定日	全部…全商品を抽出の対象とします。 指定…指定された範囲に価格設定された商品だけを抽出の対象とします。
登録日	全部…全商品を抽出の対象とします。 指定…商品登録した日を期間指定します。
発売日	全部…全商品を抽出の対象とします。 指定…商品マスタで登録した発売日を期間指定します。
データ種別	月単位…月単位の集計をします。 [期間] 設定の欄に集計したい月の範囲を入力してください。 週単位…週単位の集計をします。 [期間] 設定の欄に集計したい週の範囲を入力してください。
在庫指定	しない…在庫に関してすべての商品を表示します。 す る…指定された在庫数とその数の「以上」「以下」を指定します。
期間	回転数における「月」または「週」の期間の指定を行います。 ※ 「期間」の詳細は、前項の「 期間について 」をご参照ください。
回転数	抽出する回転数を指定します。 稼動、非稼動の選択条件によって「回以上」「回以下」になります。

商品稼動一覧

商品稼動一覧																			
コード範囲：[000000000000~999999999999] 価格設定日：[1980/01/01~2079/12/31]																			
カナ範囲：[~*****] 期間：[12月~12月] [売 0回以上]																			
商品コード	商品名	在庫	売値	仕入値	定価	発売日	価格設定日							総売上					
		1週	2週	3週	4週	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
200000001000	カーナビモニター '08	0	5820	900	0	2009/02/19	2009/02/23							1					
売	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50
仕	0	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売累計	1本	5820	[5820]	仕累計	50本	45000	[900]	移動	0本										
200000002000	加湿セラミックファンター '09	0	7100	1600	0	2009/02/19	2012/12/25							2					
売	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50
仕	0	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売累計	2本	13800	[6800]	仕累計	50本	80000	[1600]	移動	0本										
200000003000	クリーンファンター '08	0	12000	4200	0	2009/02/19	2009/02/23							0					
売	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50
仕	0	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売累計	0本	0	[0]	仕累計	50本	210000	[4200]	移動	0本										
200000004000	加湿ファンター	0	16000	3890	0	2009/02/19	2009/02/23							1					
売	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50
仕	0	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売累計	1本	16000	[16000]	仕累計	50本	194500	[3890]	移動	0本										
201000001000	空気清浄機 '08	0	8000	2240	0	2009/02/19	2009/02/23							2					
売	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50
仕	0	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売累計	2本	16000	[8000]	仕累計	50本	112000	[2240]	移動	0本										

F1戻る

F7 検索

F9印刷

該当

252本

Column

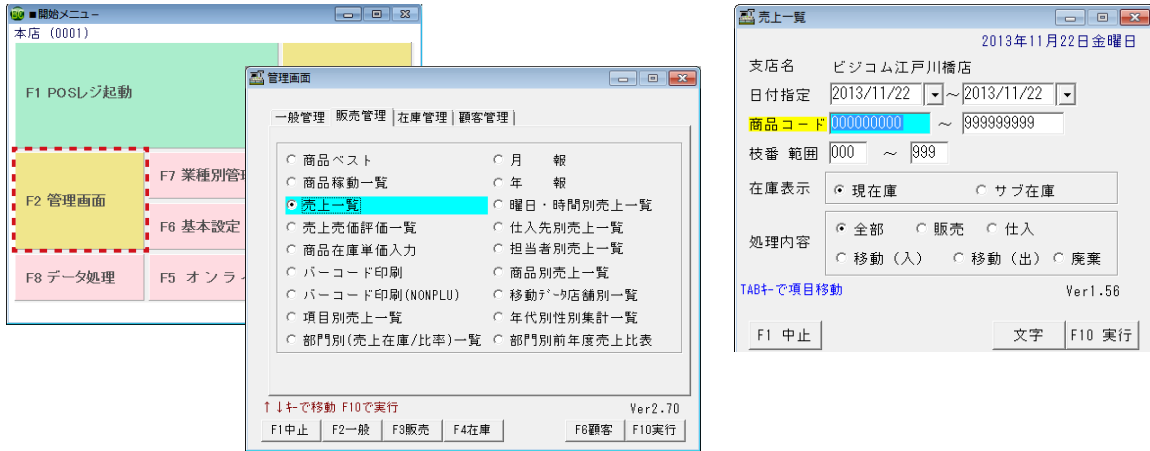
- 移出入は週・月欄には反映されません。在庫・移動欄には反映されます。
- 売累計・買累計欄右にある[]の数値は「累計金額÷総数」にて計算しています。
- Q - 「不稼動」を調べる際に「回転数」はどのように設定すればよいのか？
A - 「不稼動」の場合は回転数は関係ありませんので「0」に設定ください。

12-3 売上一覧

売上一覧は指定された期間にどれだけ商品を売上げているかを集計合算し表示する一覧表です。この売上一覧では処理内容を選択することで、仕入・買取・移動(入)・移動(出)・廃棄の一覧を表示させることができます。なお、売上一覧には商品コード、商品名、型番1、型番2、数量、単価、売上金額、在庫が表示されます。集計は販売などの実績データ(LOG)から行いますので、指定期間のLOGが必要になります。

※ 商品マスタの在庫管理フラグがオフに設定してあるものの在庫は表示しません。

販売管理オプション



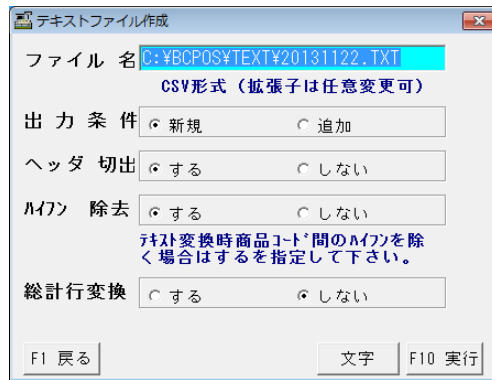
支店名	現在使用している BCPOS の店舗名を表示します。
日付指定	一覧を出力したい期間指定をします。(1年間まで)
商品コード	出力したい商品コードの範囲指定をします。商品コード 12 桁の頭から 9 桁で指定をします。
枝番範囲	出力したい枝番の範囲指定をします。商品コード 12 桁の後 3 桁を指定します。
局番	局番の指定をします。 ※ LAN 使用時に表示されます。
在庫表示	現在 在庫…レジ操作記録より、日付期間中に最後に処理したときの在庫数を表示します。 サブ在庫…日付指定に関係なく、現在の在庫数を表示します。
処理内容	一覧に表示する内容を選択します。 全部、販売、仕入、買取、移動(入)、移動(出)、廃棄から選びます。

売上一覧

※売上一覧をテキストファイルに出力することができます。一覧表示画面で [F4 テキスト] を選択すると、テキストファイル作成画面が表示されます。

商品コード	商品名	型番1	型番2	数量	単価	売上金額	在庫								
700-000001-000	タイムーイ7 クリーン&スノーレキ TB-7 GR			18	23800	449820	0								
700-000002-000	h°-ソルジュレクター M-450CS			8	28000	235200	0								
700-000003-000	カロッグケース 77001 透明 77001			53	900	50085	0								
小計				79		735105									
710-000001-000	ビック'蛍光ペンRD/BRF10 BRF10RED			50	550	28850	0								
710-000002-000	ニト'黒'イント'黒'ル'カラ-NBP-507C			79	500	41475	-39								
710-000003-000	黒'ル'ン'替芯黒 NO40			50	60	3150	0								
710-000004-000	ライナー'黄 YK100WYLN			100	100	10500	0								
710-000006-000	フ'ロイト' 万年筆 11-2021-320			55	20000	1155000	0								
710-000008-000	手帳用BP TU-604 茶4 TU-604-E			50	600	31500	0								
710-000009-000	マジック No500青 195-64 M500-T3			50	120	6300	0								
小計				434		1276775									
720-000001-000	帳簿B5売上帳 チ-202			50	2200	115500	0								
720-000002-000	ノート式帳簿A5仕入帳 チ-53N			50	250	13100	0								
720-000003-000	3色リフ B5 売上帳 リ-102			50	820	43050	0								
720-000004-000	NC複写簿 A6 3枚納品書 347N			50	320	16800	0								
720-000005-000	家計簿 A5 スイ-T200B			50	572	30000	0								
総計本数				販売---	763	仕入---	0	買取----	0	移動入---	0	移動出---	0	廃棄----	0

ファイル名	初期値として C:\BCPOS\TEXT\日付.TXT が設定されています。
出力条件	新規 … 新しいファイルを作成します。 追加 … 新規でデータを作成してすでにファイルがある場合、同じファイルにデータを追加します。
ヘッダ切出	する … 一覧の項目名をデータとして作成します。 しない … 商品明細データのみを作成します。
ハイフン除去	する … コード間のハイフンを取り除く場合に指定します。 “111-000001-000” → “111000001000” しない … 商品コード間のハイフンをそのままデータとします。 “111-000001-000”
総計行変換	処理内容を [全部] で表示したときのみ選択できます。 するにした場合、画面下に表示している [総計本数] を切り出します。



Column

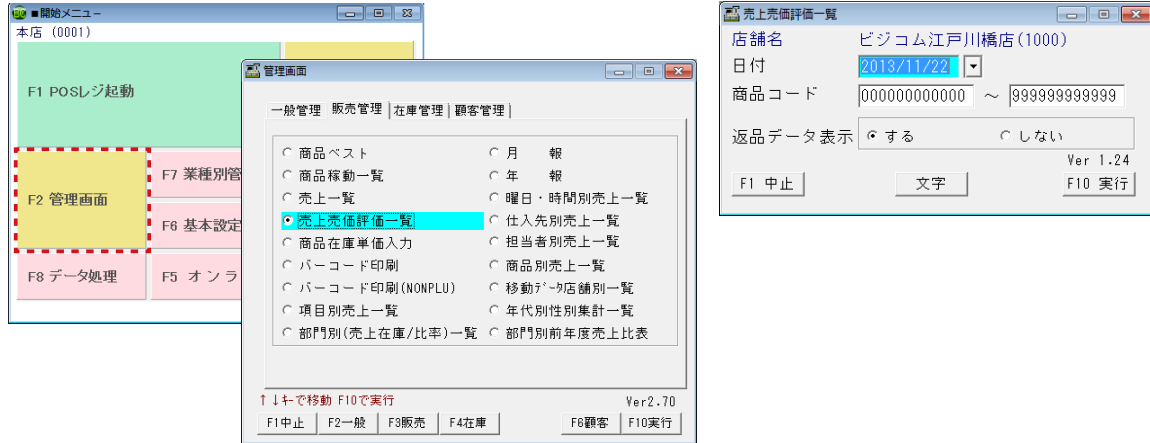
- 一覧には、Non-PLU での販売や部門売りでの販売が含まれます。(在庫欄は 0 となります)
- 返品処理をして販売数が 0 になっても一覧には項目が残ります。
- 「単価」欄には、直前に処理したときの単価を表示します。
例)
@6,900円で販売 → @7,200円で販売した場合、単価欄には 7,200円が表示されます。
(6,900 + 7,200) ÷ 2 = 7,050円ではありません。
- 一定期間内に移出入した商品で、移出入先毎に集計表示したい場合は「移動データ店舗 別一覧」を活用ください。
- 売上一覧はその日何かが売れているのかを一覧出力し、更にその在庫数まで表示されるので良く使われる帳票の一つになります。
日報で部門単位に売上状況の把握を行えますが、詳細な単品の売上把握の為に出力されています。

12-4 売上売価評価一覧

売上一覧よりも詳細な商品の情報 (実売価や仕入値、粗利など) を見ることができます。

一覧には指定した日に行われた販売や返品が表示され、その商品の商品コード・商品名・販売数・定価・標準売価・値引・実売価・仕入・粗利・値引率・売価率・仕切率・粗利率が表示されます。

集計は販売などの実績データ (LOG) から行いますので、指定日の LOG が必要になります。



販売管理オプション

売上売価評価一覧

確認したい日付、商品コードの範囲指定をして [F10 実行] を押してください。

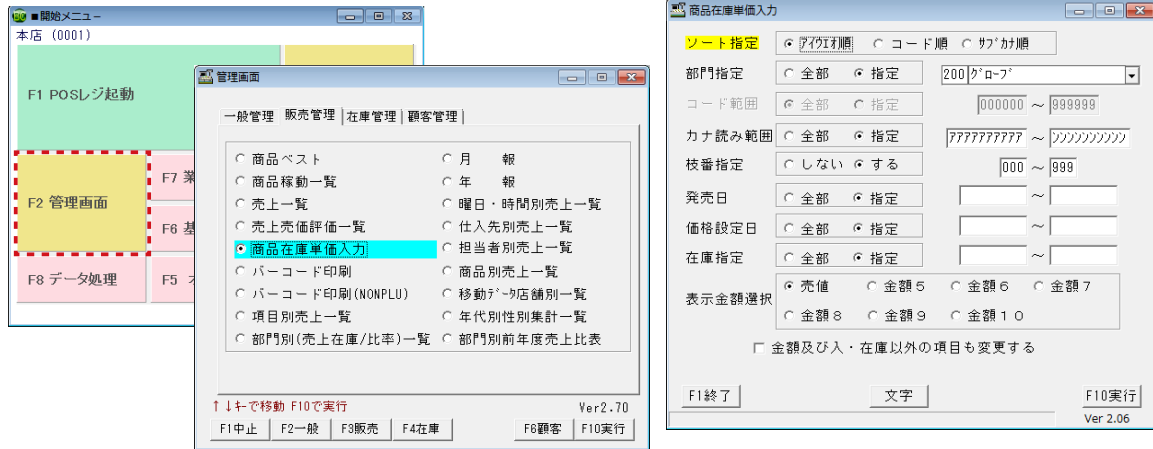
商品コード	商品名	販売数	定価	標準売価	値引	実売価	仕入	粗利	値引率	売価率	仕切率	粗利
220-000001-000	紳士ジャケット ss/M/伝票: 1000	1	15600	10500	0	10500	4500	6000	0%	100%	28.8%	57.
220-000003-000	スラックス ONW/M/B/伝票: 1001	1	0	5250	0	5250	3000	2250	0%	100%		42.
220-000005-000	マフラー-伝票: 1002	1	0	2625	0	2625	2000	625	0%	100%		23.
220-000007-000	手袋スエード伝票: 1003	1	0	2625	0	2625	2000	625	0%	100%		23.
220-000002-000	Yシャツ 36/L/伝票: 1004	3	85050	45000	-15000	30000	0	33.3%	66.6%		35.2%	
220-000001-000	紳士ジャケット ss/M/伝票: 1005	1	15600	10500	0	10500	4500	6000	0%	100%	28.8%	57.
220-000005-000	マフラー-伝票: 1006	1	0	2625	0	2625	2000	625	0%	100%		23.
☆合計	☆単品	9	116250	78125	-15000	64125	48000	16125	18.3%	81.0%	41.2%	25.

Column

- 一覧には、Non-PLU での販売や部門売りでの販売が含まれます。
- 返品処理をして販売数が 0 になっても一覧には項目が残ります。
- 「単価」欄には、直前に処理したときの単価を表示します。
例) @6,900 円で販売 → @7,200 円で販売した場合、単価欄には 7,200 円が表示されます。
(6,900 + 7,200) ÷ 2 = 7,050 円ではありません。
- 合計欄では商品マスタに登録している単品管理商品と部門売り等で項目を分けて計算表示します。
- 小数点以下第 2 位で切り捨て表示します。
- 各数値の計算式は下記の通りになります。
(粗利: 実売価 - 仕入 / 値引率: 値引 ÷ 標準売価 / 売価率: 実売価 ÷ 標準売価 / 仕切率: 仕入 ÷ 定価 / 粗利率: 粗利 ÷ 実売価)
- 「標準売価」欄にはマスタ金額 10 を表示します。(ログに書き出す単価は無関係です)
(非総額モードでは内税商品はマスタ金額 10 を、外税商品はマスタ金額 4 を表示)
- 「値引」欄には、レジ画面での売価変更や小計後値引・割引が反映されます。
(レジ画面での [F6 値引] や [F7 チケット] は反映されません)
- 全般設定 > 仕入値設定 > [粗利計算使用金額] (P-57) が標準原価、詳細設定 > 仕入 / 買取時税種別反映 > の [外税強制表示] (P-192) が [する] のときのみ起動時の画面に [仕入値税込表示] という項目が追加されます。
[する] で実行すると仕入値が税込で表示されます。

12-5 商品在庫単価入力

商品在庫単価入力はリスト形式で商品の在庫数及び単価を入力できるメニューです。
ここで金額が変更されると価格設定日も変更されます。



販売管理オプション

ソート指定	リストの商品の並び順を指定します。 アイウエオ順…アイウエオ順でリストを表示します。 コード順……商品コード順でリストを表示します。 サブカナ順……商品マスタの商品サブカナ順で表示します。
部門指定	全部…000 ~ 999 まで全部の部門を表示します。 指定…指定を選択すると右側の入力ボックスに部門コード・部門名が表示されますので、そこから部門を指定してリストに表示します。
コード範囲	ソート指定をコード順にした場合に選択します。 指定… 商品コード 12 桁のうち部門（頭 3 桁）と枝番（後 3 桁）を除いた、中 6 桁を指定します。
カナ読み範囲	ソート指定をアイウエオ順、サブカナ順にした場合に選択します。 指定…カナ読みの範囲を半角カナで指定します。
枝番指定	商品コード 12 桁のうち枝番（後 3 桁）を指定します。 通常は 000 ~ 999 で問題ありません。 ※リサイクルオプションを使用時に中古商品を指定するときは 001 ~ 001 と指定してください。
発売日	抽出したい発売日の期間を年・月・日を 8 桁で入力してください。
価格設定日	抽出したい価格設定日の期間を年・月・日を 8 桁で入力してください。
在庫指定	抽出したい在庫数を入力してください。
表示金額選択	表示する金額を指定します。 物販の場合 「売値 → 税抜金額」 「金額 5 → セールス価格 1」 「金額 6 → セールス価格 2」 「金額 7 → セールス仕入 1」 「金額 8 → セールス仕入 2」 「金額 9 → 税込金額 2」 「金額 10 → 税込金額 1」
金額及び入・在庫以外の項目も変更する。	このリストで商品名・JAN の項目も変更する場合には、チェックボックスにチェックを入れます。 スペースキーを押すか、マウスで押してください。

196 販売管理オプション (商品在庫単価入力)

商品コード	商品名	JAN	定価	仕入値	売値	在庫	在庫
720000005000	家計簿 A5	4901480085227	850	830	572		50
720000001000	帳簿B5売上帳	4901480003009	2200	1280	2200		50

商品在庫単価入力

Column

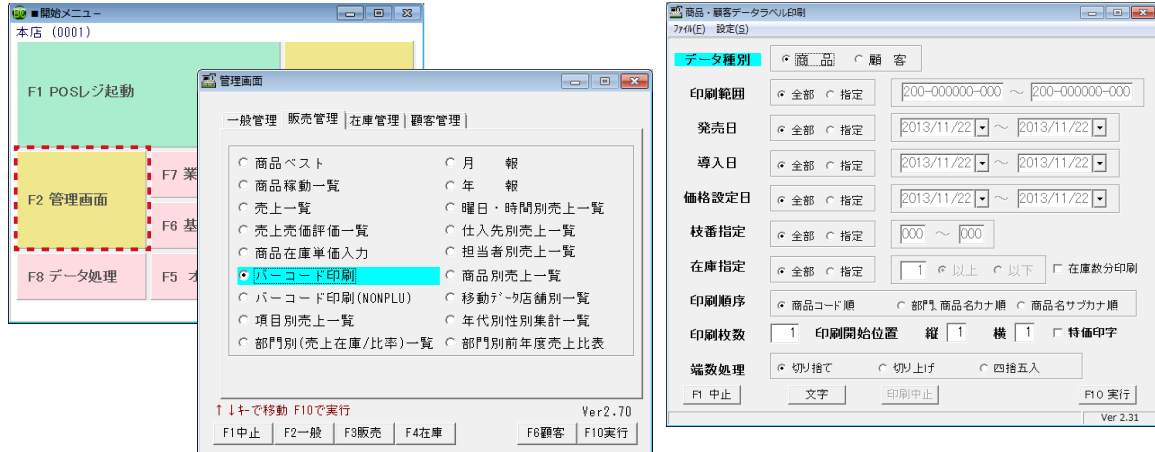
- ここで「在庫」により在庫変更や金額を変更した記録はジャーナル点検にて参照が可能となります。
(JANコードの変更記録は参照できません)

12-6 バーコード印刷

商品の商品コードや、顧客の顧客コードのバーコードを、ラベルプリンタではなく、A4 のシートカットラベル (12 枚～ 60 枚のラベル枚数で、印字したバーコードラベルは安易に剥がせません) に印刷します。

※ A4 のシートカットラベルは弊社の指定商品がございますので、別途お問合せください。

この画面で項目を選択し [F10 実行] を押してください。



販売管理オプション

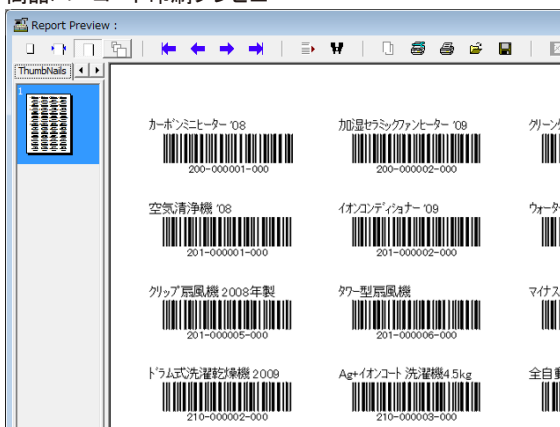
データ種別	商品…商品コードのバーコードを印刷します。 顧客…顧客コードのバーコードを印刷します。 データ種別で [商品] を選んだ場合には商品データの範囲を入力します。 データ種別で [顧客] を選んだ場合には顧客コードの範囲を入力します。
印刷範囲	全部…登録してあるすべてのデータを印刷します。 指定…印刷するデータのコード範囲を指定します。 指定を選ぶと表示される右側の入力ボックスに商品コードの範囲を入力します。 ※顧客は登録のありなしに関係なく指定範囲が全て印刷されます。
発売日	[商品] を選んだ場合選択できます。 全部…登録してあるすべてのデータを印刷します。 指定…印刷するデータの発売日の範囲を右側の入力ボックスに指定します。
導入日	[商品] を選んだ場合選択できます。 全部…登録してあるすべてのデータを印刷します。
価格設定日	[商品] を選んだ場合選択できます。 全部…登録してあるすべてのデータを印刷します。 指定…印刷するデータの価格設定日の範囲を指定します。
枝番指定	[商品] を選んだ場合選択できます。 全部…登録してあるすべてのデータを印刷します。 指定…印刷するデータの枝番を指定します。
在庫指定	[商品] を選んだ場合選択できます。 全部…登録してあるすべてのデータを印刷します。 指定…印刷するデータの在庫数の数量と以上、以下を指定します。 在庫数を指定した場合、在庫数分印刷のチェックボックスにチェックを入れると、それぞれの商品の在庫数に合わせてバーコードを印刷できます。
印刷順序	[商品] を選んだ場合選択できます。 商品コード順……………商品コード順にバーコードを印刷します。 部門、商品名カナ順…部門順、商品カナ順にバーコードを印刷します。 商品名サブカナ順……………商品名サブカナ順に印刷します。
印刷枚数	印刷するバーコードの枚数 (個数) を指定します。 ここで指定した枚数 (個数) 分の商品のバーコードを連続して印刷し、次にくる商品のバーコード印刷に移ります。印刷部数の指定とは違いますのでご注意ください。
印刷開始位置	バーコードの印刷を開始する列の位置を指定できます。 印刷の開始位置を指定することでラベル紙の途中からでも印刷できます。
端数処理	税抜金額を印字する際の端数処理を選択します。

198 販売管理オプション (バーコード A4 印刷)

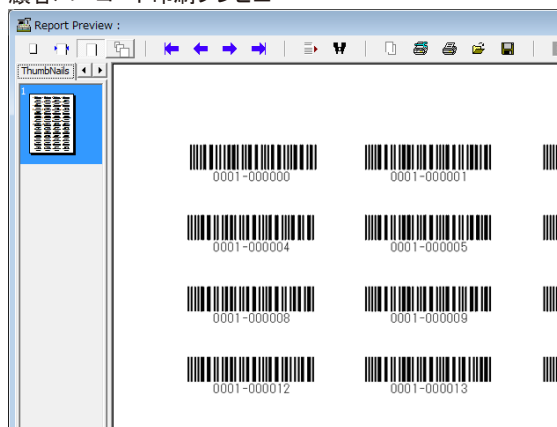
ファイルメニュー	
印刷実行	印刷を開始します。
終了	ラベル印刷プログラムを終了します。

設定メニュー	
バーコード種別	印刷するバーコードの体系を設定します。 NW7、ITF、JAN(商品データ印字時のみ) ※印刷後、ご使用のバーコードスキャナーで読み取り出来る事を確認してください。
印刷方法	印刷するバーコードのデータをプリンタへ出力するか、プレビュー画面に出力するかを選択します。 プレビューの場合は画面ごとの印刷になります。 給紙方法を手差しトレイにしたい場合は、ここで手差し印刷を選択してください。
商品コード種別	印刷する商品コードの種別を選択します。 商品コード、バーコード、インスタコード、JANコード
商品印字フォーム指定	印字フォームを商品ラベル・プライスカード・タグ用シールの三種類の中から選択できます。
商品 JAN 印刷	すべて印刷、JANコードのないもののみ印刷、JANコードのあるもののみ印刷の三種類の中から選択できます。
定価印字	印字フォームをプライスカード、タグ用シールに設定した場合、定価印字をするかを指定します。 ※ [定価 0 円印字] を選択した場合そのまま 0 円と印字するか、“オープンプライス”と表示するかを選択することができます。 ※ 使用売価を [税抜(金額 4)]・[税込(金額 10)] の 2 種類から選択できます。 プライスカード、タグ用シールの場合に表示する金額を選択します。
顧客バーコード桁数指定	顧客バーコード印刷時、バーコードの桁数を 10 桁にするか 6 桁にするかを指定します。
顧客コード範囲指定桁数	顧客バーコード印刷時、印刷範囲の桁数を 10 桁か 6 桁で指定します。 6 桁の場合は店舗コード以降の 6 桁を指定します。
顧客縦印字位置	顧客コードを印刷する際、位置を「なし」「1mm 下」「2mm 下」の中から調整できます。
タグ用シール横印字位置	商品のタグ用を印刷する際「なし」「1mm 右」「2mm 右」の中から調整できます。

商品バーコード印刷プレビュー



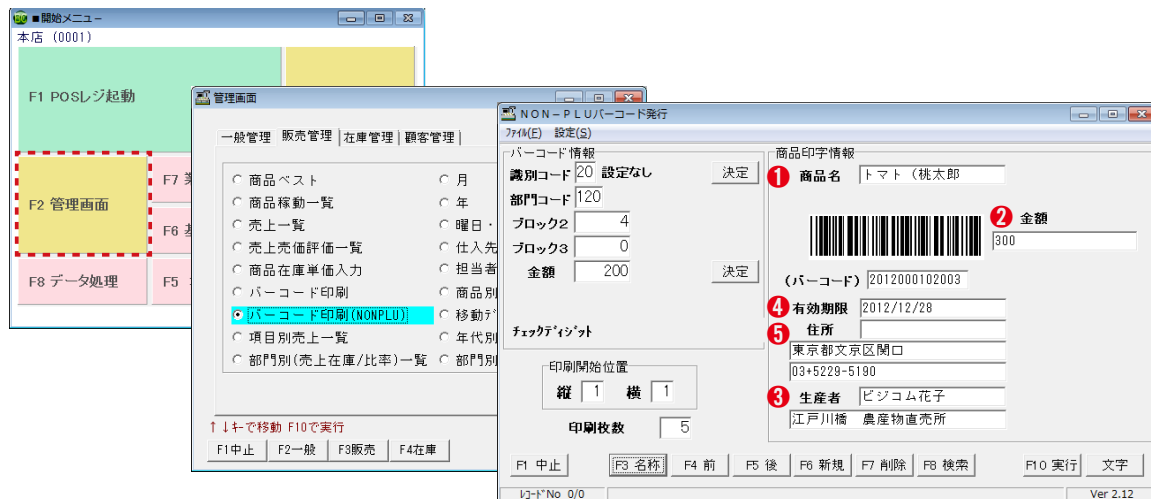
顧客バーコード印刷プレビュー



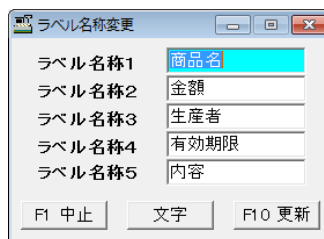
※ラベル用紙は、弊社指定の物となります。A4 ページプリンタが必要になります。

12-7 NON-PLU バルコードの印刷

NON-PLU 方式のバルコードの印刷は、
[F2 管理画面] - [販売管理] メニューの [バルコード印刷 (NON-PLU)] から行います。



ラベル名称は [F6 基本設定] - [NON-PLU] でのラベル名称の設定がデフォルトになりますが [NON-PLU バルコード発行] 画面の [F3 名称] ボタンをと表示される「ラベル名称変更」画面からでも変更できます。



バルコード情報を設定する

識別コード (先頭2桁) を入力すると [基本設定] 画面で設定したパターンにしたがって項目名と桁数がガイドとして、各項目の入力ボックス右横に表示されます。
金額を入力し [Enter] キーを押すか他のフィールドにカーソルを移動させるとチェックデジットを計算して付加し、画面右の商品印字情報ブロックのバルコード欄にバルコードが表示されます。

商品印字情報を入力する

バルコードシール内に印字する情報を「商品印字情報」欄に入力します。

印刷できるシールは

商品ラベルタイプ (A4 サイズに横 3 列×縦 6 行) と、
タグタイプ (A4 サイズに横 5 列×縦 8 行) の 2 種類です。

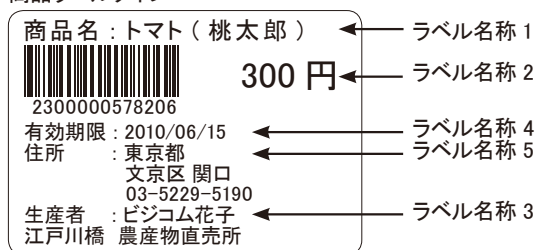
右図上下のサンプルの、各ラベル名称位置を参考にラベル名称 (項目名) とその情報を入力してください。

商品ラベルタイプの場合にはラベル名称 (項目名) はすべて印字されますが、タグタイプ選択時には「ラベル 1」「ラベル 2」「ラベル 3」の項目情報と「ラベル 3」の項目名しか印字されません。
(右図タグタイプ参照)

このことを考慮してどのラベル位置にどの情報を表示するかを決めてください。

※ラベル用紙・ラベルプリンタ共に弊社指定の物となります。

商品ラベルタイプ



タグタイプ



200 販売管理オプション (NON-PLU バーコード印刷)

NON-PLU バーコードの発行は単品ごとの印字機能です。
必要なバーコードを作り、それぞれを必要枚数、印字してください。

- ※ 商品ラベルタイプの印刷には「ナナワード：LDW18PE」若しくは、それと同規格の用紙をお使いください。
- ※ タグタイプの印刷には「ナナワード：LDW40U」若しくは、それと同規格の用紙をお使いください。

バーコード情報

識別コード	[基本設定]の[NON-PLU]設定画面で設定したパターンの中から、印刷したいパターンの先頭コードに登録した範囲内のコードを入力します。
部門コード	部門コードを入力します。
ブロック2	[基本設定]の[NON-PLU]設定画面で設定したパターンの中から、ブロック2に指定した項目のコードを入力します。
ブロック3	[基本設定]の[NON-PLU]設定画面で設定したパターンの中から、ブロック3に指定した項目のコードを入力します。
金額	商品の金額を入力します。

商品印字情報

バーコード	バーコード情報を入力すると自動的に発番されます。13桁目はチェックデジットです。
ラベル名称 1～5	ラベルに表記したい情報を入力します。 名称は[基本設定]の[NON-PLU]設定画面で設定したラベル名が反映されます。 [F3名称]ボタンを押すと表示されるラベル名称変更画面でも変更できます。
印刷枚数	印刷枚数を設定します。
印刷開始位置	ラベルの印刷開始位置を入力します。使用するラベル用紙に合わせて設定してください。

ファンクションボタン

F1 中止	操作を中止します。
F3 名称	ラベル名称を入力・変更します。
F4 前	現在表示されている一つ前のラベルデータを表示します。
F5 後	現在表示されている一つ先のラベルデータを表示します。
F6 新規	新規にラベルデータを作成します。既にデータがある場合には、新規ボタンを押す前に表示されていた情報が入力された状態で追加されます。
F7 削除	表示されているデータを削除します。
F8 検索	作成したデータを検索します。 「印刷開始位置」のブロックが検索データ入力ボックスに変わります。
F10 実行	印刷を実行します。

ファイルメニュー

印刷実行	ラベル印刷を実行します。
終了	NON-PLU バーコード発行プログラムを終了します。

設定メニュー

印刷方法	プレビュー画面に表示するか、直接プリンタへ出力するかを選択します。
商品印字フォーム指定	印刷するラベルフォーマットを選択します。選択できるフォーマットは商品ラベル(横：3列×縦：6列)サイズとタグ用(横：5列×縦：8列)サイズの2種類です。

12-8 NON-PLU バーコードの設定

商品にあらかじめ印刷されている JAN コードには価格情報は含まれていません。これは、同じ商品でもお店により販売価格が異なる場合があるためです。POS システム内にあらかじめ商品コードと単価のデータを打ち込んでおき、商品コードを読み取るとその商品コードの価格データを探し出しています。【この方式を PLU(プライス・ルック・アップ) といいます】生鮮食料品等のように品物の重量により一つ一つの商品の価格が異なる場合には、バーコード内にそれぞれの価格情報を入れておいた方がよい場合があります。【この方式を NON-PLU(ノン・プライス・ルック・アップ) といいます】**BCPOS で NON-PLU バーコードを使用する場合には以下の内容を理解して設定してください。**

① - バーコードの構成を決める

BCPOS では、NON-PLU 用バーコードとして 13 桁の JAN を使います。13 桁のうち、最初の 2 桁は NON-PLU として判断する為の識別コードです。最後 1 桁は読み誤りがないかをチェックするためのチェックデジットの為に使用します。ですから、商品として使える桁数は 10 桁です。お店としてこの 10 桁の中にどの情報を何桁で入れるかを決めて使用してください。



バーコードに入れられる情報は「金額」「部門コード」「仕入先コード」「メーカーコード」の 4 種類で「部門コード」と「金額」は必須項目です。

② -NON-PLU バーコードの識別コードを指定する (2 桁目)

読み取ったバーコードが PLU 方式か NON-PLU 方式かを決定させる為に NON-PLU 方式として識別コード 2 桁 (13 桁の先頭から 2 桁) を指定します。この 2 桁の数字を読み込むことで BCPOS は、次に続くバーコードが NON-PLU 方式のバーコードであることを認識します。JAN コードでは、先頭 3 桁は国コードとして決められており、49・45 は日本の国コードになっています。その他の番号も各国用に割り振りが決まっていますが「20」～「29」まではインスタア用に店頭で使えるコードとして決められていますから (世界共通)、この範囲で使われることをお勧めします。既に国コードとして決められているコードを指定してしまうと、万が一その国の商品を扱った場合、BCPOS でそのバーコードを NON-PLU コードとして判断してしまい、正しい読み込みが出来なくなります。(例えば 45 や 49 を NON-PLU 用に指定したらほとんどの商品のバーコードが NON-PLU として読み込まれてしまいます。) このことを考慮して NON-PLU 用に識別コードを決めてください。

③ - バーコードに持たせる商品情報の構成を決める (10 桁)

商品情報用に使える 10 桁の構成を決めます。「部門コード」は必須で 3 桁分必要です。(仮に、部門コードが 2 桁しか取れない場合は読み取り時に強制的に頭に 1 がつきます。部門コード 23 → 123)「金額」も必須です。金額は 4 桁～7 桁の範囲で自由に設定ができます。(金額は倍数指定もできます)他の必要な要素をバーコード内に持たせなければいけないため、金額の桁数を少なくしたとき、商品金額によっては表示するための桁が足りない場合があるかもしれません。(たとえば 10000 円の商品のために 4 桁しか取れない場合) そのような場合には倍数指定を利用してください。先例の場合、4 桁で価格を「1000」とし、倍数指定を「10 倍」に設定すれば、そのバーコードを読み込んだ場合には、価格が 10000(1000 × 10 = 10000) 円と判断されます。部門コードと金額以外の情報が必要ならば、金額情報用に 7 桁まで使用できます。部門コード・金額情報以外に、さらに情報が必要なら、部門コード用の 3 桁と金額情報として最低必要な 4 桁を除いた (10 桁 - 3 桁 - 4 桁 = 3 桁) 残り 3 桁を「仕入先コード」用か「メーカーコード」用に割り当てます。(金額としての割り当てが 5 桁必要なら、残りは 2 桁になります)「仕入先コード」用か「メーカーコード」用か、いずれか一方でよければ残りの 3 桁すべてをどちらかに割り当てることが可能です。両方必要な場合は 3 桁内で「仕入先コード」と「メーカーコード」用に桁数を割り当てます。(仕入先コード: 2 桁ならメーカーコード: 1 桁、メーカーコード: 2 桁なら仕入先コード: 1 桁、もしくは仕入先コード: 1 桁とメーカーコード: 1 桁という設定でも可)「仕入先コード」や「メーカーコード」を何桁にするかはそれぞれのデータベースの作り方にも関わってきますのでご注意ください。

202 販売管理オプション (NON-PLU バルコード印刷)

④ - パターン設定をする

バーコードに入れる情報と桁数を決めたら [基本設定] の [NON-PLU] 設定画面で NON-PLU のパターンを登録します。「金額」情報は最後に入れる仕様になっていますから、それ以外の情報の順番を決めます。

識別コードの次のブロック (第 1 ブロック=商品情報ブロックの最初) の要素を何にするか、桁数を入力し、項目を指定します。

必要に応じ第 2、第 3 ブロックを指定します。割り当てる桁数がない場合には「0」を入力してください。

「0」の場合、項目は何が指定されていても無視されます。

例 1 : 部門+金額タイプ

[NON-PLU 識別コード (2 桁 = 20 ~ 21)] + [部門コード (3 桁)] + [金額 (7 桁)] + [CD] の場合の設定例です。

NON-PLU 識別コード (2 桁 = 20 ~ 21)

ブロック 1 : 部門コード (3 桁)

金額桁 : 7 桁

例 2 : 部門+メーカー+金額タイプ

NON-PLU 識別コード (2 桁 = 22 ~ 23)] + [部門コード (3 桁)] + [メーカー (3 桁)] + [金額 (4 桁)] + [CD] の場合の設定例です。

NON-PLU 識別コード (2 桁 = 22 ~ 23)

ブロック 1 : 部門コード (3 桁)

ブロック 2 : メーカーコード (3 桁)

金額桁 : 4 桁

例 3 : 部門+仕入+メーカー+金額タイプ

[NON-PLU 識別コード (2 桁 = 24~25)] + [部門コード (2 桁)] + [仕入 (2 桁)] + [メーカー (2 桁)] + [金額 (4 桁)] + [CD] の場合の設定例です。

NON-PLU 識別コード (2 桁 = 24 ~ 25)

ブロック 1 : 部門コード (2 桁)

ブロック 2 : 仕入先コード (2 桁)

ブロック 3 : メーカーコード (2 桁)

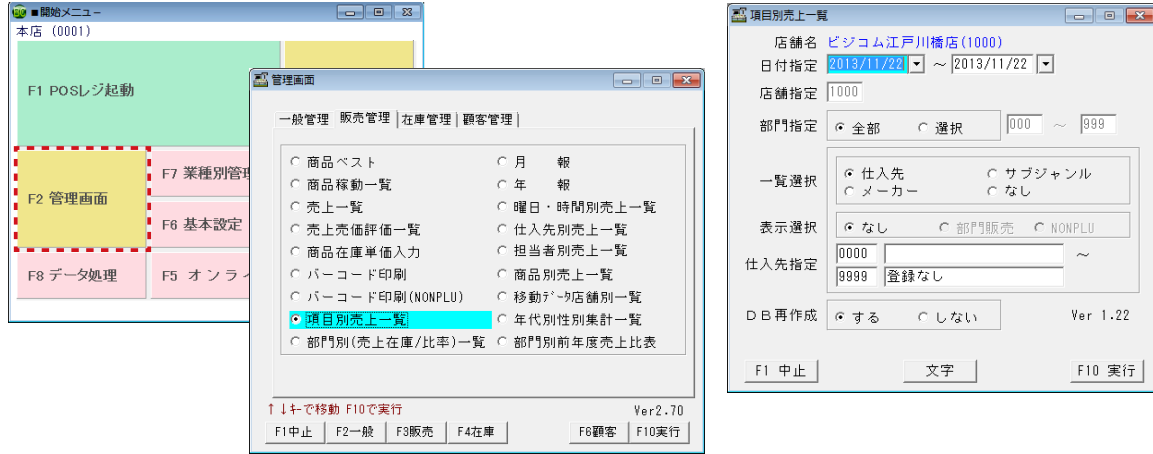
金額桁 : 4 桁

部門が 100 番台に限り、頭 1 桁目を省略した下 2 桁での表示を受け付けます。

部門が 2 桁と設定されると読み取った 2 桁の数値に自動的に 100 を加え、3 桁として判断します。

12-9 項目別売上一覧

項目(仕入先・サブジャンル・メーカー)別に、売上一覧を表示します。
 マスタを持たない部門売・NON-PLU バーコードの商品だけを一覧表示できます。



販売管理オプション

店舗名	基本設定で登録してある店舗名と店舗コードが表示されます。
日付指定	集計するデータの期間を設定します。ここで設定された期間がデータとして集計されます。指定できる期間は1年までです。
店舗指定	集計する店舗コードが表示されます。
部門指定	集計するデータの部門範囲を選択します。 選択する場合は「選択」にチェックを入れると範囲を入力出来るようになります。
一覧選択	仕入先 …登録した仕入先コード別に売上一覧を表示します。 サブジャンル …登録したサブジャンル別に売上一覧を表示します。 メーカー …登録したメーカー別に売上一覧を表示します。 なし …項目別に表示せず、指定された範囲の売上一覧を商品コード順に表示します。
表示選択	通常は「なし」のみ表示されます。上記「一覧選択」において「なし」を選択すると他項目も表示されます。 なし …項目別に表示せず、指定された範囲の売上一覧を商品コード順に表示します。 部門販売 …部門売で売上げた商品のみの売上一覧が表示されます。 NON-PLU …NON-PLU バーコードで売上げた商品のみの売上一覧が表示されます。
項目範囲指定	一覧選択で選択した項目の範囲を指定します。「なし」の場合はマスクがかかります。
DB 再作成	プログラムの性質上、データを集計する場合には特定のデータベースに指定された期間のデータを作成します。そのデータを作成しなおすかどうかの設定です。 同一期間を指定して表示させる場合は何度も集計すると時間がかかるので「しない」にしておくとデータを再作成しません。 す …新たな指定期間でデータベースにデータを作成し、そのデータを検索します。 しない…前回と同じ指定期間でデータを検索します。

204 販売管理オプション (項目別売上一覧)

項目別売上一覧 (仕入先別)

店舗コード	店舗名	仕入先コード	仕入先名						
1000	ビジコム江戸川橋0008		ミュージック						
商品コード	商品名サブ	型番1	型番2	インスタア	原価	原価計	数	単価	金額
600000010006	4987123143127				1575	1575	1	3000	2980
★小計						1575	1		2980
1000	ビジコム江戸川橋0008		物ストック						
商品コード	商品名サブ	型番1	型番2	インスタア	原価	原価計	数	単価	金額
600000010003	4987174693084				367	367	1	700	630
★小計						367	1		630
☆総合計						1942	2		3610

※項目別売上一覧をテキストファイルにすることができます。

一覧表示画面で [F7 テキスト] を選択すると、テキストファイル作成画面が表示されます。

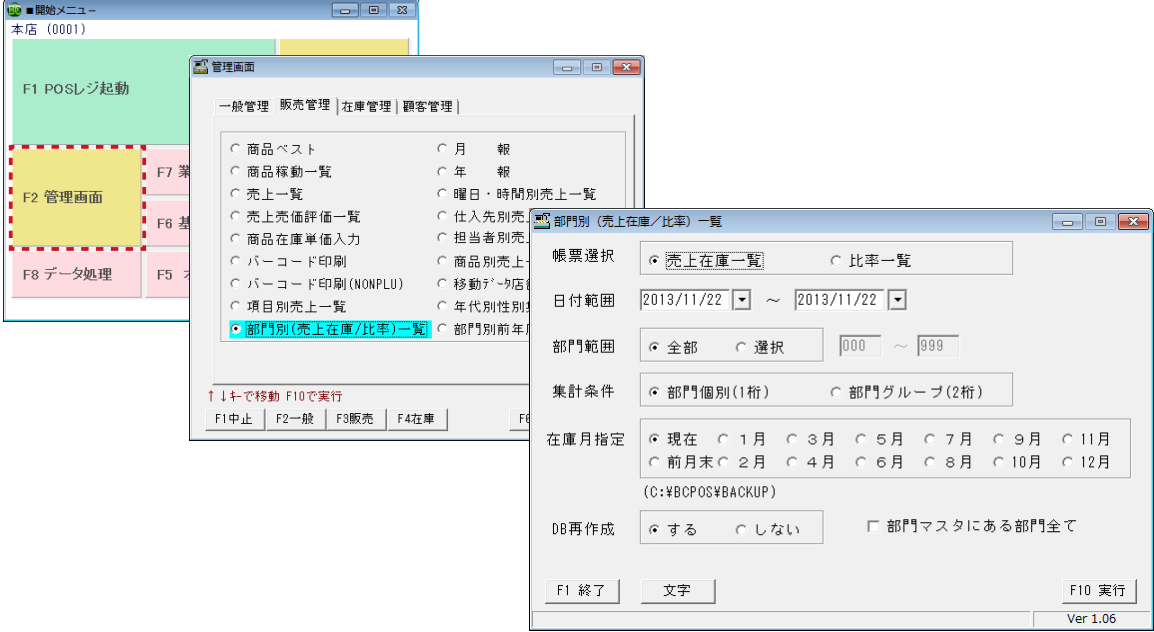
ファイル名	初期値として C : ¥BCPOS¥TEXT¥○○○○○ (数字で日付が入ります).TXT が設定されています。
出力条件	新規…新しいファイルを作成します。 追加…新規でデータを作成してすでにファイルがある場合、同じファイルにデータを追加します。
ヘッダ切出	する…一覧の項目名をデータとして作成します。 しない…商品明細データのみを作成します。
ハイフン除去	する…商品コード間のハイフンを取り除く場合に指定します。 “111-000001-000” → “111000001000” しない…商品コード間のハイフンをそのままデータとします。 “111-000001-000”

Column

- 商品マスタに登録している仕入先・メーカー・サブジャンルを基に集計します。

12-10 部門別 (売上在庫 / 比率) 一覧

部門別の帳票一覧を表示します。



販売管理オプション

帳票選択	売上在庫一覧…部門ごとの売上、粗利、仕入、買取、移動などの金額が表示する一覧。 比率一覧 …部門ごとの粗利率や値入率、仕入率などが表示する一覧。
日付範囲	出力したい期間を指定します。 期間指定は1年間までです。(366日以内)
部門範囲	部門範囲を選択します。 選択する場合は「選択」にチェックを入れると範囲を入力できるようになります。
集計条件	部門個別(1桁) …部門コード頭1桁で集計し小計を出します。例: 100 ~ 199 200 ~ 299 部門グループ(2桁) …部門コード頭2桁で集計し小計を出します。例: 100 ~ 109 110 ~ 119
在庫月指定	在庫集計のために利用するデータフォルダを指定します。
DB再作成	プログラムの性質上、データを集計する場合には特定のデータベースに指定された期間のデータを作成します。 そのデータを作成しなおすかどうかの設定です。 同一期間を指定して表示させる場合は、何度も集計すると時間がかかるので「しない」にしておくくとデータを再作成しません。 する …新たな指定期間でデータベースにデータを作成し、そのデータを検索します。 しない …前回と同じ指定期間でデータを検索します。

※実行後に集計と計算を行うため、表示までに時間がかかる場合があります。

206 販売管理オプション (部門別 [売上在庫 / 比較] 一覧)

部門別売上在庫一覧

コード	売上金額	構成比	値引金額	粗利金額	仕入金額	買取金額	移出金額	移入金
部門名	売上数	値引率	粗利率	仕入数	買取数	移出数	移入数	
220	217000	40.5	0	67177	139500		0	
紳士衣料	31		0.0	31.0	31		0	
230	39200	7.1	-650	17892	10000		2500	
婦人衣料	37		-1.7	46.8	20		5	
240	280000	52.3	0	252672	0		0	
子供衣料	28		0.0	90.2	0		0	
《小計》	535200	100.0	-650	337731	149500		2500	
96	96		-0.1	63.1	51		5	
《合計》	535200	100.0	-650	337731	149500	0	2500	
	96		-0.1	63.1	51	0	5	

項目	備考
コード	
部門名	
売上金額	
売上数	
構成比	部門売上金額 ÷ 総合計売上金額 × 100
値引金額	金額変更、小計後値引、小計後割引のみ適用。
値引率	値引金額 ÷ 売上金額 × 100
粗利金額	移動平均・標準原価、税抜・税込の設定を見ます。
粗利率	粗利金額 ÷ 売上金額 × 100

項目	備考
仕入金額	
仕入数	
買取金額	オプションがない場合はマスク
買取数	オプションがない場合はマスク
移出金額	
移出数	
移入金額	
移入数	
月在庫額	指定した月の在庫金額を部門別に集計
月在庫数	指定した月の在庫数を部門別に集計

※指定期間内に処理がなかった部門は表示しません。
販売 / 返品を行い、相殺された部門も表示しません。

部門別比率一覧

コード	売上金額	構成比	値引金額	粗利金額	仕入金額	買取金額	移出金額	移入金
部門名	売上数	値引率	粗利率	仕入数	買取数	移出数	移入数	
600	3610	100.0	0	1402	0		0	
医薬品	2		0.0	38.8	0		0	
《小計》	3610	100.0	0	1402	0		0	
2	2		0.0	38.8	0		0	
《合計》	3610	100.0	0	1402	0	0	0	
	2		0.0	38.8	0	0	0	

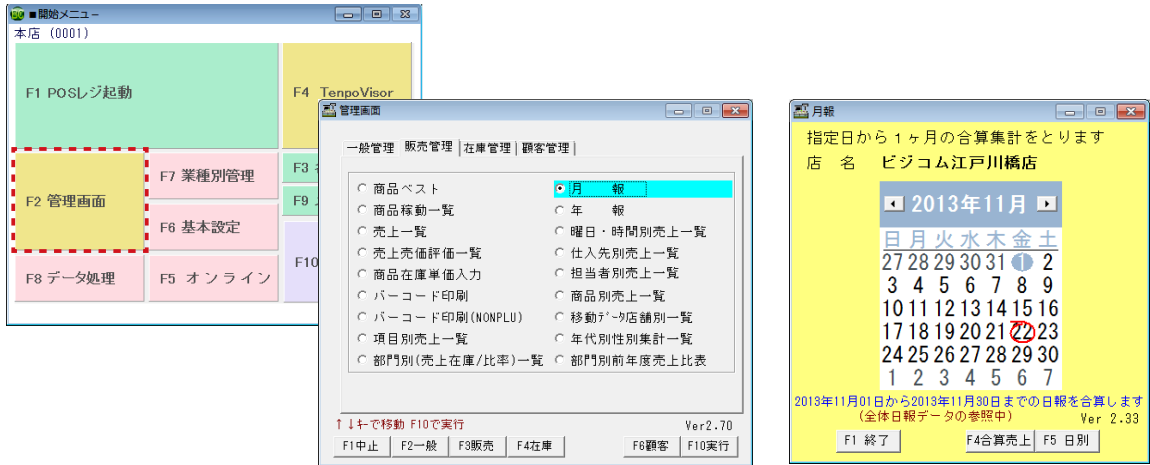
項目	備考
コード	
部門名	
売上金額	
構成比	部門売上金額 ÷ 総合計売上金額 × 100
月在庫額	指定した月の在庫金額を部門別に集計
現在在庫額	現在の在庫金額を部門別に集計
粗利金額	移動平均・標準原価、税抜・税込の設定を見ます
粗利率	粗利金額 ÷ 売上金額 × 100

項目	備考
仕入原価	仕入合計金額
買取原価	買取合計金額
値入率	(売上金額 - 仕入原価 + 買取原価) ÷ 売上金額 × 100
仕入率	(仕入原価 + 買取原価) ÷ 売上金額 × 100
交差率	粗利率 × (売上金額 ÷ 販売処理した商品のマスタの売値合計)
ロス原価合計	廃棄処理の合計金額
ロス率	ロス原価合計 ÷ 売上金額 × 100

※指定期間内に処理がなかった部門は表示しません。
販売 / 返品を行い、相殺された部門も表示しません。

12-11 月報

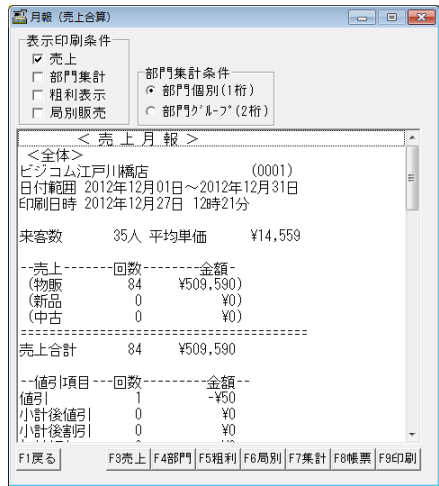
月報は指定日から一ヶ月間の日報の合算集計を取ります。
 月報画面で水色に表示されているところが日報の存在する日です。



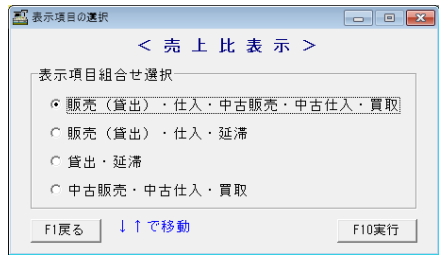
販売管理オプション

合算売上 [F4 合算売上] を押すと日報を集計して下の画面に移ります。
 ※日付を指定した場合はその日付から一ヶ月間の合算売上を参照できます。

[F9 印刷] でレシートプリンタからの印刷か
 レーザープリンタからの印刷か、2種類が選択できます。



リサイクル OP もご利用の場合は、上の画面で「F8 帳票」
 を押すと右の画面が表示されます。
 次の画面で表示される帳票で表示させたい項目を
 指定して「F10 実行」を押してください。



208 販売管理オプション (月報)

月報 部門集計一覧

部門	部門名	仕入数	仕入金額	仕入比	販売数	販売金額	売上比	中仕数	中仕金	仕入比	中販数	中販
600	医薬品	300	162,950	9.89%	9	11,506	0.38%					
610	健康食品	0	0	0.00%	0	0	0.00%					
650	処方薬品	0	0	0.00%	0	0	0.00%					
660	医療用具	0	0	0.00%	0	0	0.00%					
690	医療その他	150	0	0.00%	5	2,400	0.08%					
	小計											
		450	162,950		14	13,906						
700	事務用品	231	787,700	47.80%	109	1,076,145	35.09%					
710	^^	450	568,600	34.50%	438	1,277,657	41.66%					
720	事務用補償	250	128,700	7.81%	258	228,069	7.44%					
	小計											
		931	1,485,000		805	2,581,871						
800	ソフト	0	0	0.00%	16	3,481	0.11%					
810	証明写真	0	0	0.00%	10	16,200	0.53%					
820	ルーム調練	0	0	0.00%	0	0	0.00%					
830	メディア印刷	0	0	0.00%	0	0	0.00%					
	小計											

日別売上

[F5 日別] を押すと日別選択項目画面に移ります。
 ここで表示したい項目を選択します。
 レーザープリンタで選択できるのは最大 6 項目まで、レシートプリンタで選択できるのは最大 3 項目まで。

項目を選択して [F10 実行] を押すと選択された項目が日別に表示されます。

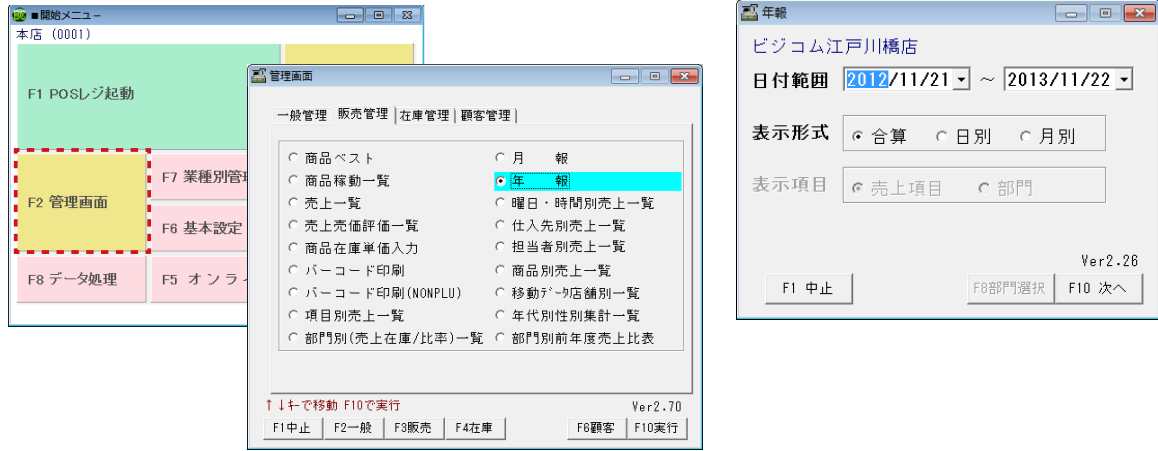
月報 日別選択項目			
最大6項目まで指定可			
<input checked="" type="checkbox"/> 売上合計	<input type="checkbox"/> 返品	<input type="checkbox"/> 発券チケット	<input type="checkbox"/> 内税抜売上
<input checked="" type="checkbox"/> クレジット	<input type="checkbox"/> 使用クレジット	<input type="checkbox"/> 外宣	
<input checked="" type="checkbox"/> チケット	<input type="checkbox"/> 仕入	<input type="checkbox"/> 貸出	<input type="checkbox"/> 商品券
<input type="checkbox"/> 外消費税	<input type="checkbox"/> 移動入	<input type="checkbox"/> 延滞	<input type="checkbox"/> 約調整
<input checked="" type="checkbox"/> 内消費税	<input type="checkbox"/> 移動出	<input type="checkbox"/> 強返	<input type="checkbox"/> 商品券約調整
<input checked="" type="checkbox"/> 純売上	<input type="checkbox"/> 廃棄	<input type="checkbox"/> BOX返却	<input type="checkbox"/> 粗利
<input checked="" type="checkbox"/> 現金収支	<input type="checkbox"/> 出金	<input type="checkbox"/> 売掛	
<input type="checkbox"/> 入金	<input type="checkbox"/> 外税対象金額	<input type="checkbox"/> 未収	
<input type="checkbox"/> 出金項目	<input type="checkbox"/> 内税対象金額	<input type="checkbox"/> デビッド	
<input type="checkbox"/> 値引	<input type="checkbox"/> 非課税対象金額	<input type="checkbox"/> 来客数	
<input type="checkbox"/> サービス	<input type="checkbox"/> 買取	<input type="checkbox"/> 委託	

月報日別売上画面で [F9 印刷] を押すと印刷する方法を聞いてきます。
 [ジャーナル] か [レーザー] のどちらかを選択してください。
 [ジャーナル] (レシートプリンタ) は 3 項目までしか同時に印刷されませんのでご注意ください。

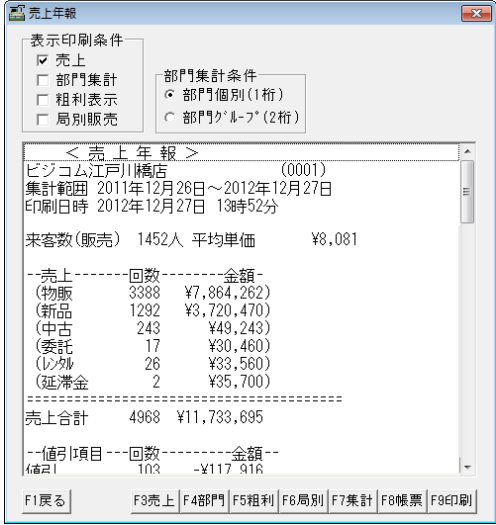
月報日別売上	不明	不明	不明	不明	不明	不明
1 木	6000	0	0	285	6000	6000
2 金	晴れ	35206	0	0	142	35206
3 月	雨	49335	5200	0	2346	49335
4 火	不明	24426	5233	0	1161	24426
5 水	不明	0	0	0	0	0
6 木	不明	6943	0	0	330	6893
7 金	不明	228957	0	4160	10676	228957
8 土	不明	0	0	0	0	0
9 日	不明	0	0	0	0	0
10 月	不明	15500	0	0	738	15500
11 火	不明	17600	0	0	836	17600
12 水	不明	1340	0	0	63	1340
13 木	晴れ	168890	76700	0	3002	167890
14 金	不明	21000	0	0	1000	21000
15 土	不明	158110	25260	0	7546	158110
16 日	不明	267215	186384	0	12514	263085
17 月	不明	33500	6600	0	1252	28300
18 火	不明	0	0	0	0	0
19 水	不明	0	0	0	0	0
20 木	不明	49805	0	0	2370	49805
21 金	不明	65065	0	0	3097	65065
22 土	不明	7000	0	0	333	7000
計		1157892	305357	4160	52691	1147512

12-12 年報

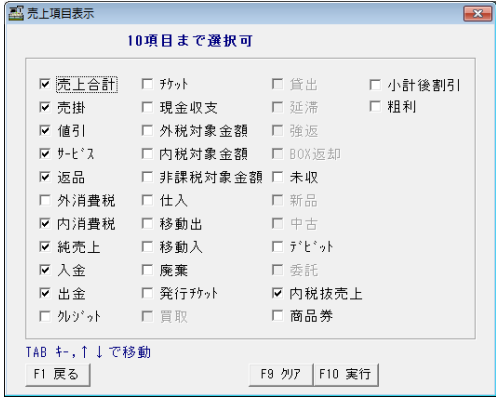
年単位での集計を行います。



合算売上 [F4 合算売上] を押すと日報を集計して下の画面に移ります。
※日付を指定した場合はその日付から一ヶ月間の合算売上を参照できます。



日付範囲	集計したい範囲を入力します。 (最長 1 年間の範囲で入力してください。)
表示形式	合算…売上の合算を表示します。 日別…日別での表を表示します。 月別…月別での合算を表示します。
表示項目	日別、月別を選択した場合のみ、 表示項目をチェックすることができます。 売上項目…次画面の売上項目選択画面から 集計項目を 10 項目まで選択します。 部門……上記「表示形式」で日別・月別を選択すると、部門に対する集計の横軸項目を「販売金額」「販売数」「仕入金額」「仕入数」の中から選択できます。 部門を選択すると「F8 部門選択」が表示され、表示する部門を最大 10 まで指定できます。



「表示形式」を合算以外に、かつ「売上項目」とした場合には、上の「売上項目表示」画面が表示されますので、項目を、最大 10 項目まで選択し「F10 実行」を押してください。

販売管理オプション

210 販売管理オプション-(年報)

年報 部門集計一覧

部門	部門名	仕入数	仕入金額	仕入比	販売数	販売金額	売上比	粗利
400	シャツ	106	339,412	4.45%	1	6,090	0.20%	0
401	レディースシャツ	185	407,925	5.35%	0	0	0.00%	0
402	トップス	112	299,824	3.93%	0	0	0.00%	0
403	コート・ジャケット	144	877,728	11.51%	0	0	0.00%	0
410	パンツ	54	291,978	3.83%	0	0	0.00%	0
411	スカート	146	628,530	8.24%	0	0	0.00%	0
440	ミュール	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0
441	ブーツ	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0
450	ヘルム・アクセサリ	116	371,432	4.87%	0	0	0.00%	0
451	バッグ・小物	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0
	小計							0
		863	3,216,829		1	6,090		0
500	デザート	0	0	0.00%	5	1,051	0.03%	0
501	パン	0	0	0.00%	3	1,260	0.04%	0
510	軽食	0	0	0.00%	11	5,388	0.18%	0
520	ユースメニュー	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0
530	和食	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0
531	洋食	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0
550	ドリンク	0	0	0.00%	3	1,700	0.06%	0

販売管理オプション

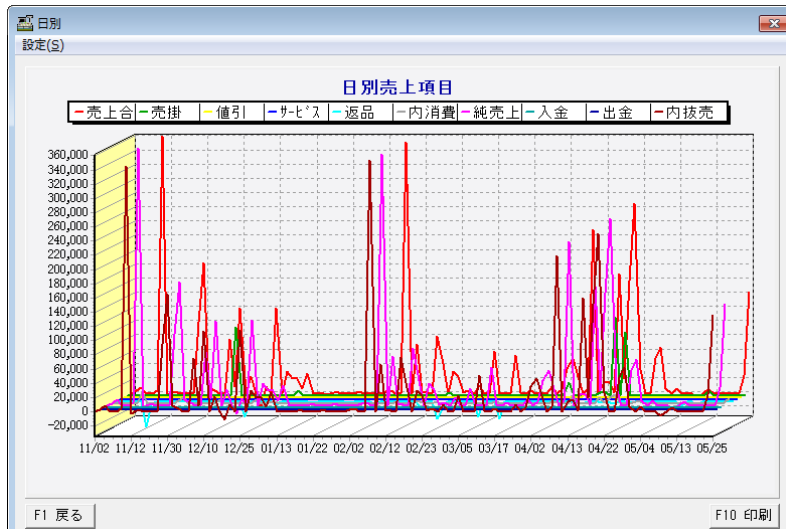
年報 日別集計一覧

[F9 印刷] でレシートプリンタからの印刷かレーザープリンタからの印刷か、2種類が選択できます。

F3 グラフ	出力結果をグラフ表示
F4 テキスト	出力結果をテキストファイル出力
F5 DOWN	明細を一行下に移動
F6 UP	明細を一行上に移動
F7 先頭	出力結果の一番上の行まで移動
F8 最後	出力結果の一番下の行まで移動
F9 印刷	印刷します

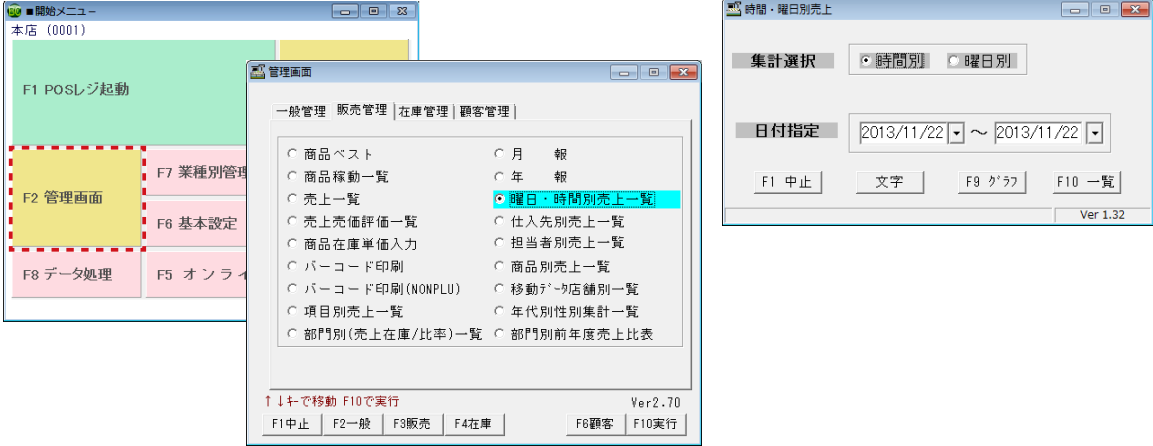
日付	時刻	曜	天気	来客数	売上合計	売掛	値引	サ・ビ・ス	返品	内消費税	純売上	入金	出金
2012/05/25	13:55	月	不明	1	5000	0	0	0	0	238	5000	0	0
2012/05/26	13:33	火	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2012/05/27	10:12	水	不明	3	10000	5000	0	0	0	453	10000	-500	0
2012/05/28	17:01	木	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2012/05/29	18:11	金	不明	4	20000	0	0	0	0	952	20000	0	0
2012/06/01	20:09	月	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2012/06/02	16:11	火	不明	4	420	0	0	0	0	10	210	0	0
2012/06/03	17:17	水	不明	3	11500	0	0	0	0	547	11500	0	0
2012/06/05	17:45	金	不明	10	125758	0	0	0	0	5385	125758	0	0
2012/06/08	16:14	月	曇 & 雨	141	89438	0	0	0	0	4204	89438	0	0
2012/06/09	17:47	火	不明	1	4000	0	0	0	0	130	4000	0	0
2012/06/10	16:37	水	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2012/06/11	17:27	木	不明	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2012/06/12	16:00	金	不明	5	24000	0	0	0	0	1140	24000	0	0
2012/06/15	16:44	月	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2012/06/16	17:41	火	不明	2	0	0	0	0	0	70	0	1500	0
2012/06/19	16:37	金	不明	-1	0	0	0	0	-4000	0	0	0	0
2012/06/22	11:59	月	不明	1	0	0	0	0	0	238	0	5000	0

年報 日別集計(グラフ)



12-13 曜日・時間別売上一覧

曜日別・時間別の来客数、売上金額、仕入金額等を表形式、またはグラフ形式で表示します。
 ※リサイクルオプション設定時には買取客数、買取金額も表示します。

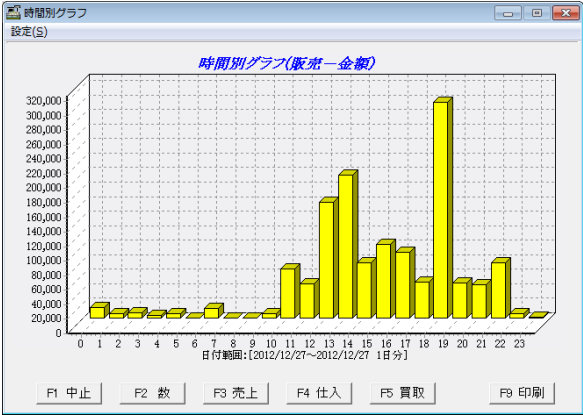


販売管理オプション

集計選択	時間別…1時間ごとの集計を表示します。 曜日別…曜日ごとの集計を表示します。
日付指定	集計期間を設定します。ここで設定した期間内の集計を曜日別・時間別に集計します。
F9 グラフ	集計結果をグラフ形式で表示します。
F10 一覧	集計結果を一覧表で表示します。

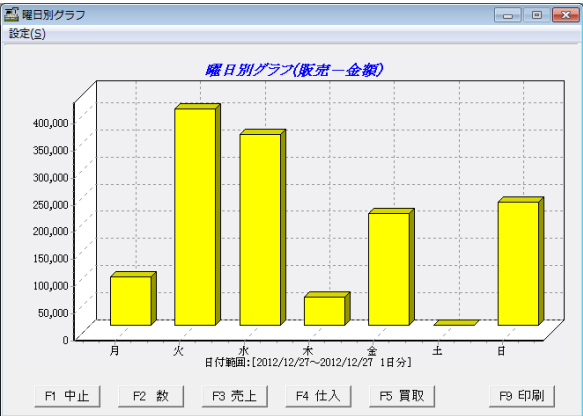
時間別集計

時間	売上来客	売上金額	仕入来客	仕入金額	買取客数	買取金額
00:00~	5	14,608	0	0	0	0
01:00~	1	5,974	0	0	0	0
02:00~	2	7,610	3	0	0	0
03:00~	2	3,940	0	0	0	0
04:00~	1	6,440	0	0	0	0
05:00~	0	0	1	0	0	0
06:00~	2	13,519	0	0	0	0
07:00~	0	0	0	0	0	0
08:00~	0	0	0	0	0	0
09:00~	1	5,800	0	0	0	0
10:00~	19	68,032	3	66,225	1	300
11:00~	17	46,862	9	324,868	0	0
12:00~	57	159,990	4	72,734	1	1,000



曜日別集計

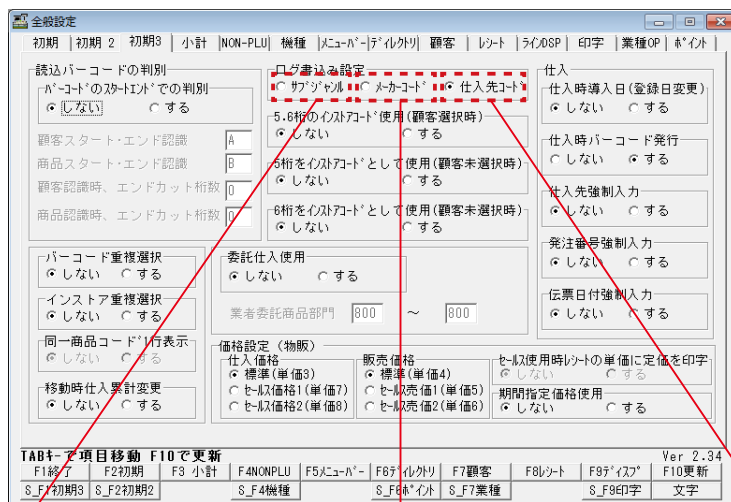
曜日	売上来客	売上金額	仕入来客	仕入金額	買取客数	買取金額
月	15	89,635	4	172,418	0	0
火	91	398,736	5	727,925	0	0
水	65	351,050	9	104,905	1	300
木	17	51,333	4	11,510	0	0
金	91	205,476	1	23,400	1	1,000
土	0	0	0	0	0	0
日	73	225,835	21	-160,968	0	0



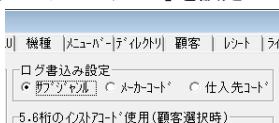
12-14 サブジャンル別/メーカー別/仕入先別/売上一覧の切り替え方法

サブジャンル別/メーカー別/仕入先別/に売上一覧を表示させます。
 サブジャンル別/メーカー別/仕入先別/売上一覧の表示設定は、基本設定の[初期3]内のログ書込み設定で各設定を行います。(ログ書込み設定は<サブジャンル><メーカーコード><仕入先コード>のいずれかを選択します)

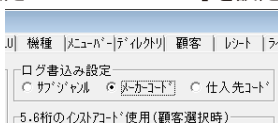
販売管理オプション



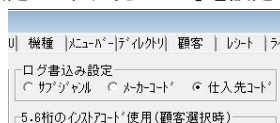
基本設定の[初期3]内のログ書込み設定で「サブジャンル」を設定



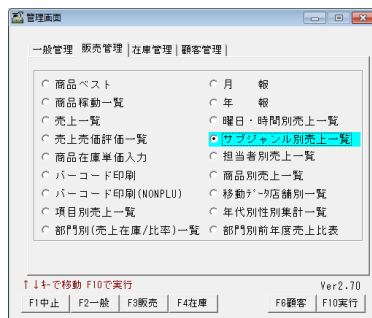
基本設定の[初期3]内のログ書込み設定で「メーカーコード」を設定



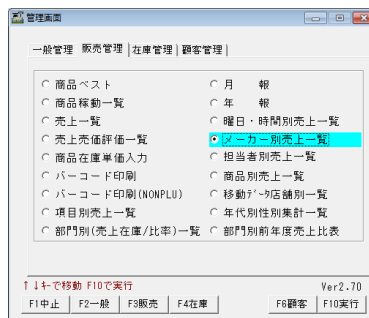
基本設定の[初期3]内のログ書込み設定で「仕入先コード」を設定



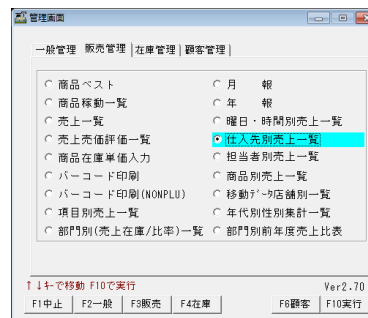
販売管理の[管理メニュー]が「サブジャンル別売上一覧」に設定されます。



販売管理の[管理メニュー]が「メーカー別売上一覧」に設定されます。



販売管理の[管理メニュー]が「仕入先別売上一覧」に設定されます。



Column

●「仕入先別売上一覧」の集計はログデータに記録された仕入先を元にして集計します。

※ 仕入処理を表示する場合、以下の点にご注意ください。

追加基本設定の[マスタの主仕入先を仕入検索した仕入先に変更]が「しない」設定の場合、マスタに登録されている主仕入先で集計します。マスタに登録がないと[登録なし]の仕入先で表示します。「する」設定の場合はレジ画面にて仕入先を呼び出して処理した仕入先で集計します。マスタに登録があっても、仕入先を呼び出して処理を行わないと[登録なし]で表示します。

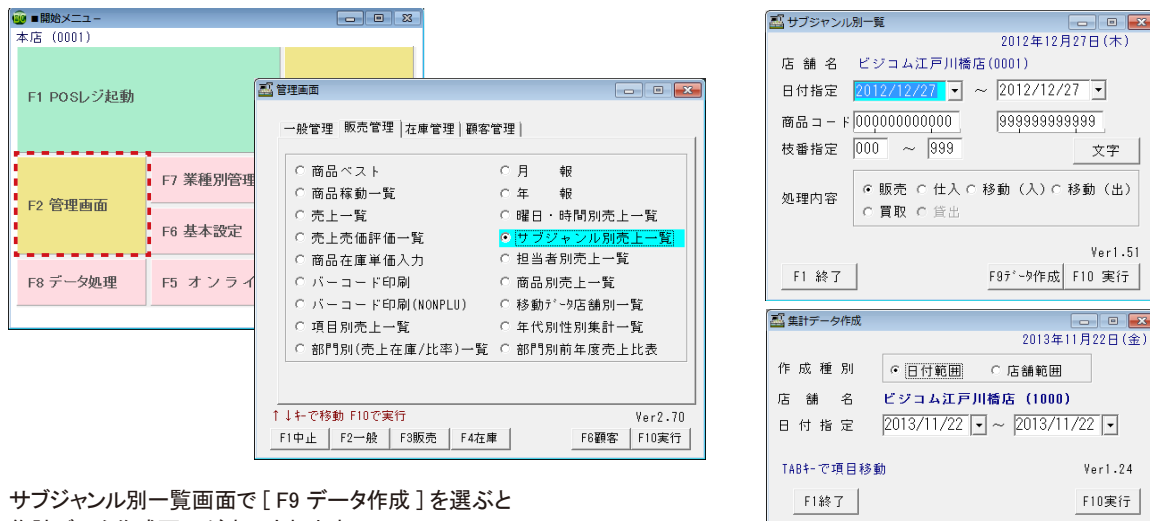
サブジャンル別売上一覧

サブジャンル別に売上を表示します。

初めにサブジャンル別売上一覧を表示させるデータを作成します。

[F9 データ作成] を押してサブジャンル別集計用のデータを作成します。

※サブジャンル別売上一覧をはじめて実行する場合には、必ず最初にデータ作成を行ってください。データが作成されていないと「データが1件も存在しませんデータ作成を実行してください」というメッセージが表示されます。



サブジャンル別売上一覧画面で [F9 データ作成] を選ぶと

集計データ作成画面が表示されます。

作成種別、日付範囲指定などを行い [F10 実行] を押してください。（初期日付は当日になっています。）

データ作成が終了したら「サブジャンル別売上一覧」画面に戻り必要項目を設定し [F10 実行] を押してください。

サブジャンル別売上一覧画面	
日付指定	サブジャンル別売上一覧を表示する日付範囲を指定します。
商品コード	サブジャンル別売上一覧を表示する商品コード範囲を指定します。
枝番指定	サブジャンル別売上一覧を表示する商品の枝番範囲を指定します。
処理内容	一覧にしたい処理内容を選択します。 ※業者委託を使用するにしていると「委託預り」が表示されます。
集計データ作成画面	
作成種別	サブジャンル別売上一覧のログ集計データの作成種別を選択します。店舗範囲を選択すると [F7 店選択] が表示されますので [F7 店選択] を押して集計したい店舗範囲を選択してください。（本部管理オプション使用時）
日付指定	集計のためのデータを作成する日付範囲を設定します。

サブジャンル別売上一覧

F3 グラフ	出力結果をグラフ表示
F4 テキスト	出力結果をテキストファイル出力
F5 DOWN	明細を一行下に移動
F6 UP	明細を一行上に移動
F7 先頭	出力結果の一番上の行まで移動
F8 最後	出力結果の一番下の行まで移動
F9 印刷	印刷します

The screenshot shows a data table with the following columns: 'サブジャンルコード', 'サブジャンル名称', '商品コード', '商品名', '型番1', '型番2', '合計数', '売値', '売上金額', and '現在庫'. The data includes items like '紳士スラックス', '紳士ベルト', '紳士セーター', etc.

サブジャンルコード	サブジャンル名称	商品コード	商品名	型番1	型番2	合計数	売値	売上金額	現在庫
1 紳士衣料									
220-000002-002	紳士スラックス	SR				251	3 4,800	45,000	-4
220-000002-003	紳士ベルト	Lbr				1121	4 2,500	10,500	-8
220-000002-004	紳士セーター	NNTY					1 9,200	15,000	-3
220-000002-005	紳士コート	ショ-SBR-TT				457	2 25,000	30,000	-3
220-000002-006	紳士コート	ロンクU-BBR				J4	1 25,000	21,000	-2
220-000002-007	紳士カバン	カジヨ58J				14	1 14,000	26,250	-2
220-000003-000	スラックス	ONW/M/11234567890123456				112345678	2 2,400	10,500	-1
230-000001-000	子供 靴下	LC-42GX2W*1					1 1,000	420	-3
	小計						15	¥158,670	
3509 登録なし									
220-000001-000	紳士ジャケット	ss.05MG					1 6,667	7,000	8
	小計							¥7,000	

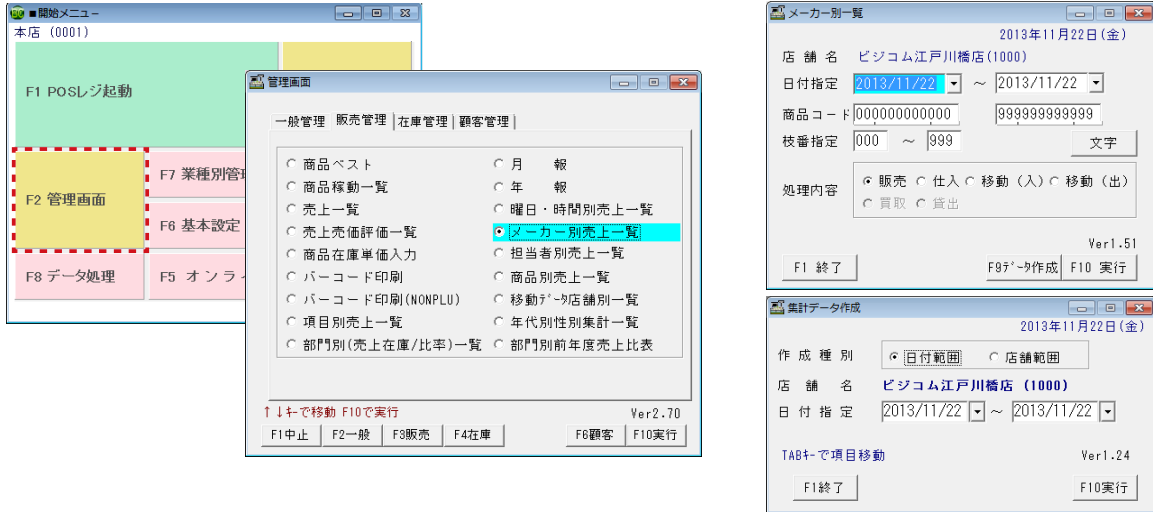
メーカー別売上一覧

メーカー別に売上を表示します。

初めにメーカー一覧を表示させるデータを作ります。

[F9 データ作成] を押してメーカー別集計用のデータを作成します。

※メーカー別売上一覧をはじめて実行する場合には、必ず最初にデータ作成を行ってください。データが作成されていないと「データが1件も存在しませんデータ作成を実行してください」というメッセージが表示されます。



販売管理オプション

メーカー別売上一覧画面で [F9 データ作成] を選ぶと集計データ作成画面が表示されます。

作成種別、日付範囲指定などを行い [F10 実行] を押してください。(初期日付は当日になっています。)

データ作成が終了したら「メーカー別売上一覧」画面に戻り必要項目を設定し [F10 実行] を押してください。

メーカー別売上一覧画面	
日付指定	メーカー別売上一覧を表示する日付範囲を指定します。
商品コード	メーカー別売上一覧を表示する商品コード範囲を指定します。
枝番指定	メーカー別売上一覧を表示する商品の枝番範囲を指定します。
処理内容	一覧にしたい処理内容を選択します。 ※業者委託を使用するにしていると「委託預り」が表示されます。
集計データ作成画面	
作成種別	メーカー別売上一覧のログ集計データの作成種別を選択します。店舗範囲を選択すると [F7 店選択] が表示されますので [F7 店選択] を押して集計したい店舗範囲を選択してください。(本部管理オプション使用時)
日付指定	集計のためのデータを作成する日付範囲を設定します。

メーカー別売上一覧

F3 グラフ	出力結果をグラフ表示
F4 テキスト	出力結果をテキストファイル出力
F5 DOWN	明細を一行下に移動
F6 UP	明細を一行上に移動
F7 先頭	出力結果の一番上の行まで移動
F8 最後	出力結果の一番下の行まで移動
F9 印刷	印刷します

The screenshot shows the 'メーカー別売上一覧 (販売)' window with a data table. The table has the following columns: メーカーコード, メーカー名称, 商品コード, 商品名, 型番1, 型番2, 合計数, 売価, 売上金額, 現在庫. The data is grouped by 'メーカーコード' (101, 114, 120).

メーカーコード	メーカー名称	商品コード	商品名	型番1	型番2	合計数	売価	売上金額	現在庫
101	登録なし								
700-000003-000	カログケース	77001	透177001			53	900	50,085	0
	小計					53		¥50,085	
114	登録なし								
700-000001-000	タイム&47 クリーン&ス/	TB-7	GR			18	23,800	449,820	0
700-000002-000	メソッドコレクター	M-450CS				8	28,000	235,200	0
	小計							¥685,020	
120	登録なし								
710-000001-000	ビック	蛍光ペンRD/BR	BRF10RED			50	550	28,850	0
710-000002-000	ニート	ペン	インク	ブルー	NBP-507C	79	500	41,475	-39
710-000003-000	メソッド	コレクター	黒	N040		50	60	3,150	0
710-000004-000	ライスマーカー	黄	YK100WYLN			100	100	10,500	0
710-000006-000	プロフィット	万年筆	11-2021-320			55	20,000	1,155,000	0

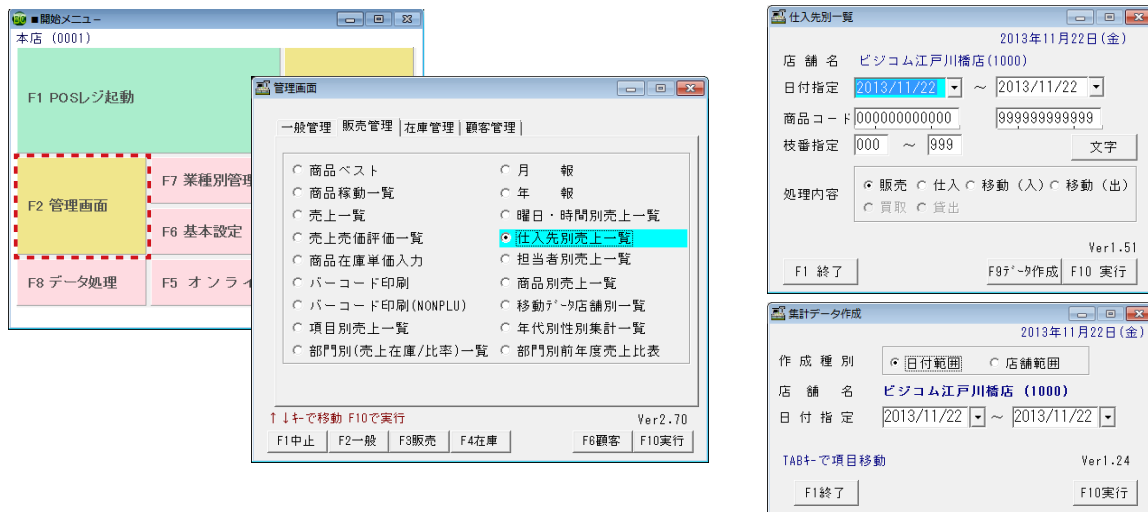
仕入先別売上一覧

仕入先別に売上を表示します。

初めに仕入先別売上一覧を表示させるデータを作ります。

[F9 データ作成] を押して仕入先別集計用のデータを作成します。

※仕入先別売上一覧をはじめて実行する場合には、必ず最初にデータ作成を行ってください。データが作成されていないと「データが1件も存在しませんデータ作成を実行してください」というメッセージが表示されます。



仕入先別売上一覧画面で [F9 データ作成] を選ぶと集計データ作成画面が表示されます。

作成種別、日付範囲指定などを行い [F10 実行] を押してください。（初期日付は当日になっています。）

データ作成が終了したら「仕入先別売上一覧」画面に戻り必要項目を設定し [F10 実行] を押してください。

仕入先別売上一覧画面	
日付指定	仕入先別売上一覧を表示する日付範囲を指定します。
商品コード	仕入先別売上一覧を表示する商品コード範囲を指定します。
枝番指定	仕入先別売上一覧を表示する商品の枝番範囲を指定します。
処理内容	一覧にしたい処理内容を選択します。 ※業者委託を使用するにしていると「委託預り」が表示されます。
集計データ作成画面	
作成種別	仕入先別売上一覧のログ集計データの作成種別を選択します。店舗範囲を選択すると [F7 店選択] が表示されますので [F7 店選択] を押して集計したい店舗範囲を選択してください。（本部管理オプション使用時）
日付指定	集計のためのデータを作成する日付範囲を設定します。

仕入先別売上一覧

F3 グラフ	出力結果をグラフ表示
F4 テキスト	出力結果をテキストファイル出力
F5 DOWN	明細を一行下に移動
F6 UP	明細を一行上に移動
F7 先頭	出力結果の一番上の行まで移動
F8 最後	出力結果の一番下の行まで移動
F9 印刷	印刷します

The screenshot shows the '仕入先別売上一覧 (販売)' screen with a data table. The table has columns for '仕入先コード', '仕入先名称1', '仕入先名称2', '商品コード', '商品名', '型番1', '型番2', '合計数', '売価', '売上金額', and '現在庫'. The data is grouped by '登録なし' (No Registration) for different suppliers.

仕入先コード	仕入先名称1	仕入先名称2	商品コード	商品名	型番1	型番2	合計数	売価	売上金額	現在庫
101 登録なし										
700-000003-000	カロッケース	77001	透177001				53	900	50,085	0
小計							53		¥50,085	
114 登録なし										
700-000001-000	タイク&7	クリン&ス	TB-7	GR			18	23,800	449,820	0
700-000002-000	アソシエーション		M-450CS				8	28,000	235,200	0
小計									¥685,020	
120 登録なし										
710-000001-000	ビック	蛍光ペン	RD/BR	BRF10RED			50	550	28,850	0
710-000002-000	ニート	ノート	インク	HP-NBP-507C			79	500	41,475	-39
710-000003-000	キーン	ペン	芯	黒	N040		50	60	3,150	0
710-000004-000	ライマ	カー	黄	YK100WYLN			100	100	10,500	0
710-000006-000	プロ	フィット	万年	筆	11-2021-320		55	20,000	1,155,000	0

12-15 担当者別売上一覧

担当者別に売上を表示します。

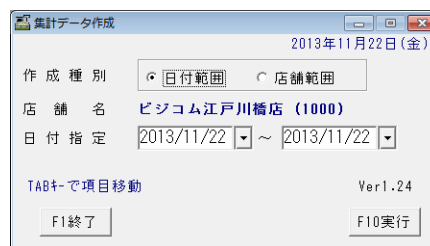
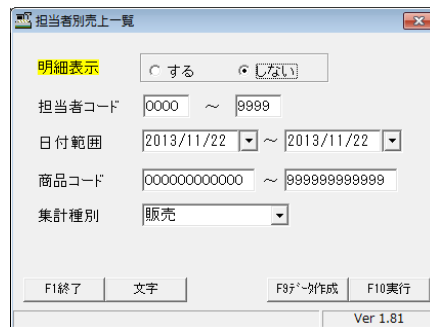
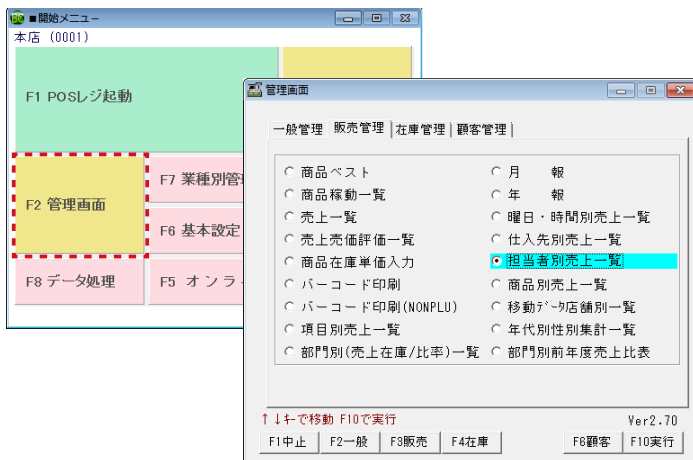
まず初めに担当者別売上一覧を表示させるデータを作ります。

[F9 データ作成] を押して担当者別集計用のデータを作成します。

※担当者別売上一覧をはじめて実行する場合には、必ず最初にデータ作成を行ってください。

データが作成されていないと「データが1件も存在しません

データ作成を実行してください」というメッセージが表示されます。



担当者別売上一覧画面で [F9 データ作成] を選ぶと集計データ作成画面が表示されます。

作成種別、日付範囲指定などを行い [F10 実行] を押してください。(初期日付は当日になっています。)

データ作成が終了したら「担当者別売上一覧」画面に戻り必要項目を設定し [F10 実行] を押してください。

担当者別売上一覧画面	
明細表示	明細表示を「する」にした場合、売上の商品明細を表示します。「する」にした場合、担当者コードの範囲は選べなくなります。
担当者コード	担当者別売上一覧を表示するコードを選択します。
日付指定	担当者別売上一覧を表示する日付範囲を指定します。
商品コード	担当者別売上一覧で表示する商品コード範囲を指定します。
集計種別	集計したい処理種別を選択します。
集計データ作成画面	
作成種別	担当者別売上一覧のログ集計データの作成種別を選択します。店舗範囲を選択すると [F7 店選択] が表示されますので [F7 店選択] を押して集計したい店舗範囲を選択してください。
日付指定	集計のためのデータを作成する日付範囲を設定します。

担当者別売上一覧

担当者コード	担当者名	数計	金額計	粗利計
0000	本部担当	87	151,596	115,969
0001	田中店長	409	598,434	335,936
0002	斎藤	117	48,230	46,172
0003	大林	12	19,638	7,795
0004	橋本	34	35,915	12,175
0007	中林	76	19,000	18,334
0008	高橋	18	189,942	92,624
0010	藤田	42	28,370	11,882
0020	工藤	63	110,112	42,147
0025	吉田	48	100,526	35,179
0029	中川	9	19,319	10,526
----	合計	915	1,821,082	728,739

F1 終了 F4 テキスト F5 UP F6 DOWN F7 先頭 F8 最後 F9 印刷

0 / 1

担当者別売上一覧（作成データ）

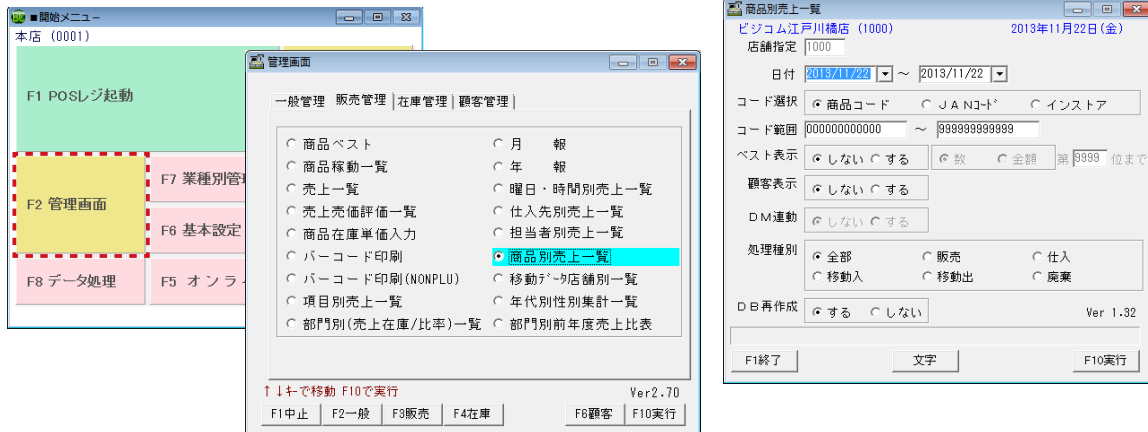
F4 テキスト	出力結果をテキストファイルに出力します。
F5 UP	明細を一行上に移動します。
F6 DOWN	明細を一行下に移動します。
F7 先頭	出力結果の一番上の行まで移動します。
F8 最後	出力結果の一番下の行まで移動します。
F9 印刷	印刷します。

Column

- 「単価」欄には、直前に処理したときの単価を表示します。
例）@ 6,900 円で販売→@ 7,200 円で販売した場合、単価欄には 7,200 円が表示されます。
(6,900 + 7,200) ÷ 2 = 7,050 円ではありません。
- 「単価」欄は、ログに書き出す単価設定が税抜・税込で数値が異なります。
- [明細表示]を「する」で表示した場合、基本設定の「粗利計算使用金額(移動平均/標準原価)」により表示金額が異なります。
- 金額は総額設定の「粗利計算金額」にて税抜・税込変更にて表示金額が異なります。
(変更すると 以前の実績も含めて再度計算されます。)

12-16 商品別売上一覧

商品別の売上一覧を表示します。

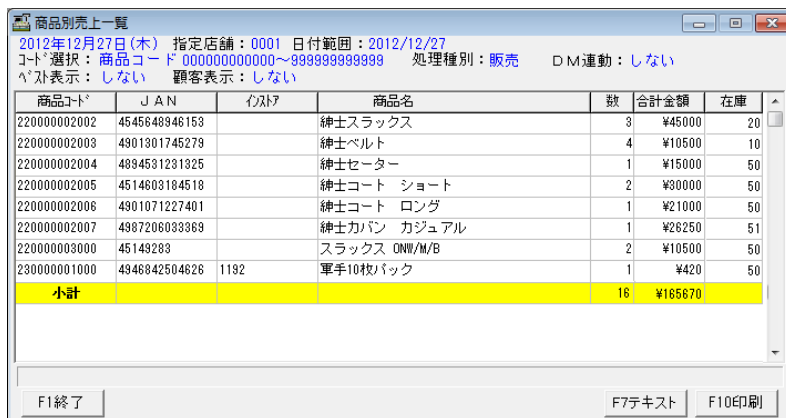


販売管理オプション

日付	日付範囲を入力します。初期値は当日の日付になっています。
コード選択	コード選択をします。商品コード、JAN、インスタを選択します。
コード範囲	コード範囲を指定します。
ベスト表示	ベスト表示をする場合「する」にチェックをいれ「数」または「金額」を選択し、第何位までを表示するかを入力します。ベスト表示をする場合、顧客表示は行えません。
顧客表示	顧客表示をする場合「する」にチェックをいれます。※顧客パスワードが必要
DM 連動	顧客表示を「する」にした場合 [DM 連動] (DM ラベル発行) をするかどうかを選択します。
処理種別	処理種別として「全部」「販売」「仕入」「貸出」「返却」「移動入」「移動出」「廃棄」「買取」を選択します。
DB 再作成	プログラムの性質上、データを集計する場合には特定のデータベースに指定された期間のデータを作成します。そのデータを作成しなおすかどうかの設定です。同一期間を指定して表示させる場合は何度も集計すると時間がかかるので「しない」にしておくとデータを再作成しません。 する…新たな指定期間でデータベースにデータを作成し、そのデータを検索します。 しない…前回と同じ指定期間でデータを検索します。

商品別売上一覧

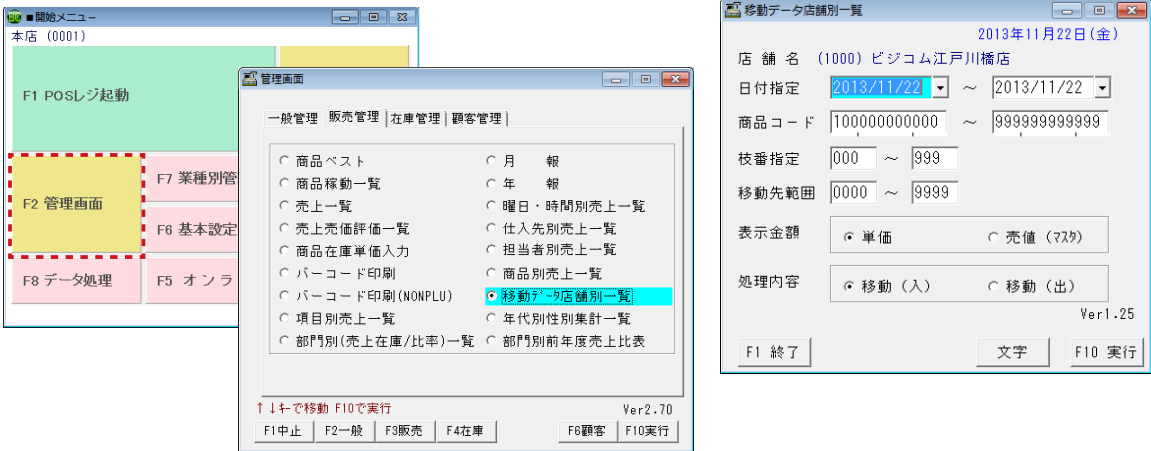
F7 テキスト	出力結果をテキストファイルに出力
F10 印刷	印刷します



Column

- 数量・金額でベスト表示することができます。
- Non-PLUや部門販売はリストには含まれません。
- 顧客表示する設定時で処理種別が「仕入・移動入・移動出」の場合には顧客の欄が仕入、移動店舗の情報に変更されます。

12-17 移動データ店舗別一覧



日付指定	移動データを特定の期間で出力する場合、日付で範囲選択します。
商品コード	移動データを特定の商品のみを出力する場合、商品コードで範囲選択します。
枝番指定	移動データを特定の枝番のみを出力する場合、枝番で範囲選択します。
表示金額	単価…その時処理した金額（金額÷数）で表示します。 売値…商品マスタの売値を表示します。
処理内容	移動（入）…移動入を出力します。 移動（出）…移動出を出力します。

販売管理オプション

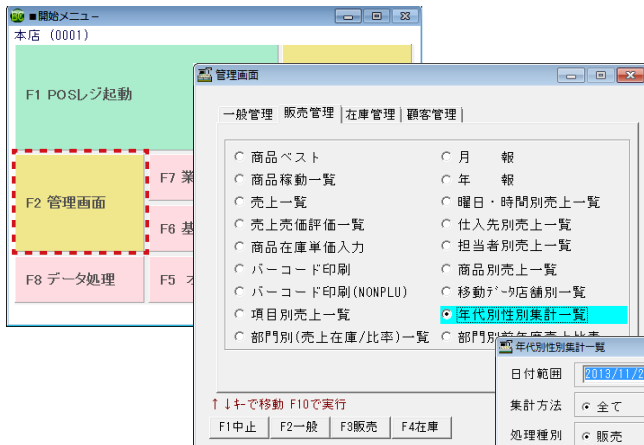
移動データ店舗別売上一覧（移動入）

F3 グラフ	出力結果をグラフ表示
F4 テキスト	出力結果をテキストファイル出力
F5 DOWN	明細を一行下に移動
F6 UP	明細を一行上に移動
F7 先頭	出力結果の一番上の行まで移動
F8 最後	出力結果の一番下の行まで移動
F9 印刷	印刷します

移動元店舗コード	店舗名	住所	TEL				
商品コード	商品名	型番1	型番2	合計数	単価	移動金額	現在庫
0003	渋谷店						
600-000010-003	アイストローチルビ			2	367	734	34
600-000010-006	アクテージAN錠			2	1,575	3,150	43
600-000010-007	アクテージSN錠			5	1,575	7,875	51
600-000010-025	エスカップ			4	105	420	48
600-000010-174	リホビタミンD			2	105	210	46
小計							
				15		¥12,389	
総合計							
		1件	アイテム数5件	15		¥12,389	

12-18 年代別性別集計一覧

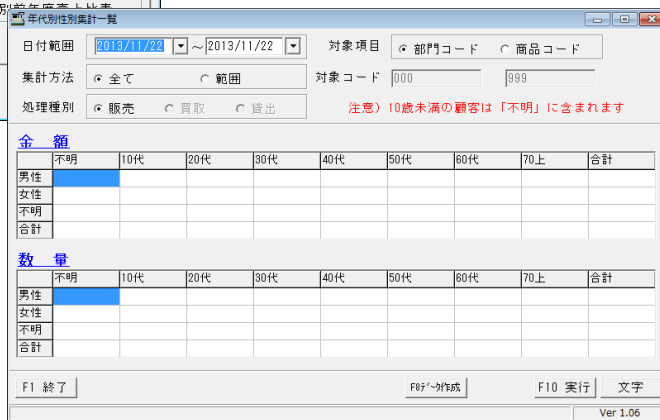
販売管理オプション



年代別性別毎の売上集計を表示します。
まず初めに年代別性別集計一覧を表示させる
データを作ります。

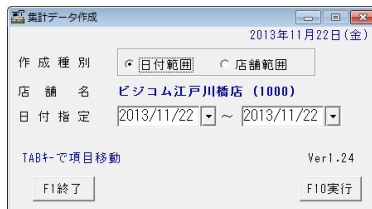
[F8 データ作成]を押して集計用のデータを作成します。
※年代別性別集計一覧をはじめて実行する
場合には、必ず最初にデータ作成を行って
ください。データが作成されていないと
データが1件も表示されません。

[F8 データ作成]を押して集計用のデータ
を作成します。



集計したい対象期間を指定して [F10 実行] を
押してください。

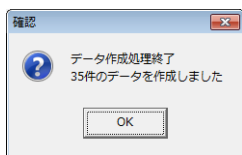
※一度集計用データを作成した後は、同じ
期間内で集計する場合には再作成する必要は
ありません。



日付範囲	事前にデータ作成した期間内で、集計したい日付範囲を指定します。
対象項目	部門または商品のどちらかを、特定の範囲で絞り込む場合に選択します。
集計方法	全て…部門または商品のどちらかを、特定の範囲で絞り込まない場合に指定します。 範囲…部門または商品のどちらかを、特定の範囲で絞り込む場合に指定します。
対象コード	部門または商品のどちらかを、特定の範囲で絞り込むためのコード範囲を指定します。
処理種別	販売・買取・貸出のいずれかを選択して集計します。

[F10 実行]を押すことで集計結果が表示されます。
データ表示後でも、F2～F4 キーにて処理種別
を変更できます。

[F7 テキスト]にて集計結果を CSV 形式で出力
できます。



TEXT フォルダに「SG 金額 *****.txt」と
「SG 数量 *****.txt」の2ファイルが出力
されます。
(***** は日付)

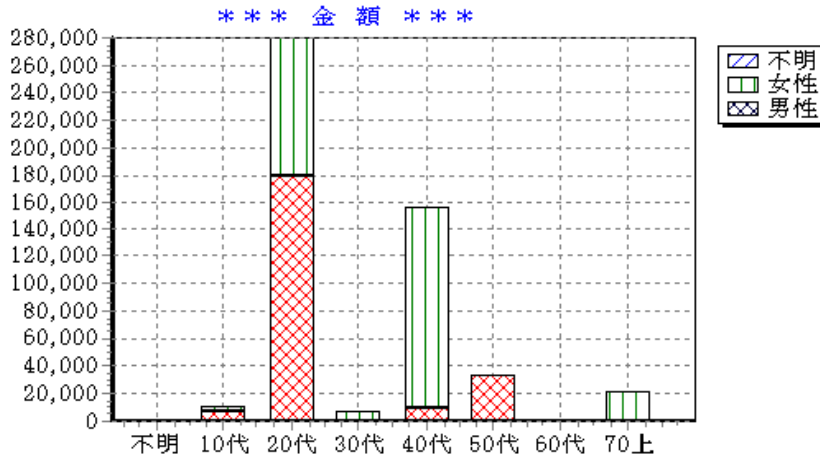


[F6 グラフ] を押すことで、集計結果をグラフ化できます。

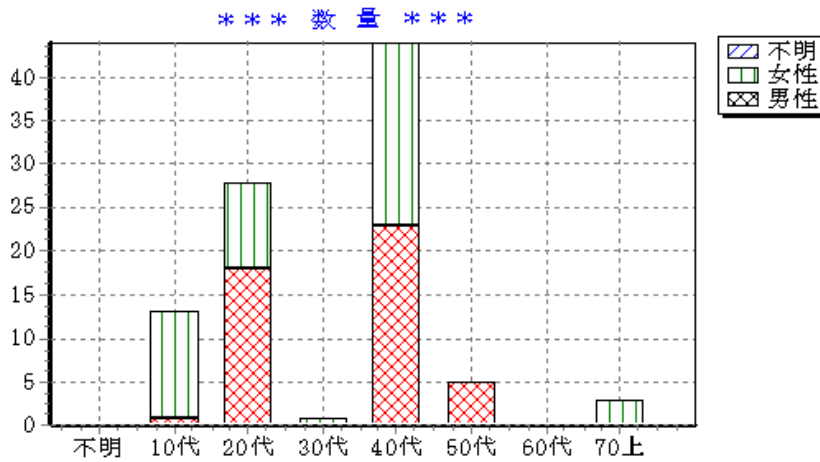
年代別性別集計

印刷日時 : 2012年12月27日(木曜日) 15時32分
 日付範囲 : 2012/12/27~2012/12/27 対象範囲 : すべて

種別 : 販売



	不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70上	合計
男性	0	7000	180000	0	9660	35000	0	0	231660
女性	0	5040	100000	7000	147000	0	0	21000	280040
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	12040	280000	7000	156660	35000	0	21000	511700

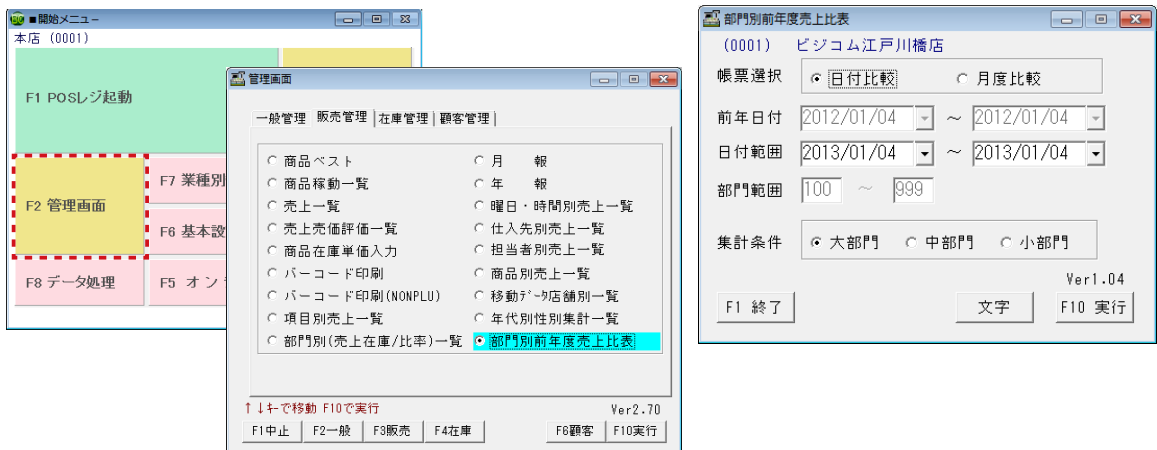


	不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70上	合計
男性	0	1	18	0	23	5	0	0	47
女性	0	12	10	1	21	0	0	3	47
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	13	28	1	44	5	0	3	94

12-19 部門別前年度売上対比較表

開始メニューより「F2 管理画面」→「F3 販売管理」の「部門別前年度売上対比較表」にチェックを入れ「F10 実行」を押してください。

※部門マスタで表示するので、販売していても部門マスタに登録がなければ表示されません。
部門を削除したりすると正しい数値が表示されないのご注意ください。



販売管理オプション

帳票選択	日付比較…日付範囲で選択した1年前と比較します。 月度比較…前年日付に入力した範囲と日付範囲で入力した範囲を比較します。
前年日付	帳票選択で月度比較にチェックした場合有効になります。
日付範囲	集計したい日付範囲を入力します。
部門範囲	集計したい部門範囲を入力します。
集計条件	大部門…部門コード頭1桁で集計します。部門名は***番台となります。 中部門…部門コード頭2桁で集計します。部門名は部門マスタの中部門名になります。 小部門…部門コード3桁で集計します。部門名は部門マスタの部門名になります。

部門別前年度売上比較(大部門)

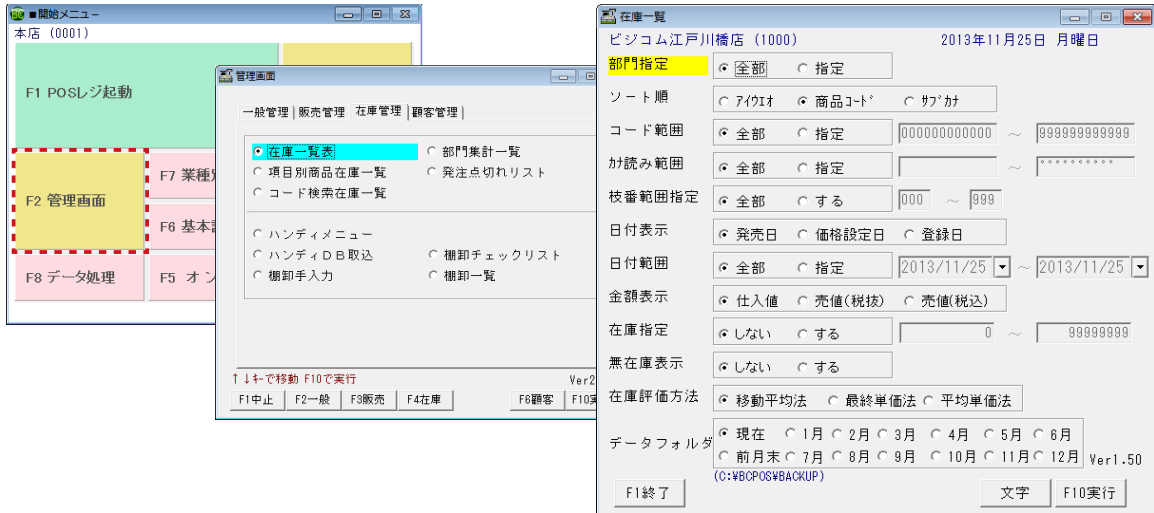
部門コード	部門名	数量	金額	前年数	前年金額	前年比
100-199	100番台	1	5480	0	0	0.0%
200-299	200番台	434	1427759	435	7934015	180.0%
300-399	300番台	35	2262047	28	-136383	-1658.6%
400-499	400番台	0	0	0	0	0.0%
500-599	500番台	0	0	0	0	0.0%
600-699	600番台	0	0	0	0	0.0%
700-799	700番台	0	0	0	0	0.0%
800-899	800番台	0	0	0	0	0.0%
900-999	900番台	0	0	0	0	0.0%
	合計	470	16,545,286	463	7,797,632	212.2%

数量	日付範囲を集計した数量
金額	日付範囲を集計した金額
前年数	1年前を集計した金額※月度比較の場合は前年日付に入れた日付範囲を集計
前年金額	1年前を集計した金額※月度比較の場合は前年日付に入れた日付範囲を集計
前年比	金額÷前年金額×100 小数点第1位まで(四捨五入固定)

13 在庫管理オプション

13-1 在庫一覧表

商品の在庫数、在庫金額を一覧表で表示します。



部門指定	全部…全部門を対象とします。 指定…右側に部門選択ボックスが表示されます。指定できるのは単一部門のみです。
ソート順	アイウエオ…商品名カナの順にデータを表示します。 商品コード…商品コード順にデータを表示します。 サブカナ…サブカナ順にデータを表示します。
コード範囲	指定…商品コードの範囲を指定します。
カナ読み範囲	指定…商品名のカナ読みで範囲を指定します。半角カナで入力します。
枝番範囲指定	枝番の範囲を指定します。
金額表示	一覧表の商品の金額表示を「仕入値」にするか「売値」(税抜・税込)にするかを選択します。
在庫指定	表示したい在庫数の範囲を指定します。
無在庫表示	しない…無在庫(在庫0)の商品を表示しません。強取によるマイナス在庫は表示されます。 する…無在庫(在庫0)の商品も表示します。
在庫評価方法	在庫評価方法を選択します。 移動平均法…在庫金額を在庫本数で割った金額で在庫計算します。 最終単価法…商品マスタの仕入値で在庫計算します。 平均単価法…仕入総累計を仕入総本数で割った金額で在庫計算します。(設定により移入も含む)
データフォルダ	在庫集計のために利用するデータフォルダを指定します。 ※ BCPOS は安全のために月の始まりの初日に月次更新処理でバックアップを保存します。 そのバックアップしたデータを利用して過去12ヶ月の在庫金額を見ることができます。 一年でデータは上書きされて消えてしまいます。基本設定-初期2にて「更新時の自動バックアップ」する、しないの設定が「しない」に設定されているとバックアップを保存しません。

現在	今使用しているデータを元に在庫集計します。このデータはリアルタイムに処理されているデータですので販売するたびに常にデータは変動しています。
前月末	前回の月次更新時にバックアップされたデータを参照します。たとえば今が3月で「前月末」を選択した場合は2月末のデータを参照します。(これは2月のデータを選択したのと同様です。)
各月	月次更新時にバックアップされた過去12ヶ月のデータを参照します。たとえば4月、5月が選択できるようになっている場合は4月末、5月末の在庫データを参照することができます。選択できない月はバックアップされたデータが存在していません。

※選択できない月があった場合は、データフォルダの下にある()の中のディレクトリをご確認ください。ディレクトリの指定が違い、別の場所にDATAがある場合も在庫データを参照することはできません。

Column

一般管理の「商品リスト」と在庫管理オプションの「在庫一覧表」の違いは？

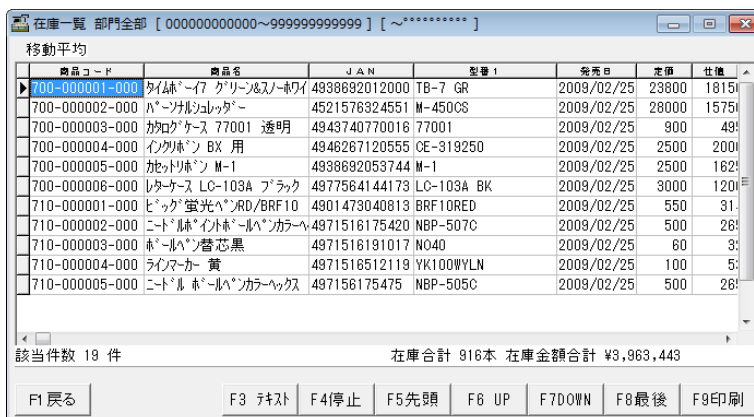
P-222 での説明にて「商品リスト」でも現在庫のリストを表示することができますが、以下の部分で違いがあります。

	商品リスト	在庫一覧表
作成可能在庫リスト	現在の在庫リスト	過去1年間の在庫リスト
在庫評価方法	最終単価法	最終単価法・移動平均法・平均単価法

「商品マスタの仕入値以外でも在庫リストを表示させたい」「〇月末時点の在庫を遡って参照したい」等の場合には、在庫管理オプションの「在庫一覧表」を活用ください。

在庫一覧表

※在庫一覧をテキストファイルデータにすることができます。
一覧表示画面で [F3 テキスト] を選択すると、テキストファイル作成画面が表示されます。



ファイル名	初期値として C:\BCPOS\TEXT が設定されています。
出力条件	新規…新しいファイルを作成します。 追加…新規でデータを作成してすでにファイルがある場合、同じファイルにデータを追加します。
ヘッダ切出	する…一覧の項目名をデータとして作成します。 しない…商品明細データのみを作成します。
ハイフン除去	する…商品コード間のハイフンを取り除く場合に指定します。“111-000001-000” → “111000001000” しない…商品コード間のハイフンをそのままデータとします。“111-000001-000”

Column

「移動平均法」とはどのような在庫金額単価の計算方法ですか？

移動平均法とは仕入処理を行う毎に在庫単価をその都度計算する方法になります。
仕入値の変動が発生する場合にはより正確な在庫単価を計算することが可能な方法です。

例) 移動平均法による「電卓」を仕入れた時の在庫単価の動き

① 「電卓」を商品マスタの仕入値である @300 円で 5 個仕入処理の場合

移動平均法の在庫金額は…1,500 円

移動平均法の在庫単価は…1,500 円 ÷ 5 個 = 300 円

仕入価格	300	45%	移動平均	300
販売価格	5200	57%	在庫金額	1500

② 同じ「電卓」を今回は @270 円で 3 個仕入処理の場合

移動平均法の在庫金額は…1,500 円 + 270 円 × 3 個 = 2,310 円

移動平均法の在庫単価は…2,310 円 ÷ 8 個 = 約 288 円

仕入価格	300	45%	移動平均	288
販売価格	5200	57%	在庫金額	2310

③ さらに同じ「電卓」を今回は @210 円で 2 個仕入処理の場合

移動平均法の在庫金額は…2,310 円 + 210 円 × 2 個 = 2,730 円

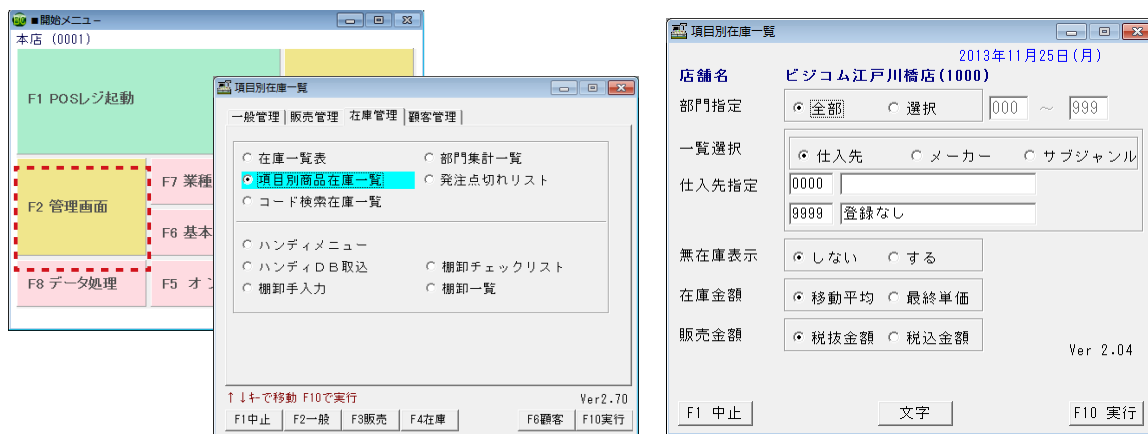
移動平均法の在庫単価は…2,730 円 ÷ 10 個 = 273 円

仕入価格	300	45%	移動平均	273
販売価格	5200	57%	在庫金額	2730

※以上のように「移動平均法」の場合、仕入の度に仕入金額に変更があった場合、総仕入金額 ÷ 仕入個数で算出するので、正確な在庫金額の算出が可能です。

13-2 項目別商品在庫一覧

仕入先やメーカー、サブジャンルごとに在庫数を表示させ、通常の在庫一覧よりも詳細な在庫の情報を見ることができます。



部門指定	全部…すべての部門を抽出します。 選択…抽出したい部門の範囲を選択します。
一覧選択	仕入先 ……仕入先を指定します。 メーカー ……メーカーを指定します。 サブジャンル…サブジャンルを指定します。 それぞれ指定した項目の範囲を下の入力ボックスに入力、または選択します。
無在庫表示	しない ……在庫のあるものだけを表示します。 する ……無在庫の商品も表示します。
在庫金額	移動平均…在庫金額を在庫本数で割った金額で在庫計算します。 最終単価…現仕入値で在庫計算します。

項目別商品在庫一覧(仕入先別)

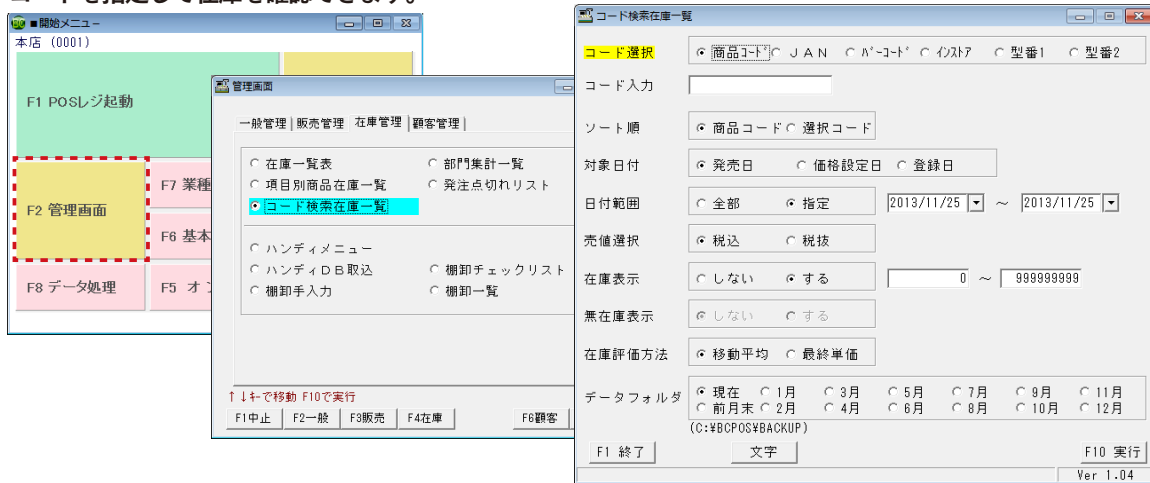
※在庫一覧をテキストファイルにすることができます。
一覧表示画面で[F8テキスト]を選択すると、テキストファイル作成画面が表示されます。

コード	仕入先名	商品名サブ	販売金額	販売金額計	在庫数	在庫金額
0100	葛飾商事					
220000001000	紳士ジャケット ss/M	ジャケット	6667	60003	9	40500
220000002000	Yシャツ 36/L	Yシャツ	4000	48000	12	112100
220000002002	紳士スラックス	スラックス	4800	33600	7	10500
220000002003	紳士ベルト	ベルト	2500	12500	5	6000
220000002004	紳士セーター	セーター	9200	73600	8	32800
220000002005	紳士コート ショート	コート	25000	25000	1	15750
220000002006	紳士コート ロング	コート	25000	150000	6	132300
220000002007	紳士カバン カジュアル	カバン	14000	28000	2	16000
220000003000	スラックス ONW/M/B	スラックス	2400	7200	3	2400
220000003001	紳士長靴	長靴	1800	7200	4	2400
220000003002	子供スニーカー	スニーカー	3600	21600	6	6000
220000004000	傘メンズ	傘	500	8000	16	16740
★小計				474703	79	338490
0318	台東貿易					
220000005000	マフラー	マフラー	2500	10000	4	7000
220000007000	手袋スエード	手袋	6000	6000	1	2000
★小計						

ファイル名	初期値としてC:\¥BCPOS¥TEXT が設定されています。
出力条件	新規 ……新しいファイルを作成します。 追加 ……新規でデータを作成してすでにファイルがある場合、同じファイルにデータを追加します。
ヘッダ切出	する ……一覧の項目名をデータとして作成します。 しない…商品明細データのみを作成します。
ハイフン除去	する ……商品コード間のハイフンを取り除く場合に指定します。“111-000001-000” → “111000001000” しない…商品コード間のハイフンをそのままデータとします。“111-000001-000”

13-3 コード検索在庫一覧

商品コード・JAN・バーコード・インストア・型番1・型番2のいずれかで、コードを指定して在庫を確認できます。



コード選択	検索対象コードチェック ※複数は選択できません。
コード入力	あいまい検索 例：コード選択を商品コードにしコード入力を「200」で実行 200-000001-000 201-000200-000 300-020019-000 400-000001-200 上記すべて対象になります。
ソート順	商品コード、コード選択の順番で並べます。
対象日付	一覧表の商品に対する日付表示を選択。
日付範囲	対象日付で選択した日付の範囲を指定。
売値選択	表示する売値を選択します。
在庫表示	表示したい在庫数の範囲を指定。
無在庫表示	しない場合は無在庫(在庫0)の商品を表示しません。マイナス在庫も表示しません。
在庫評価方法	移動平均…在庫金額を在庫本数で割った金額で計算 最終単価法…現仕入値で計算
データフォルダ	在庫集計のために利用するデータフォルダを指定。

在庫管理オプション

コード検索在庫一覧

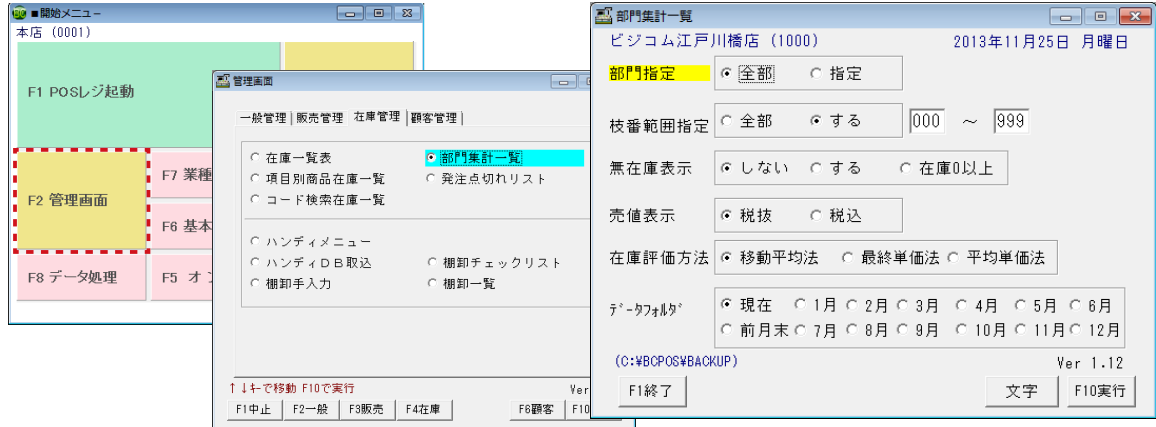
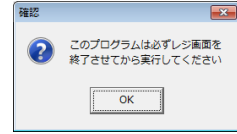
商品コード	商品名	JAN	型番1	型番2
220000000000	形状記憶 Yシャツ			
220000001000	紳士ジャケット ss/M	4959127102608	05MG	
220000002000	Yシャツ 36/L	45149276	JK	48
220000002002	紳士スラックス	4545648948153	SR	25
220000002003	紳士ベルト	4901301745279	Lbr	11
220000002004	紳士セーター	4894531231325	NNTY	
220000002005	紳士コート ショート	4514603184518	SBR-TT	45
220000002006	紳士コート ロング	4901071227401	KU-BBR	J4
220000002007	紳士カバン カジュアル	4987206033369	58J	14
220000003000	スラックス ONW/M/B	45149283	123456789012345678	11
220000003001	紳士長靴	4987033904016	12-34-56	7
220000003002	子供スニーカー	4511413402535	12-34-56	7
220000004000	傘メンズ	4945247676991		
220000005000	マフラー	4900006408515	123456789012345678	11
220000007000	手袋スエード	4901480125237	123456789012345678	11

該当件数 20件 在庫合計 113本 在庫金額合計 ¥449,953

13-4 部門集計一覧

部門ごとの在庫数、在庫金額を一覧表で表示します。

「部門集計一覧」を実行するには右のようにレジ画面を終了させるメッセージが表示されます。必ずレジ画面を終了してから実行してください。
複数台で使用している場合、すべてのレジ画面を閉じてから実行してください。
(レジ画面終了の有無に関わらず表示されます)

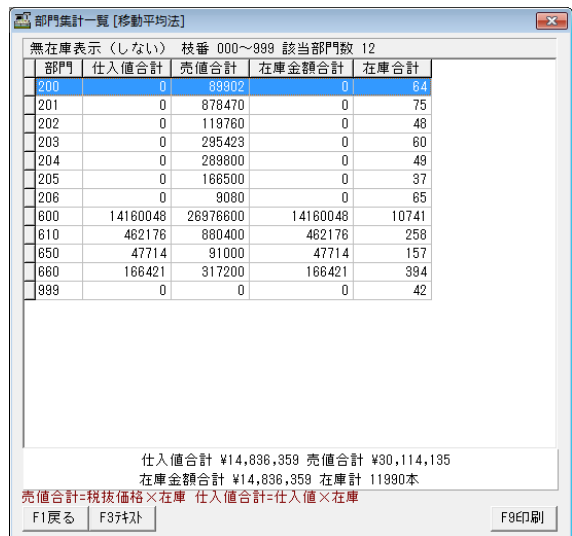


部門指定	全部…すべての部門を対象とします。 指定…部門を指定します。右側に部門選択ボックスが表示されます。
枝番範囲指定	全部…すべての枝番を対象とします。 する…枝番の範囲を指定します。
無在庫表示	しない…在庫のあるものだけを表示します。 する…無在庫の商品も表示します。
売値表示	売値に使用する金額を選択します。
在庫評価方法	選択する項目により表の内容が変更されます。 移動平均法…仕入値合計、売値合計、在庫金額合計を表示 最終単価法…在庫金額合計を売値×在庫数で表示 平均単価法…仕入平均×在庫数、売値平均×在庫数を表示 仕入平均とは仕入累計金額÷総仕入数 売値平均とは販売累計金額÷総販売数
データフォルダ	部門集計のために利用するデータフォルダを指定します。 ※月の月次データが無いとその月の選択はできません。

在庫管理オプション

部門集計一覧 移動平均法の場合

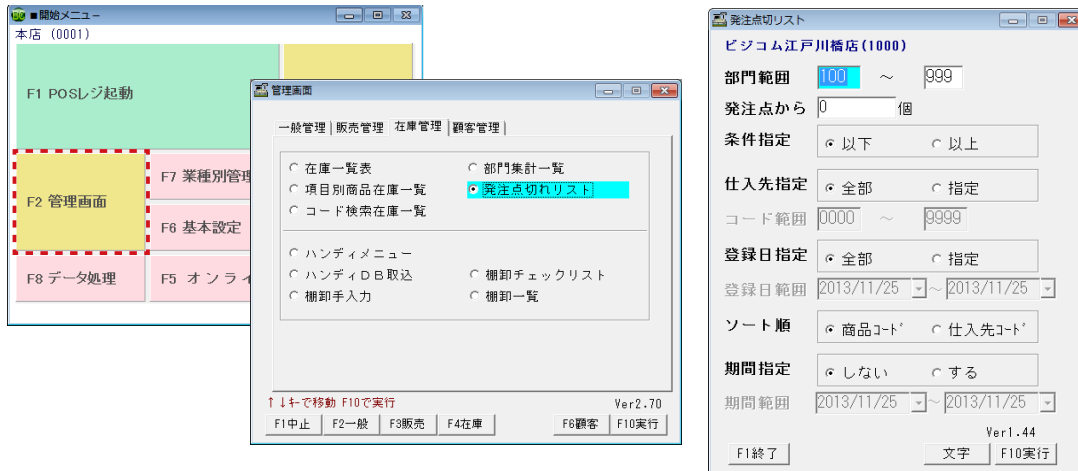
F3 テキスト	出力結果をテキストファイルに出力
F4 停止	UP・DOWN 中に停止
F5 先頭	出力結果の一番上の行まで移動
F6 UP	カーソルが上に移動し続けます
F7 DOWN	カーソルが下に移動し続けます
F8 最後	出力結果の一番下の行まで移動
F9 印刷	印刷します



13-5 発注点切れリスト

発注点を割った商品を検索し、表示します。

※この機能を利用する場合には商品登録画面で商品それぞれの[自動発注]にチェックを入れ、発注点を入力してください。



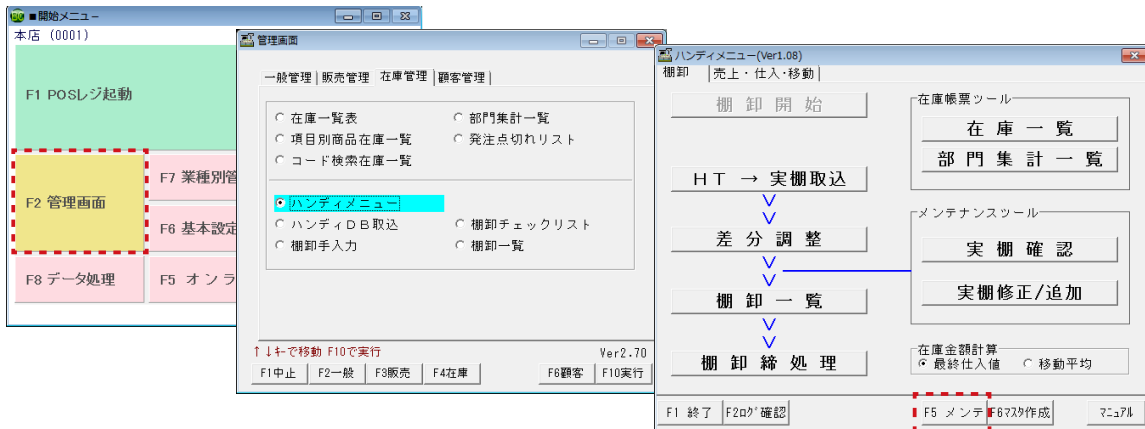
部門指定	検索したい部門の範囲を指定します。
発注点から	検索したい発注点からの差数を指定します。
条件指定	上記差数に対する「以上」「以下」を指定し検索範囲を設定します。
仕入先指定	全部…すべての仕入先を検索対象とします。 指定…コード範囲を下の入力ボックスで指定します。
登録日指定	全部…すべての登録日を指定します。 指定…登録日の範囲を下の入力ボックスで指定します。
ソート順	商品コード…商品コード順にリストに表示します。 仕入先コード…仕入先コード順にリストを表示します。

発注点切れリスト



13-6 ハンディメニュー (マニュアルの開き方)

ハンディターミナルを利用して棚卸を行うメニューです。
 最初に、ご利用のハンディターミナルを「F5 メンテ」で選択します。
 その後「マニュアル」をクリックすると、選択したハンディターミナルのマニュアルが開きます。



「F5 メンテ」で、メンテナンス画面が開きます。「CASIO」と「DENSO」は、バージョンにより選択する機種が異なりますので、下記を参照して選択してください。

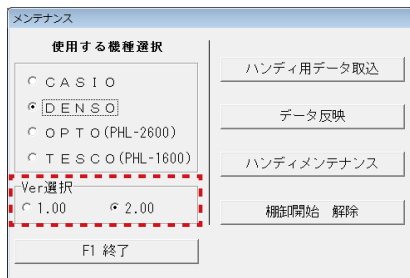


【DENSO】をご使用の場合 バージョン確認をして下さい

- バージョン確認方法
 DENSO BHT シリーズにて電源ボタンから電源を投入します。下図の Ver. 表記にてバージョンを確認します。
 ※違う画面が表示されている場合は「M1」を何度か押して「HD-POS」の TOP にすることで下図の画面が表示されます。



- ・ Ver.1.00 = 追加項目取込を「1.00」に設定する
 - ・ Ver.2.00 = 追加項目取込を「2.00」に設定する
- 機種選択後「F1 保存」を押すと、選択機種専用のメニュー項目の表示が変化します。

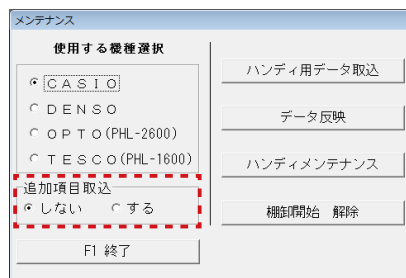


【CASIO】をご使用の場合 バージョン確認して下さい

- バージョン確認方法
 CASIO DT-930 にて右上の電源ボタンから電源を投入します。下図の Ver. 表記にてバージョンを確認します。
 ※違う画面が表示されている場合は「F1」を何度か押すことで下図の画面が表示されます。

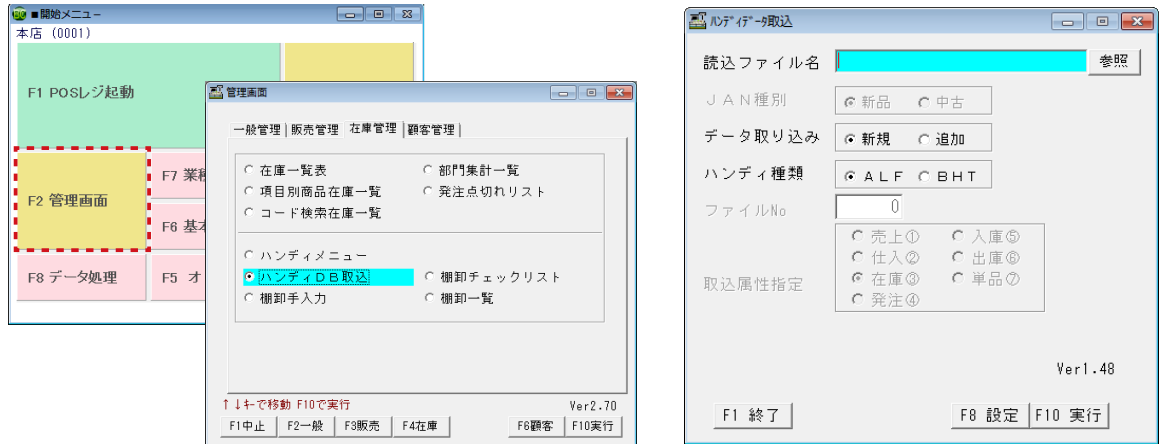


- ・ Ver.2.04 以上 = 追加項目取込を「する」に設定する
 - ・ Ver.2.02 以下 = 追加項目取込を「しない」に設定する
- 機種選択後「F1 保存」を押すと、選択機種専用のメニュー項目の表示が変化します。



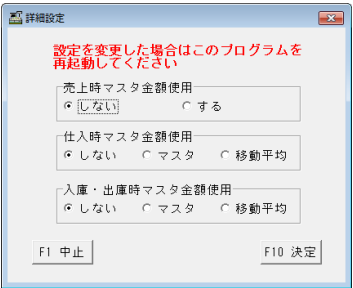
13-7 ハンディ DB 取込

ハンディターミナルで取り込んだデータをデータベースに取込みます。
 データベースに取込むことによって棚卸一覧で在庫の差異を見ることができます。
 ※ハンディターミナルからパソコンにデータファイルを取込むにはハンディターミナルに付属するユーティリティを使用します。
 この方法は機種によって異なりますので、前項の手順で機種ごとのマニュアルを開き参照してください。



在庫管理オプション

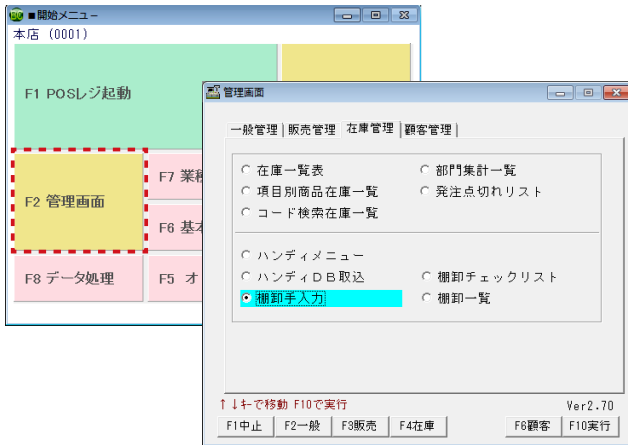
読込ファイル名	ハンディから読み込んだデータファイルを指定してください。
JAN 種別	リサイクル OP 使用時に、JAN コードを読込み意した場合は、新品・中古の区別が出来ていない為、新品・中古を分けて読込みを行い、新品のデータを読込むときには [新品] を、中古商品のデータを読込むときには [中古] を選択して取込みを行ってください。
データ取込み	新規にデータを取込むかデータを追加するかを選択します。
ハンディ種類	ハンディターミナルの機種を選択します。 BHT を選択された場合、ファイルナンバーと取込み属性を指定してください。 ※ DENSO 製は (BHT800/BHT900) は ALF を選択してください。
F8 設定	<p>売上、仕入、入庫、出庫のデータを取込む際に使用する金額を指定します。</p> <p>F8 設定を押すと右記画面が表示されます。</p> <p>【売上時マスタ金額使用】 する……BCPOS に登録されているマスタの金額を使用します。 しない…ハンディターミナルで入力した金額を使用します。</p> <p>【仕入時移動平均を使用する】 しない …ハンディターミナルで入力した金額を使用します。 マスタ …BCPOS に登録されているマスタの金額 (仕入値) を使用します。 移動平均…現在の移動平均値を使用します。</p> <p>【入庫・出庫移動平均を使用する】 (上記「仕入時移動平均を使用する」と同じ)</p> <p>設定をしないにしておくと、ハンディターミナルにて金額の入力は不要です。</p>
F10 実行	数字がカウントされデータベースに読込みます。



13-8 棚卸手入力

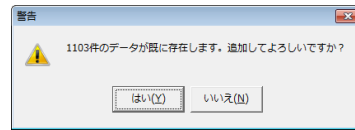
棚卸手入力は、通常ハンディターミナルで取込みする棚卸データを、直接 BCPOS 上でデータ入力することができます。また、ハンディターミナルで入力されたものを手入力してデータを追加することができます。

- ※ハンディターミナルをお持ちでない方もこの棚卸手入力で棚卸のデータを入力することができます。
- ※品番には商品コード、JAN コード、インスタコードバーコードのいずれかを入力してください。
- ※入力できるデータは在庫のみです。販売、仕入などのデータは入力できません。



「棚卸手入力」を実行する際にこれまでにハンディターミナルの取り込みや棚卸手入力をされていた場合には、下のように画面起動前にこれから入力するデータを以前のデータに追加するのか確認画面が表示されます。

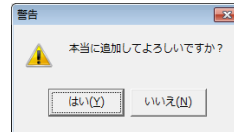
- ・はい……前回までに入力していたデータに追加します
- ・いいえ…前回までのデータを削除し新規に作成します。



棚卸手入力 入力画面



上の画面にて「はい」を選択した場合、下のように再度確認を行います。追加してよければ「はい」を、追加しない場合は「いいえ」を選択ください。（ここで「いいえ」を選択すると、画面が終了します）



品番	商品コード、JAN コード、インスタコード、バーコードのいずれかを入力し Enter キーを押すことによって商品登録されている商品呼び出します。vv (バーコードリーダーを使い商品に貼付しているバーコードをスキャンしても入力可能です。)
品名	品番に入力されたコードから該当する商品を表示させます。
形態	<ul style="list-style-type: none"> ・新規…はじめてデータを入力する場合は新規と表示されます。 ・変更…既に「棚卸手入力」にデータが登録されている場合には変更と表示されます。変更したい場合は、変更したい数を入力します。
数量	新規の場合はデフォルトで「1」が入ります。変更の場合は以前入力した数量が表示されます。
合計金額	商品マスタに登録されている1個の仕入金額が入ります。(金額変更できません。)

232 在庫管理オプション-(棚卸チェックリスト)

※データ入力の注意点

合計金額にカーソルがある状態で Enter キーを押すと、列が下に移動します。

(一番下に空行を作成する。)ここまで進めない
とデータが入力されませんのでご注意ください。

合計金額	
20	1200

この状態で画面を閉じてしまうと入力していたデータは登録されません。(カーソル行のみ)

Enterを押す

200000006000

空行が表示される

上記の作業で直接レジ上の在庫が増えるわけではありません。「ハンディデータ反映」でレジ上の在庫に反映する必要があります。(ハンディデータ反映 P-230 参照)

「ハンディデータ反映」では「取込みファイル指定」を「ハンディデータ」にチェックして実行してください。

棚卸手入力

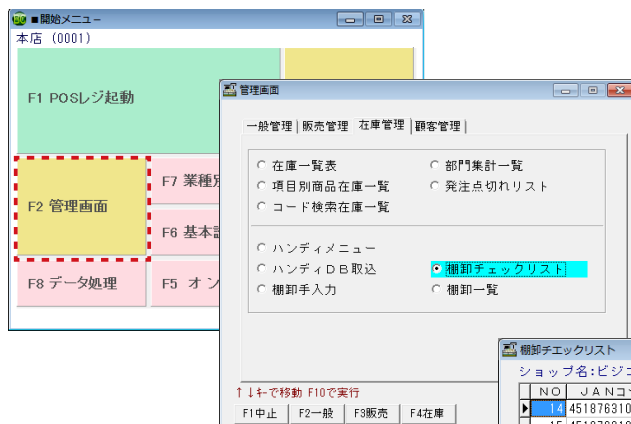
品番	品名	形態	数量	合計金額
200000001000	NBネットクローブ #1000	変更	31	0
201000006000	バンクラス #3150	新規	5	0
203000002000	ネックウォーマー #1000	新規	10	0
203000003000	フェイスウォーマー防風ロンク #1600	新規	15	0
204000001000	ヒップパットパック #1890	新規	18	0
204000002000	NB バックパック #9450	新規	5	0

13-9 棚卸チェックリスト

ハンディターミナルや棚卸手入力で取り込んだ商品が正確に取り込まれたかを確認します。

[F9 印刷] でチェックリストをプリントアウトしてデータの入力漏れがないかを確認し、仮に入力が漏れていた場合、もう一度棚卸手入力やハンディターミナルで取込み直してください。

※ NO は棚卸データを取り込んだ商品の順番です。



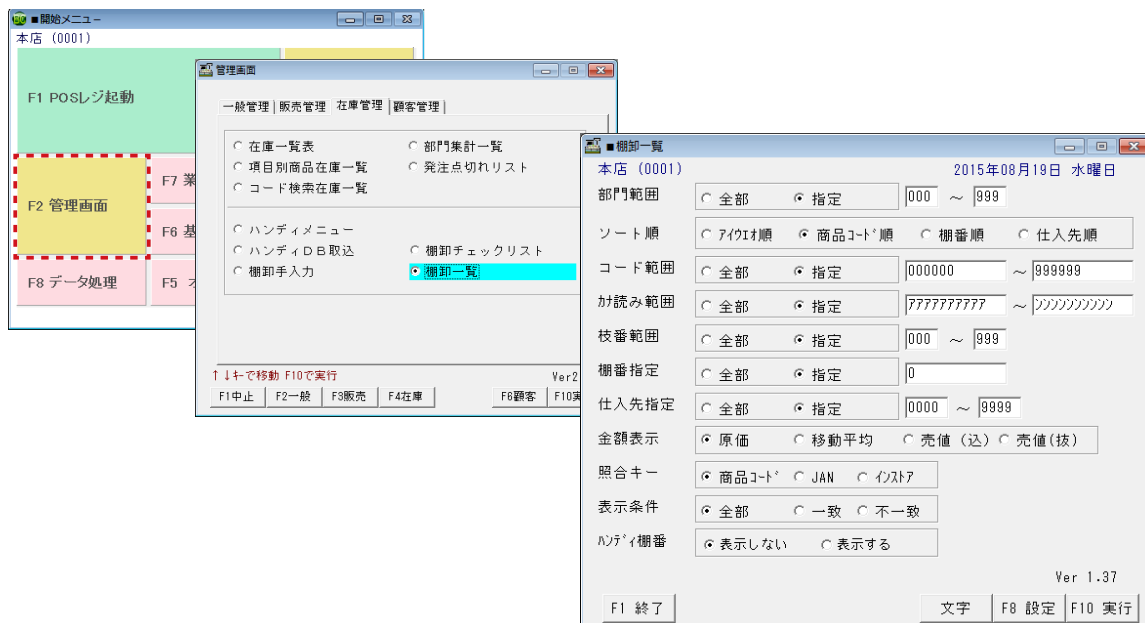
棚卸チェックリスト

NO	JANコード	商品コード	商品名	数量	金額
4	4518763103068	200-000001-000	NBネットクローブ #1000	31	0
15	4518763103075	200-000002-000	NBネットクローブ #1500	30	
16	4518763103082	200-000003-000	NBネットクローブ #1800	44	
17	4518763103228	200-000004-000	NBネットクローブ Jr #3800	41	
18	4518763103484	200-000005-000	NB ネットクローブ Jr #3000	44	
19	4518763103655	200-000006-000	NB ネットクローブ #15540	36	
22	4518763102122	201-000001-000	NB コーゲル オールド #9240	49	
23	4518763102184	201-000002-000	NB コーゲル トライク #12600	32	
24	4518763102290	201-000003-000	NB コーゲル ストレ #15220	39	
25	4518763102849	201-000004-000	コーゲル #2730	47	
427	4902522641982	600-000001-000	アッパ コロイジ特製 トラック用 M	41	
428	4902407020314	600-000002-000	アイスノ ソフト	43	
429	51131000230	600-000003-000	アイスノ	39	
430	4959382007601	600-000004-000	アヒル マスク	49	
431	4987601003554	600-000005-000	カトム 100G 8X16	38	
432	4987601002981	600-000006-000	カトム M50 カイフ45	43	
433	4971851001637	600-000007-000	ガゼマスク レキユラ F05	37	
434	4975376002650	600-000008-000	ツルギ特製 トラック用 (アツク) フラ	40	
435	4986803001016	600-000009-000	ツルギ特製 トラック用 L (チ+3G)	32	

F5 先頭	出力結果の一番上の行まで移動
F6 UP	カーソルが上に移動し続けます
F7 DOWN	カーソルが下に移動し続けます
F8 最後	出力結果の一番下の行まで移動
F9 印刷	印刷します

13-10 棚卸一覧

ハンディターミナルなどで読み込んだ実在庫データとコンピュータ上の在庫データを比較して商品の在庫数、在庫金額を一覧で表示します。そのためハンディターミナルなどを使っての事前のデータ作成が必要になります。



部門指定	全部…全部門を対象とします。 指定…右側に部門選択ボックスが表示されます。指定できるのは単一部門のみです。
ソート順	アイウエオ順…商品名カナの順にデータを表示します。 商品コード順…商品コード順にデータを表示します。 棚番順 ……棚番順にデータを表示します。 仕入先 ……仕入先順にデータを表示します。
コード範囲	指定…商品コードの範囲を指定します。
カナ読み範囲	指定…商品名のカナ読みで範囲を指定します。半角カナで入力します。
枝番範囲指定	全部…すべての枝番を対象とします。 指定…枝番の範囲を指定します。 ※リサイクルで使用の場合は次ページ参照
棚番指定	指定…商品の棚の番号を指定します。(商品マスタの棚番が有効)
仕入先指定	指定…商品の仕入先を指定します。
照合キー	データの照合を行うコードを選択します。 ハンディで読み込んだコード(商品コード、JANコード、インスタコード)を選択してください。
表示条件	データの照合結果の表示条件を選択します。 全部…すべての照合結果を表示します。 一致…実在庫と理論在庫との比較で一致しているデータを表示します。 不一致…実在庫と理論在庫との比較で不一致のデータを表示します。
F8 設定	表示条件設定(使用方法は別途ハンディメニュー手順書 P-231 参照してください) ・商品データ、棚卸データ両方に存在するデータのみ対象と、する・しない ・商品データの在庫が0で棚卸データに存在しないデータを一致対象と、する・しない ・ハンディで読み取っていない商品を0で取り込む機能を使用、する・しない
ハンディ棚番	※ハンディターミナルが DENSO 時のみ有効 ハンディで入力した棚番の表示設定

234 在庫管理オプション (棚卸一覧)

棚卸一覧

棚卸一覧 理論在庫、実在庫にマスタがないもの(空白)は在庫差異が出せません。

部門:全部 表示条件:全部 ソート順:商品コード 照合キー:商品コード 仕入先:全部
 コード範囲:全部 桁範囲:全部 枝番:全部

実在庫=棚卸データの在庫 理論在庫=商品データの在庫

商品コード	JAN	メーカー名	商品名	理論在庫	実在庫	在庫差異	原価	差異×原価
200-000001-000	4518763103088		NBニットグローブ #1000	17	31	14	0	0
200-000002-000	4518763103075		NBニットグローブ #1500	24	30	6	0	0
200-000003-000	4518763103082		NBニットグローブ #1800	23	44	21	0	0
200-000004-000	4518763103228		NBグローブ Jr #3600	0	41	41	0	0
200-000005-000	4518763103464		SNB グローブ Jr #3800	0	44	44	0	0
200-000006-000	4518763103655		NBグローブ #15540	0	36	36	0	0
201-000001-000	4518763102122		NB コーグール ゼール #9240	27	49	22	0	0
201-000002-000	4518763102184		NB コーグール トライクソン #1520	22	32	10	0	0
201-000003-000	4518763102290		NB コーグール ホーレー #1520	26	39	13	0	0
201-000004-000	4518763102849		コーグール #2730	0	47	47	0	0
201-000005-000	4518763102856		コーグール #2940	0	0	0	0	0
201-000006-000	4518763104157		サンダラス #3150	0	5	5	0	0
202-000001-000	4967633006686		トラベルスリ-4点セット #2620	21	0	-21	0	0
202-000002-000	4967633007874		トラベルスリ-4点セット #2620	27	0	-27	0	0
203-000001-000	4518763109176		NBスノーウェア #14800	17	0	-17	0	0
203-000002-000	4518763110028		ネックウォーマー #1000	17	10	-7	0	0
203-000003-000	4518763110653		フェイスウォーマー防風ロック #1000	26	15	-11	0	0
204-000001-000	4518763111063		ヒップパッドバック #1890	21	18	-3	0	0
204-000002-000	4518763111070		NB パッドバック #9450	28	5	-23	0	0
205-000001-000								
該当本数 320 本				理論在庫計	11990 本	在庫差異計	108 本	差異金額計 27597
				実在庫計	12098 本	実在庫金額計	14863956	

在庫管理フラグがOFFのデータは表示しません

F1戻る F4 検索 F5 DOWN F6 UP F7 先頭 F8 最後 F9 印刷

※枝番範囲指定

リサイクルで使用の場合、枝番 001 を中古として管理していますので、指定 [しない] で抽出すると新品、中古が混ざった状態でリストアップされます。そのため新品のみであれば必ず枝番範囲指定 [する] にして“ 000 ~ 000”、中古のみであれば必ず枝番範囲指定 [する] にして“ 001 ~ 001” と範囲指定してください。

※実在庫と理論在庫

ここでは「実在庫」はハンディターミナルで読込んだ棚卸の在庫データ「理論在庫」は BCPOS 上の商品データの在庫を表しています。

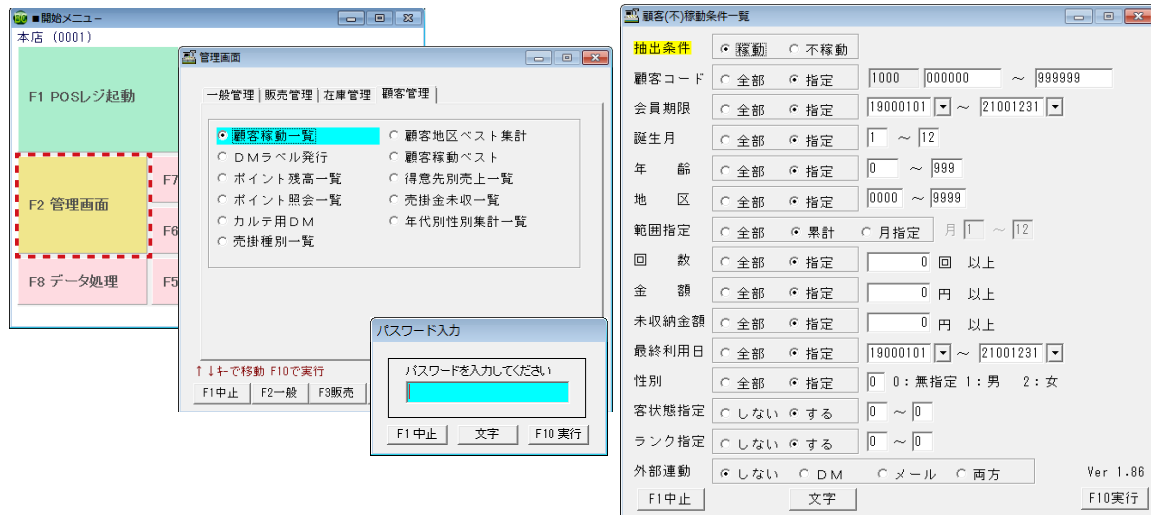
⑭ 顧客管理オプション

14-1 顧客稼動一覧

顧客稼動一覧は顧客の複数条件を元に顧客の一覧表を作成します。

すべての抽出条件は AND 条件（且つ）です。

ブラック、メモなどの条件は DM 連動にて抽出後「DM ラベル発行」プログラムにて指定できます。



抽出条件	稼動……月回数、月金額、未収納金額の符号がすべて「以上」になります。 不稼動…月回数、月金額、未収納金額の符号がすべて「以下」になります。
顧客コード	全部…すべての顧客コードから抽出します。 指定…抽出したい顧客コードの範囲を指定します。
会員期限	全部…すべての会員期限から抽出します。 指定…抽出したい会員期限の範囲を指定します。
誕生日	全部…すべての誕生日から抽出します。 指定…抽出したい誕生日の範囲を指定します。
年齢	全部…すべての年齢から抽出します。 指定…抽出したい年齢の範囲を指定します。
地区	全部…すべての地区から抽出します。 指定…抽出したい地区の地区コードで範囲を指定します。
月回数	範囲指定された月の販売回数 ** 回以上（以下）の顧客を表示します。
月金額	範囲指定された月の販売金額 ** 円以上（以下）の顧客を表示します。
未収納金額	指定…抽出したい未収金の金額範囲を指定します。（レンタル OP のみ）
最終利用日	指定…最後に利用した日付の範囲を指定して抽出します。
性別	指定…0：無指定、1：男、2：女から選択します。
客状態指定	客状態を指定します。 1：移行
ランク指定	する…抽出したいランクの範囲を指定します。
外部連動	DM…… DM ラベル発行する際のデータを作成します。 メール… 顧客マスタにメールが登録されている分のデータを作成します。 両方……DM・メールの両方のデータ作成を行います。 前回 DM ラベル発行などの為に外部連動でデータを作成した事がある場合は 「作成されたデータが存在します。上書きしてもよろしいですか」と確認画面が出ます。 前回のデータを消してもよければ「はい」を押してください。 今回の抽出条件でデータを作成しなします。

236 顧客管理オプション（顧客稼動一覧）

横一列に表示されていますので、右矢印キー [→] で条件が見られます。

顧客稼動一覧

顧客稼動一覧

コード:[0001000000 ~ 0001999999] 期限:[19010101 ~ 21001231]
 誕生日:[01 ~ 12] 年齢:[000 ~ 999] 地区:[000 ~ 999] 性別:[全部]
 月回数:[全部] 月金額:[全部]
 ランク:[全部] 客状態:[全部] 外部運動:[なし] 未納:[全部]

顧客コード	名前	郵便番号	住所
0001000001	鈴木 雷蔵	133-0065	東京都江戸
0001000002	鈴木 菊代	150-0002	東京都渋谷
0001000003	池田 重康	160-0023	東京都新宿
0001000004	今田 静江	113-0024	東京都文京
0001000005	心経内 重文	272-0034	千葉県市川
0001000006	心経内 雅子	272-0034	千葉県市川
0001000007	高橋 秀信	227-0062	神奈川県横
0001000008	高橋 雅子	260-0852	千葉県千葉
0001000009	菅谷 忠行	171-0041	東京都豊島
0001000010	杉田 真澄	151-0053	東京都渋谷
0001000011	吉沢 隆義	151-0053	東京都渋谷
0001000012	新井 隆	169-0072	東京都新宿
0001000013	小林 明美	169-0072	東京都新宿
0001000014	曾根 勝也	273-0022	千葉県船橋
0001000015	加瀬 義男	270-2223	千葉県松戸
0001000016	浜崎 みゆき	150-0002	東京都渋谷
0001000017	米倉 今日子	154-0012	東京都世田

F1中止 対象件数:29 F8 テスト F9印刷

パスワードの入力要求画面について

パスワード入力

パスワードを入力してください

F1中止 文字 F10実行

顧客管理オプションでは、個人情報へのアクセスを行うプログラムが多く、パスワードの入力を求められる画面が表示されます。

顧客情報管理パスワード設定で行った、パスワードを入力して「F10 実行」ボタンを押していただく事でプログラムが実行されます。

パスワードの設定方法

パスワードの設定方法は、① BCPOS メンテナンスの「顧客パスワード設定」P-185 をご参照ください。

パスワード要求される画面

パスワードは管理者業務用と制限付きの2種類を用意してあります。機能制限のあるパスワードでは通常業務で必要な顧客情報の登録・訂正だけが行えます。店長などは全ての管理機能が使えるパスワードで顧客情報の管理を、アルバイトやパートの方などは通常の業務で利用できることだけと分けてご利用いただけます。

顧客情報管理の為、処理を実行するのにパスワードが必要な画面は以下の画面です。

パスワード要求される画面

プログラム名	管理者	制限付	プログラム名	管理者	制限付
顧客登録	○	○	得意先別売上一覧(顧客 OP)	○	×
顧客一覧	○	×	売掛金未収一覧(顧客 OP)	○	×
テキスト切出/合併	○	×	DM ラベル発行(顧客 OP)	○	○
顧客カルテ	○	○	顧客稼動ベスト(顧客 OP)	○	○
親コードリスト	○	○	カルテ用 DM	○	○
顧客データ一括削除	○	×	レンタル商品履歴(レンタル OP)	○	○
商品別売上一覧(販売 OP) ※顧客表示するにした時のみ	○	×	未返却一覧(レンタル OP)	○	○
顧客(不)稼動一覧(顧客 OP)	○	×			

14-2 DM ラベル発行

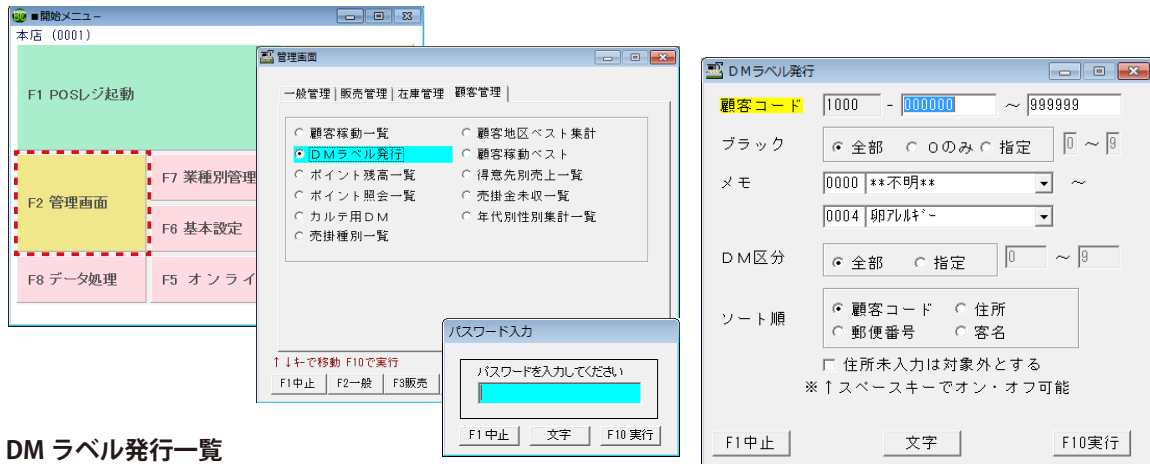
顧客稼動一覧、商品別売上一覧、ポイント残高一覧で抽出したデータを元に DM ラベルの発行を行います。

※データを抽出していない場合は、上記いずれかの帳票で DM データを作成してください。

DM ラベル用のデータが作成されている場合はそのデータから下記の画面で「ブラック」「メモ」の抽出が可能です。

DM ラベルの印刷は、ラベルプリンタではなく、A4 のシートカットラベル (12 枚のラベル枚数で、印字した DM ラベルは安易に剥がせません) に印刷します。

※ A4 のシートカットラベルは弊社の指定商品がございますので、別途お問合せください。



DM ラベル発行一覧

顧客コード	ラベル発行をする顧客コードの範囲を設定します。
ブラック	客状態から抽出条件を入力します。 全部……すべてを検索します。 0のみ…0の顧客だけを検索します。 指定……検索する客状態の範囲を選択します。
メモ	抽出する顧客メモの範囲を選択します。
DM 区分	マスタの DM 区分で、指定できます。
ソート順	出力するソート順を選択できます。
住所未入力は対象外とする	住所が入力されていないマスタを対象外とします。

DM 発行一覧

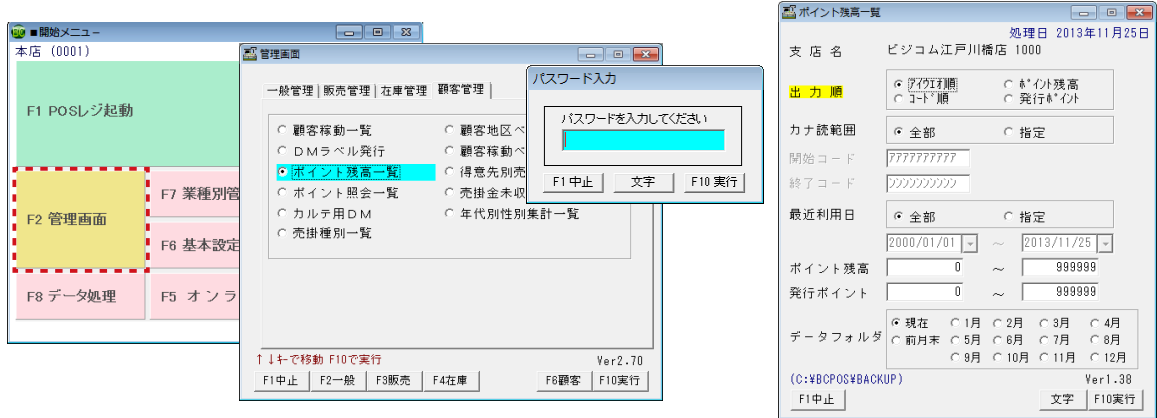
給紙	手差しにチェックを入れて印刷すると、プリンタのプロ/パティに関係なく手差し印刷になります。起動時は必ず自動になってます。※プリンタによっては手差し印刷できない可能性もあります。
F7 テキスト	出力結果をテキストファイルに出力します。
F8 ラベル	一覧にある顧客のラベルを印刷します。
F9 リスト	一覧にある顧客のリストを印刷します。

このリスト情報でよければ [F8 ラベル] にて DM ラベルが印刷されます。

ラベル用紙の設定はできませんので、ラベル用紙は当社指定サイズのものをお使いください。

14-3 ポイント残高一覧

ポイント残高一覧表はポイント機能を使用しているとき、お客様のポイント残高を一覧表として表示します。ポイントを使用していない場合はポイントデータの参照ができません。
※ここで指定される条件は、すべてAND条件(且つ)になります。



出力順	アイウエオ順…お客様のカナ読みアイウエオ順で表示します。 コード順…顧客コード順に表示します。 ポイント残高…残りポイントの多い順に表示します。 発行ポイント…発行したポイントの多い順に表示します。
カナ読範囲	全部…すべての顧客を表示します。指定…指定された範囲(開始コード・終了コード)の顧客を表示します。
最近利用日	全部…最近利用日に関係なく全て表示します。指定…指定された範囲の顧客を抽出します。
ポイント残高	ポイントの残高の範囲を指定します。 0 ~ 99999999…すべての顧客を表示します。 1 ~ 99999999…ポイントを持っている顧客を表示します。
データフォルダ	月末…現在使用中の顧客データでポイントの残高を表示します。 前月末…バックアップが取られた前月末の顧客データからポイントの残高を表示します。 バックアップがなければ表示されません。 各月…バックアップが取られた各月の顧客データからポイントの残高を表示します。 バックアップがなければ表示されません。

ポイント残高一覧

コード	名前	カナ読み	最近利用日	ポイント	残高	発行ポイント
0001111112	ビジコム太郎	ビジコムタロウ	2012/12/27	0	16171	16171
0001111113	ビジコム花子	ビジコムハナコ	2012/12/27	0	2181	2181
0001000018	後藤 はるこ	コトウメコ	2012/12/27	0	721	721
0001000008	高橋 雅子	タカハシ マサコ	2012/12/27	0	1071	1071
0001000003	池田 重康	イケダ シゲユキ	2012/12/27	0	8174	8174
0001000011	吉沢 隆義	ヨシザワ タカユキ	2012/12/27	0	1104	1104
0001000014	曾根 勝也	ソネ カツヤ	2012/12/27	0	1054	1054
0001000013	小林 明美	コバヤシ アキラ	2012/12/27	0	10000	10000

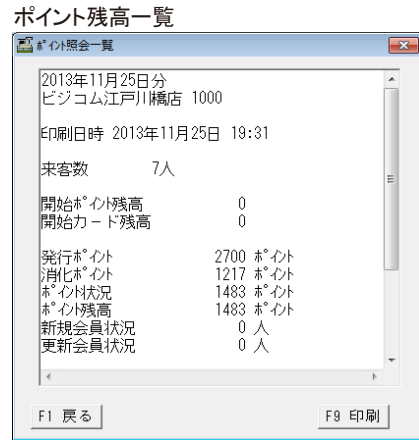
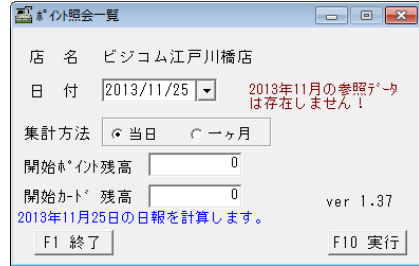
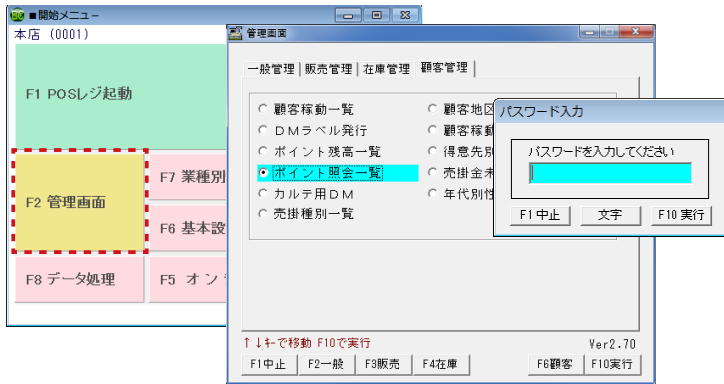
ポイント合計--0 ポイント残高合計--64866 使用ポイント合計--36860 発行ポイント合計--28006

顧客管理オプション

F2 DM データ	DM ラベル発行する際のデータを作成します。前回 DM ラベル発行などの為にデータを作成した事がある場合は「データが〇〇存在します。新規作成しますか?」と確認画面が出ます。前回のデータを消してもよければ「はい」を押してください。今回の抽出条件でデータを作成しなおします。
F3 テキスト	出力結果をテキストファイルに出力します。
F4 停止	UP・DOWN 中に停止します。
F5 最後	出力結果の一番下の行まで移動します。
F6 UP	カーソルが上に移動し続けます。
F7 DOWN	カーソルが下に移動し続けます。
F8 先頭	出力結果の一番上の行まで移動します。
F9 印刷	印刷します。

14-4 ポイント照会一覧

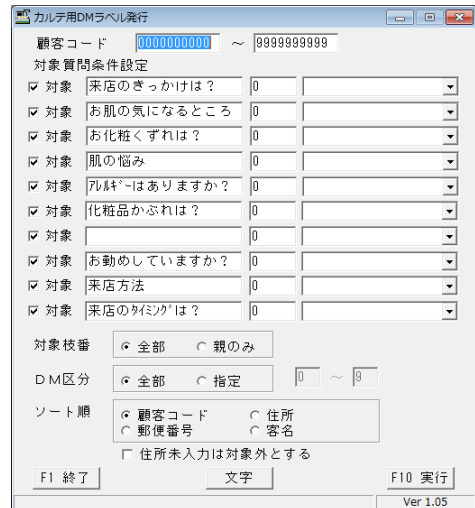
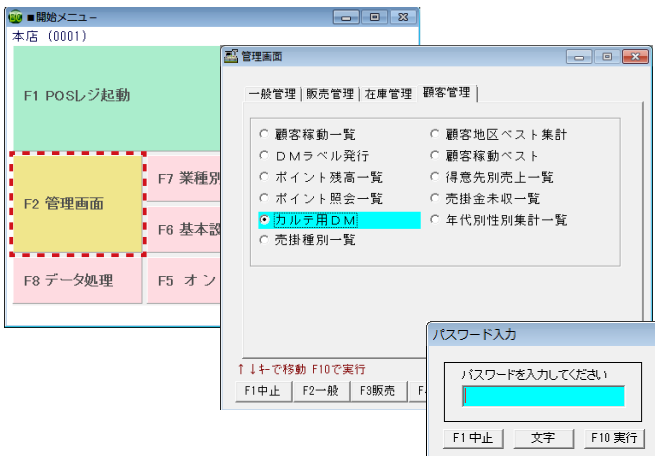
ポイント照会一覧では一日、または一ヶ月のポイントの発行状況、消化状況を見られます。日付が水色になっている日を選択できます。日付はマウスで選択するか、開始ポイント残高または開始カード残高の入力ボックス選択時に矢印キー [←] [→] で選択してください。



集計方法	当日……指定した日の集計を行います。 一ヶ月… 指定した日から一ヶ月の集計を行います。
開始ポイント残高	開始ポイント残高は、当日であれば昨日の、一ヶ月であれば前月末のポイント残高を入力してください。
開始カード残高	通常使用しません。

14-5 カルテ用 DM

顧客カルテ機能でプルダウン用の回答の中から選択した人だけに DM 発行できます。顧客稼働一覧、商品別売上一覧、ポイント残高一覧で抽出したデータを元に DM ラベルの発行を行います。※データを抽出していない場合は、上記いずれかの帳票で DM データを作成してください。DM ラベルデータが作成されている場合はそのデータから下記の画面で抽出が可能です。

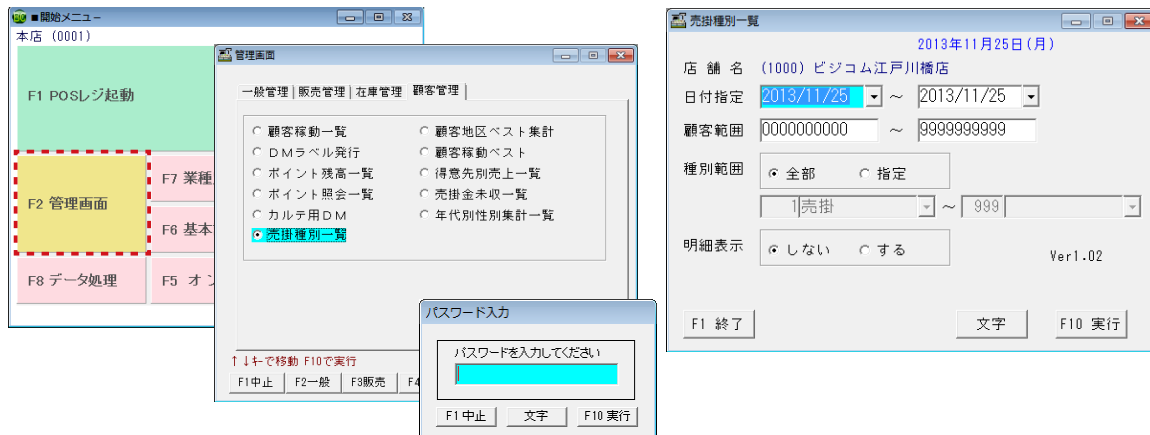


対象チェック	隣り合った設間を対象とするかのチェック。
回答選択	コード入力かマウスで回答を選択します。
ソート順	顧客名と住所のソートは漢字の JIS コードの登録順であらうえお順ではありません。住所が同じだった場合顧客名が優先です。

14-6 売掛種別一覧

売掛処理した種別の一覧を表示します。

この帳票を見るためには「売掛種別使用」設定（P-44 参照）と売掛種別の登録（P-80）が必要になります。



日付指定	出力したい期間を指定します。期間指定は1年間までです。(366日以内)
顧客範囲	出力する顧客コードの範囲を指定します。
種別範囲	出力したい種別範囲を指定します。
明細表時	明細を表示するかしないかを選択します。

売掛種別一覧（明細表示しない）

顧客コード	顧客名	日付	伝票NO	売掛種別	内金	金額
0001-000005	赤木康子	2010/05/13	1000	ヤマト代引き	0	7,000
				合計	0	7,000
0001-000006	吉田六郎	2010/05/21	1000	ヤマト代引き	0	420
				合計	0	420

売掛種別一覧（明細表示する）

日付	伝票NO	売掛種別	商品コード	商品名	数量	金額
2013/11/22	1	売掛	600-000010-003	アイストローチルビー	1	630
2013/11/22	1	売掛	600-000010-006	アクテージAN錠	1	2,980
				小計	2	3,610
				合計	2	3,610

F4 テキスト	出力結果をテキスト出力します。
F5 UP	明細を一行上に移動します。
F6 DOWN	明細を一行下に移動します。
F7 最初	出力結果の一番上の行まで移動します。
F8 最後	出力結果の一番下の行まで移動します。
F9 印刷	印刷します。

14-7 顧客地区ベスト集計

顧客登録時に登録した地区での月別売上集計を行います。

※地区名はマスタメンテナンス画面で行います。



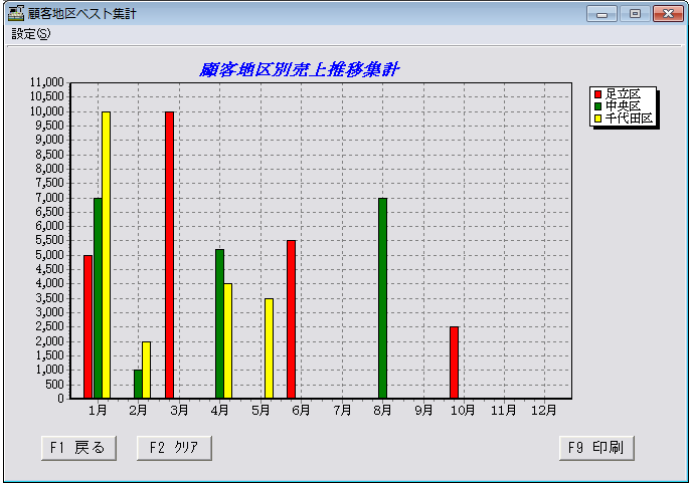
顧客地区ベスト集計 (一覧)

顧客地区ベスト集計

【集計項目: 金額】 登録地区数=7件

コード	地区名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
▶	***未選択***	22190	107885	18509	886497	36500	26178	0	26824	20820	36019	44918	708318	1734656
2	杉並区	7389	441536	134250	1510	20865	20318	109874	10613	77466	29258	17933	81179	962081
1	豊島区	10907	568294	81880	0	0	10220	0	0	56329	11467	1140	215436	95673
4	埼玉県北部	4589	310807	14580	0	0	0	0	0	0	0	0	127910	457886
3	世田谷区	3280	387129	1680	0	0	0	0	0	0	0	0	1025	393084
5	埼玉県南部	23890	178230	82065	0	0	0	0	0	0	0	0	0	229185
6	千葉県北部	30014	25800	3600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58414

顧客地区ベスト集計 (グラフ)



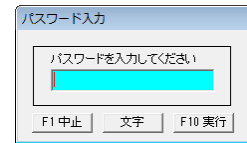
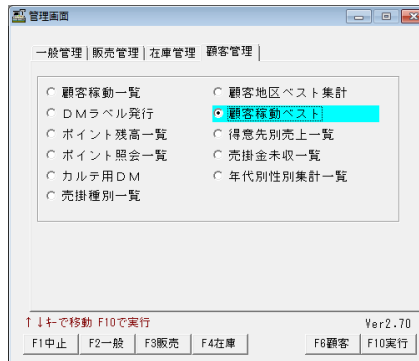
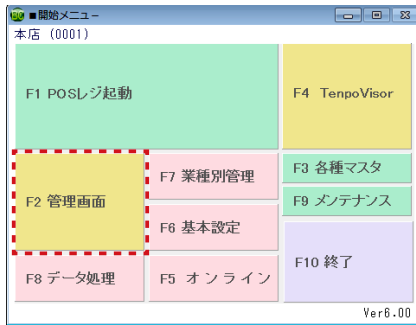
F4 回数	回数集計を表示します。
F5 金額	金額の集計を表示します。
F6 グ追加	表示しているデータをグラフに追加します。
F7 グ表示	グラフを表示します。
F9 印刷	印刷します。

顧客管理オプション

242 顧客管理オプション (顧客稼働ベスト)

14-8 顧客稼働ベスト

顧客稼働を月別に集計します。



集計項目	回数…購入回数で集計します。 金額…購入金額で集計します。
ベスト項目	総累計……総累計で集計し、順位を決定します。 期間指定…指定された期間を集計し、順位を決定します。
範囲指定	しない…選択した集計項目で全てを対象とします。 する……選択した集計項目の抽出範囲(回数又は金額)を設定します。

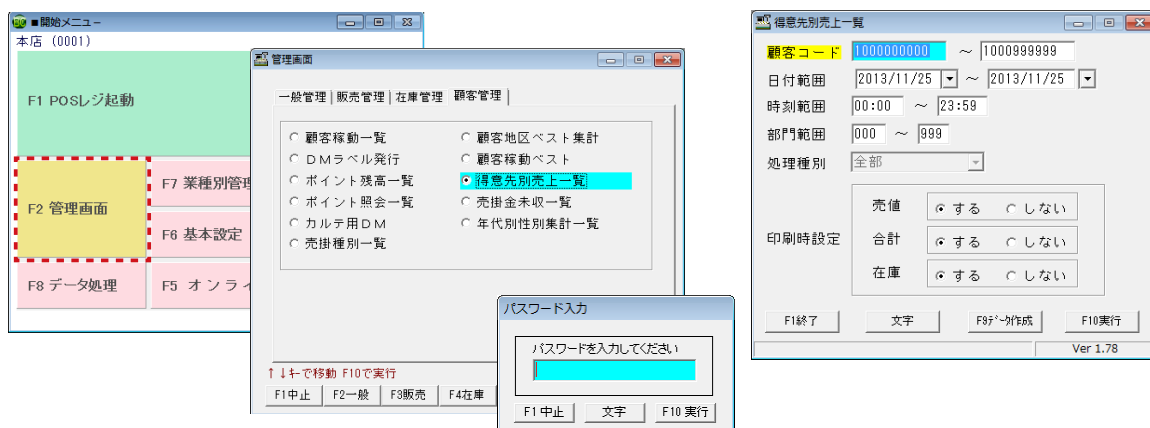
顧客管理オプション

顧客コード	名前	総販売数	総販売金額	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
0001111112	ビジコム太郎	50	420088	4	8	5	2	10	8	9	
0001000013	小林 明美	20	10914	6	5	0	0	0	4	0	
0001000008	高橋 雅子	17	89615	1	0	0	5	0	0	4	
0001000019	後藤 はるこ	12	86820	0	4	0	1	0	0	5	
0001111113	ビジコム花子	9	84535	1	0	0	0	0	0	6	
0001000012	新井 隆	7	8777	0	0	4	0	1	0	0	
0001000011	吉沢 隆義	4	57960	1	0	1	0	1	0	1	
0001000014	曾根 勝也	3	55335	1	0	0	0	0	0	2	
0001000006	心経内 雅子	2	2560	0	0	0	2	0	0	0	
0001000001	鈴木 雷蔵	1	600	1	0	0	0	0	0	0	
0001000005	心経内 重文	1	400	0	0	0	0	1	0	0	
0001000004	今田 静江	1	500	0	0	0	0	0	1	0	
0001000003	池田 重康	1	20000	0	0	1	0	0	0	0	
0001000002	鈴木 菊代	1	525	0	0	0	0	0	0	1	

顧客稼働ベスト (回数)

14-9 得意先別売上一覧

顧客別の売上を表示します。



※ 得意先別売上一覧をはじめて実行する場合には、必ず最初にデータ作成を行ってください。データが作成されていないと、「データが1件も存在しません。データ作成を実行してください」というメッセージが表示されます。

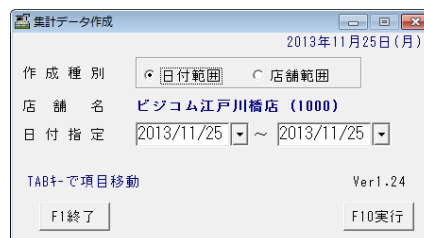
得意先別売上一覧画面で [F9 データ作成] を選ぶと集計データ作成画面が表示されます。

作成種別、日付範囲指定などを行い [F10 実行] を押してください。

(初期日付は当日になっています。)

データ作成が終了したら「得意先別売上一覧」画面に戻り必要項目を設定し [F10 実行] を押してください。

横一列に表示されていますので、右矢印キー [→] で条件が見られます。



得意先別売上一覧データ作成画面

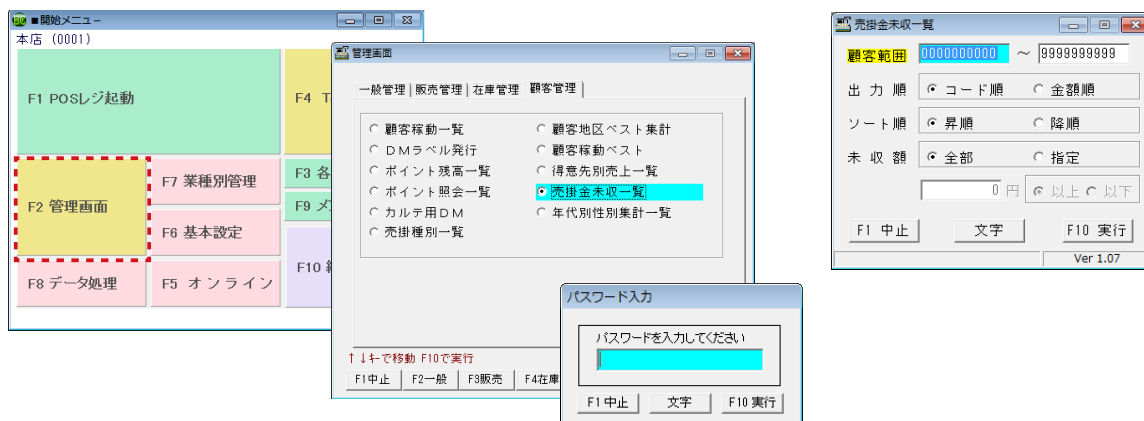
得意先別売上一覧

顧客コード	顧客コードを選択します。
日付指定	日付範囲を指定します。
時刻範囲	販売時刻の範囲を指定します。
部門範囲	商品部門範囲を指定します。
印刷時設定	<p>売値・個々の商品の売値を印刷するか の設定をします。</p> <p>合計・個々の商品の売上合計金額を 印刷するかの設定をします。</p> <p>在庫・個々の商品の在庫数を印刷する かの設定をします。</p>

顧客コードF	名前	商品コードF	商品名	単価	数量	合計金額	在庫
0001000001	鈴木 雷蔵	*****	販売				
1 550000002000	コ七一				571	1	600
	小計	1品目				1	600
	合計	1品目				1	600
2 0001000002	鈴木 菊代	*****	販売				
1 311000014000	アケル				0	1	525
	小計	1品目				1	525
	合計	1品目				1	525
3 0001000003	池田 重康	*****	販売				
1 551000003000	ウ心1980				19047	1	20000
	小計	1品目				1	20000
	合計	1品目				1	20000
4 0001000004	今田 静江	*****	販売				

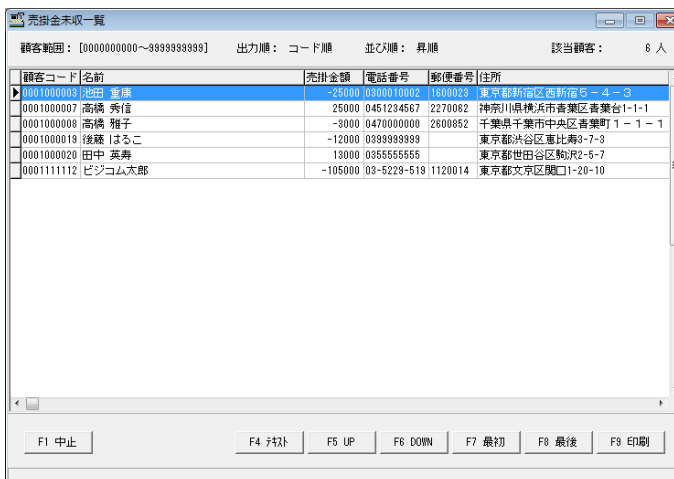
14-10 売掛未収一覧

現時点での顧客別の売掛未収金残高を表示します。



顧客範囲	出力する顧客コードの範囲を指定します。
出力順	コード順…顧客コード順で出力します。 金額順…金額順で出力します。
ソート順	昇順…出力順で選択した出力順を昇順で出力します。 降順…出力順で選択した出力順を降順で出力します。
未収額	全部…売掛金未収一覧を出力します (指定無し全て)。 指定…指定金額以上、以下の範囲で出力します。

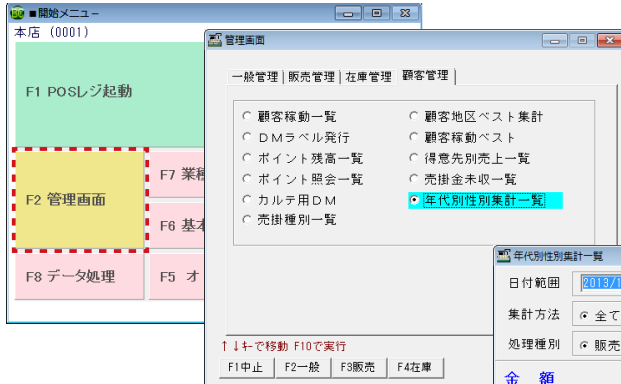
売掛金未収一覧



顧客管理オプション

F4 テキスト	出力結果をテキスト出力します。
F5 UP	明細を一行上に移動します。
F6 DOWN	明細を一行下に移動します。
F7 最初	出力結果の一番上の行まで移動します。
F8 最後	出力結果の一番下の行まで移動します。
F9 印刷	印刷します。

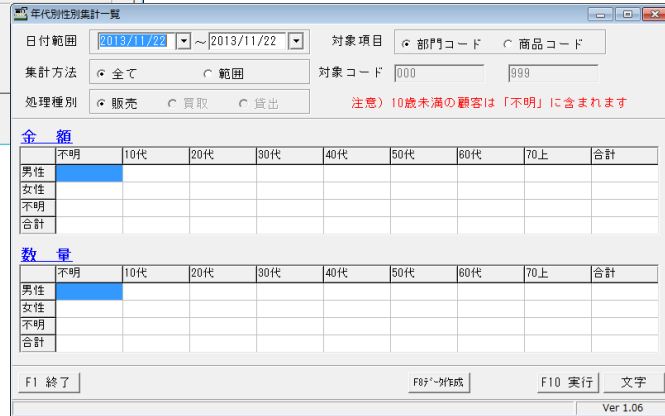
14-11 年代別性別集計一覧



年代別性別毎の売上集計を表示します。
 まず最初に年代別性別集計一覧を表示させる
 データを作ります。[F8 データ作成] を押して
 集計用のデータを作成します。

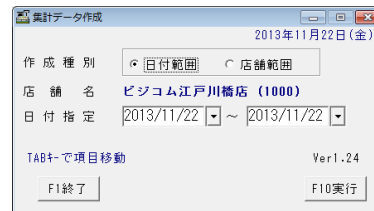
※年代別性別集計一覧をはじめて実行する場合には、
 必ず最初にデータ作成を行ってください。
 データが作成されていないとデータが1件も
 表示されません。

[F8 データ作成] を押して集計用のデータを作成
 します。



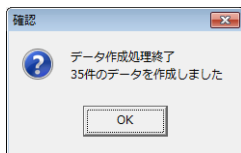
集計したい対象期間を指定して [F10 実行] を押
 してください。

※一度集計用データを作成した後は、
 同じ期間内で集計する場合には再作成する
 必要はありません。



日付範囲	事前にデータ作成した期間内で、集計したい日付範囲を指定します。
対象項目	部門または商品のどちらかを、特定の範囲で絞り込む場合に選択します。
集計方法	全て…部門または商品のどちらかを、特定の範囲で絞り込まない場合に指定します。 範囲…部門または商品のどちらかを、特定の範囲で絞り込む場合に指定します。
対象コード	部門または商品のどちらかを、特定の範囲で絞り込むためのコード範囲を指定します。
処理種別	販売・買取・貸出のいずれかを選択して集計します。

[F10 実行] を押すことで集計結果が表示されます。
 データ表示後でも、F2 ~ F4 キーにて
 処理種別を変更できます。
 [F7 テキスト] にて集計結果を CSV 形式で
 出力できます。



TEXT フォルダに「SG 金額 *****.txt」と
 「SG 数量 *****.txt」の2ファイルが出力されま
 す。(***** は日付)

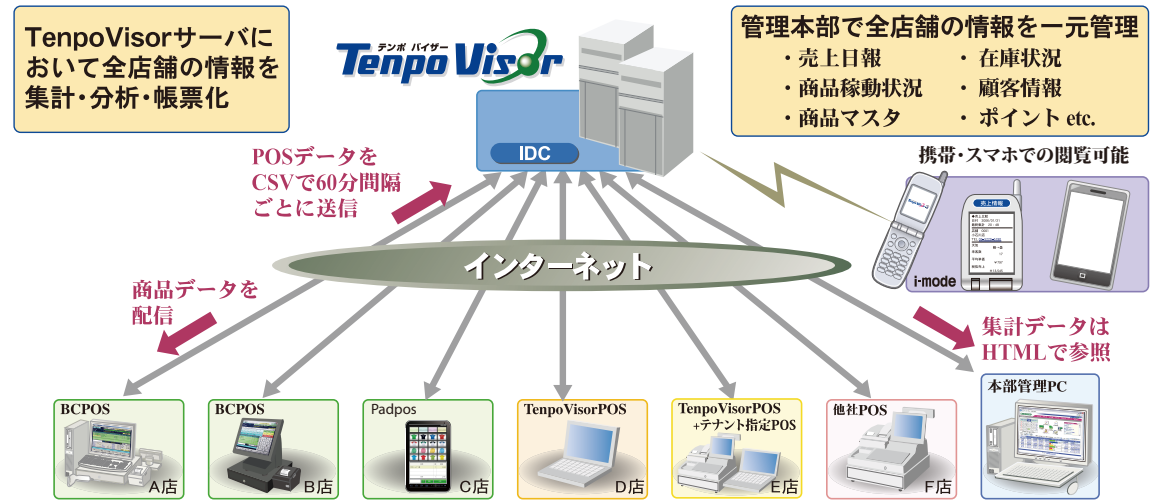


顧客管理オプション

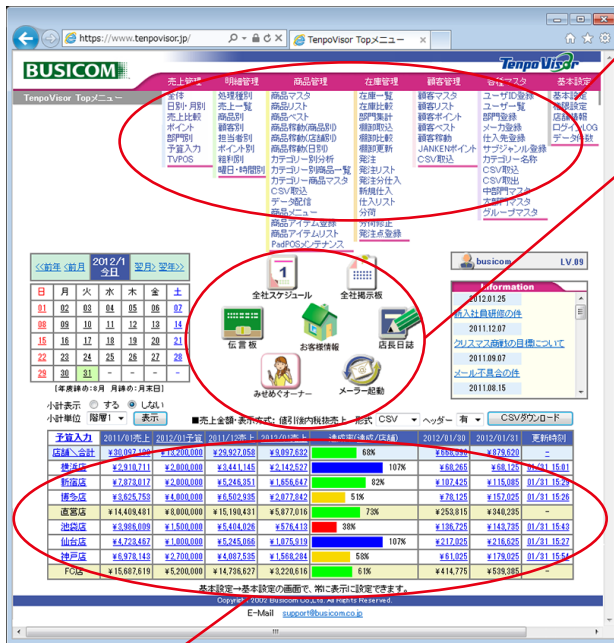
クラウド型 店舗本部管理システム Tenpo Visor (オプション)

チェーン店本部や、店舗を経営されているオーナー・管理者・スーパーバイザーの方々に、インターネット経由でリアル&スピーディーに店舗のBCPOSの情報をブラウザで提供し、インターネットで各店舗のBCPOSを連動させるのが、クラウド型(ASP・SaaS)店舗本部管理システム「TenpoVisor」です。BCPOS設置店舗からもTenpoVisorは利用可能で、本部と情報の共有・統一による業務の効率化や社内統制が図れます。(店舗・役職単位での利用権限設定ができます)

管理本部で全店舗の情報を一元管理



「TenpoVisor」TOP画面



■ 帳票メニュー

売上・在庫・顧客・マスタ管理等、TOPページから各種管理画面に簡単アクセス(次項参照)

■ グループウェア

店舗間および本部とのコミュニケーションの活性化に役立つ「店舗グループウェア」



■ 売上げ速報

売上速報は、当日、前日、当月、前月、前年の全店舗の売上状況が随時更新されて表示されます。対予算の達成率や全店合計も表示されるので、一目でお店の状況を把握できます。(次項参照)

会社スケジュール	本部で設定したスケジュールを全店舗に伝達します。
会社掲示板	TOPページのinformationに掲載されるので、連絡事項を全店舗に一齐に伝達できます。
店長日誌	店舗業務等の日報を掲載し全店舗で共有する事で業務改善に役立たせます。
メーラー起動	指定のメールソフトを起動します。
みせめぐオーナー	店舗携帯サイト「みせめぐ」の管理画面にオートログインします。
伝言板	店舗同士のコミュニケーションの場として、掲示板を利用できます。
お客様情報	お客様ショップページ(マイページ)にオートログインします。

■ 帳票メニュー

下記、TOP メニューから各種帳票を出力し閲覧・CSV 取出しが可能です

Tenpovisor へアクセスするユーザー単位で、メニューの閲覧権限を設定でき、店長～アルバイトまでが利用可能なシステムとなります。

売上管理	明細管理	商品管理	在庫管理	顧客管理	各種マスタ	基本設定
全体 日別・月別 売上比較 ポイント 部門別 予算入力 簡易経費入力 TVPOS	処理種別 売上一覧 顧客別 顧客別 担当者別 ポイント別 粗利別 曜日・時間別 分類別 免税リスト	商品マスタ 商品リスト 商品ベスト 商品稼働(商品別) 商品稼働(店舗別) 商品稼働(日別) カテゴリ別分析 カテゴリ別商品一覧 カテゴリ商品マスタ 商品稼働一覧 CSV取込 データ配信 商品メニュー アイテム登録 アイテムリスト Padposメンテナンス	在庫一覧 在庫比較 部門集計 棚卸取込 棚卸比較 棚卸更新 発注 発注リスト 発注分仕入 新規仕入 仕入リスト 分荷 分荷修正 発注点登録 店舗間移動処理	顧客マスタ 顧客リスト 顧客ポイント 顧客ベスト 顧客稼働 JANKENポイント 顧客カルテ CSV取込	ユーザー登録 ユーザー一覧 部門登録 メーカー登録 仕入先登録 サブジャンル登録 カテゴリ登録 CSV取込 CSV取出 クレジット登録 中部門マスタ 大部門マスタ 商品券登録 グループマスタ	基本設定 権限設定 店舗情報 消費税設定 ログインLOG データ件数

帳票	内容
売上管理	日報・月報 * 日別・月別売上 * 店舗別売上 * ポイント * 部門別売上 * 予算入力 簡易経費入力 Tenpovisor POS
商品管理	処理種別明細 (販売・仕入等) * 売上一覧 * 商品別売上明細 * 顧客別売上明細 * 担当者別売上明細 * ポイント別売上明細 * 曜日時間帯別売上明細 * 分類別売上明細 * 免税販売リスト・分析 *
在庫管理	在庫一覧 * 在庫比較 * 部門集計 * 発注点登録 * 発注 発注リスト * 発注分仕入 新規仕入 仕入リスト * 分荷 分荷修正 棚卸取込 棚卸比較 * 棚卸更新 店舗間移動処理
在庫管理	在庫一覧 * 在庫比較 * 部門集計 * 発注点登録 * 発注 発注リスト * 発注分仕入 新規仕入 仕入リスト * 分荷 分荷修正 棚卸取込 棚卸比較 * 棚卸更新 店舗間移動処理
顧客管理	顧客マスタ 顧客リスト * 顧客ポイント * 顧客ベスト * 顧客稼働 * 顧客カルテ * CSV 取込 顧客情報表示 顧客購買履歴 *
各種マスタ	ユーザーID登録 ユーザー一覧 部門別登録 * 中部門マスタ 大部門マスタ グループマスタ メーカー登録 * 仕入先登録 * サブジャンル登録 * カテゴリ登録 * CSV取込 CSV取出 クレジット登録 商品券登録
基本設定	基本設定 権限設定 店舗情報登録 消費税設定 ログイン LOG* データ件数

※印は、帳票内容を CSV 形式 (表計算ソフトで保存・加工が可能な形式) で出力可能な項目です。

■ 売上げ速報

TOP ページには、各店の売上状況を常時表示しています。

全店舗の前年同月の月報情報

全店舗の前月の月報表示

達成:達成率の高い順にソート

店舗:店舗コードの順にソート

店舗\合計	2005/02売上	2006/02予算	2006/01売上	2006/02売上	達成率(達成/店舗)	2006/02/21	2006/02/22	更新時刻
店舗\合計	¥5,787,906	¥20,000,000	¥22,950,969	¥19,000,227	99%	¥425,728	¥17,435	-
横浜店	¥112,556	¥2,000,000	¥452,262	¥2,573,317	147%	¥3,150	¥562	02/16 22:55
池袋店	¥66,340	¥2,000,000	¥1,732,654	¥3,755,411	187%	¥30,000	¥0	02/11 23:18
新宿店	¥85,191	¥2,000,000	¥1,481,403	¥1,086,359	54%	¥15,000	¥1,904	02/11 23:28
博多店	¥89,921	¥2,000,000	¥2,080,354	¥1,29,238	6%	¥11,964	¥0	02/17 16:32
仙台店	¥127,152	¥2,000,000	¥1,162,094	¥2,548,921	127%	¥612	¥0	02/11 23:43
神戸店	¥262,092	¥2,000,000	¥1,542,082	¥2,287,104	110%	¥0	¥0	02/11 23:43

その店舗の年報表示

全店舗の年報表示

全店舗の当月の月報表示

その店舗の前年同月の月報表示

その店舗の前日・当日の日報表示



15 TenpoVisor 用プログラム (各種画面説明)

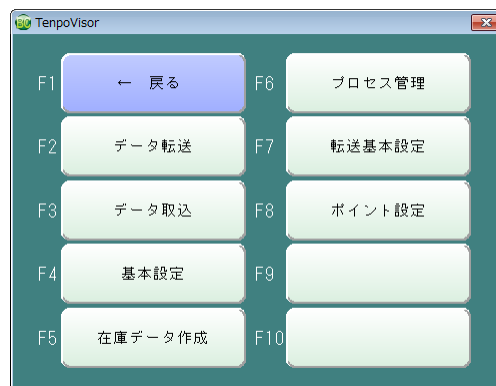
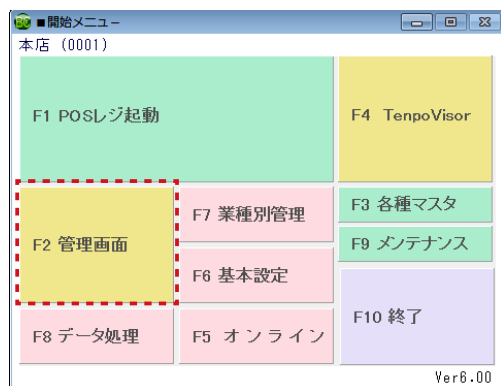
BCPOS 開始メニュー「F4 Tenpo Visor」と「F5 オンライン」は、クラウド型店舗本部管理システム Tenpo Visor と BCPOS を、インターネット回線を使い連動させる為のプログラム起動メニューになります。「F4 Tenpo Visor」と「F5 オンライン」のプログラム内容は、お店の運用やスタイルによって数種類のプログラムが用意されていますので、表示される画面がいくつかあります。ここでは代表的なプログラムの概要をご説明いたします。

※ 注意 ※

弊社にて、お客様の要望をリサーチした上で、最適なプログラムを導入させていただきますので、Tenpo Visor 等のクラウドサービスのご提供を希望される場合には弊社にご相談ください。

15-1 Tenpo Visor 管理メニュー

Tenpo Visor 用のプログラムをインストールする事で表示されるようになります。主に、BCPOS と Tenpo Visor を連動させる為のプログラムです。



F1 ← 戻る

開始メニューに戻ります。

F2 データ転送

BCPOS から Tenpo Visor へ手動でデータを転送します。(通常は、自動で転送されています。)

F3 データ取込

Tenpo Visor から BCPOS へ手動でデータを転送します。(通常は、自動で転送されています。)

F4 基本設定

BCPOS と Tenpo Visor を連動させる、各種基本設定を行います。(次項参照)

F5 在庫データ作成

BCPOS に登録されている在庫データを Tenpo Visor に転送します。

F6 プロセス管理

実行されているプログラムの表示と、停止を行います。

F7 転送基本設定

ビジコムより割り振られた BCPOS と Tenpo Visor の接続に必要な、会社コード・店舗コード等の設定を行います。

F8 ポイント設定

Tenpo Visor のオプション、ポイント共有機能を有効にするかしないかの設定を行います。

15-2 Tenpo Visor F4 基本設定

開始メニューを開き「F4 Tenpo Visor」より「F4 Tenpo Visor 基本設定」を開いてプログラムの設定をおこないます。

Bizcomより配布される会社コード、BCPOS に設定した店舗コードを入力。

すべて「する」に設定します。

BCPOS側で登録した商品データを Tenpo Visor に転送する場合は「する」に設定します。

BCPOSにて顧客データを登録する場合は「する」に設定します。

「する」で設定します。

Tempo Visor から配信された商品データを取り込みする場合は「する」に設定します。

基本的に「しない」で問題ありません。

F2 基本項目

出力用フォルダ	特別なことが無い限りデフォルトで設定して下さい。
転送用フォルダ	特別なことが無い限りデフォルトで設定して下さい。
転送プログラム	特別なことが無い限りデフォルトで設定して下さい。
企業コード(※)	割り振られた会社コードを入力します。
店舗コード(※)	割り振られた会社コードを入力します。
開始時 WebTimer 起動(※)	開始メニュー起動時、データ転送時間を監視するプログラムを起動するかどうかの設定。通常「する」に設定して下さい。
開始時 Webcsv 起動(※)	開始メニュー起動時、データ転送するプログラムを起動するかどうかの設定。通常「する」に設定して下さい。
終了時 Webcsv 起動(※)	開始メニュー終了時、データ転送するプログラムを起動するかどうかの設定。通常「する」に設定して下さい。

※出力用・取込用フォルダは作成しなくても「F10 更新」で設定を更新した際に存在しなければ作成します。

F3 出力項目

商品データ作成	商品マスタで登録したデータを Tenpo Visor にデータを転送する為にテキストとして切り出すかどうかの設定。
顧客データ作成	顧客マスタで登録したデータを Tenpo Visor にデータを転送する為にテキストとして切り出すかどうかの設定。顧客を使用している場合は必ず「する」に設定して下さい。
店舗コード変換	基本的にはデフォルト店舗コード変換のまま「しない」で設定してください。

F4 取込項目

商品データ取込	Tempo Visor からダウンロードしてくるデータの中で商品データを取込めるかどうかの設定。
受信ファイルの削除	基本的にはデフォルトのまま「する」で設定してください。
取込ファイルが存在する場合メッセージを表示	TempoVisor から配信された CSV データがローカルフォルダにあればメッセージが表示されます。

15-3 Tenpo Visor 用 初期商品・初期顧客データ作成

BCPOS に既に登録されている商品・顧客のデータを Tenpo Visor に転送します。

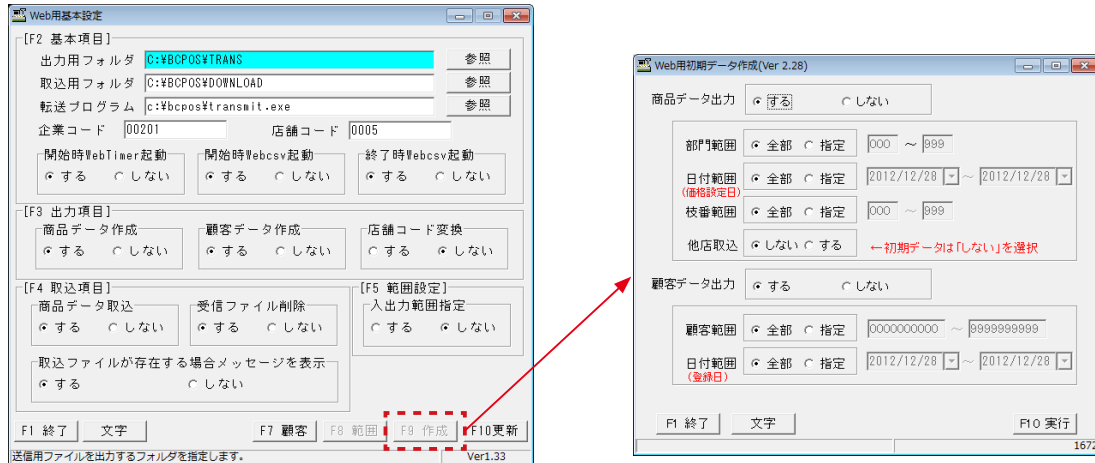
この作業は会社単位で商品データが統一の場合、商品データに関しては1店舗だけおこなってください。

顧客を使用している場合は各店で異なるので必ず全店舗おこなってください。

開始メニューより「F4 Tenpo Visor」→「F4 Tenpo Visor 基本設定」の順に画面を開き「F9 作成」をクリックします。

以下の画面が表示されます。

※通常「F9 作成」はマスク状態になっていますが、[F3 出力項目] の「商品データ作成」「顧客データ作成」どちらかを「する」にして更新すると表示されます。



商品データ出力	商品データを出力したい場合は「する」にチェックを入れます。しない場合は「しない」にチェックしてください。設定部分がマスクされ、設定が出来なくなります。
部門範囲	切り出す商品データの部門範囲を設定します。 特定の部門だけ切り出したい場合は指定してください。
日付範囲 (価格設定日)	切り出す商品データの日付範囲を設定します。指定する日付は価格設定日です。 価格変更したデータのみ切り出したい場合は指定してください。
他店取込	Tenpo Visor に転送された商品データを他店に取り込ませるかどうかを設定します。すでに各店にデータが入っている場合はしないでください。

顧客データ出力	顧客データを出力したい場合は「する」にチェックを入れます。しない場合は「しない」にチェックしてください。設定部分がマスクされ、設定が出来なくなります。
顧客範囲	切り出す顧客データのコード範囲を設定します。 特定の部門だけ切り出したい場合は指定してください。
日付範囲 (登録日)	切り出す顧客データの日付範囲を設定します。指定する日付は登録日です。

※基本設定にて、商品や顧客データを作成しないに設定されていると、データ作成できないように画面にマスクがかかります。

以上の項目を設定して「F10 実行」を押してください。処理がはじまります。画面下に「*** 終了 ***」と表示されましたら処理は終了です。

「F1 終了」で画面を閉じて下さい。

データ作成後、作成したデータを転送する為に開始メニューから「F4 Tenpo Visor」→「F2 データ転送」を押してください。

15-4 Tenpo Visor 用 F5 在庫データ作成

商品・顧客と同様に、BCPOS に既に登録されている在庫データを Tenpo Visor に転送します。

在庫状況は各店で異なりますので必ず全店舗で作業をおこなってください。

開始メニューより「F4 Tenpo Visor」→「F5 在庫作成」の順に画面を開いて下さい。

部門範囲	切り出す商品データの部門範囲を設定します。 特定の部門だけ切り出したい場合は指定してください。
日付範囲 (価格設定日)	切り出す商品データの日付範囲を設定します。指定する日付は価格設定日です。 価格変更したデータのみ切り出したい場合は指定してください。
枝番範囲	切り出す商品データの枝番範囲を設定します。 特定の枝番だけ切り出したい場合は指定してください。
無在庫出力	切り出す商品データの中で在庫が無いものを抽出するかしないかの設定です。 ・稼働があるものは出力する…「しない」に設定した場合でも稼働 (販売、仕入) があるものは出力する場合はチェックします。
出力売値	出力する売値を税抜、税込どちらにするかの設定です。 Tenpo Visor の在庫一覧で表示される売値に影響します。

以上の設定をおこない「F10 実行」を押して下さい。処理がはじまります。

処理が終了すると画面下に「終了」と表示されますので「F1 終了」で画面を閉じて下さい。

このプログラムは商品・顧客初期データ作成プログラムとは異なり「F1 終了」をクリックした時点で転送プログラムが起動します。

※商品データが 1 万件以上ある会社は取込等時間がかかる場合があります。

なるべく閉店後などに処理をおこなってください。

※ Tenpo Visor の公式マニュアルは WEB マニュアルになっております。

Tenpo Visor マニュアル URL : <http://www.tenpovisor.com/manual/manual.html>

16 LAN オプション

店舗内で複数の BCPOS を起動させ、LAN 環境で利用することもできます。

1. 親機 (サーバー)、子機 (クライアント) ともに BCPOS をインストールします。
2. 親機に部門・基本設定などの設定を行います。
3. 親機の BCPOS フォルダにあるすべての“.INI”ファイルの子機の BCPOS フォルダにコピーします。
(子機が複数ある場合にはすべての子機にコピーしてください)
4. 親機・子機毎に、次の要領で環境設定を変更します。

16-1 環境設定の変更

インストール環境例

サーバーコンピュータ名 → Server
 サーバー BCPOS インストールディレクトリ → C:\BCPOS とした場合

サーバー (親機) の設定

- ① 基本設定の変更
 - ・ [開始メニュー]-[F6 基本設定]-[F2 全般設定]-[初期]画面の[レジ No.]の[局番]を[1]に変更します。
(重複不可)

The image shows two screenshots from the BCPOS software. The left screenshot is the 'Start Menu' (開始メニュー) with 'F6 Basic Settings' (F6 基本設定) highlighted. The right screenshot is the 'General Settings' (全般設定) screen, where the 'Local No.' (レジ No.) field is set to '1' and highlighted with a red dashed box. Below the screenshots is a table of function keys:

TABキーで項目移動 F10で更新									
F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10
終了	初期	小計	NON-PLU	メニュー	レジ外	顧客	レジ	OSP	更新
S_F1初期	S_F2初期2	S_F3小計	S_F4機種	S_F5メニュー	S_F6レジ外	S_F7業種	S_F8レジ	S_F9印字	文字

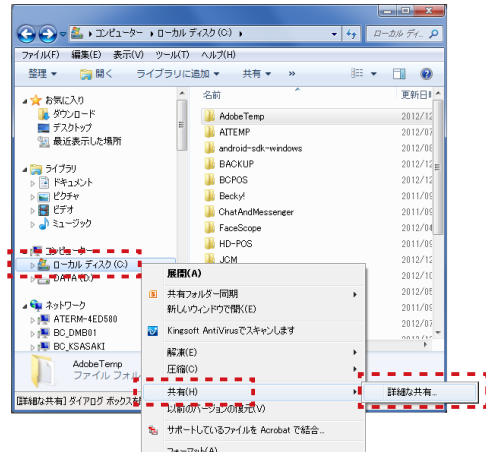
- ・ [開始メニュー]-[F6 基本設定]-[F2 全般設定]-[初期 2]画面の[LAN 使用]を[する]に変更します。
- ・ [開始メニュー]-[F6 基本設定]-[F2 全般設定]-[初期 2]画面の[このマシンで更新する]を[する]に変更します。

The image shows two screenshots of the 'General Settings' (全般設定) screen. The left screenshot shows the 'Monthly/Weekly Update Settings' (月次、週更新設定) section with 'LAN Use' (LAN使用) and 'Update this machine' (このマシンで更新する) options highlighted with red dashed boxes. The right screenshot is a zoomed-in view of these options, showing 'LAN Use' set to 'On' (する) and 'Update this machine' set to 'On' (する).

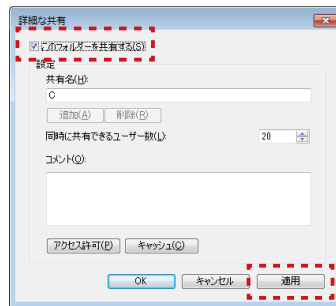
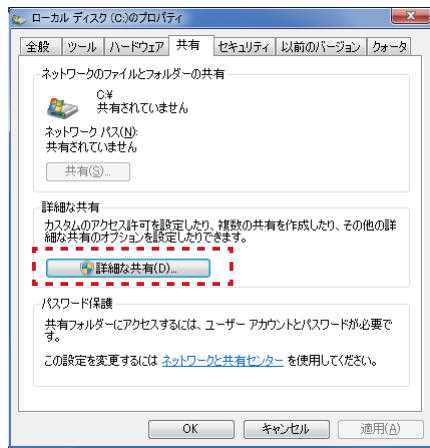
LAN オプション

- ② Cドライブの共有をフルアクセスに設定します。
(読取り専用は不可)
・マイコンピュータを開き [ローカルディスク (C)] のアイコン上で
右クリックし [共有とセキュリティ] をクリックしてください。

※ Cドライブ、全てを共有したくない場合には BCPOS フォルダを
指定して、共有してください。



- ・ [危険を認識した上で...] という箇所をクリックしてください。
右の画面が表示されますので [ネットワーク上でこのフォルダを共有する] と [ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する] にそれぞれチェックをつけて [適用] ボタンをクリックしてください。



※ご利用のパソコンや環境によって表示が異なります。

- ③ Bde 設定の変更
・ [開始メニュー] - [F9 メンテナンス] - [F3 データベース] - [F6 Bde 設定] を選択します。
・ 下記の画面が表示されましたら、PATH をサーバーの
データディレクトリに変更します。

例 (C を共有した場合) ...PATH:¥¥Server¥C¥BCPOS¥DATA
を入れた場合。

NetDir	¥¥SERVER¥C¥BCPOS¥DATA
エリアス (BCPOS)	¥¥server¥c¥bcpos¥data
データディレクトリ	¥¥server¥c¥bcpos¥data
月・週更新チェック DIR	¥¥server¥c¥bcpos¥data¥d



クライアント (子機) の設定

1. 基本設定の変更

- ・ [開始メニュー] - [F6 基本設定] - [F2 全般設定] - [初期 2] 画面の [LAN 使用] を [する] に変更します。
- ・ [開始メニュー] - [F6 基本設定] - [F2 全般設定] - [初期] 画面の [レジ No.] の [局番] を 1 以外に変更します。(重複不可)
- ・ [開始メニュー] - [F6 基本設定] - [F2 全般設定] - [初期 2] 画面の [このマシンで更新する] を [しない] に変更します。

2. Bde 設定の変更

- ・ [開始メニュー] - [F9 メンテナンス] - [F3 データベース] - [F6 Bde 設定] を選択します。
クライアント側 (子機) もサーバ側 (親機) と同じ設定を行ってください。

- ※ 親機の基本設定を変更しても子機の基本設定には反映されません。各端末で設定を変更してください。
- ※ 設定の際は販売画面を必ず終了させてから行ってください。

索引	
1	
180度反転印字(増設プリンタ) …	64
10桁を商品バーコードに使用設定	52
1ポイントの金額設定 ……………	58
2	
2行目印字(ラベル) ……………	62
232Cドロア使用設定 ……………	49
3	
2行目印字(ラベル) ……………	62
5	
58mmレシート使用 ……	22,23,49,56
58mmレシート使用印字見本 ……	55
58mm他社プリンタ使用設定 …	49
5・6桁のインストアコード使用 (顧客選択時)設定 ……………	45
5桁をインストアコードとして使用 (顧客未選択時)設定 ……………	45
6桁をインストアコードとして使用 (顧客未選択時)設定 ……………	45
8	
80mmレシート使用 ……	22,23,46,49,56
B	
BDE設定 ……………	177,253
D	
DM(カルテ用) ……………	239
DMラベル発行 ……………	237
F	
F1終了 ……………	94
F2金変 ……………	102
F2値引 ……………	102,103,134
F3数変 ……………	102
F3割引 ……………	102,103
F4取消 ……………	102
F4売掛 ……………	159
F4万券 ……………	134,135
F5商検 ……………	100
F5ポイント ……………	150,152
F6値引 ……………	103
F6クレジット ……………	133
F7仕入 ……………	97
F8返品 ……………	143
F9小計 ……………	134
F10ドロア ……………	96
F10現計 ……………	135
F11顧客情報詳細 ……………	150
FP1100(設定) ……………	9,21
FP1100(OPOSの呼出し) ……	21
FP1100レシート幅設定 ……	22
F6値引(表示設定) ……………	50
F7チケット(表示設定) ……	50
F7仕入(表示設定) ……………	50
F10ドロア(表示設定) ……	50
H	
H(テンキー) ……………	39
I	
ID(フェリカ)新規登録 ……	152
J	
JANコード ……	54,61,83,87,101
JANコード印字(ラベル) ……	62
L	
LANオプション ……………	252
LANプリンタ設定 ……………	49
LANプリンタ増設 ……………	64
LAN使用設定 ……………	44
LAN使用時(日報) ……………	140
LANの設定 ……………	177,252
LOG TEXT変換プログラム ……	169
N	
No(コード詳細) ……………	39
No(レシート) ……………	61
NON-PLUバーコードの印刷 ……	199
NON-PLUバーコード印刷設定 ……	48
NON-PLUバーコードの設定 ……	48,201
NON-PLU機能使用設定 ……	48
NON-PLU設定例 ……………	48
O	
OPOSの呼出し ……………	20
P	
PW(顧客) ……………	185
PWの設定(BCPOS) ……	24,25
PWの更新(BCPOS) ……	27
R	
R印刷(部門) ……………	77
S	
SF1ラベル ……………	84
SF1出金 ……………	132
SF2入金 ……………	132
SF3稼動 ……………	37,147
SF3商デ(商品詳細) ……	37,147
SF5客検 ……………	150
SF6メモ ……………	161
SF6領収 ……………	135
SF7移入 ……………	100
SF7履歴 ……………	150
SF8移出 ……………	100
SF8過去 ……………	151
SF9内金 ……………	131
SF9サービス ……………	103
SF10売掛 ……………	159
Shift+F ……………	40
SF1出金(表示設定) ……	50
SF2入金(表示設定) ……	50
SF8移動出・入(表示設定) ……	50
SF9サービス(表示設定) ……	50
T	
TABキーで顧客コード前後カット設定 ……	53
Tenpo Visorについて ……	246
Tenpo Visor機能概要 ……	247
Tenpo Visor用プログラム ……	248
Tenpo Visor基本設定 ……	249
Tenpo Visor用初期 商品・顧客初期データ作成 ……	250
Tenpo Visor用在庫データ作成 ……	251
U	
USBロックスター ……	24,27
V	
VALファイル再構築 ……	175
W	
WEBダウンロード (BCPOSバージョンアップ) ……	6
WEBダウンロード(新規BCPOS) ……	6
WebTimer ……………	249
Webcsv ……………	249
WEBマニュアル(TenpoVisor) ……	251
あ	
アクティベーションの設定 ……	25
アクティベーションの更新 ……	27
アップデート(BCPOS) ……	4,187
在高計算 ……………	137
粗利計算金額設定 ……	60
粗利計算使用金額 ……	43,60
い	
インストアコード ……	44,45,83,165
インストア重複選択 ……	46
インストール(BCPOS新規) ……	6
インストールを行う前に 必ずお読みください ……	4
インデックス再構築画面 ……	175

インデックス修復	175
以前のレシート再発行	34,39,136
委託仕入使用	46
移出・移入処理の方法	100
移動(ハンディターミナル)	230
移動データ店舗別一覧	219
移動時レシート2枚発行設定	54
移動時レシート発行設定	54
移動時仕入れ金額設定	43
移動時仕入累計変更	41,46
移動時使用金額	43
移動出・入の表示設定 (ファンクションボタン)	50
移動平均法とは	224
移動平均法設定	43
一括返品処理設定	63
一般管理	34
一般的なレジ操作方法	93
印刷方式(増設プリンタ)	64
印刷枚数(増設プリンタ)	64
印刷見本(増設プリンタ)	64
印刷見本(レシート)	55,105,114 131,135,160
印字金額(レシート&ラベル項目等)	60
印字設定(レシート&ラベル項目等)	60
印字設定(ロゴ・ヘッダ・フッタ)	56
う	
内金機能	131
内金機能使用設定	47
内金処理した商品の返品	145
内税消費税印字設定	60
内税税抜表示(日報)設定	62
売掛レシート印刷枚数	61
売掛レシート発行設定	54
売掛金の入金	160
売掛金を顧客に計上設定	52
売掛時消費税加算	44
売掛種別一覧	240
売掛種別設定	44,73
売掛入金現金のみ収支に反映	62
売掛未収一覧	244
売上一覧	192
売上一覧(項目別)	203
売上一覧(曜日・時間別)	211
売上取込(ハンディターミナル)	230
売上売価評価一覧	194
え	
エラー時に画面表示する (増設プリンタ)	64
営業が終了したら	137
営業担当設定	80

お	
オプション(販売管理)	188
オプション(顧客管理)	235
オプション(在庫管理)	223
オプション(クラウド本部管理)	246
オプション(LAN<増設>)	252
オプション情報	29
オプション設定	57
お客様マイページ	187
音の設定	63
音設定(増設プリンタ)	64
親コードとは	154

か	
カスタマディスプレイの設定	14
カスタマディスプレイ使用設定	49
カスタマディスプレイ表示設定	55
カスタマに残金表示	62
カラーコード(タッチパネルPOS)	68
カルテ印刷	157
カルテ画面	155
カルテ機能(顧客)	154
カルテ使用設定	63
カルテ用DM	239
カルテ用回答の登録・検索	156
カルテ用設問登録	155
買取を引いた客数を 分けて表示	62
価格設定(物販)	46
稼働金額に外税課税設定	52
課税対象印字設定	60
画面説明(各種)	28
開始メニュー	28
外部バーコードラベルプリンタ設定	49
外部バックアップデータディレクトリ	51
該当商品がない場合 メッセージを表示	63
該当商品がない場合 音を鳴らす	63
各種マスタ	75
各種画面説明	28
数を改行して印字	64
環境設定の変更	252
還元方法(ポイント)	58
管理画面	29
管理画面「H」(レジ画面)	39
簡易商品登録	87
簡易商品登録時定価登録設定	60
簡易商品登録設定	43,60
簡易登録 JAN	43
合算売上	207

き	
キャッシュドローの設定	49,50
基本レジ操作	93
基本税種別設定について	77
基本設定	42
基本設定を行う前に 必ずお読みください	41
既存顧客の訂正	90
既存商品の訂正	86
期間について (商品ベスト・稼働等)	189
期間指定価格使用	46
期間指定価格機能 (期間指定セール販売)	116
期限パスワード(更新・設定)	27
起動(BCPOS)	93
起動(レジ画面)	36
起動と終了(BCPOS)	93
擬似売掛機能使用	44
擬似売掛使用設定	44
擬似売掛時レシート印刷設定	54
業者委託商品部門	46
業種 OP	57
業種別管理	34
業務	57
業務オプションの使用設定	57
金額変更時マスタ更新 確認画面設定	63
金種入力画面	137
金変時、差額を表示設定	61
金変時割引%を表示設定	61

く	
クライアント(子機)の設定	253
クレジット販売の方法	133
クレジットと売掛併用 使用可能とする	63
クレジットポイント対象とする	58
クレジット機能使用設定	47
クレジット決済連動設定	47
クレジット設定(カード登録)	80
クレジット販売時の返品	144
クレジット連動会社設定	47

け	
月次・更新データ更新について	147
月次データバックアップフォルダ設定	51
月次更新処理、週次更新処理	147
月次更新処理日設定	45
月報	207
原価率(部門)	77
現計(実行)時入力(担当者入力)	47
現金での販売方法	101

こ

コード検索在庫一覧	226
コード詳細固定表示設定	50
コード入力フィールド	39
このマシンで更新する設定	44
コンピューター(Windows)の終了	94
顧客カルテ機能	154
顧客カルテ使用設定	63
顧客コード設定	53
顧客ダミー登録	92
顧客データ一括削除	184
顧客の移行	91
顧客の訂正(既存)	90
顧客のメニューボタン登録	71
顧客パスワード設定	185
顧客フィールド	37
顧客マスタ	81
顧客マスタのテキスト切出し	166
顧客マスタの取りみ	167
顧客マスタファイルのフォーマット	168
顧客メモ設定	78
顧客ユーティリティ	184
顧客ランク追加ポイント	58
顧客リスト	152
顧客リストの起動([H]テンキー内)	39
顧客稼働ベスト	242
顧客稼働一覧	235
顧客稼働実績本数の カウント設定	41,53
顧客過去使用設定	52
顧客管理オプション	235
顧客管理オプション使用設定	57
顧客管理設定	52
顧客機能使用設定	52
顧客住所・電話番号印字設定	54
顧客整合性チェック	176
顧客地区ベスト集計	241
顧客登録(新規)	89
顧客表示設定	53
顧客名印字設定(レシート)	61
固有ポイントを%で使用(商品)	58
更新時にチェックする フォルダの指定設定	44
更新時の自動バックアップ設定	44
項目別商品在庫一覧	225
項目別売上一覧	203
合計金額表示フィールド	134

さ

サーバー(親機)の設定	252
サービスの表示設定 (ファンクションボタン)	50

サービス券印刷用フッター設定	54
サービス特価時差額を表示 (レシート)	61
サブジャンル	79
サブジャンル/メーカー/仕入先別 売上一覧の切り替え方法	212
サブジャンル別売上一覧	213
サンプル(テンキーカラー)	43
在庫一覧表	223
在庫管理オプション	223
在庫管理オプション使用設定	57
在庫金額の更新	182
在庫数一括変換	179
在庫数変更の注意	147
雑誌・書籍設定	43
雑誌使用	43
雑誌コード	87
雑誌販売をする場合の設定	88
残金(売掛)の入力	160

し

ジャーナルプリンタ使用設定	23,49
ジャーナル点検	142
ジャーナル点検ボタンの表示設定 ([H]テンキー内)	51
ファンクションキーの説明	134
仕入/買取時税種別反映	59
仕入に消費税使用設定	43
仕入プライスカード自動発行設定	54
仕入ラベル印刷機選択設定	44
仕入レシート発行設定	54
仕入時コード選択設定	61
仕入価格(使用価格設定)	46
仕入時バーコード発行設定	46
仕入時導入日(登録日変更)設定	46
仕入の方法	97
仕入設定	46
仕入先マスタ・リスト	81
仕入先強制入力設定	46
仕入先表示(NON-PLU)設定	48
仕入先別売上一覧	215
仕入値設定	43
仕入保留データ削除タイミング設定	63
仕入保留レシート2枚印刷設定	63
仕入保留レシート印刷設定	63
仕入保留機能使用設定	98
仕入保留設定	63
使用プリンタ名設定	49
使用他社ソフト設定	51
自動起動設定	9
実在庫の更新(Tenpovisor)	251
実在庫の反映(ハンディデータ)	230

終了	94
住所表示設定	53
周辺機器実行順序	49
出金の表示設定 (ファンクションボタン)	50
出金メモ設定	80
出金レシート発行設定	54
出力完了時に画面表示する (増設プリンタ)	64
使用(中間締め)	45
使用プリンタ名	49
収入印紙欄印刷 (50,000円)以上	54
処理途中の顧客変更設定	52
処理方法(ポイント)	58
条件種別/条件金額1~10	77
初期設定	42
初期設定2	44
初期設定3	45
書籍・雑誌の登録方法	87
書籍コード	88
書籍使用	43
商品データ一括削除	181
商品データ重複時の選択	163
商品データ整合性チェック	175
商品ベスト	188
商品マスタのテキスト取込み	163
商品マスタのテキスト取込み 条件指定	163,164
商品マスタのテキスト切出し	162
商品マスタファイルのフォーマット	165
商品マスタ登録	82
商品メニューボタン登録(タッチ版)	65
商品メニューボタンCSV切出・取込	70
商品メニューボタンの簡易登録	68
商品メニューボタンの修正・削除	69
商品メモ設定	78
商品ユーティリティ	178
商品リスト	148
商品リストの表示設定 ([H]テンキー内)	50
商品移行	182
商品稼働一覧	190
商品稼働更新について	147
商品稼働状況フィールド	33
商品券のメニューボタン登録	127
商品券の種別集計の出力	127
商品券の登録と使い方	124
商品券の日報表示	128
商品券使用時ポイント率設定	62
商品券使用設定	62

商品検索時、該当商品がない時 メッセージ表示設定	63
商品在庫単価入力	195
商品単品詳細表示設定	50
商品登録で税込み 1or2を自動計算	60
商品登録の表示設定 (「H」テンキー内)	50
商品登録設定(簡易)	87
商品登録変更(既存)	86
商品別売上一覧	218
小計画面での値引き・割引	134
小計画面にテンキー表示設定	63
小計画面ファンクションキーの説明	134
小計割引%	47
小計割引機能	47
小計設定	47
小計値引きの単品粗利計算	134
小計入力必須	47
消費税設定(税込・税抜)	42,59
詳細設定(消費税設定)	59
新規BCPOSのインストール	6
新規顧客マスタ登録	89
新規商品マスタ登録	82
新規部門マスタ登録	76

す

スタッフバーコードでの終了	135
---------------	-----

せ

セールス価格金額変更設定	84,104
セールス期間中加算ポイント	58
セールス使用時レシートの 単価に定価を印字	46
セールス特価機能	104
セットマスタの登録	106
セットリスト	108
セット商品のCSV切出し・取込	109
セット商品登録	107
セット登録一覧の確認	108
セット内容の修正・削除	109
セット販売機能(バンドル)	105
セット販売使用設定	63
税改正マスタ金額設定ツール	59
税金計算設定	42,59
税込価格手入力	183
税種別変更	179
税表示(税抜、税込運用の切替)	59
税抜時ポイント値引を 税込から引く	59
税率設定	43,59
全般設定	42
全明細返品時タイトルを返品と 印字する設定	61

そ

増設LANプリンタ使用	64
その他追加設定	62
総額表示使用	43
操作ボタンフィールド	40

た

タイトル(増設プリンタ)	64
タグシールパターン(ラベル)設定	60
タッチ版設定(レジ画面)	50
タッチ版用商品メニューボタン登録	65
タブボタン	37,65
タブボタンCSV切出・取込	72
タブボタン簡易登録機能	68
タブボタン修正・削除	67
タブメニュー登録	65
操作レコード選択時のフォーマット	171
総額表示(税込)使用	43
総額表示(税抜)不使用	43
他社データテキスト作成フォルダ設定	51
他社データ変換	173
他社使用ソフト(連動)	51
他店会員機能使用	53
大部門	74,76,100,141,188
第二商品コード印字欄に 型番1を印字設定	61
棚卸チェックリスト	232
棚卸一覧	233
棚卸手入力	231
単価印字(レートの印字設定)	54
単価代入	179
単品フィールド(ライン版)	38
単品フィールド(タッチ版)	39
単品詳細フィールド	37
単品詳細フィールド表示設定	50
単品値引表示使用	62
単品標準レコード選択時の フォーマット	171
担当者コード入力強制	47
担当者コード入力強制(現計)	47
担当者コード入力強制(返品)	47
担当者コード入力強制(ドロア開閉)	47
担当者設定(レジ担当)	78
担当者別売上一覧	216
誕生日・年齢表示設定	53
誕生日チェック設定	52

ち

チケットの表示設定 (ファンクションボタン)	50
チケット税種別	42,60
地区設定	79

中間締め使用設定	45
中間締め時刻設定	45
中古商品の先頭に(中古)とつける (レシート)	61
中部門	74,76,82,141,188
中部門名	76
調整値引(部門)	77
帳票印刷等第2商品コード設定	44
直前レシートの再発行	136

つ

追加基本設定	61
追加設定(その他)	62
釣銭機使用設定	49
釣銭準備金の登録方法	95

て

ディレクトリとは	51
ディレクトリ設定	51
データ随時処理(BCPOS)	162
データディレクトリ設定	51
データの最適化	175
データバックアップ	174
データベース	174
データリストア	177
データ一括削除(顧客)	184
データ随時処理	39
データ整合性チェック	175
テーブルヘッダ修復	177
テキストに落とされた LOGのフォーマット	170
テキストファイルとは	51
テキスト作成フォルダ設定	51
テキスト取込み(顧客マスタ)	167
テキスト取込み(商品マスタ)	163
テキスト切出(商品マスタ)	162
テキスト切出し(顧客マスタ)	166
テキスト変換プログラム (LOG TEXT)	169
デビット	134
デビットカード機能使用設定	47
テンキーカラー設定	43
テンキーカラー(サンプル)	43
テンキー表示について	38
定価に登録する金額設定	60
店舗マスタ設定	79
店コード	42
店舗設定	42
店舗名/ロゴ設定(レシート)	56
伝票レコード選択時のフォーマット	172
伝票日付強制入力設定(仕入)	46
電話番号表示設定	53

と	
トレーニングモードの解除	26
トレーニングモードの使用	26
トレーニングモード設定	26,43
ドロアの表示設定 (ファンクションボタン)	50
ドロア使用設定	49
登録先指定	86
動作環境	260
同一商品コード 1 行表示	46
得意先別売上一覧	243
特別会員価格設定使用設定	52
な	
に	
日報	140
日報に内税税抜き表示	59
日報の表示設定 (「H」テンキー内)	50
入金 税種別初期表示	42,59
入金の表示設定 (ファンクションボタン)	50
入金メモ設定	80
入金レシート発行設定	54
入金処理のみの時 客数カウント設定	62
認証設定	25
ぬ	
ね	
値引 税種別初期表示設定	42,60
値引き・値上げ	103
値引き理由使用	63
値引き理由設定	80
値引の表示設定 (ファンクションボタン)	50
年・月次更新処理月設定	45
年代別性別集計一覧 (顧客管理オプション)	245
年報	209
の	
は	
バージョンアップの際は お問合せください	4
バーコード	83
バーコードがある書籍を 販売する場合の設定	87
バーコードシート印刷	197
バーコードでのスタート・エンド での判別設定	45
バーコードの印刷 (NON-PLU)	199
バーコードの設定 (NON-PLU)	201
バーコードの判別 (読込)	45

バーコードラベル印刷	62,149
バーコードラベルの発行について	84
バーコードラベル見本	62
バーコード重複選択設定	46
ハードディスクバックアップ データディレクトリ設定	51
パスポートスキャナ	59
パスワード (期限)	27
パスワード設定 (顧客)	185
パターン設定 1・2・3 (NON-PLU)	48
バックアップ	174
ハンディ DB 取込	230
ハンディデータ PC 取込	30
ハンディデータ反映	30
ハンディメニュー	229
ハンディ用商品マスタ作成	30
端数処理設定 (税金計算)	61
発注点切れリスト	228
発注番号強制入力設定	46
販売と買取の 客数をを分けて表示	62
販売の流れ	101
販売ラベル印刷機選択	44
販売レシート印刷枚数設定	61
販売レシート発行設定	54
販売員入力強制 (現計・ドロア)	47
販売価格 (使用価格設定)	46
販売画面と 操作ボタンフィールドについて	40
販売画面のドロア オープン時入力 (担当者入力)	47
販売管理オプション	188
販売管理オプション使用設定	57
販売時コード設定	61
販売時に顧客入力必須設定	63
販売返品時・伝票処理時 客数減らす	62
販売返品時のみ入力 (担当者入力)	47
販売保留機能	129
販売方法 (クレジット)	133
販売方法 (現金)	134
ひ	
日付変更時刻設定	42
日付変更時刻内の印字設定	54
表示までの時間設定 (カスタム)	55
表示回数設定 (カスタム)	55
表示切替時間設定 (カスタム)	55
表示全般	50
表示内容設定 (カスタム)	55

ふ	
ファンクションキーの機能	40
ファンクションボタンのメニュー登録	70
ファンクションボタンの表示設定	50
フェリカ ID 使用設定	53
ブザー音量 (増設プリンタ)	64
フッターロゴファイル設定	56
フッター設定	56
プライスカードに定価印字する設定	62
プライスカードの印刷設定	54
プライスカードの金額印刷設定	54,60
プライスカードパターン設定	60
フラグ変更	178
プリンタ機種名 +IP (増設)	64
部門名	77
部門名カナ	77
部門カナ設定について	76
部門コードについて	77
部門コードについて	74
部門サブ (サブジャンル) 設定	81
部門マスタ設定	78
部門一括変更・削除	180
部門販売用メニューボタン登録	71
部門割当キー	77
部門割当キーのメニューボタン登録	71
部門集計一覧	227
部門別 (売上在庫/比率) 一覧	205
部門別前年度売上対比表	222
部門変更	180
へ	
ヘッダー 1~10 (増設プリンタ)	64
フッター 1~10 (増設プリンタ)	64
ヘッダー設定	56
ヘッダーレコード選択時のフォーマット	171
返品レシート発行設定	54
返品時、預り金入力禁止設定	63
返品処理	143
ほ	
ポイント	58,84,134,1520
ポイント還元の種類	58
ポイント還元方法	58
ポイント機能使用設定	58
ポイント残高一覧	238
ポイント修正設定	58
ポイント照会一覧	239
ポイント設定	59
ポイント (還元方式)	58
ポイント (処理方法)	58
ポイント (顧客ランク追加)	58
ポイント (税抜き運用時)	59

ポイント達成基準設定 …………… 58		
ポイント達成時 キャッシュバック額設定 …………… 58		
ポイント付加(部門設定) …………… 77		
ポイント付加金額(税設定) …………… 59		
ポイント付加最低利用金額設定 …… 58		
ポイント付加設定(商品固有) …… 84		
ポイント付加設定(デフォルト設定) …… 79		
ポイント有効期限設定 …………… 58		
ポイント(クレジット付加) …………… 58		
ポイント率 (クレジット・リボ・現金)設定 …… 58		
ポイント率(商品券) …………… 62		
保留データ削除タイミング(仕入) …… 63		
保留データ削除タイミング(販売) …… 63		
保留の呼び出し(仕入) …………… 99		
保留の呼び出し(販売) …………… 130		
保留の登録(仕入) …………… 98		
保留の登録(販売) …………… 129		
保留レシート2枚印刷設定(仕入) …… 63		
保留レシート2枚印刷設定(販売) …… 63		
保留レシート印刷設定(仕入) …… 63		
保留レシート印刷設定(販売) …… 63		
保留機能使用設定(仕入) …………… 63		
保留機能使用設定(販売) …………… 63		
保留設定 …………… 63		
本部管理(TenpoVisor)オプション …… 246		
本部管理(TenpoVisor)概要 …… 247		
本部管理(TenpoVisor)設定 …… 249		
ま		
マスタの主仕入先を仕入検索した 仕入先に変更設定 …………… 63		
マスタの設定(各種) …………… 75		
マスタの定価を表示(レシート) …… 61		
マスタ登録(顧客) …………… 89		
マスタ登録(仕入先) …………… 81		
マスタ登録(商品) …………… 82		
マスタ登録(部門) …………… 76		
み		
ミックスマッチ販売機能 …………… 110		
ミックスマッチ販売使用設定 …… 63		
店コード設定 …………… 42		
未登録雑誌売上 …………… 43		
未登録書籍売上 …………… 43		
む		
無在庫確認表示設定 …………… 43		
無在庫表示(商品リスト) …… 147		
め		
メーカー設定 …………… 79		
メーカー別売一覧 …………… 214		
メッセージフィールド …………… 38		
メニューバーの表示設定 …………… 50		
メモ機能 …………… 161		
メンテナンス(BCPOS) …………… 174		
免税機能 …………… 59		
免税区分(部門) …………… 77		
免税アプリ連携 …………… 59		
免税レシート発行枚数 …………… 59		
免税用パスポートスキャナ使用 …… 59		
も		
文字入力(タッチパネル POS) …… 69		
や		
読込バーコードの判別 …………… 45		
曜日・時間別売一覧 …………… 211		
ゆ		
よ		
余白設定 …………… 49		
ら		
ライン版テンキー表示 …………… 50		
ライン DSP メッセージ設定 …… 55		
ラインディスプレイ設定 …………… 55		
ライン版設定(レジ画面) …… 50		
ラベル(JANコード印字) …… 62		
ラベル 2 行目印字設定 …………… 62		
ラベル 3 行目印字設定 …………… 62		
ラベル印字設定 …………… 62		
ラベル印字調整 …………… 49		
ランオプション …………… 252		
り		
リサイクル業務使用設定 …… 57		
レシート幅選択 …………… 49		
領収書 …………… 135		
る		
れ		
レジNo.(局番) …………… 43		
レシート印字(顧客名) …………… 61		
レシート印字(サービス特価時差額) …… 61		
レシート印字(販売時コード設定) …… 61		
レシート印字(仕入時コード設定) …… 61		
レシート印字(金変時差額表示) …… 61		
レシート印字(金変時割引%表示) …… 61		
レシート印字(マスタの定価表示) …… 61		
レシート印字(第二商品コード印字欄に 型番 1 を印字) …………… 61		
レシート印字 (全明細返品時タイトルを返品) …… 61		
レシートタイトル任意印字設定 …… 62		
レシートプリンタ使用設定 …… 49		
レシート印刷時の税金計算 端数処理設定(小計時) …… 59		
レシート印字見本 …………… 55,105,114 131,135,160		
レシート印字設定 …………… 56		
レシート印字設定(税印字) …… 60		
レシート印字追加設定 …………… 61		
レシート再発行方法 …………… 136		
レシート設定 …………… 54		
レシート棚番印刷設定 …………… 54		
レシート伝票 No 印刷設定 …… 61		
レシート幅設定 …………… 49		
レシート幅設定(増設プリンタ) …… 64		
レシート幅設定(FP1100) …… 22		
レジ画面(画面解説) …………… 36		
レジ画面設定(ライン or タッチ) …… 50		
レジ画面で税込変更時に 税抜も更新 …………… 60		
レジ画面起動までの流れ …… 93		
レジ操作方法 …………… 93		
レジ締め業務 …………… 137		
ろ		
ログテキスト変換プログラム …… 169		
ログとは …………… 51		
ログに書き出す単価設定 …… 59		
ログ書込み設定 …………… 45		
ロックスターとパスワードについて …… 24		
ロックスターのインストール …… 24		
ロックスターのパスワード更新 …… 27		
ロックスターポート設定 …… 49		
わ		
割引 …………… 103		
を		
ん		

**BCPOS ver 6.0 動作環境**

BCPOS の動作環境は以下のとおりです。

	最低	推奨
OS	Windows7 (32&64Bit) , Windows8 (32&64Bit) , Windows8.1(32&64Bit) , Windows10(32&64Bit)	
CPU	Celeron 2GHz 以上	Core2Duo 2GHz 以上
メモリ	2GB 以上	4 GB 以上
ハードディスク空き容量	1GB 以上	10GB 以上
ディスプレイ解像度	800 × 600px 以上	
バーコードリーダー	ビジコム : BCN-1200U (USB タイプ)	
対応カスタムディスプレイ	ビジコム : BC-VF シリーズ (EPSON : DM-D110、210 シリーズ準拠品)	
対応キャッシュドロア	ビジコム : BC-DW シリーズ (6 ピンモジュラータイプ、RS-232C タイプ)	
対応レシートプリンタ	富士通アイソテック : FP-1100 スター精密 : TSP100 シリーズ (注1) EPSON : TM-T 88 Ⅲ~Ⅴシリーズ (注2)	

注1 : スター精密 : TSP100 シリーズの LAN タイプは未対応です

注2 : EPSON : TM-T 88 シリーズの USB・LAN タイプは未対応です

※外部機器を接続する場合、シリアルポートのあるものを推奨します

無い場合には別途 USB シリアル変換コードが必要になりますのでお問い合わせ下さい

ご注意

- 本書及びこのプログラムは著作権上、無断で使用・複製することはできません
- 本製品の内容について万が一不備な内容がございましたら下記までご連絡ください
- 本書及びこのプログラムの内容は、予告なしに変更することがございます

BCPOS は株式会社ビジコムの登録商標です
Windows7,Windows8,Windows8.1,Windows10 は米国マイクロソフト社の登録商標です
その他、記載された製品名は各社の商標または登録商標です

BCPOS ユーザーズガイド

初版 2004 年 3 月 第五版 2015 年 9 月
落丁・乱丁はお取替えいたします。

発行 株式会社ビジコム

Web : <http://www.busicom.co.jp/>
E-Mail : info@busicom.co.jp